

**「文化芸術活動の継続支援事業」及び
新型コロナウイルス感染拡大による影響に関する
アンケート調査**

分析結果

令和3年6月

**独立行政法人日本芸術文化振興会
文化芸術推進フォーラム**

目次

I 調査概要

1.調査概要	3
＜参考＞ 調査結果の見方	5

II 結果概要（1）芸術家

1.文化芸術の活動領域	8
2.年齢	9
3.「文化芸術活動の継続支援事業」について情報を得たもの	12
4.「文化芸術活動の継続支援事業」について最も有益だった情報	16
5.事業活用にあたりサポートを受けた関係者・専門家	20
6.事業活用にあたって困難だった点や利用しづらかった点	24
7.事業の良かった点や便利だった点	28
8.事業を通じて得られた効果	32
9.事業の総合的な満足度	36
10.新型コロナウイルス感染症拡大の影響	40
11.コロナ禍における活動継続の対応	44
12.利用した政府の制度	48
13.政府の新型コロナウイルス感染症対策予算に対する考え	52
14.2019年に対する2020年の総収入	56
15.文化芸術活動の収入変化	60
16.現時点（2021年4月）で最も不安に感じていること	64
17.以前の文化芸術活動の状況と、今後の課題	68
18.組織への参加・所属状況	72
19.全収入に占める芸術活動からの収入割合	76
20.文化芸術活動を続ける上で、今、必要なこと	79
21.文化芸術活動を続ける上で、感じている課題	83

II 結果概要（2）団体

22.新型コロナウイルス感染症拡大の影響	89
23.対応が厳しかったこと	91
24.コロナ禍での貴団体の対応	93
25.申請した継続支援事業	95
26.政府の新型コロナウイルス感染症対策予算に対する考え	97
27.2020年の芸術事業収入（対2019年）	99
28.直近決算での正味財産変化（対2019年）	101
29.2021年の事業計画の見込み（対2019年）	103
30.今、活動の継続に必要なこと	105
31.今、活動の継続に最も必要なこと	107
32.危機対応として望む対策	109
33.「文化芸術活動の継続支援事業」について情報を得たもの	111
34.「文化芸術活動の継続支援事業」について最も有益だった情報	113
35.事業活用にあたりサポートを受けた関係者・専門家	115
36.事業活用にあたって困難だった点や利用しづらかった点	117
37.事業の良かった点や便利だった点	119
38.事業を通じて得られた効果	121
39.事業の総合的な満足度	123
40.主な活動分野	125

III 自由記述

1.芸術家	127
2.団体	131

IV 調査票

1.芸術家	134
2.団体	139

I 調査概要

1. 調査概要

はじめに

文化庁は、芸術家、スタッフと文化芸術団体の活動継続と再開を支援するために「文化芸術活動の継続支援事業」を予算化し、独立行政法人日本芸術文化振興会が7月から事業を執行した。

この事業は、新型コロナウイルス感染拡大による大きな影響を受けた個人、団体を幅広く対象とする、文化行政史上初めての制度で、どのような基準でどのように芸術家等を特定し、補助金を交付していくか、申請、手続、交付に幾多の課題が存在していた。

一方、文化芸術の各分野の職能組織等で構成されている文化芸術推進フォーラムは、芸術家等、芸術団体が厳しい状況に置かれており、支援が一日でも早く行き渡ることを願っていた。文化芸術推進フォーラムは、構成する各組織を中心に広く呼びかけ、芸術家等の専門性を認め、確認番号を発行し、制度運用の実効性を高める役割を果たす任を負った。

本アンケート調査は、初めての試みである「文化芸術活動の継続支援事業」の効果と課題を検証するとともに、1年以上つづく感染拡大による大きな影響を受けた文化芸術の実態を把握し、今後の支援策を検討するために実施した。

昨年10月、文化庁は「文化芸術活動に携わる方々へのアンケート」を実施しており、その内容を一部継承し、6か月間の変化も含め検証出来るよう設計し、独立行政法人日本芸術文化振興会と文化芸術推進フォーラムが連携して実施した。

以下の報告内容は、芸術家等については回答を質問ごとに「活動分野別」、「年齢別」、「芸術活動収入割合別」で分析し、文化芸術団体については回答を「活動分野別」で分析し、報告している。

なお、回答に見られる通り過半の芸術家等は個人として活動している。また、仕事、技能向上を図るためプロダクション、劇団や楽団、職能組織に参加・所属している場合もあるが、仕事ごとに報酬を受ける関係が主流であり、芸術家等はほとんどが労働契約関係を持っていない。故に、今回「文化芸術活動の継続支援事業」が実施されたのは、公演、展示、製作などが中止されたことによって、芸術家等の仕事と収入が消失したからである。

本年4月21日から5月6日の短い期間であったが、この種のアンケートとしては驚異的と言える回答率となった。文化芸術関係者の今も続く厳しい状況を反映していると考えられる。

回答者の皆様に感謝するとともに、このアンケートから得られた結果を有効に活かして行くことを報告する。

1. 調査概要

目的	新型コロナウイルス感染拡大による文化芸術への影響についての実態把握、文化芸術活動の継続支援事業の効果の検証や、今後の支援策の検討等に役立てる。
対象	「文化芸術活動の継続支援事業」より支援を受けた（採択された）芸術家人および団体
期間	令和3（2021）年4月21日（水）～5月6日（木）
手法	インターネットアンケート（対象者個人/対象団体へのメール配信・WEB回答）
有効回答数	芸術家個人 18,370件（回答率45.9%、回収数（回収率）40,013件） 団体 1,484件（回答率56.8%、回収数（回収率）2,614団体）
調査主体	独立行政法人日本芸術文化振興会／文化芸術推進フォーラム
調査協力	文化芸術推進フォーラム／株式会社インテージリサーチ

<参考> 調査結果の見方

- ① 報告書中の問番号および質問は、調査票の問番号および質問文をそのまま示している。また、本文やグラフ・数表上の選択肢の表記は、語句を簡略化している場合がある（詳細は、別添調査票参照）。
- ② 調査結果の数値は回答率（％）で示している。
％の母数は、その質問の回答数または属性別のTOTAL数で、「n＝」で表している。
- ③ 割合は小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位まで示している。よって、「○は1つだけ」などの質問であっても、端数が影響し、回答率の合計値が100.0%にならない場合がある。
- ④ 複数回答の設問では、回答率（％）は回答数「n＝」に占める割合となっている。
したがって、回答割合を全て合計しても100.0%にならない場合がある。
- ⑤ 属性の回答者数では、傾向を分析する上で十分とは言えない30サンプル未満の結果も含まれるが、参考値として掲載している。
- ⑥ 報告書中に表示される「活動分野」には、以下のものが含まれる。
音楽 / 舞踊 / 演劇 / 伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊）
/ 大衆芸能（講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱） / 舞台スタッフ / 美術 / 写真
/ コンピュータその他電子機器等を利用した芸術 / 映画・アニメーション / 生活文化（茶道、華道、書道）
/ 国民娯楽（囲碁、将棋、その他）

Ⅱ 結果概要

(1) 芸術家

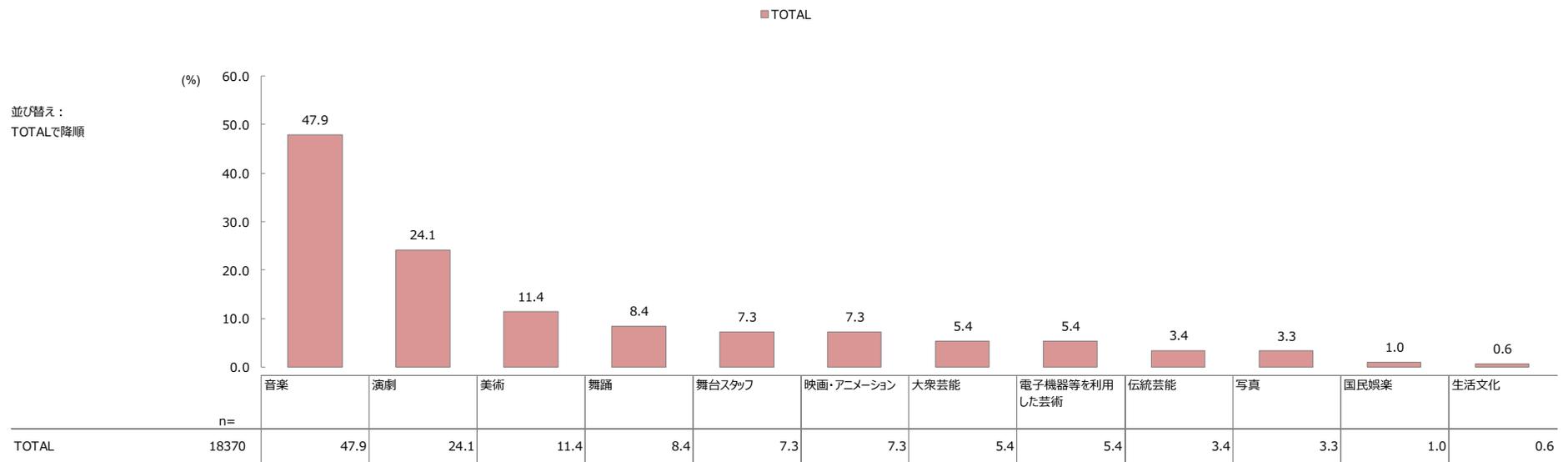
調査項目(クロス結果)一覧表

	活動分野別クロス Q1	年齢別 Q2	芸術活動の収入割合別 Q19
(1) 回答者属性			
1. 文化芸術の活動領域活動領域 Q1	—	—	—
2. 年齢 Q2	○	—	○
(2) 「文化芸術活動の継続支援事業」について			
3. 「文化芸術活動の継続支援事業」について情報を得たもの Q3_1	○	○	○
4. 「文化芸術活動の継続支援事業」について最も有益だった情報 Q3_2	○	○	○
5. 事業活用にあたりサポートを受けた関係者・専門家 Q4	○	○	○
6. 事業活用にあって困難だった点や利用しづかった点 Q5	○	○	○
7. 事業の良かった点や便利だった点 Q6	○	○	○
8. 事業を通じて得られた効果 Q7	○	○	○
9. 事業の総合的な満足度 Q9	○	○	○
(3) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響			
10. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響 Q10	○	○	○
11. コロナ禍における活動継続の対応 Q11	○	○	○
12. 利用した政府の制度 Q12	○	○	○
13. 政府の新型コロナウイルス感染症対策予算に対する考え Q13	○	○	○
14. 2019年に対する2020年の総収入 Q14	○	○	○
15. 文化芸術活動の収入変化 Q15	○	○	○
16. 現時点（2021年4月）で最も不安に感じていること Q16	○	○	○
(4) 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前の文化芸術活動の状況と、今後の課題			
17. 以前の文化芸術活動の状況と、今後の課題 Q17	○	○	○
18. 組織への参加・所属状況 Q18	○	○	○
19. 全収入に占める芸術活動からの収入割合 Q19	○	○	—
20. 文化芸術活動を続ける上で、今、必要なこと Q20	○	○	○
21. 文化芸術活動を続ける上で、感じている課題 Q21	○	○	○

1.文化芸術の活動領域(MA)

- TOTALでは、「音楽」が最も多く、47.9%。「演劇」24.1%、「美術」11.4%が続く。

1-1.TOTAL結果(MA)

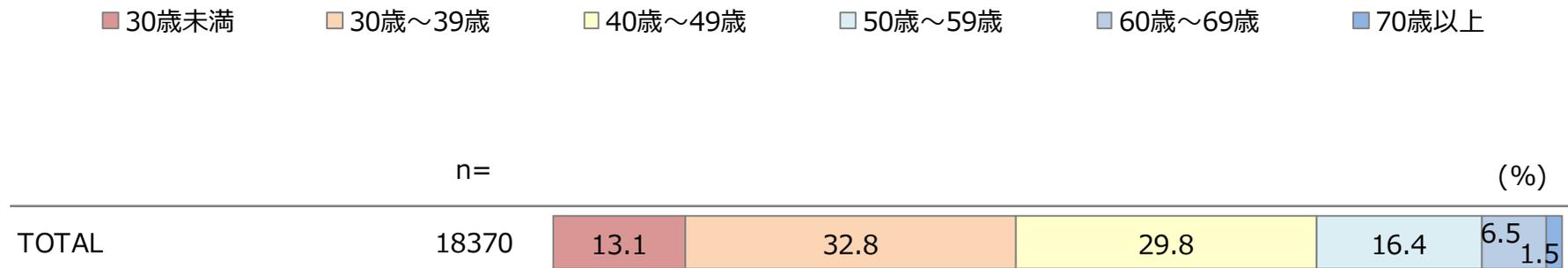


(質問文) Q1 あなたの文化芸術の活動領域を教えてください。まずあなた自身の活動分野と年齢についてお教えてください。

2.年齢(SA)

- TOTALでは、「30歳～39歳」が最も多く、32.8%。「40歳～49歳」29.8%、「50歳～59歳」16.4%が続く。

2-1.TOTAL結果(SA)

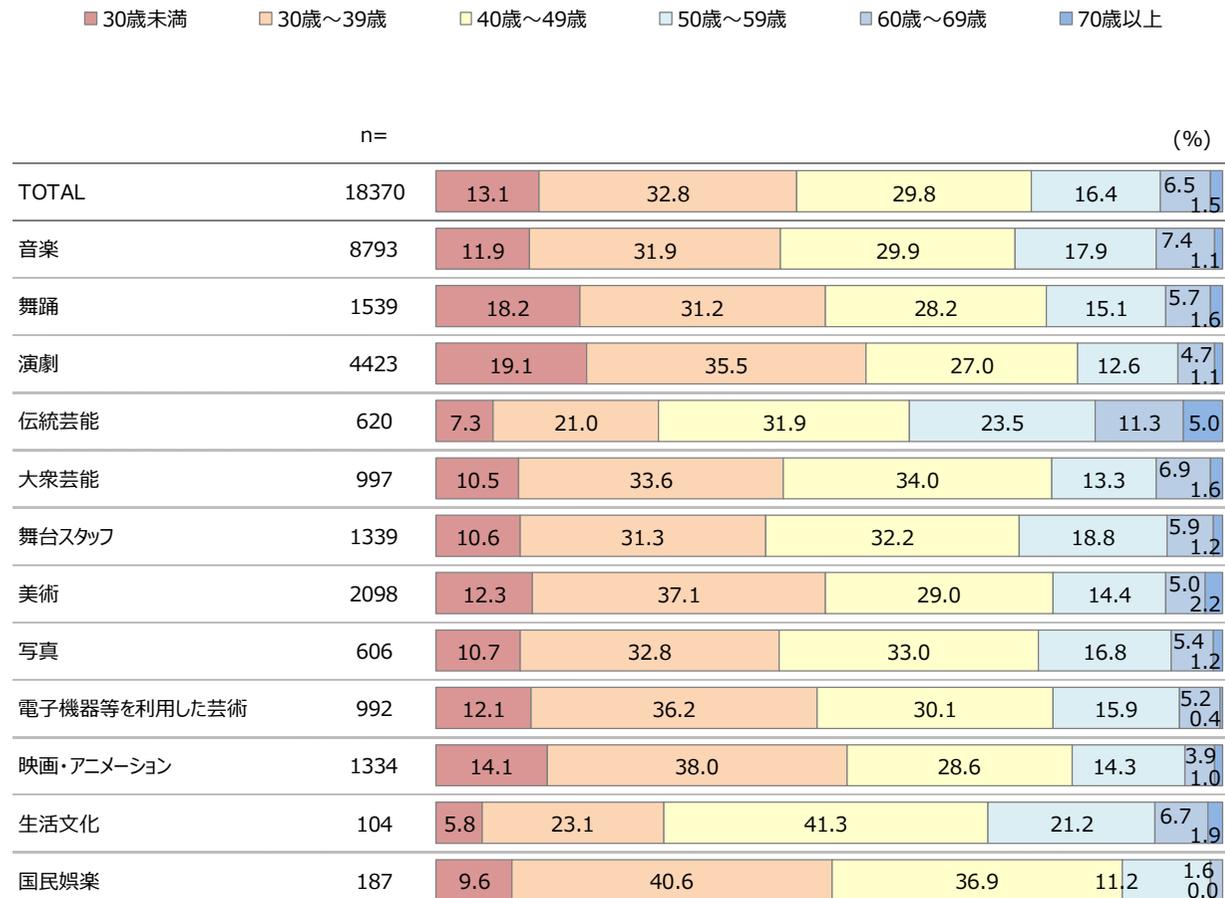


(質問文) * Q2 あなたの年齢を教えてください。

2.年齢(SA)

- 活動領域別にみると、演劇、映画・アニメーション、国民娯楽で39歳以下が5割を占める。一方、伝統芸能、生活文化（茶道、華道、書道）は40歳以上が7割を占める。

2-2.活動領域別(SA)



(質問文) * Q2 あなたの年齢を教えてください。

2.年齢(SA)

- 芸能活動の収入割合別にみると、芸術活動からの収入割合が高い（100%に近い）ほど高い年代が多く、割合が低いほど若い年代が多い傾向がある。

2-3.芸術活動の収入割合別(SA)

■ 30歳未満
 ■ 30歳～39歳
 ■ 40歳～49歳
 ■ 50歳～59歳
 ■ 60歳～69歳
 ■ 70歳以上

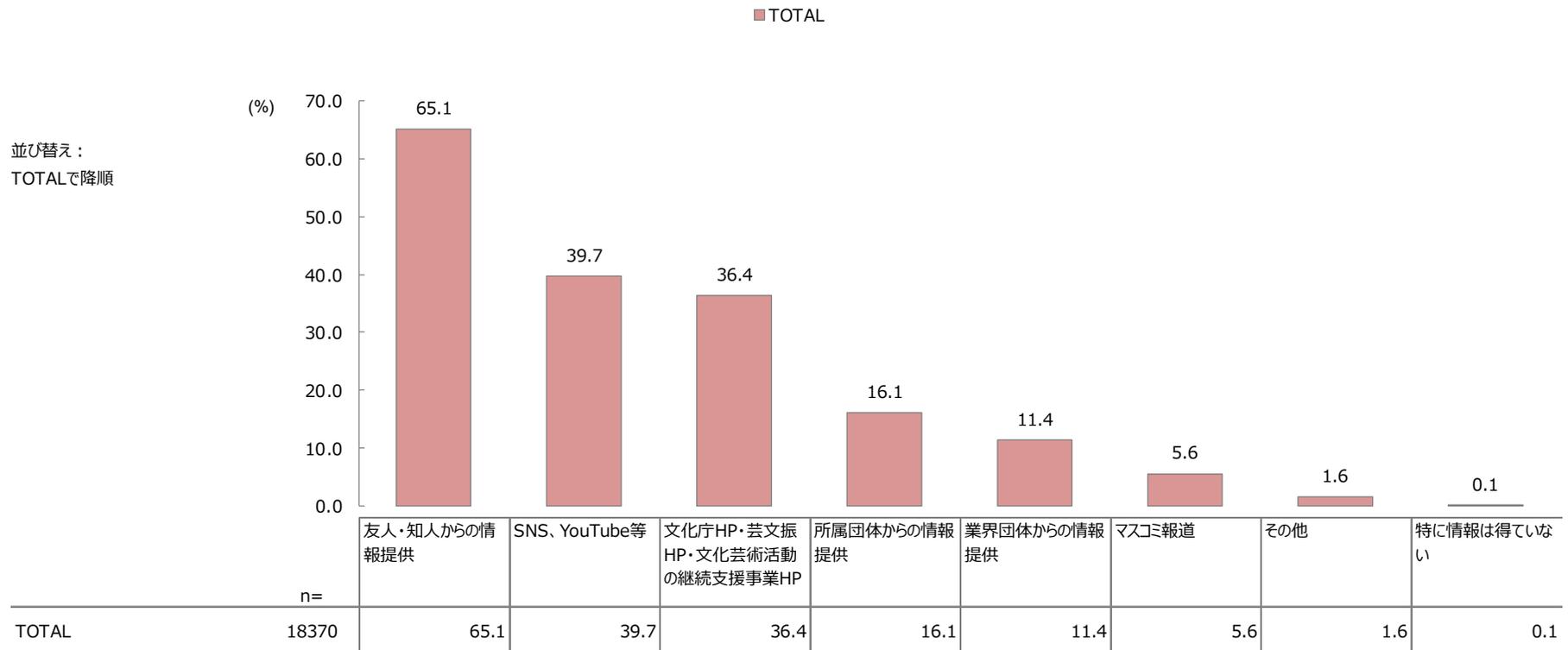
	n=	(%)					
TOTAL	18370	13.1	32.8	29.8	16.4	6.5	1.5
75%以上～100%	9390	8.6	31.5	32.2	19.1	7.1	1.4
50%以上～75%未満	3474	15.1	33.5	28.4	15.7	5.8	1.5
25%以上～50%未満	3193	17.4	34.8	27.0	12.9	6.5	1.4
0%以上～25%未満	2313	22.0	34.5	25.7	11.4	4.8	1.6

(質問文) * Q2 あなたの年齢を教えてください。

3.「文化芸術活動の継続支援事業」について情報を得たもの(MA)

- TOTALでは、「友人・知人からの情報提供」が最も多く、65.1%。「SNS、YouTube等」39.7%、「文化庁HP・芸文振HP・文化芸術活動の継続支援事業HP」36.4%が続く。

3-1.TOTAL結果(MA)

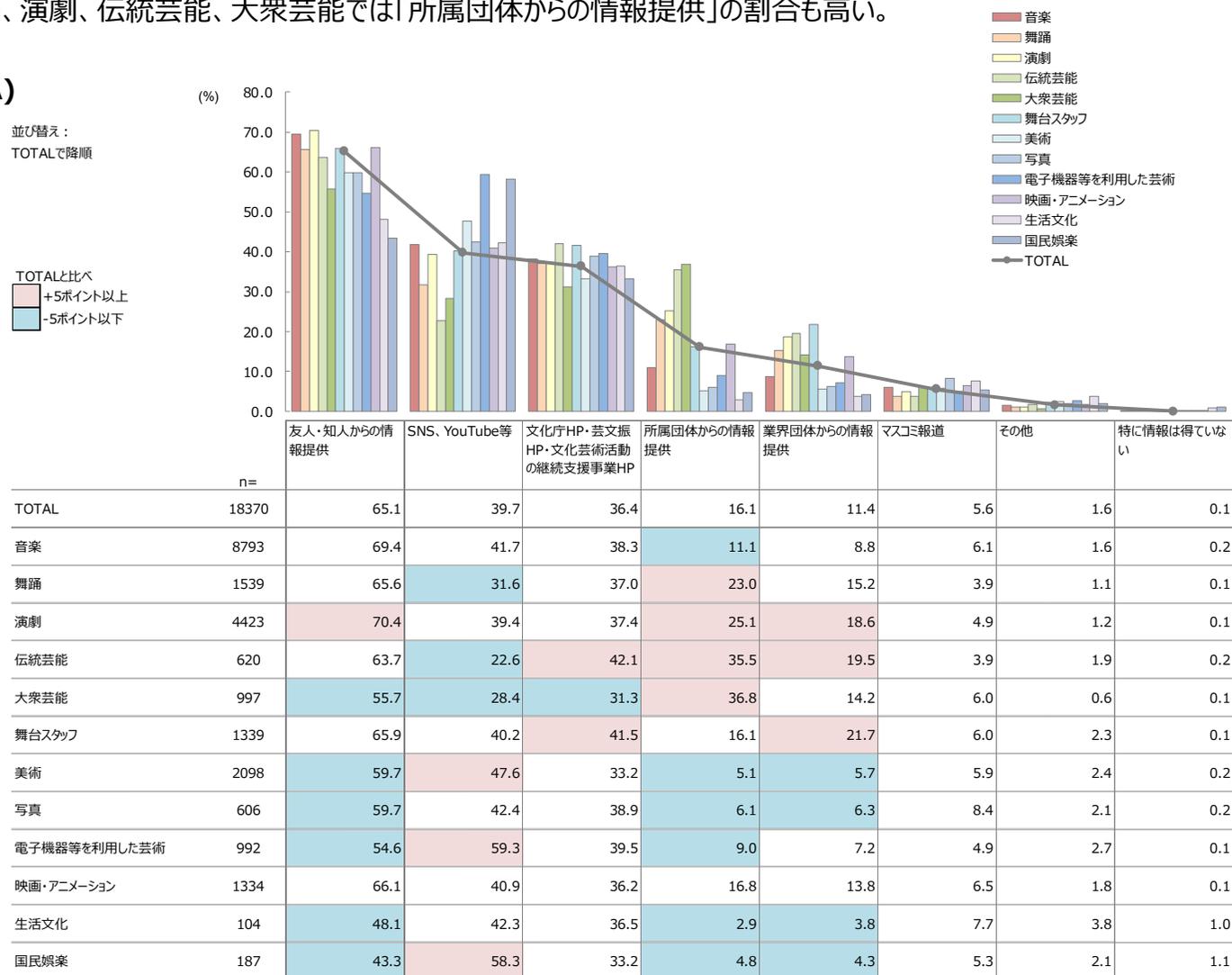


(質問文) <情報を得たもの(あてはまるものすべて)> Q3_1 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、情報を得たのはどれですか。また、最も有益な情報はなんでしたか。文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について伺います。

3.「文化芸術活動の継続支援事業」について情報を得たもの(MA)

- 活動領域別にみると、演劇で「友人・知人からの情報提供」、美術、電子機器等を利用した芸術、国民娯楽（囲碁、将棋、その他）で「SNS、YouTube等」、伝統芸能、舞台スタッフで「文化庁HP・芸文振HP・文化芸術活動の継続支援事業HP」の割合が高い傾向がある。また、舞踊、演劇、伝統芸能、大衆芸能では「所属団体からの情報提供」の割合も高い。

3-2.活動領域別(MA)

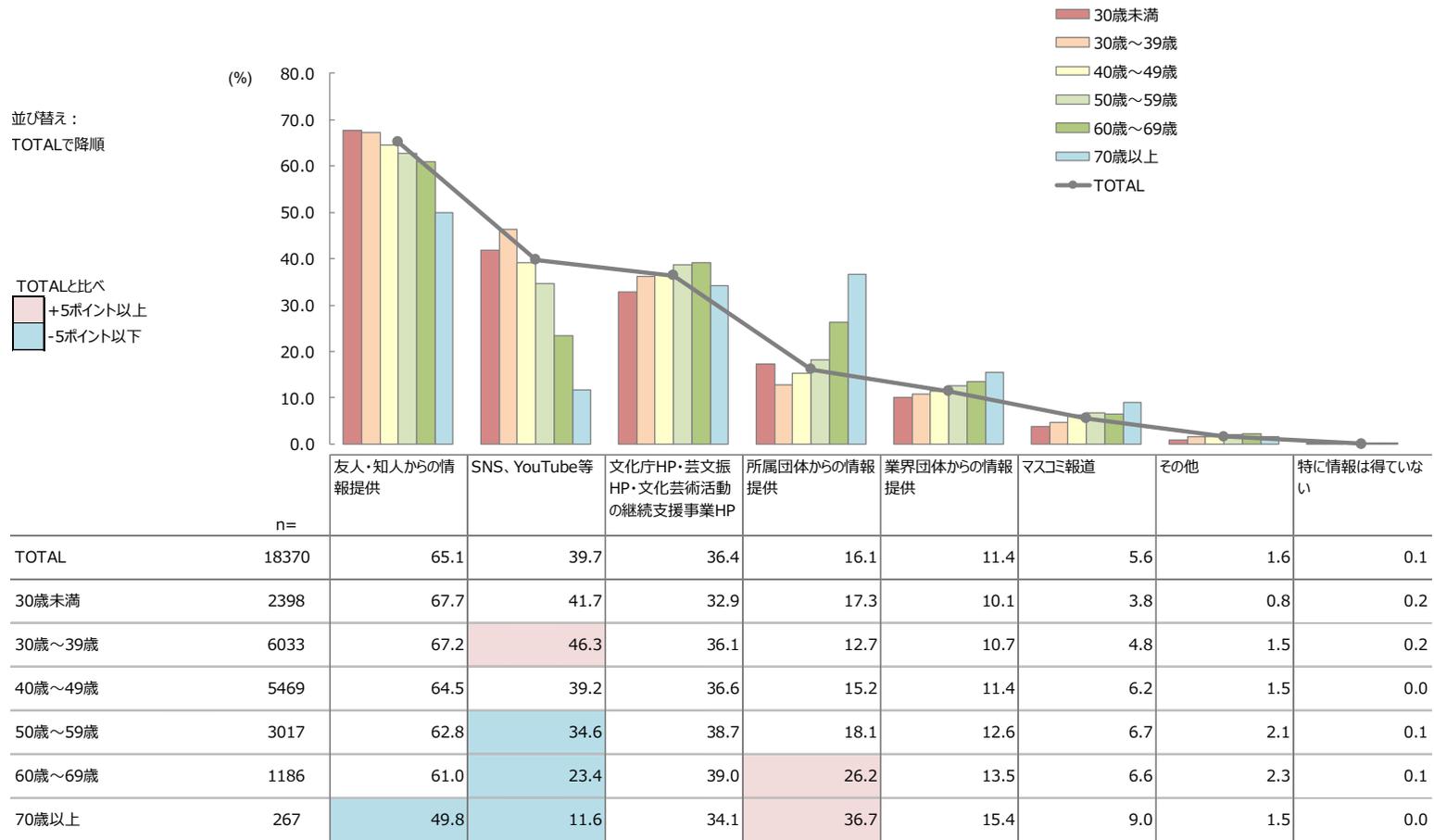


(質問文) <情報を得たもの(あてはまるものすべて)> Q3_1 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、情報を得たのはどれですか。また、最も有益な情報はなんでしたか。文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について伺います。 13

3.「文化芸術活動の継続支援事業」について情報を得たもの(MA)

- 年齢別にみると、30歳～39歳で「SNS、YouTube等」、60歳以上で「所属団体からの情報提供」の割合が高い。

3-3.年齢別(MA)

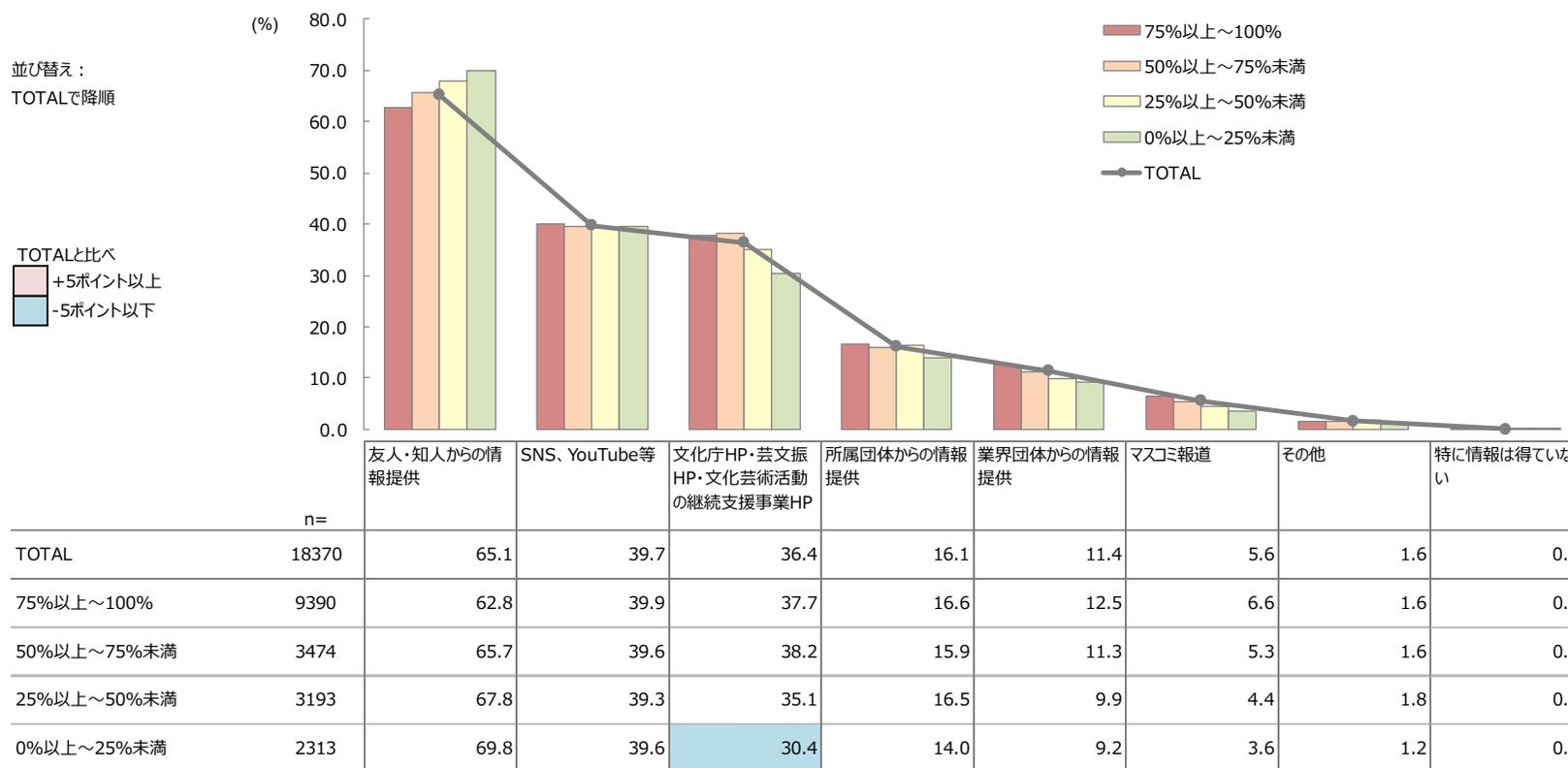


(質問文) <情報を得たもの(あてはまるものすべて)> Q3_1 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、情報を得たのはどれですか。また、最も有益な情報はなんでしたか。文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について伺います。 14

3.「文化芸術活動の継続支援事業」について情報を得たもの(MA)

- 芸術活動の収入割合別にみると、芸術活動からの収入割合が小さいほど「友人・知人からの情報提供」、収入割合が大きいほど「文化庁HP・芸文振HP・文化芸術活動の継続支援事業HP」の割合が高い傾向がある。

3-4.芸術活動の収入割合別(MA)

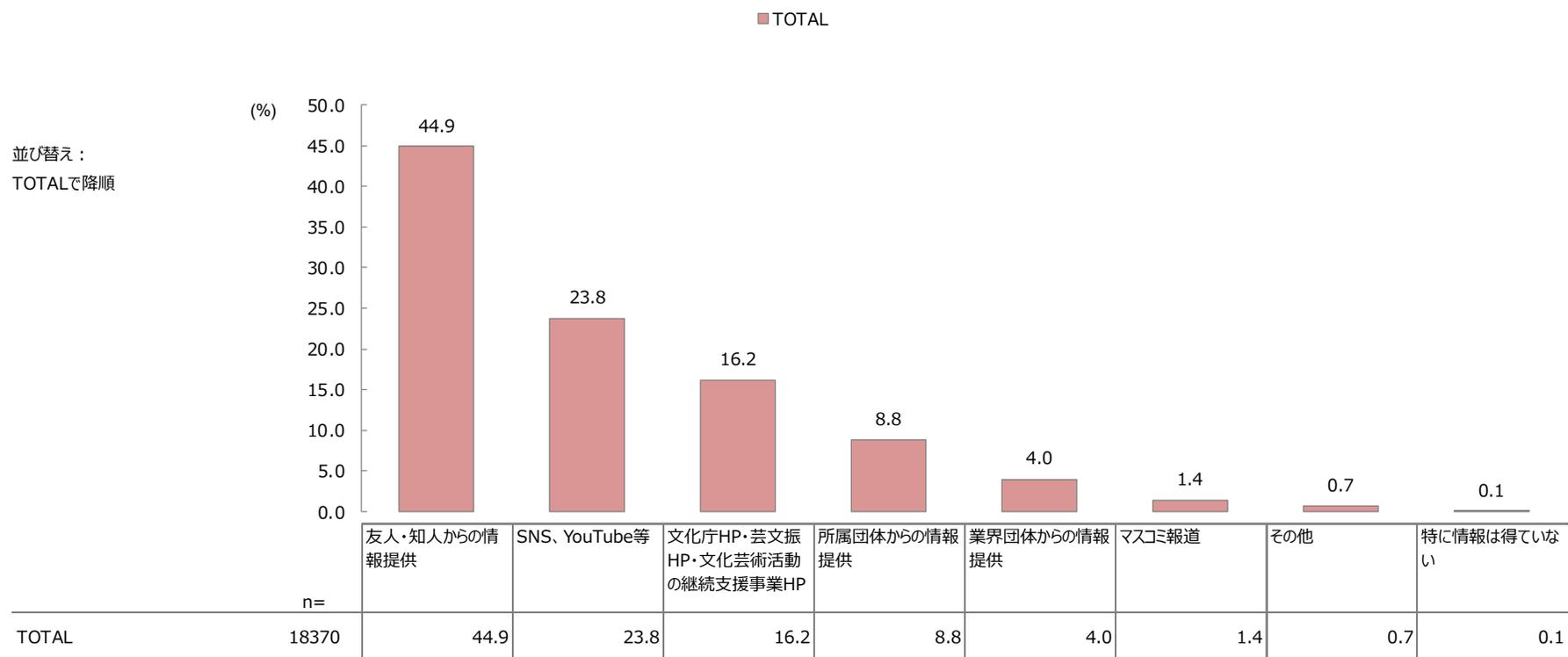


(質問文) <情報を得たもの(あてはまるものすべて)> Q3_1 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、情報を得たのはどれですか。また、最も有益な情報はなんでしたか。文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について伺います。

4.「文化芸術活動の継続支援事業」について最も有益だった情報(SA)

- TOTALでは、「友人・知人からの情報提供」が最も多く、44.9%。「SNS、YouTube等」23.8%、「文化庁HP・芸文振HP・文化芸術活動の継続支援事業HP」16.2%が続く。

4-1.TOTAL結果(SA)

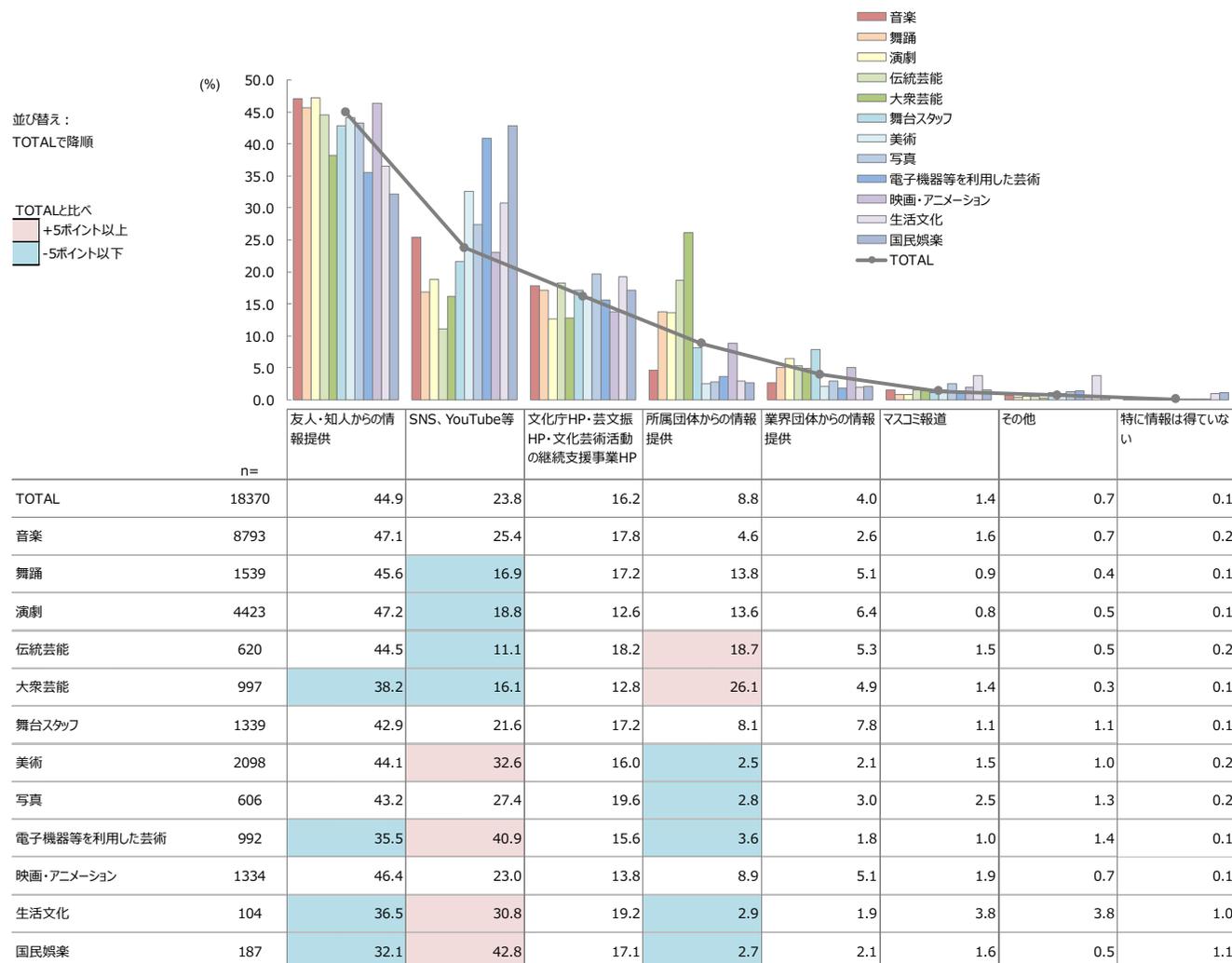


(質問文) <最も有益な情報 (1つだけ) > Q3_2 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、情報を得たのはどれですか。また、最も有益な情報はなんでしたか。文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について伺います。

4.「文化芸術活動の継続支援事業」について最も有益だった情報(SA)

- 活動領域別にみると、美術、電子機器等を利用した芸術、生活文化（茶道、華道、書道）、国民娯楽（囲碁、将棋、その他）で「SNS、YouTube等」、伝統芸能、大衆芸能で「所属団体からの情報提供」を最も有益だったとする割合が高い。

4-2.活動領域別(SA)

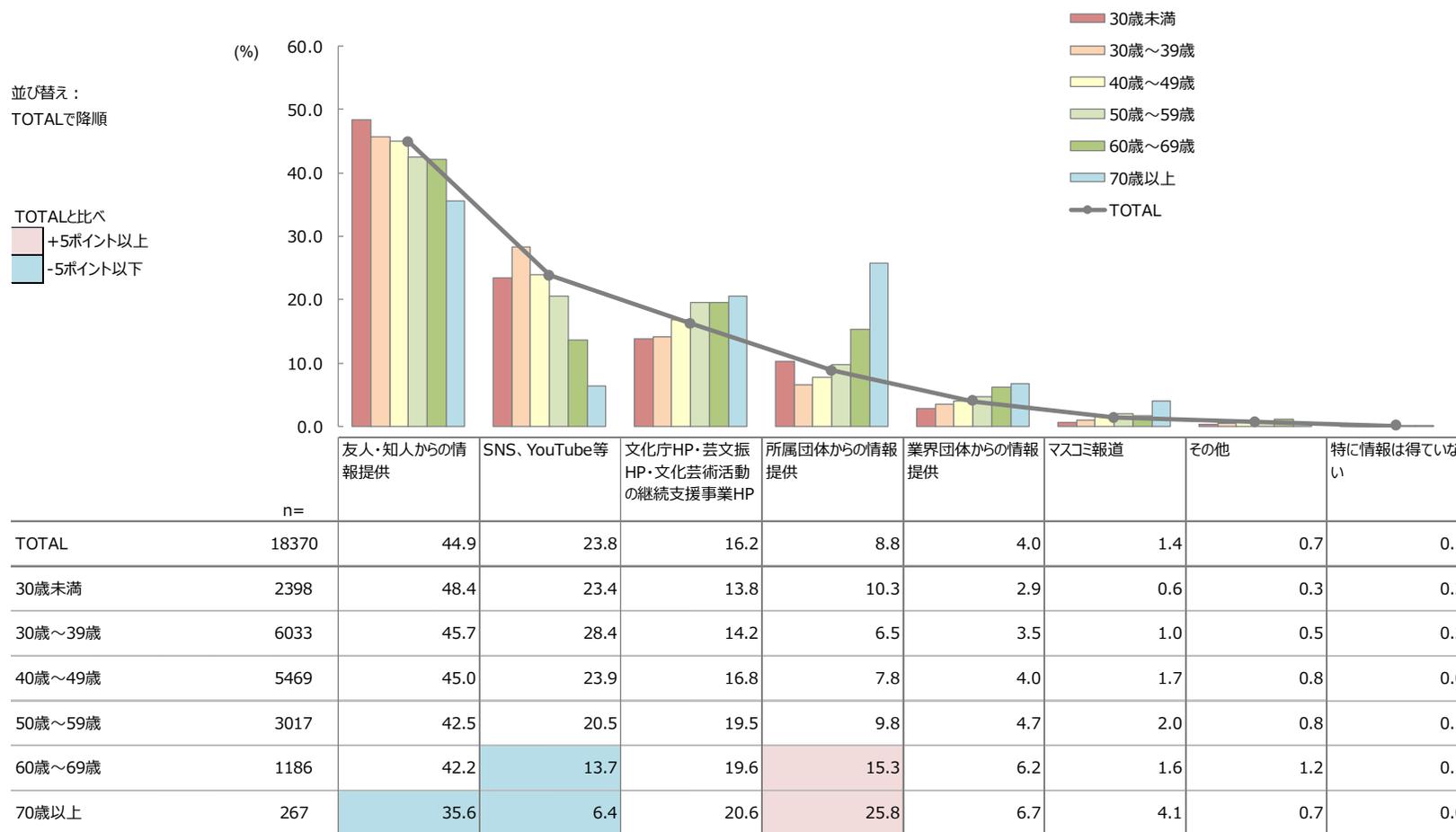


(質問文) <最も有益な情報(1つだけ)> Q3_2 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、情報を得たのはどれですか。また、最も有益な情報はなんですか。文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について伺います。 17

4.「文化芸術活動の継続支援事業」について最も有益だった情報(SA)

- 年齢別にみると、30歳未満は「友人・知人からの情報提供」、30～39歳は「SNS、YouTube等」等の割合がやや高い。一方、60歳以上は「所属団体からの情報提供」が高く、「文化庁HP・芸文振HP・文化芸術活動の継続支援事業HP」、「業界団体からの情報提供」等もやや高い傾向がある。

4-3.年齢別(SA)

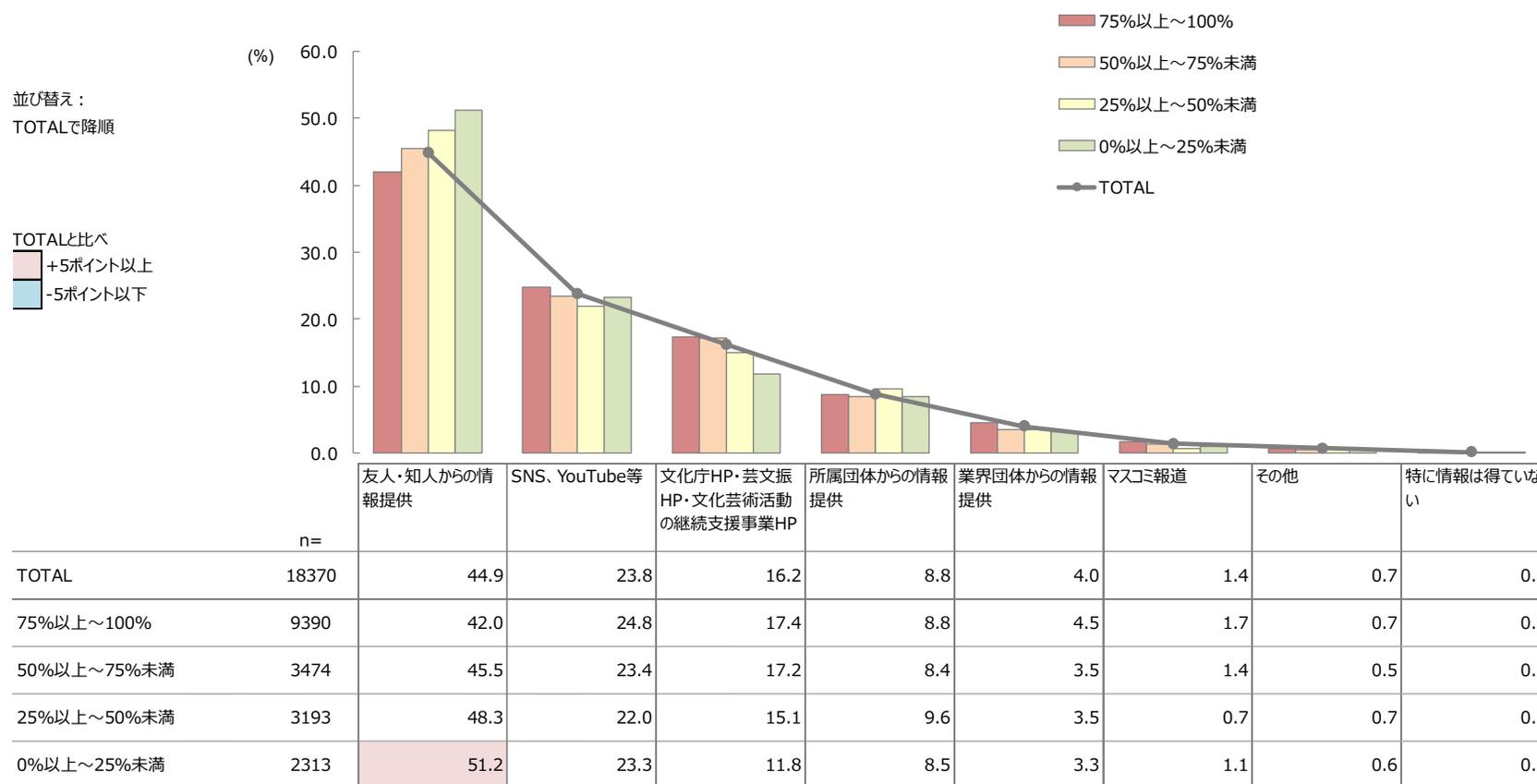


(質問文) <最も有益な情報 (1つだけ)> Q3_2 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、情報を得たのはどれですか。また、最も有益な情報はなん
 でしたか。文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について伺います。

4.「文化芸術活動の継続支援事業」について最も有益だった情報(SA)

- 芸術活動の収入割合別にみると、芸術活動からの収入割合が小さいほど「友人・知人からの情報提供」、収入割合が大きいほど「SNS、YouTube等」、「文化庁HP・芸文振HP・文化芸術活動の継続支援事業HP」等の割合が高い傾向がある。

4-4.芸術活動の収入割合別(SA)

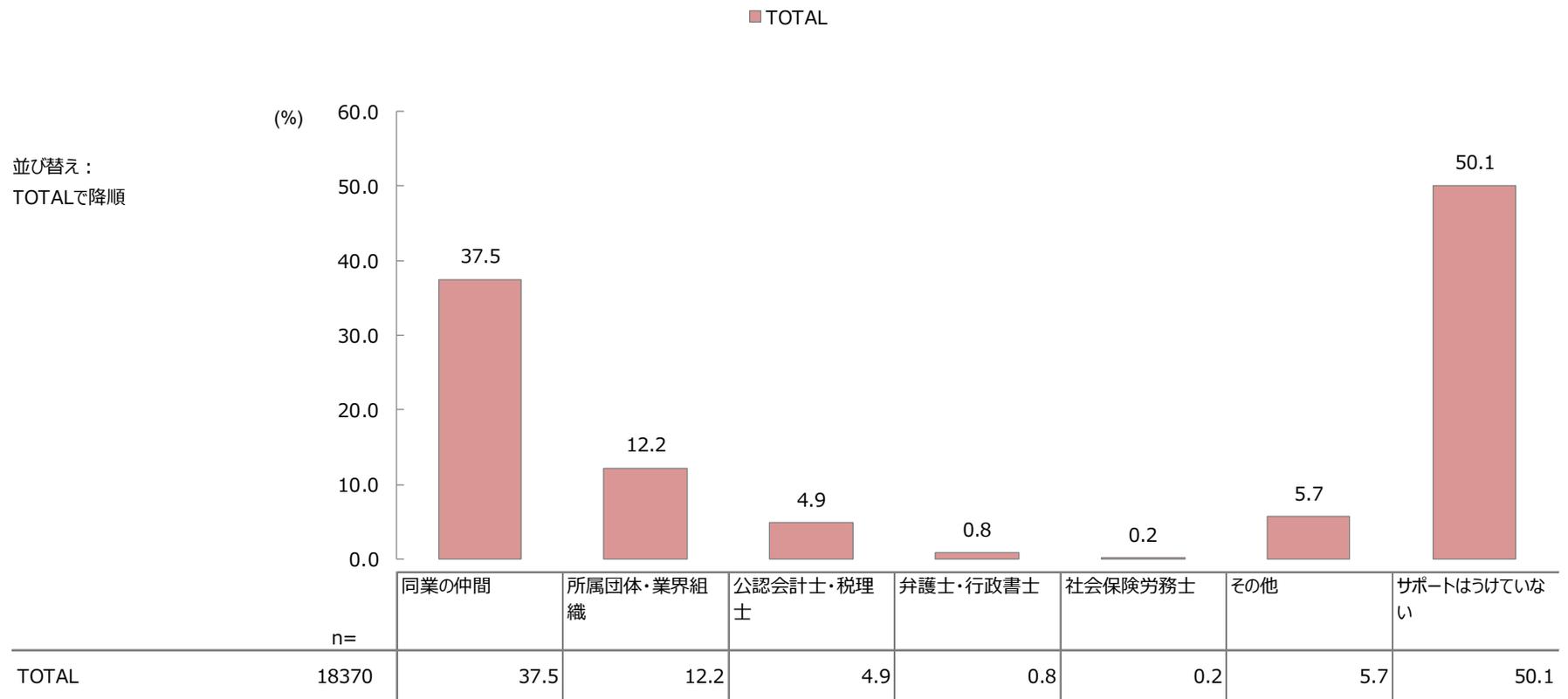


(質問文) <最も有益な情報 (1つだけ)> Q3_2 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、情報を得たのはどれですか。また、最も有益な情報はなんですか。文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について伺います。

5.事業活用にあたりサポートを受けた関係者・専門家(MA)

- TOTALでは、「同業の仲間」が最も多く、37.5%。「所属団体・業界組織」12.2%、「公認会計士・税理士」4.9%が続く。
- なお、半数が「サポートは受けていない」50.1%であった。

5-1.TOTAL結果(MA)

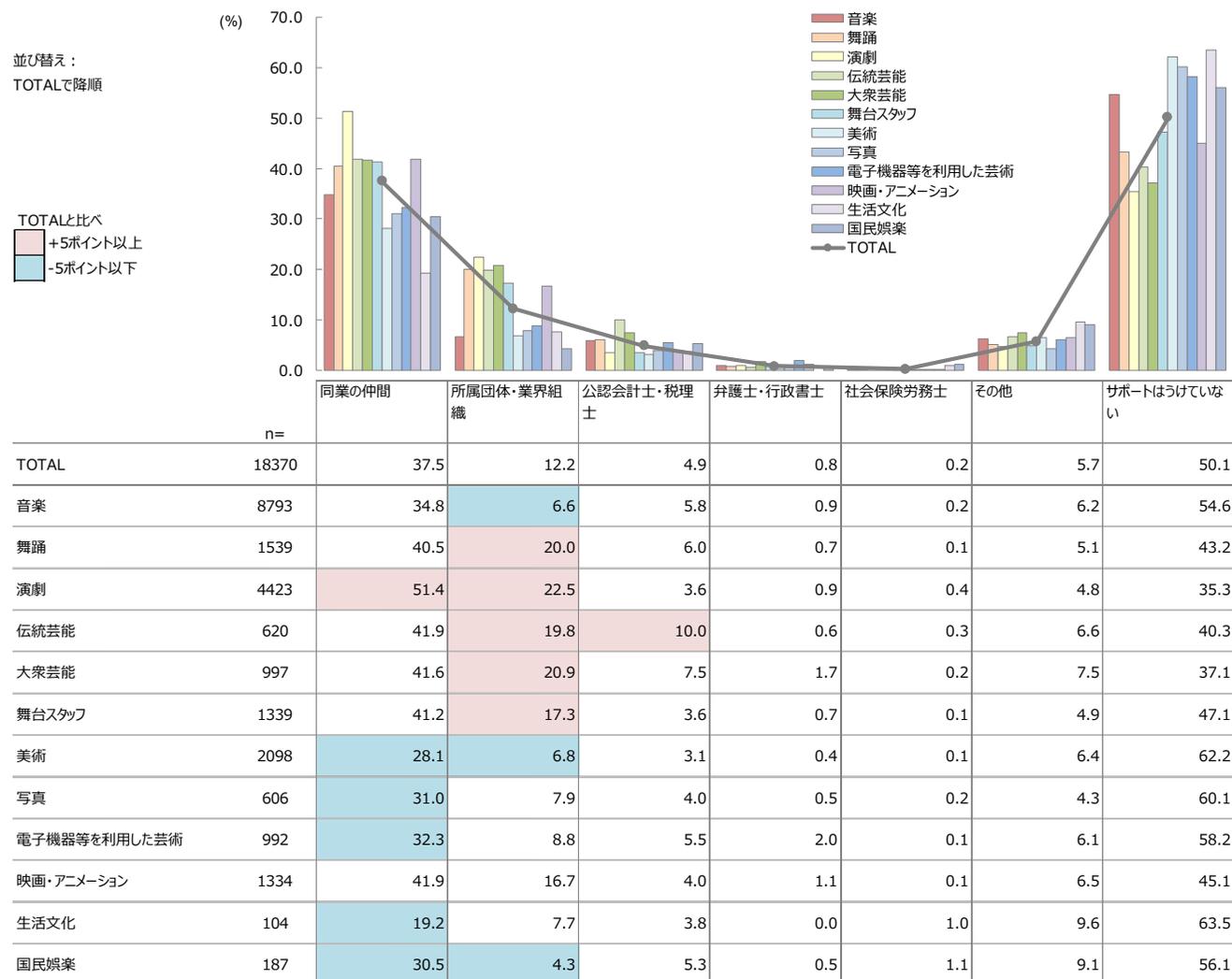


(質問文) Q4 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」を活用するにあたり、関係者、専門家のサポートを受けましたか。あてはまるものすべてをお答えください。

5.事業活用にあたりサポートを受けた関係者・専門家(MA)

- 活動領域別にみると、演劇で「同業の仲間」、舞踊、演劇、伝統芸能、大衆芸能、舞台スタッフ等で「所属団体・業界組織」の割合が高い。また、伝統芸能では「公認会計士・税理士」も高い傾向がある。
- なお、美術や生活文化（茶道、華道、書道）では、6割超が「サポートを受けていない」状態であった。

5-2.活動領域別(MA)

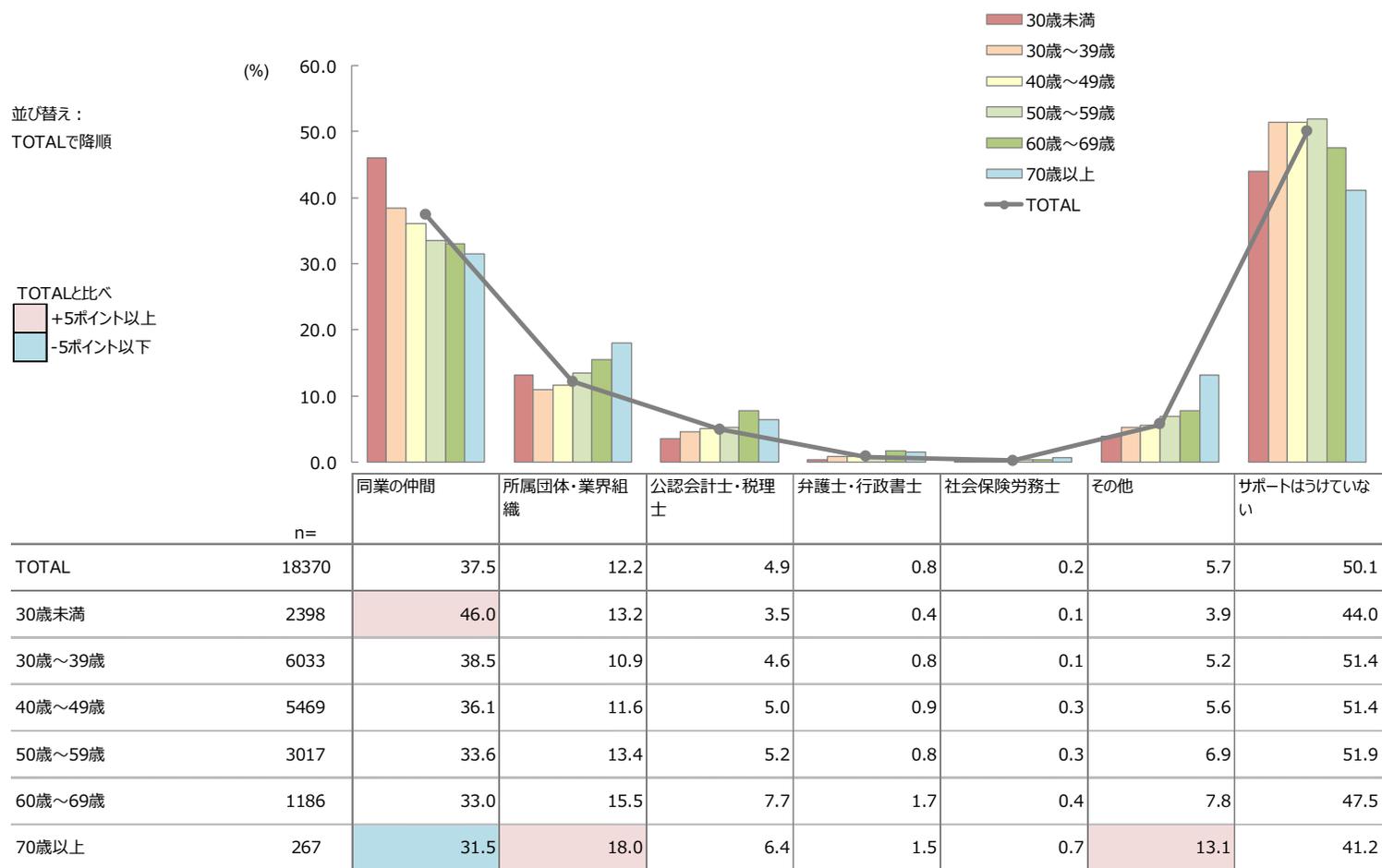


(質問文) Q4 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」を活用するにあたり、関係者、専門家のサポートを受けましたか。あてはまるものすべてをお答えください。 21

5.事業活用にあたりサポートを受けた関係者・専門家(MA)

- 年齢別にみると、30歳未満は「同業の仲間」の割合が高く、また年齢が高くなるほど「所属団体・業界組織」や「公認会計士・税理士」等が高い傾向がある。
- また、30歳～69歳の半数が「サポートを受けていない」状態であった。

5-3.年齢別(MA)

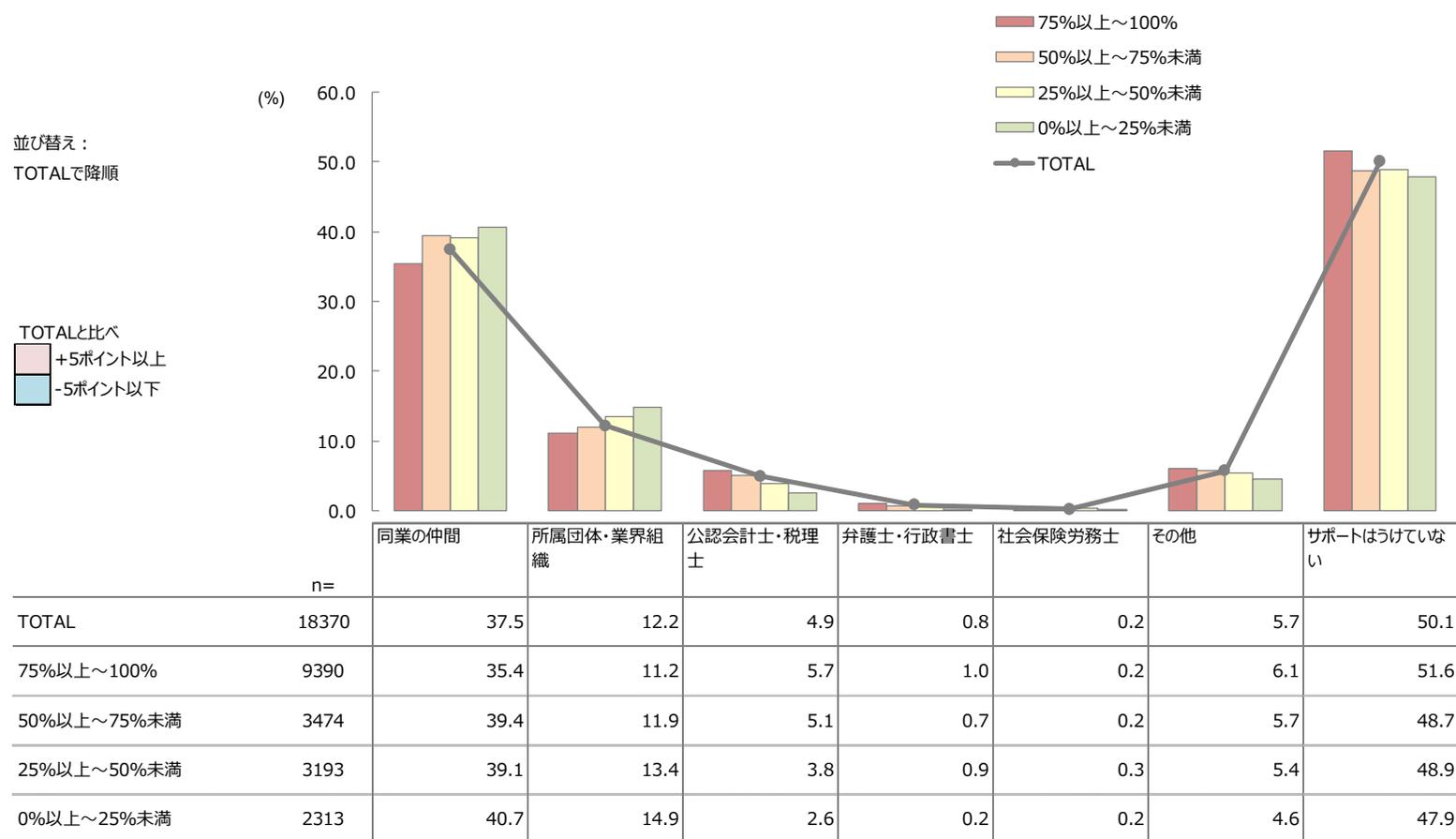


(質問文) Q4 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」を活用するにあたり、関係者、専門家のサポートを受けましたか。あてはまるものすべてをお答えください。 22

5.事業活用にあたりサポートを受けた関係者・専門家(MA)

- 芸術活動の収入割合別にみると、芸術活動からの収入割合が小さいほど「同業の仲間」、「所属団体・業界組織」、収入割合が大きいほど「その他」、「公認会計士・税理士」、「弁護士・行政書士」の割合がやや高い。
- なお、芸術活動からの収入割合が高いほど「サポートをうけていない」割合がやや高い。

5-4.芸術活動の収入割合別(MA)

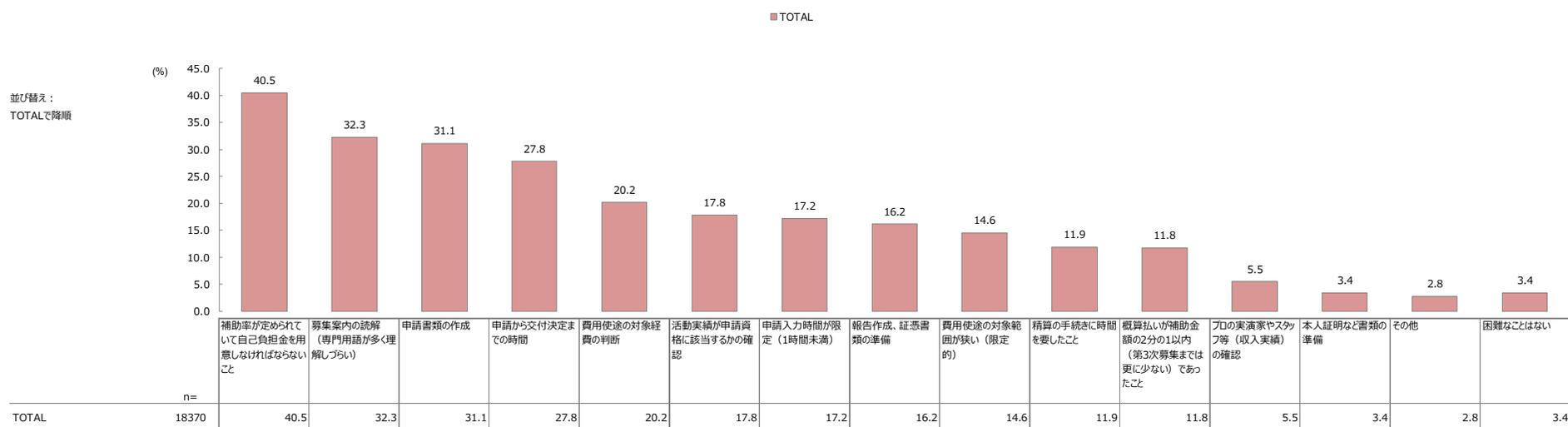


(質問文) Q4 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」を活用するにあたり、関係者、専門家のサポートを受けましたか。あてはまるものすべてをお答えください。

6.事業活用にあたって困難だった点や利用しづらかった点(MA)

- TOTALでは、「補助率が定められていて自己負担金を用意しなければならないこと」が最も多く、40.5%。「募集案内の読解（専門用語が多く理解しづらい）」32.3%、「申請書類の作成」31.1%が続く。

6-1.TOTAL結果(MA)

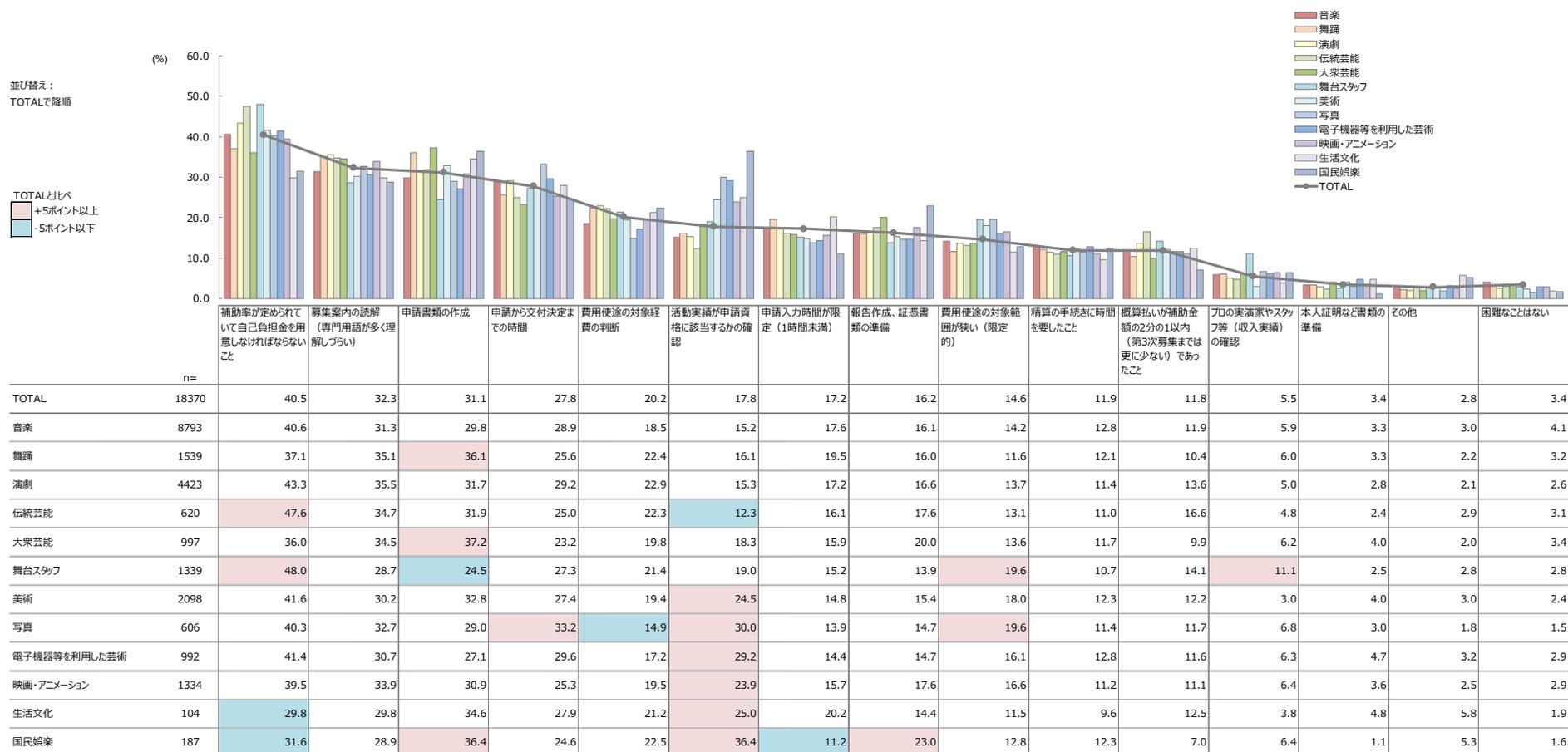


（質問文） Q5 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、困難だった点や利用しづらい点を3つまでお答えください。

6.事業活用にあたって困難だった点や利用しづらかった点(MA)

- 活動領域別にみると、伝統芸能や舞台スタッフでは「補助率が定められていて自己負担金を用意しなければならないこと」、舞踊、大衆芸能、国民娯楽（囲碁、将棋、その他）では「申請書類の作成」、実演芸術関連以外では「活動実績が申請資格に該当するのか確認」等が高い傾向となっている。

6-2.活動領域別(MA)

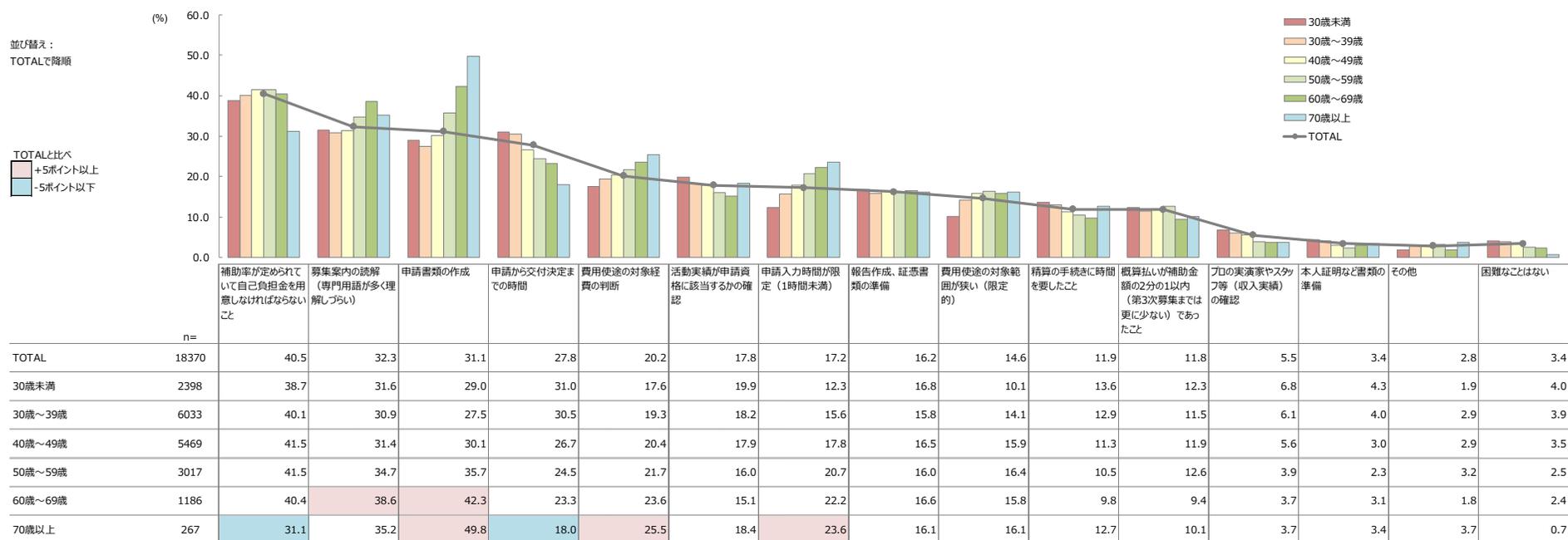


（質問文） Q5 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、困難だった点や利用しづらい点を3つまでお答えください。 25

6.事業活用にあたって困難だった点や利用しづらかった点(MA)

- 年齢別にみると、年齢が高いほど「申請書類の作成」、「費用使途の対象経費の判断」、「申請入力時間が限定（1時間未満）」、年齢が若いほど「申請から交付決定までの時間」等が高い傾向となっている。

6-3.年齢別(MA)

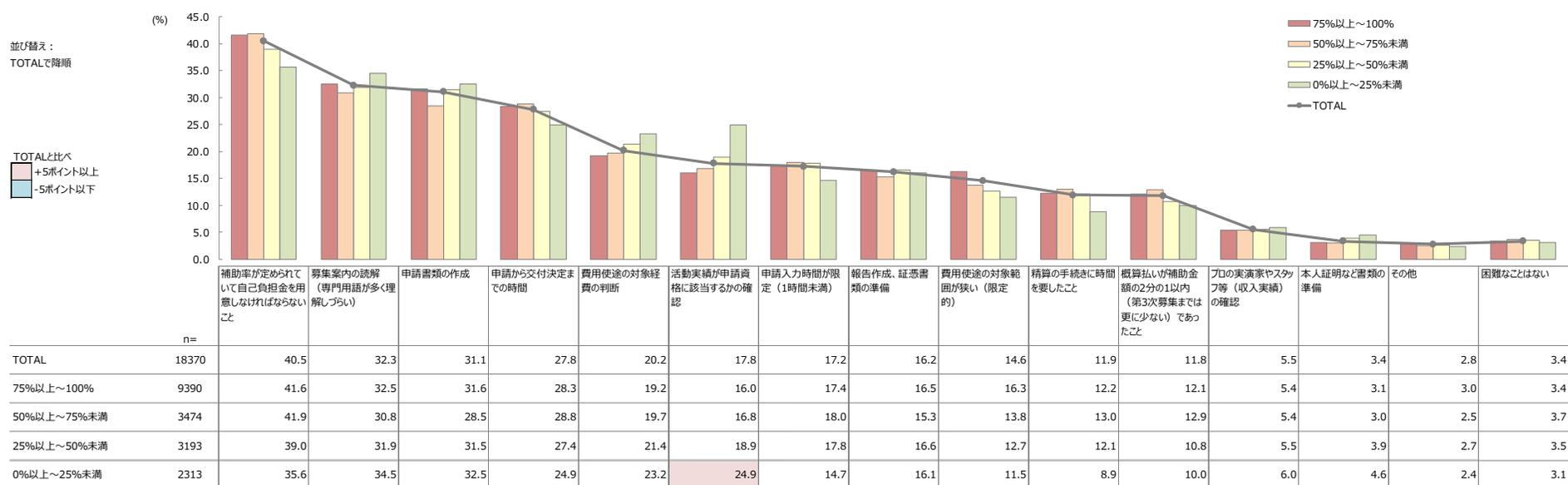


（質問文） Q5 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、困難だった点や利用しづらい点を3つまでお答えください。

6.事業活用にあたって困難だった点や利用しづらかった点(MA)

- 芸術活動の収入割合別にみると、芸術活動の収入割合が大きいほど「補助率が定められていて自己負担金を用意しなければならないこと」、小さいほど「費用使用の対象経費の判断」や「活動実績が申請資格に該当するのかの確認」等が高い傾向となっている。

6-4.芸術活動の収入割合別(MA)

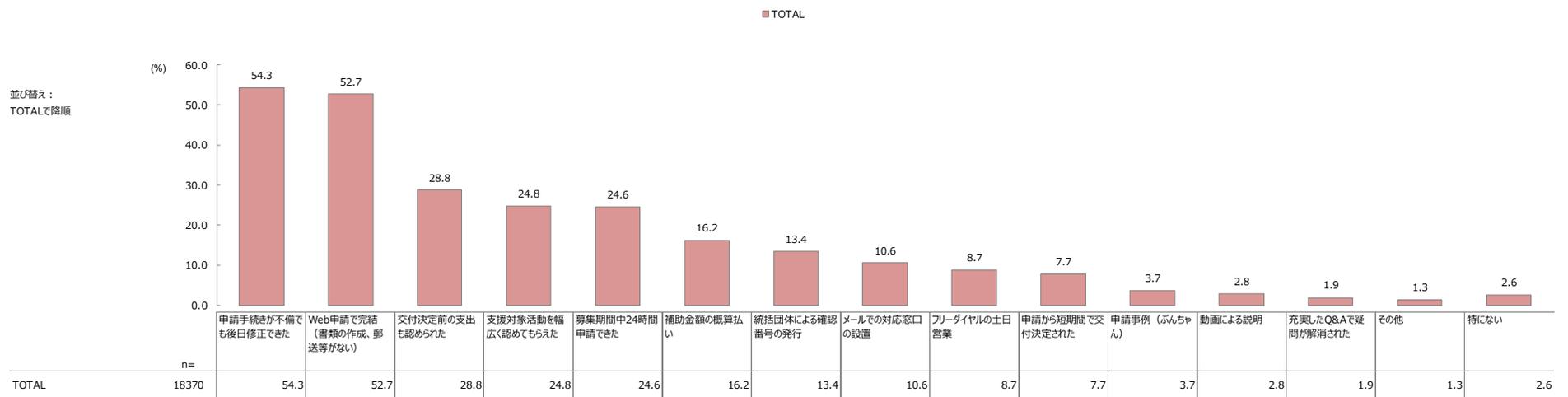


(質問文) Q5 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、困難だった点や利用しづらい点を3つまでお答えください。

7.事業の良かった点や便利だった点(MA)

- TOTALでは、「申請手続きが不備でも後日修正できた」が最も多く、54.3%。「Web申請で完結（書類の作成、郵送等がない）」52.7%、「交付決定前の支出も認められた」28.8%が続く。

7-1.TOTAL結果(MA)

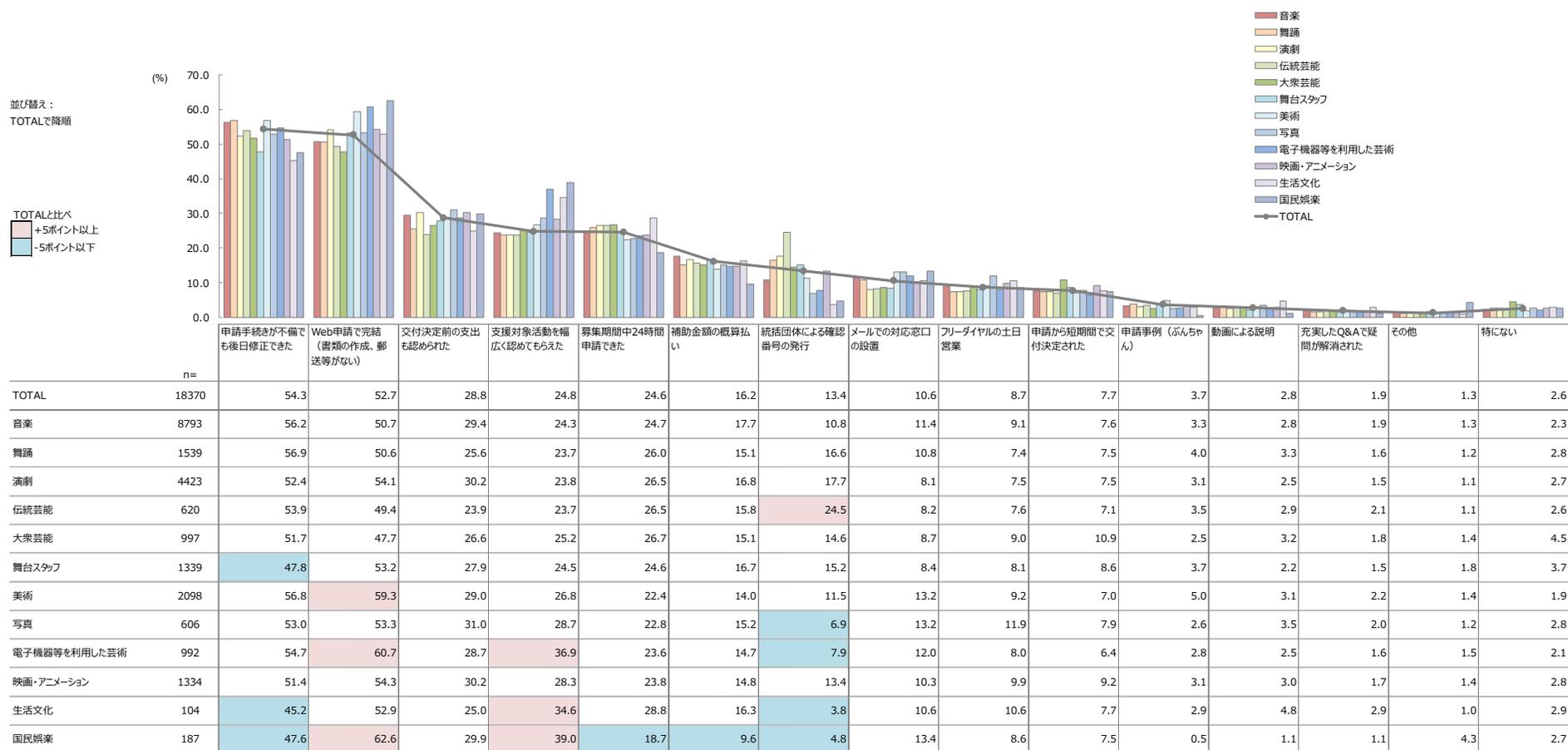


（質問文） Q6 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、良かった点や便利だった点を3つまでお答えください。

7.事業の良かった点や便利だった点(MA)

- 活動領域別にみると、美術、電子機器等を利用した芸術、国民娯楽（囲碁、将棋、その他）で「Web申請で完結（書類の作成、郵送等がない）」、電子機器等を利用した芸術や生活文化（茶道、華道、書道）、国民娯楽（囲碁、将棋、その他）で「支援対象活動を幅広く認めてもらった」が高い。また、伝統芸能では「統括団体による確認番号の発行」が高い傾向。

7-2.活動領域別(MA)

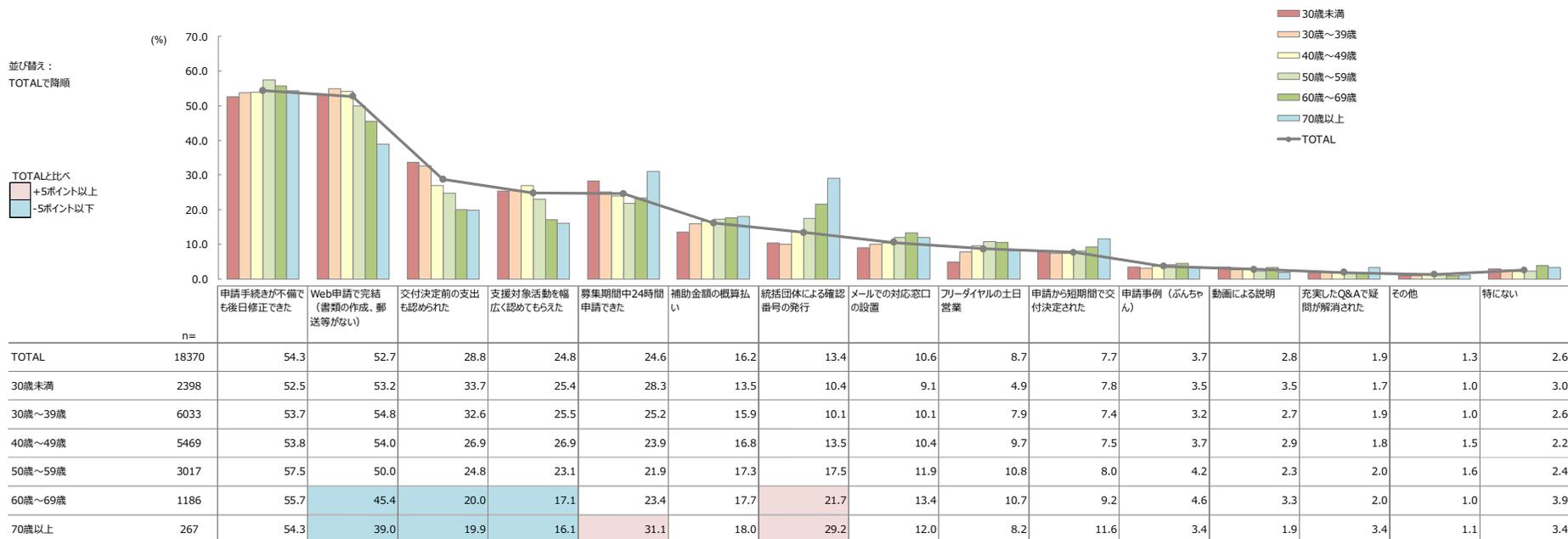


（質問文） Q6 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、良かった点や便利だった点を3つまでお答えください。 29

7.事業の良かった点や便利だった点(MA)

- 年齢別にみると、年齢が高いほど「Web申請で完結（書類の作成、郵便等がない）」や「交付決定前の支出も認められた」、「支援対象活動を幅広く認めてもらった」の割合が低く、一方で「統括団体による確認番号の発行」の割合が高い。

7-3.年齢別(MA)

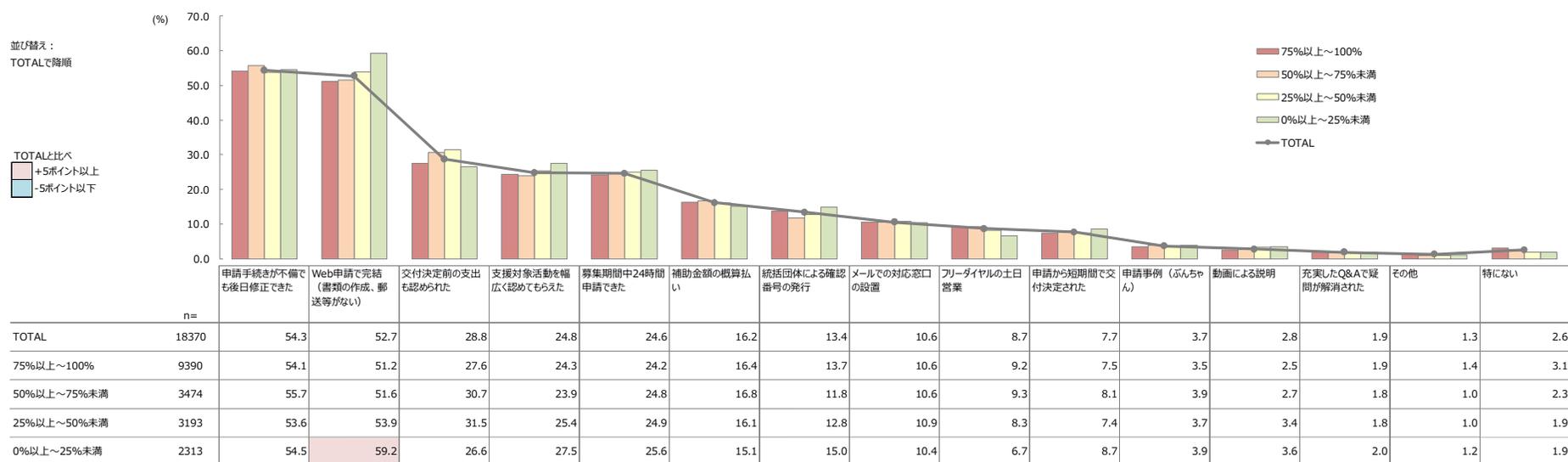


（質問文） Q6 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、良かった点や便利だった点を3つまでお答えください。

7.事業の良かった点や便利だった点(MA)

- 芸術活動の収入割合別にみると、芸術活動の収入割合が小さいほど「Web申請で完結（書類の作成、郵便等がない）」が高い。

7-4.芸術活動の収入割合別(MA)

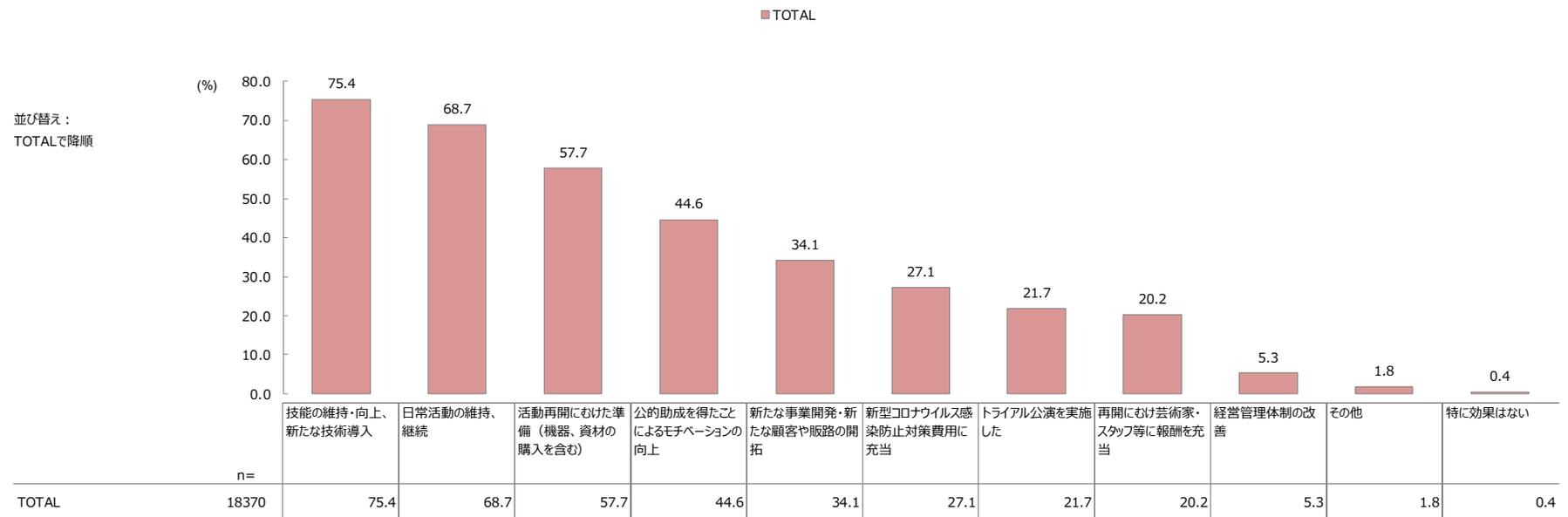


（質問文） Q6 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、良かった点や便利だった点を3つまでお答えください。

8.事業を通じて得られた効果(MA)

- TOTALでは、「技能の維持・向上、新たな技術導入」が最も多く、75.4%。「日常活動の維持、継続」68.7%、「活動再開にむけた準備（機器、資材の購入を含む）」57.7%が続く。

8-1.TOTAL結果(MA)

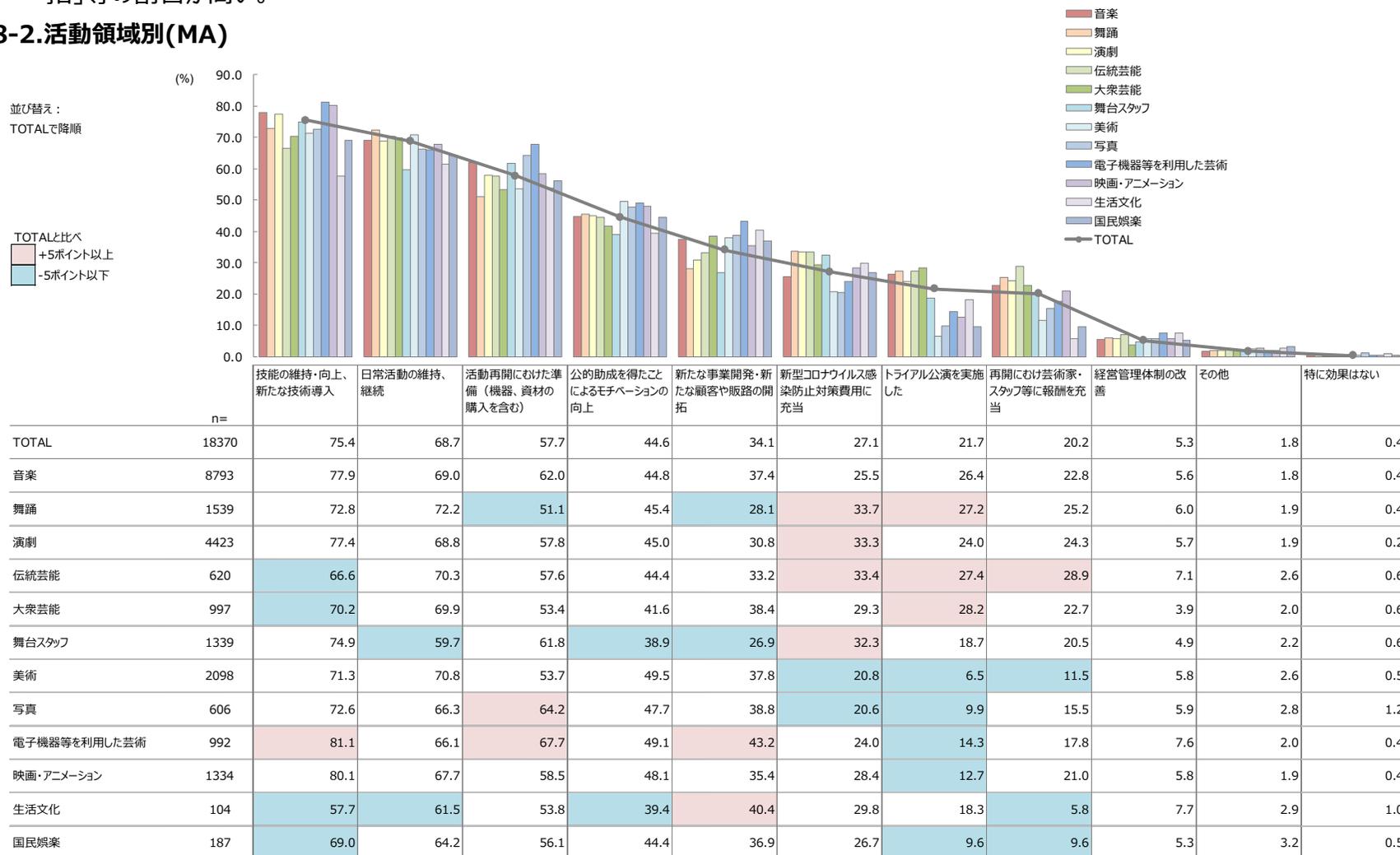


(質問文) Q7 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」を通じてどのような効果が得られましたか。あてはまるものすべてをお答えください。

8.事業を通じて得られた効果(MA)

- 活動領域別にみると、舞踊、演劇、伝統芸能、大衆芸能等の実演芸術系で「新型コロナウイルス感染防止対策費用に充当」、「トライアル公演を実施した」、「再開にむけ芸術家・スタッフ等に報酬を充当」等の割合が高い。一方、電子機器等を利用した芸術等では「技術の維持・向上、新たな技術導入」、「活動再開にむけた準備（機器、資材の購入を含む）」、「新たな事業開発・新たな顧客や販路の開拓」等の割合が高い。

8-2.活動領域別(MA)

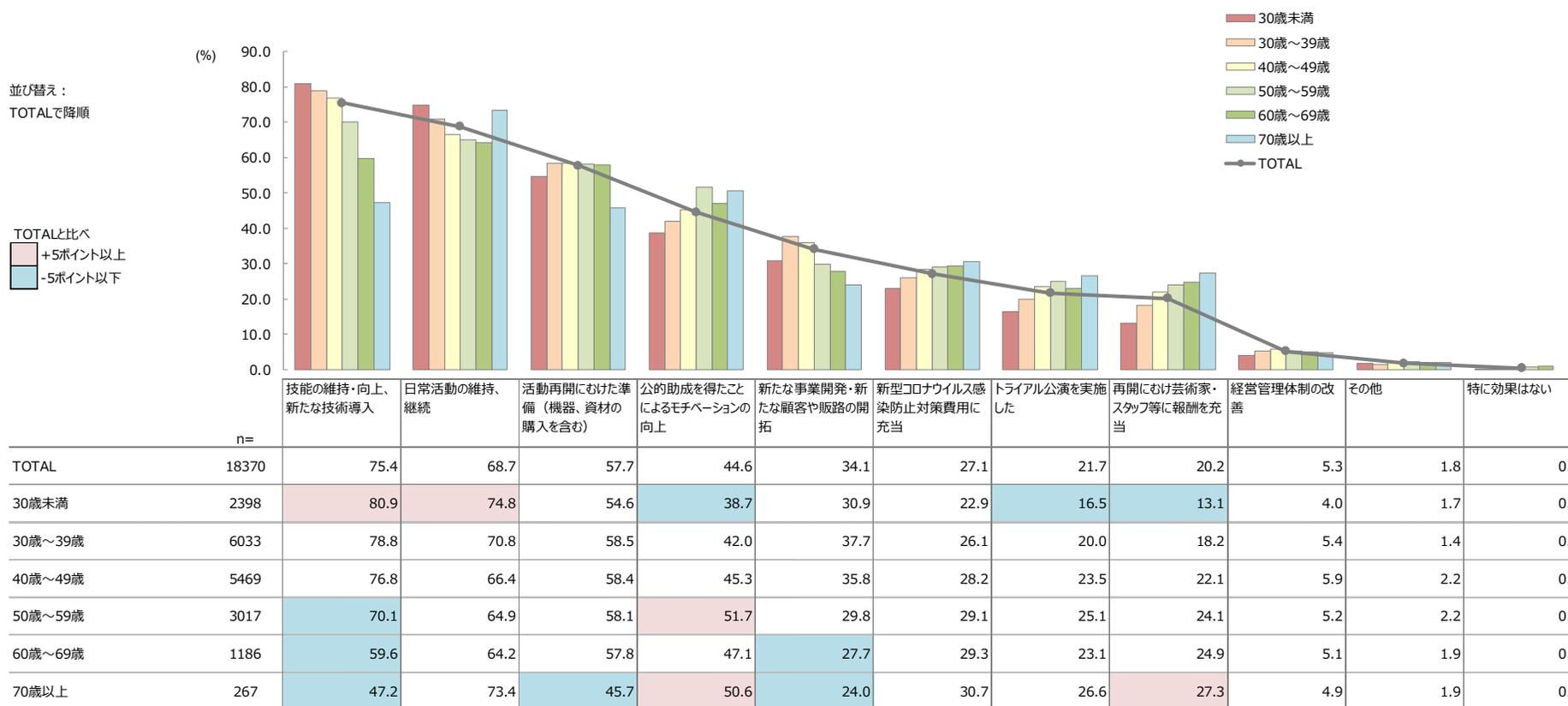


(質問文) Q7 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」を通じてどのような効果が得られましたか。あてはまるものすべてをお答えください。

8.事業を通じて得られた効果(MA)

- 年齢別にみると、年齢が若いほど「技術の維持・向上、新たな技術導入」等が高く、年齢が高いほど「公的助成を得たことによるモチベーションの向上」や「再開にむけ芸術家・スタッフ等に報酬を充当」等が高い。

8-3.年齢別(MA)

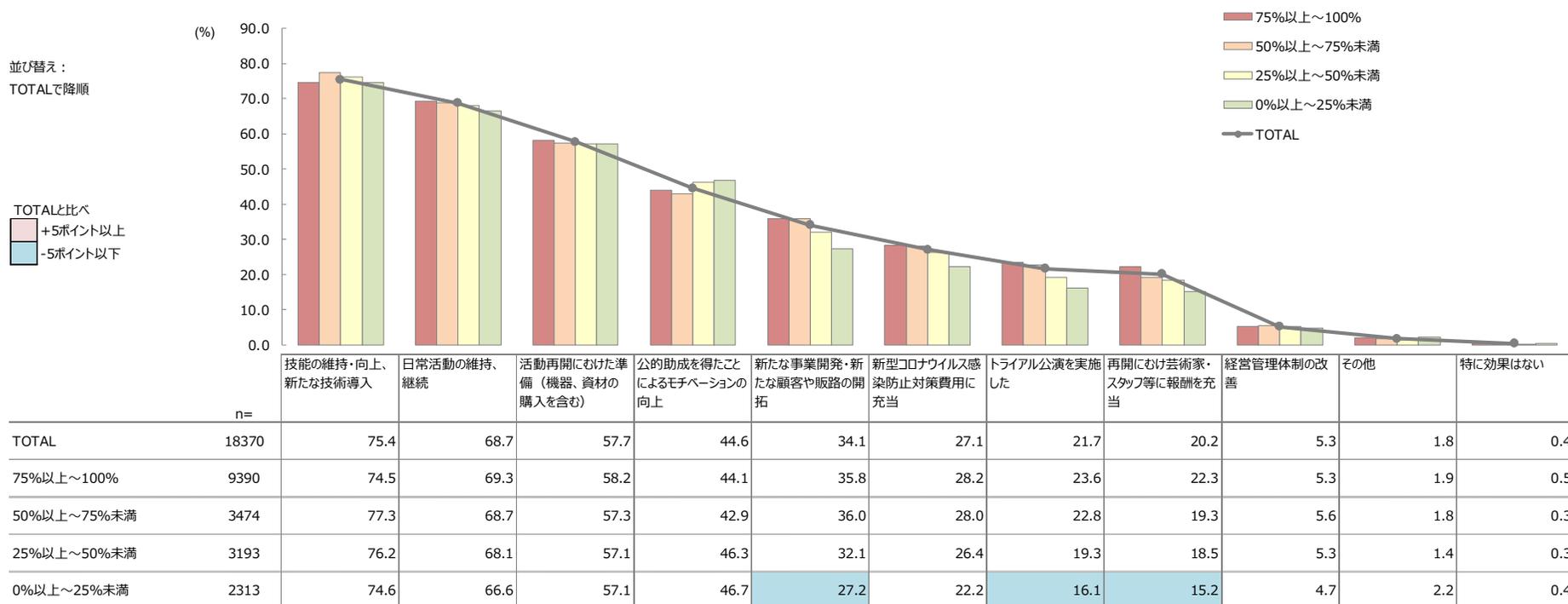


(質問文) Q7 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」を通じてどのような効果が得られましたか。あてはまるものすべてをお答えください。

8.事業を通じて得られた効果(MA)

- 芸術活動の収入割合別にみると、上位項目では差は見られないが、芸術活動の収入割合が小さいほど「新たな事業開発・新たな顧客や販路の開拓」、「トライアル公演を実施した」、「再開にむけ芸術家・スタッフ等に報酬を充当」等の割合は低い。

8-4.芸術活動の収入割合別(MA)



9.事業の総合的な満足度(SA)

- TOTALでは、「やや満足」が最も多く、50.7%。「満足」32.8%、「やや不満」7.9%が続く。『満足度（「満足」「やや満足」のTOP2合計）』は83.5%となっている。

9-1.TOTAL結果(SA)

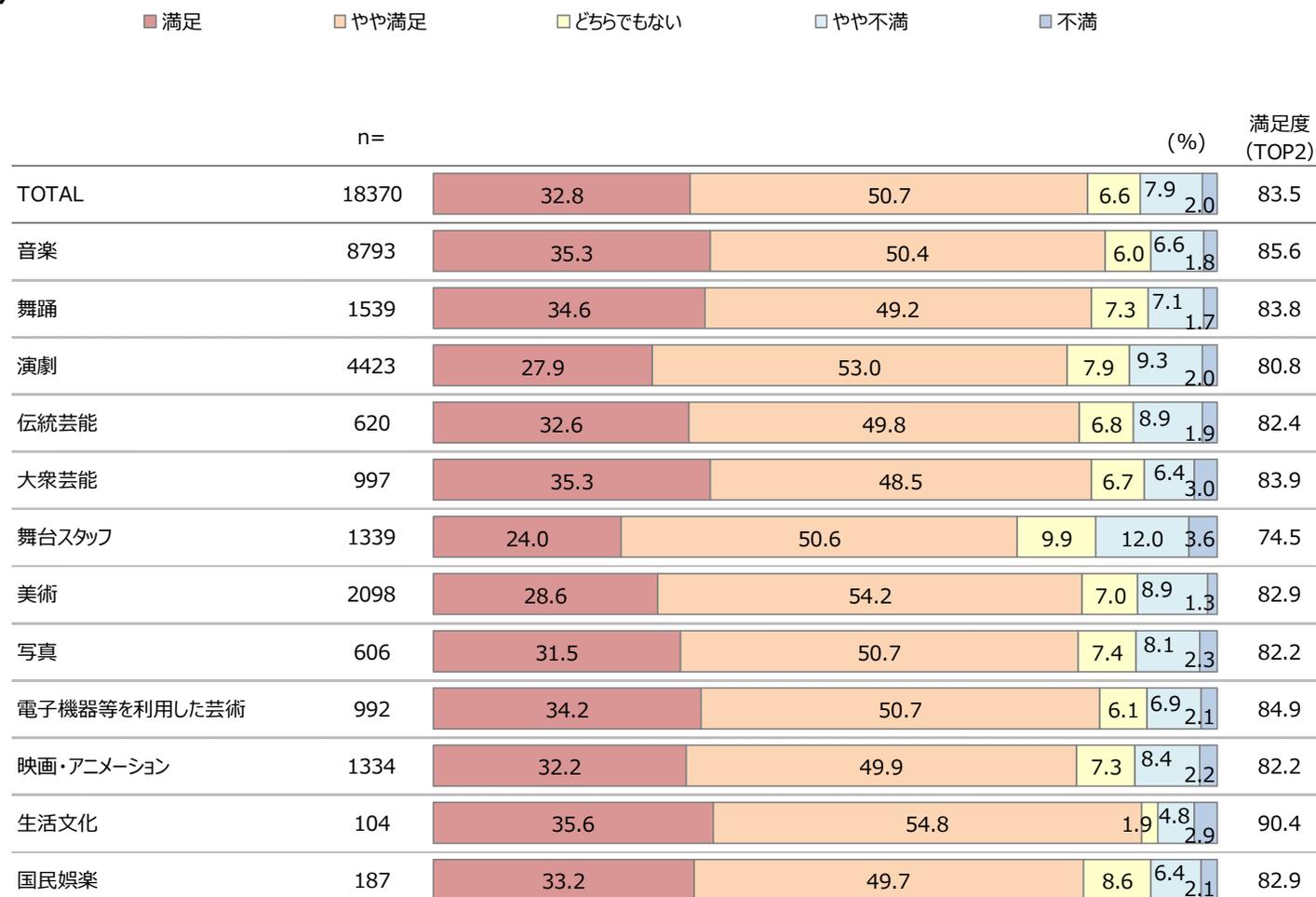


(質問文) Q9 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、総合的な満足度をお知らせください。

9.事業の総合的な満足度(SA)

- 活動領域別にみると、『満足度（「満足」「やや満足」のTOP2合計）』が高いのは、生活文化（茶道、華道、書道）90.4%、音楽85.6%、電子機器等を利用した芸術84.9%となっている。

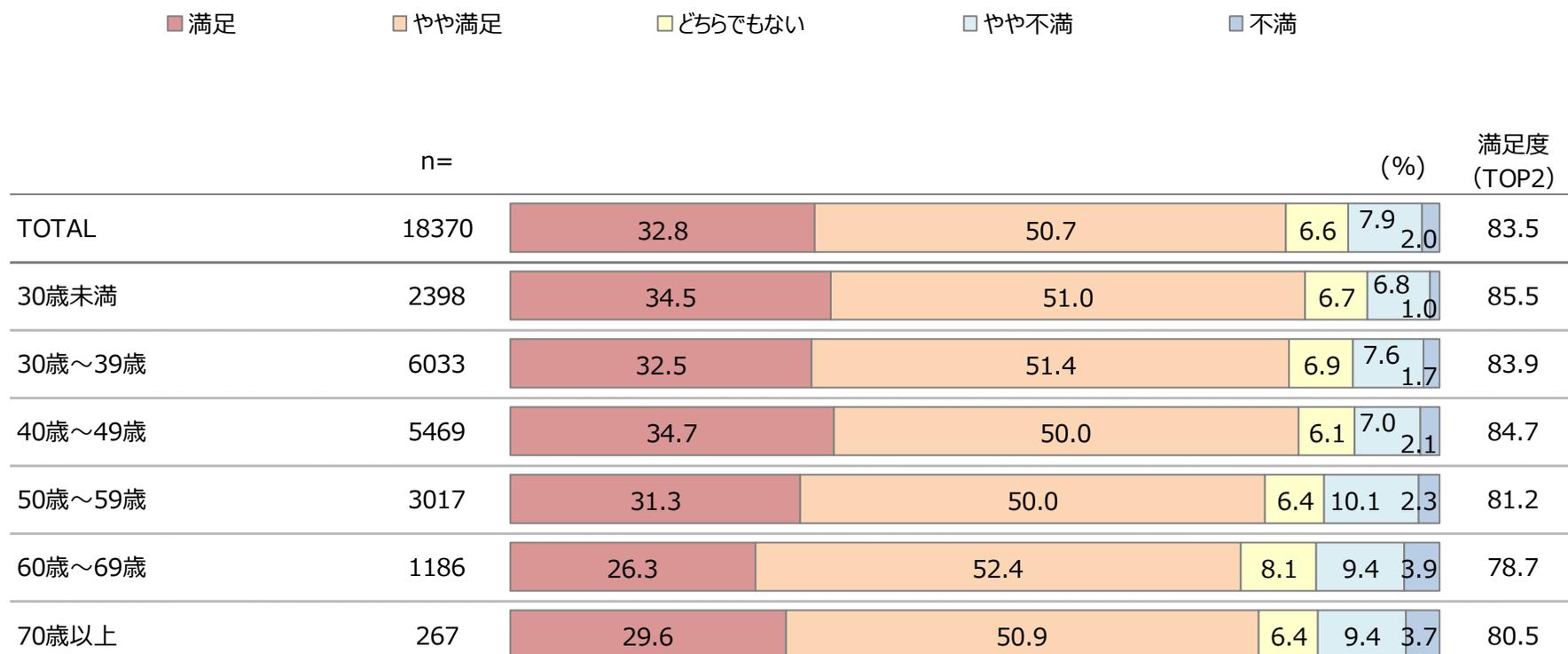
9-2.活動領域別(SA)



9.事業の総合的な満足度(SA)

- 年齢別にみると、『満足度（「満足」「やや満足」のTOP2合計）』が高いのは30歳未満85.5%となっている。

9-3.年齢別(SA)

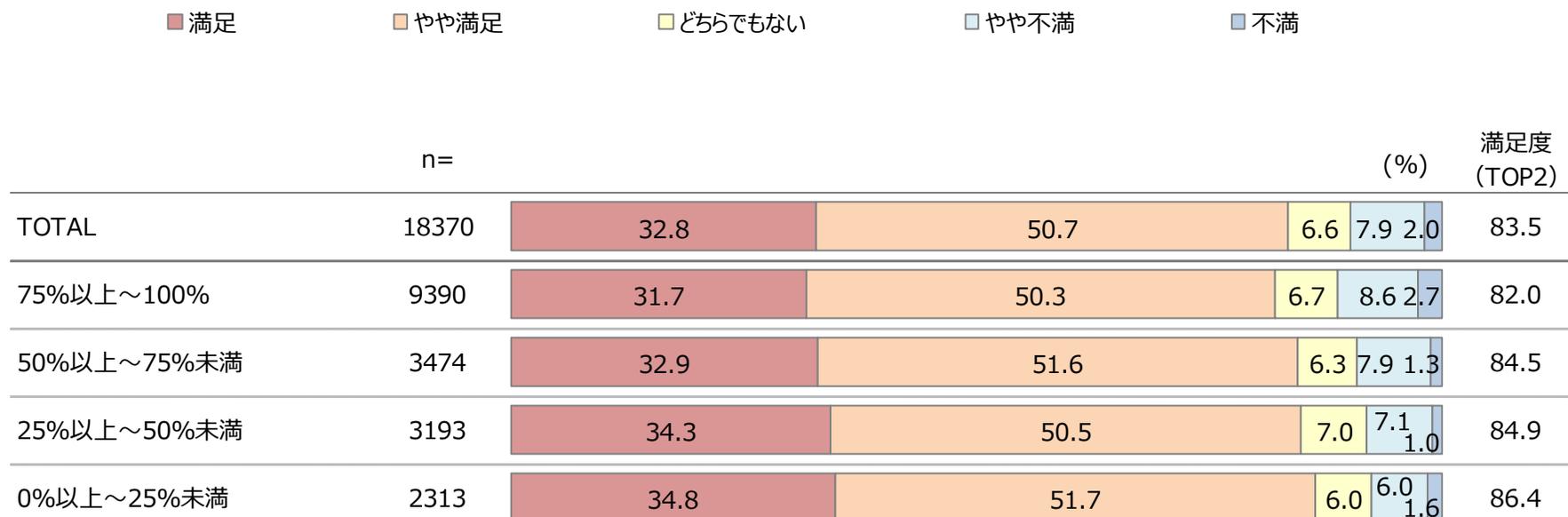


(質問文) Q9 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、総合的な満足度をお知らせください。

9.事業の総合的な満足度(SA)

- 芸術活動の収入割合別にみると、芸術活動の収入割合が小さいほど『満足度（「満足」「やや満足」のTOP2合計）』が高い傾向で、0%以上～25%未満では86.4%となっている。

9-4.芸術活動の収入割合別(SA)

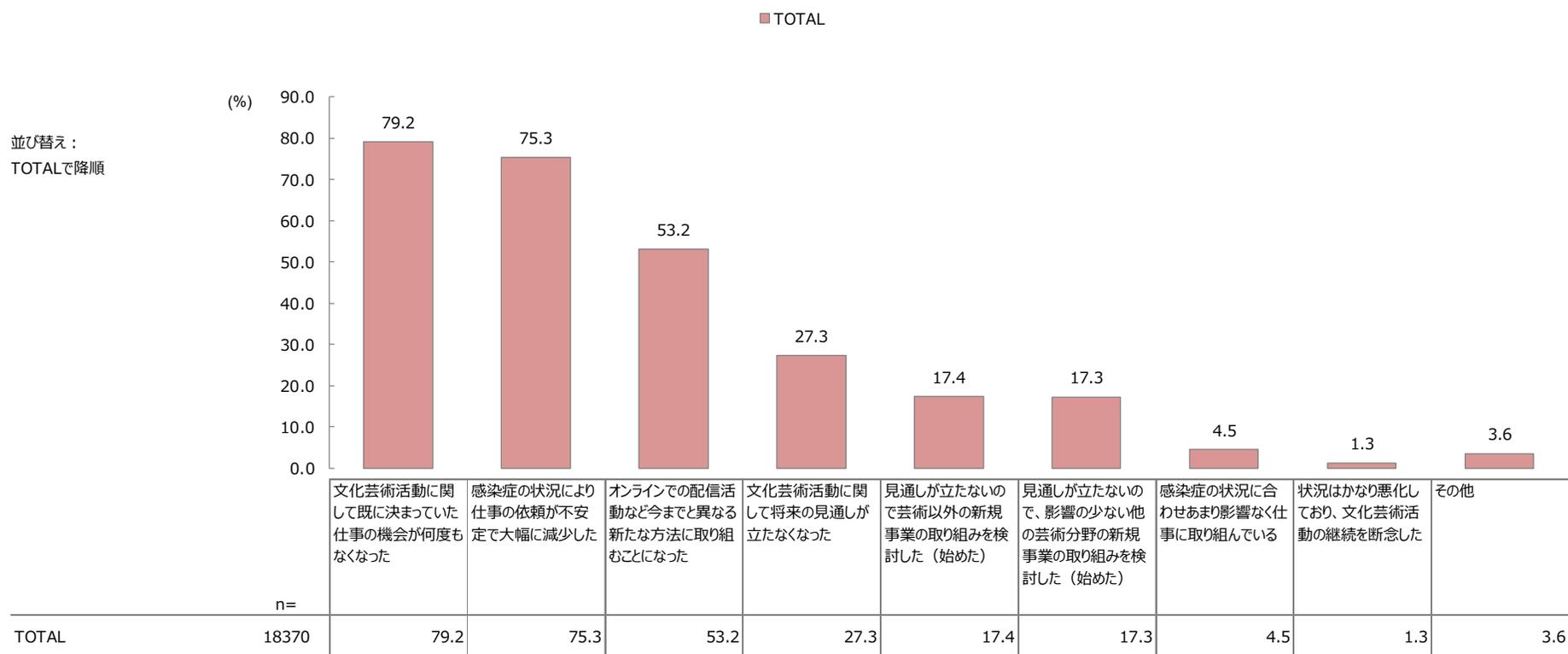


(質問文) Q9 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、総合的な満足度をお知らせください。

10.新型コロナウイルス感染症拡大の影響(MA)

- TOTALでは、「文化芸術活動に関して既に決まっていた仕事の機会が何度もなくなくなった」が最も多く、79.2%。「感染症の状況により仕事の依頼が不安定で大幅に減少した」75.3%、「オンラインでの配信活動など今までと異なる新たな方法に取り組むことになった」53.2%が続く。

10-1.TOTAL結果(MA)

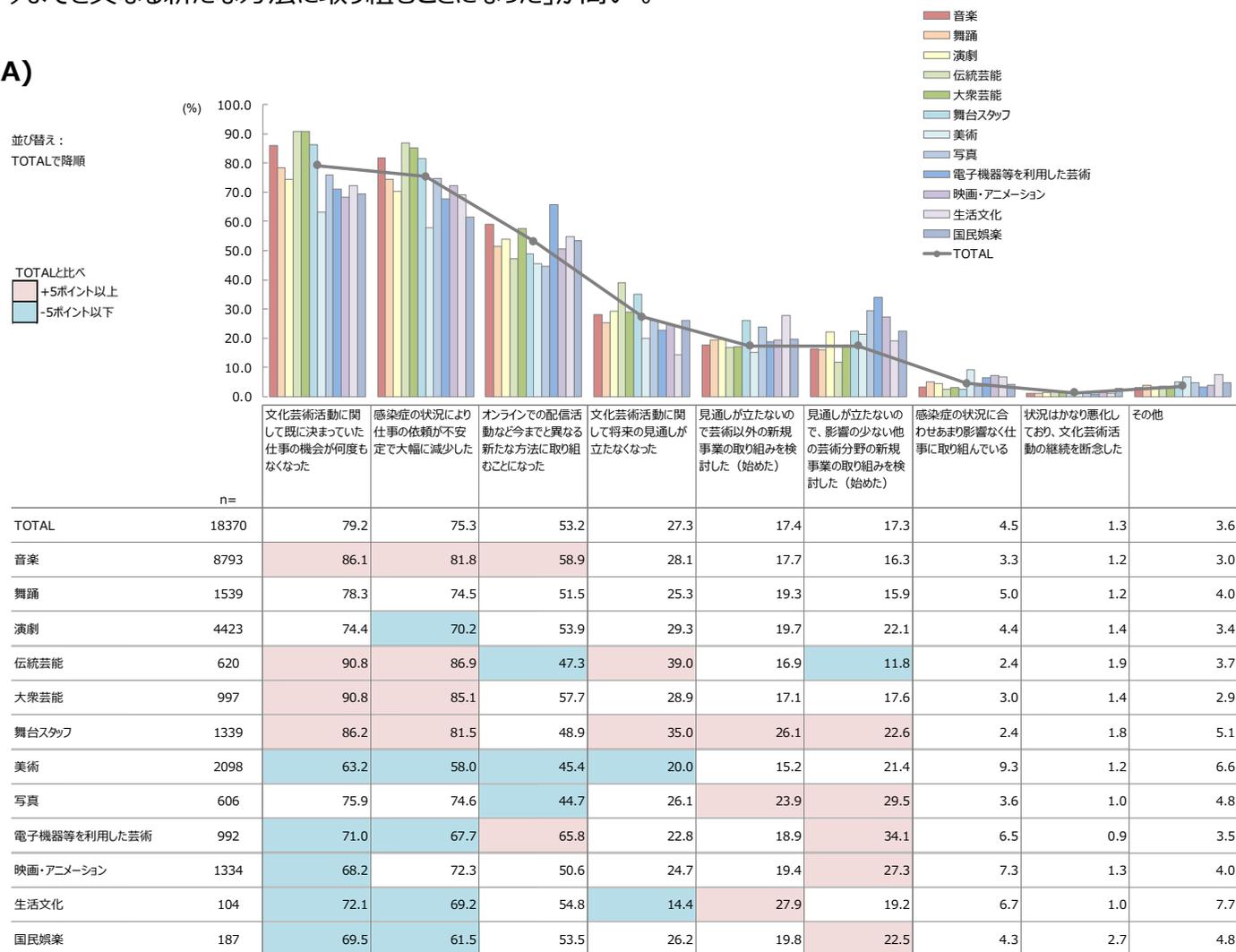


(質問文) Q10 2回目の「再度緊急事態宣言」や地域によっては「まん延防止等重点措置」が実施されるなど感染症の収束が見通せません。文化イベントの自粛要請から1年経ちますが新型コロナウイルス感染症の影響についてお知らせください。新型コロナウイルス感染症拡大の影響とあなたの対応などについて伺います。

10.新型コロナウイルス感染症拡大の影響(MA)

- 活動領域別にみると、音楽、伝統芸能、大衆芸能、舞台スタッフで「文化芸術活動に関して既に決まっていた仕事の機会が何度もなくなった」、「感染症の状況により仕事の依頼が不安定で大幅に減少した」が高い。また、音楽や電子機器等を利用した芸術で「オンラインでの配信活動など今までと異なる新たな方法に取り組むことになった」が高い。

10-2.活動領域別(MA)

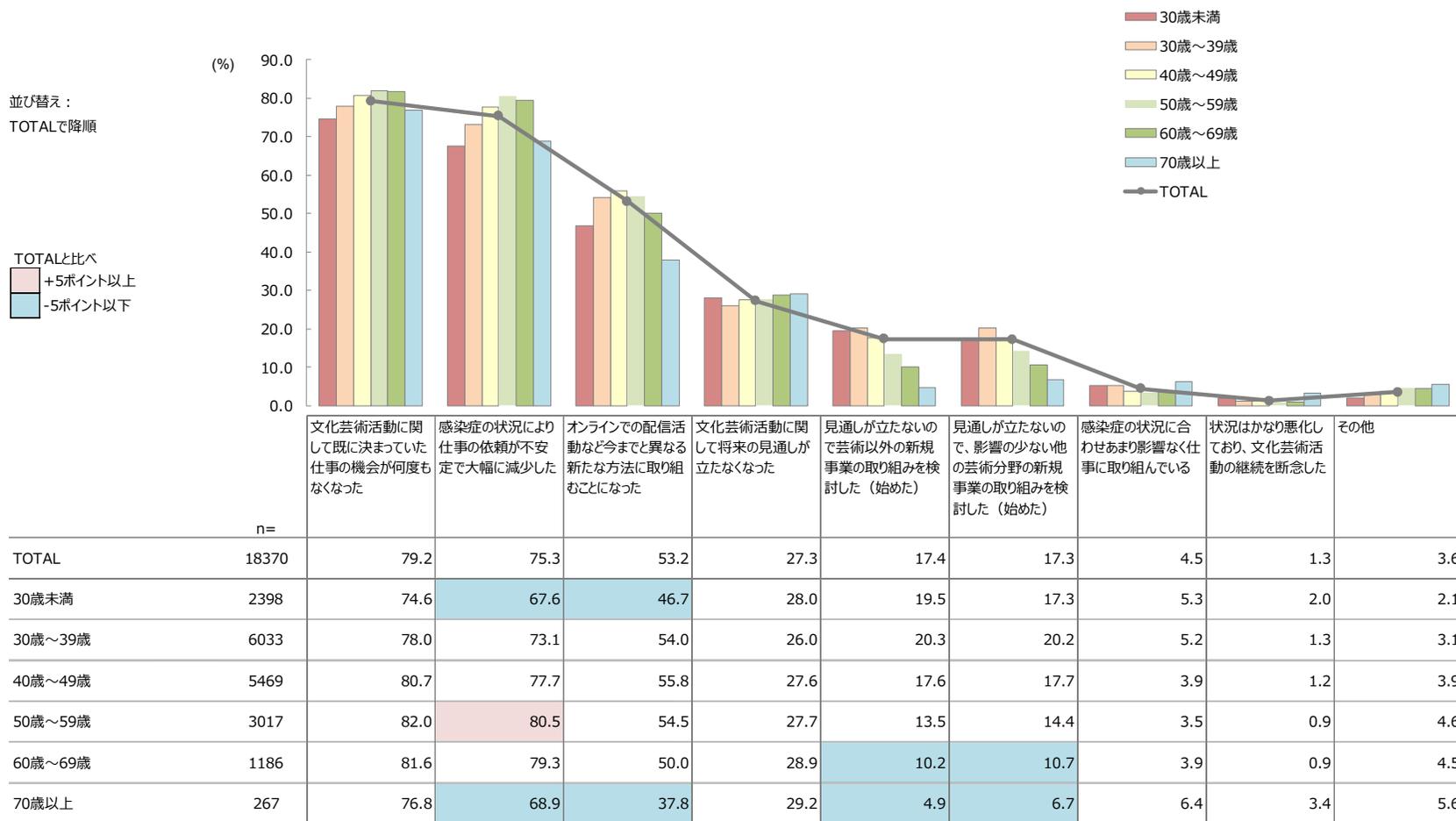


(質問文) Q10 2回目の「再度緊急事態宣言」や地域によっては「まん延防止等重点措置」が実施されるなど感染症の収束が見通せません。文化イベントの自粛要請から1年経ちますが新型コロナウイルス感染症の影響についてお知らせください。新型コロナウイルス感染症拡大の影響とあなたの対応などについて伺います。

10.新型コロナウイルス感染症拡大の影響(MA)

- 年齢別にみると、70歳以上を除き、年齢が高くなるほど「文化芸術活動に関して既に決まっていた仕事の機会が何度もなくなった」、「感染症の状況により仕事の依頼が不安定で大幅に減少した」等が高い傾向。

10-3.年齢別(MA)

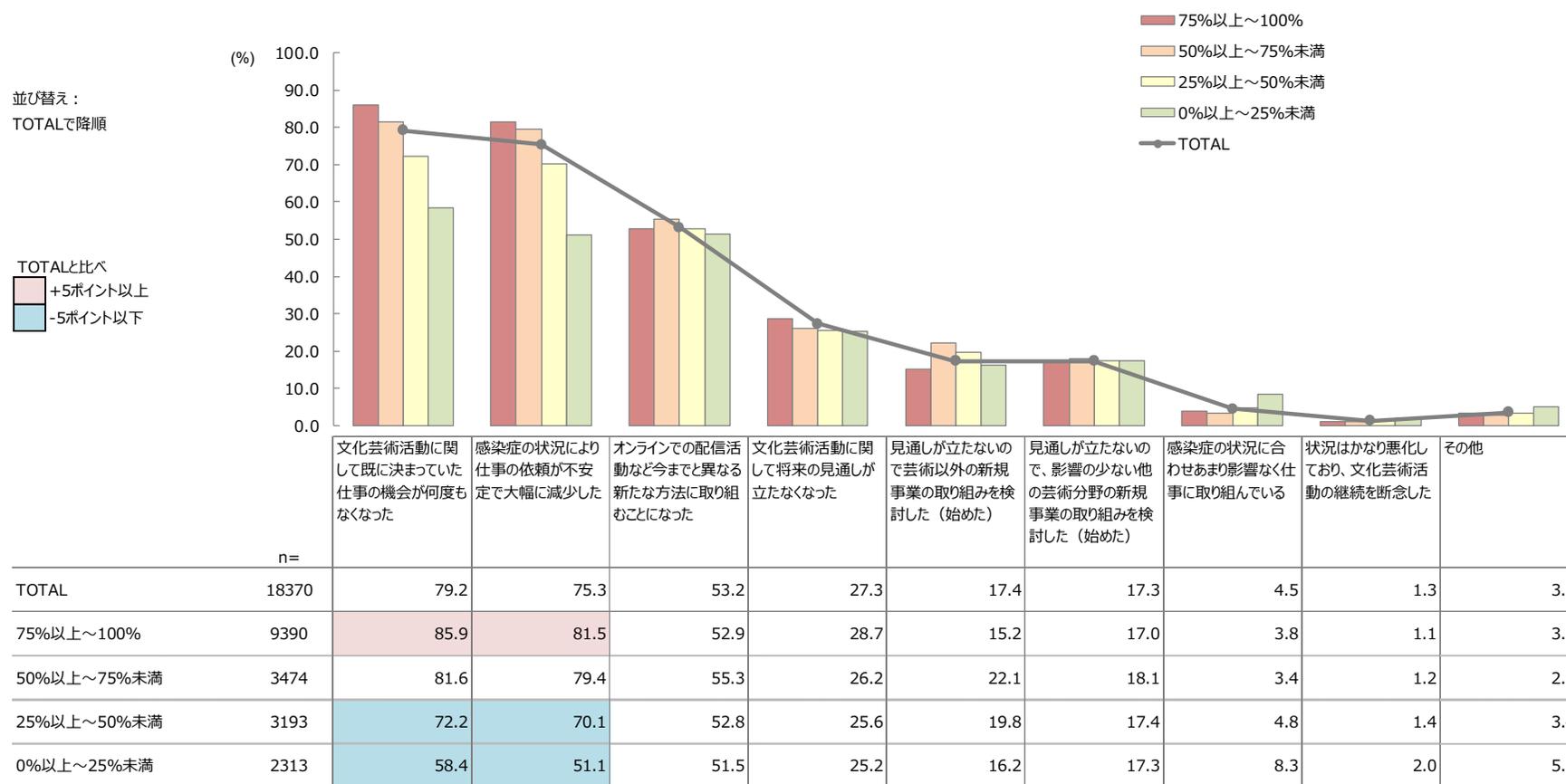


(質問文) Q10 2回目の「再度緊急事態宣言」や地域によっては「まん延防止等重点措置」が実施されるなど感染症の収束が見通せません。文化イベントの自粛要請から1年経ちますが新型コロナウイルス感染症の影響についてお知らせください。新型コロナウイルス感染症拡大の影響とあなたの対応などについて伺います。 42

10.新型コロナウイルス感染症拡大の影響(MA)

- 芸術活動の収入割合別にみると、芸術活動の収入割合が大きいほど「文化芸術活動に関して既に決まっていた仕事の機会が何度もなくなった」、「感染症の状況により仕事の依頼が不安定で大幅に減少した」の割合が高い。

10-4.芸術活動の収入割合別(MA)

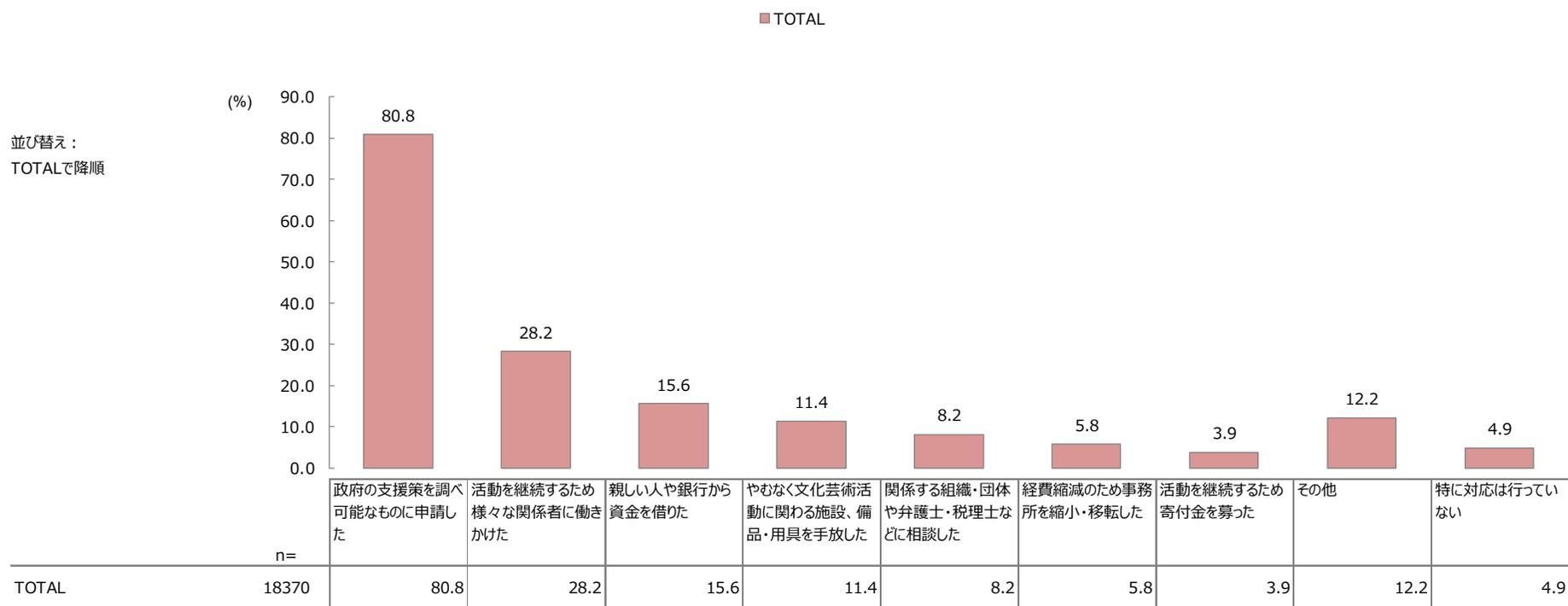


(質問文) Q10 2回目の「再度緊急事態宣言」や地域によっては「まん延防止等重点措置」が実施されるなど感染症の収束が見通せません。文化イベントの自粛要請から1年経ちますが新型コロナウイルス感染症の影響についてお知らせください。新型コロナウイルス感染症拡大の影響とあなたの対応などについて伺います。

11.コロナ禍における活動継続の対応(MA)

- TOTALでは、「政府の支援策を調べ可能なものに申請した」が最も多く、80.8%。「活動を継続するため様々な関係者に働きかけた」28.2%、「親しい人や銀行から資金を借りた」15.6%が続く。

11-1.TOTAL結果(MA)

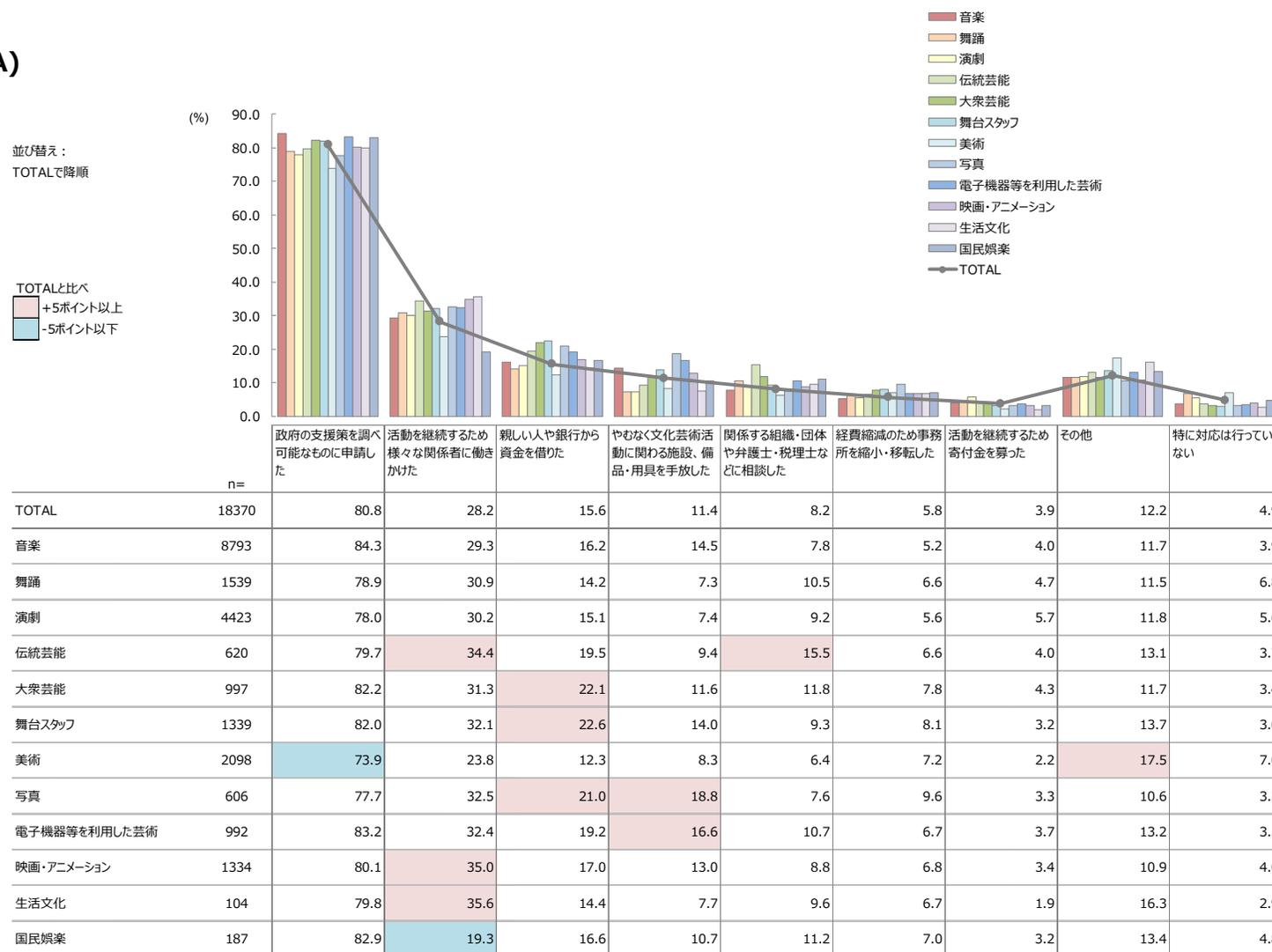


(質問文) Q11 コロナ禍の危機を乗り越えるため、貴方は活動を継続するためどのような対応を行いましたか。

11.コロナ禍における活動継続の対応(MA)

- 活動領域別にみると、美術以外は「政府の支援策を調べ可能なものに申請した」の大きな違いは見られない。伝統芸能、映画・アニメーション、生活文化（茶道、華道、書道）では、「活動を継続するため様々な関係者に働きかけた」が3割を超える。

11-2.活動領域別(MA)

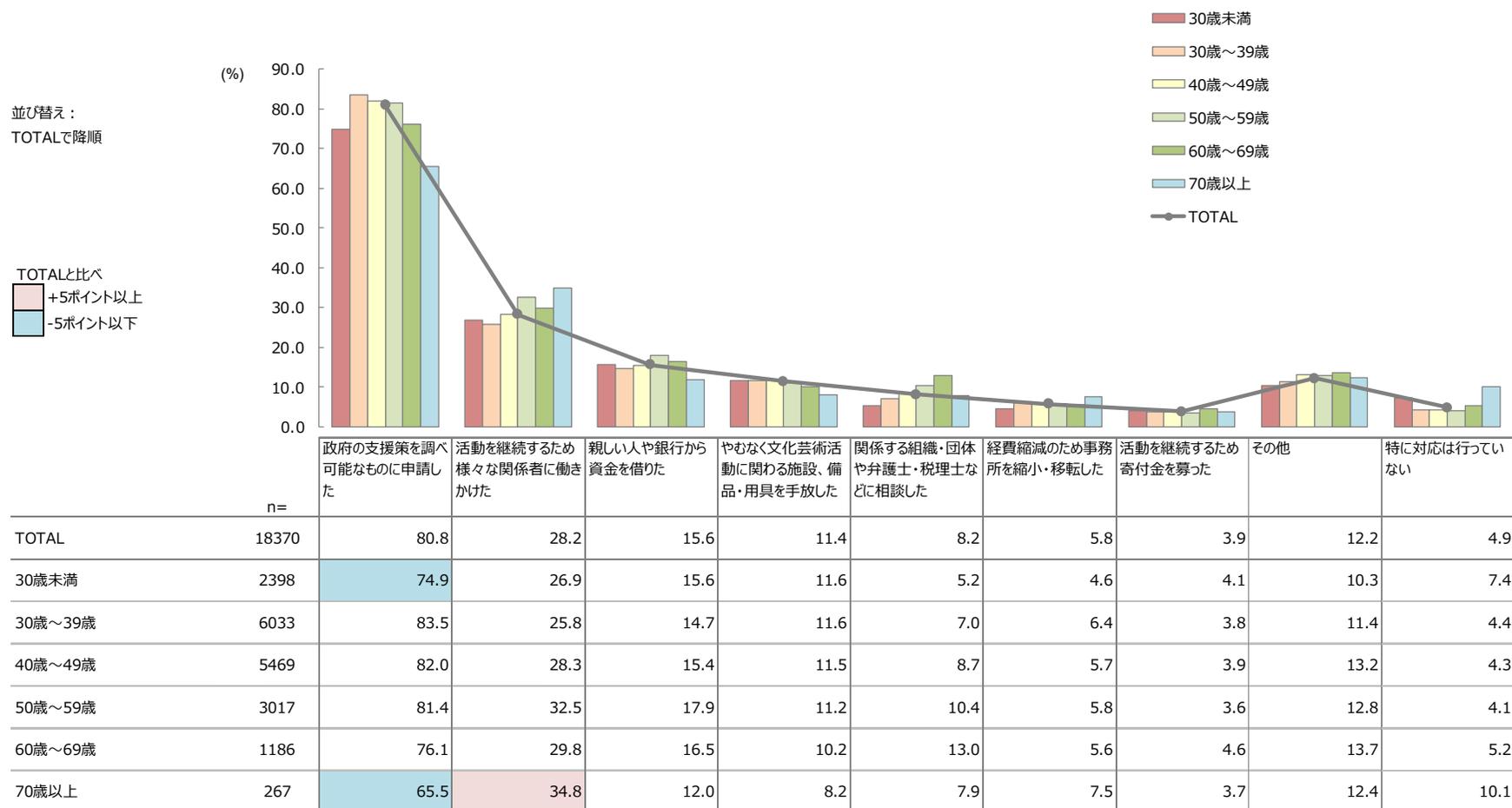


(質問文) Q11 コロナ禍の危機を乗り越えるため、貴方は活動を継続するためどのような対応を行いましたか。 45

11.コロナ禍における活動継続の対応(MA)

- 年齢別にみると、30歳～59歳では「政府の支援策を調べ可能なものに申請した」人が8割を超える。また、70歳以上を除き、年齢が高いほど「関係する組織・団体や弁護士・税理士などに相談した」割合が高い傾向。

11-3.年齢別(MA)

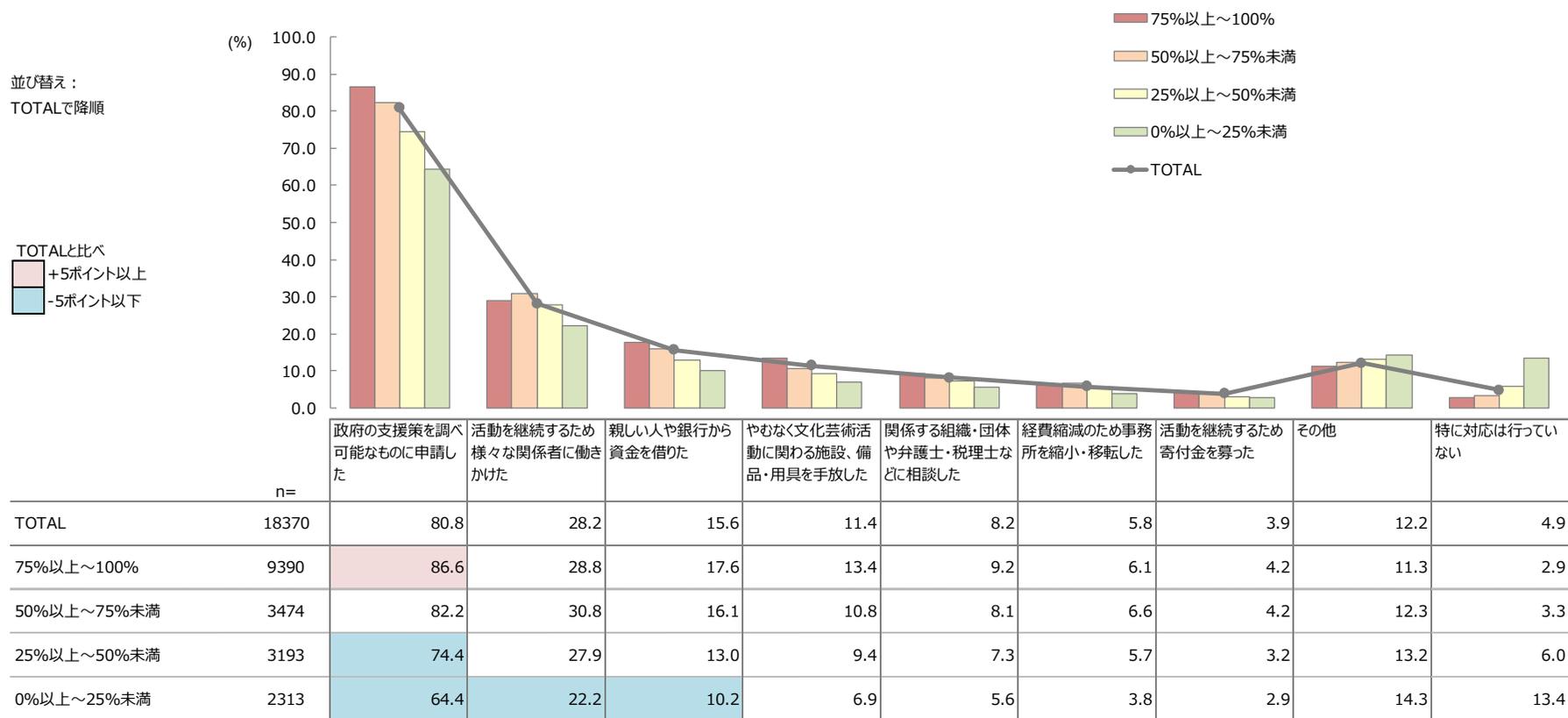


(質問文) Q11 コロナ禍の危機を乗り越えるため、貴方は活動を継続するためどのような対応を行いましたか。 46

11.コロナ禍における活動継続の対応(MA)

- 芸術活動の収入割合別にみると、芸術活動の収入割合が大きいほど「政府の支援策を調べ可能なものに申請した」が高い。

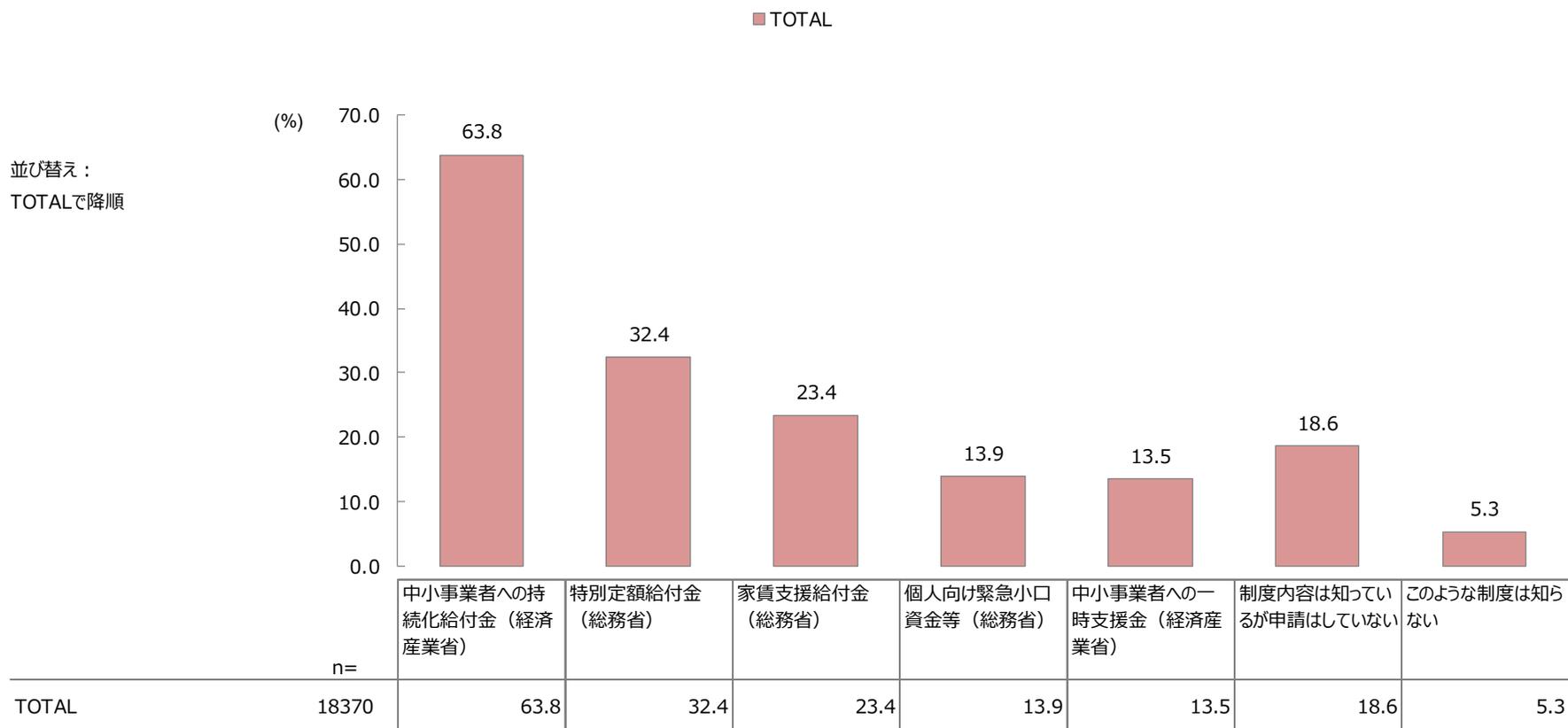
11-4.芸術活動の収入割合別(MA)



12.利用した政府の制度(MA)

- TOTALでは、「中小事業者への持続化給付金（経済産業省）」が最も多く、63.8%。「特別定額給付金（総務省）」32.4%、「家賃支援給付金（総務省）」23.4%が続く。

12-1.TOTAL結果(MA)

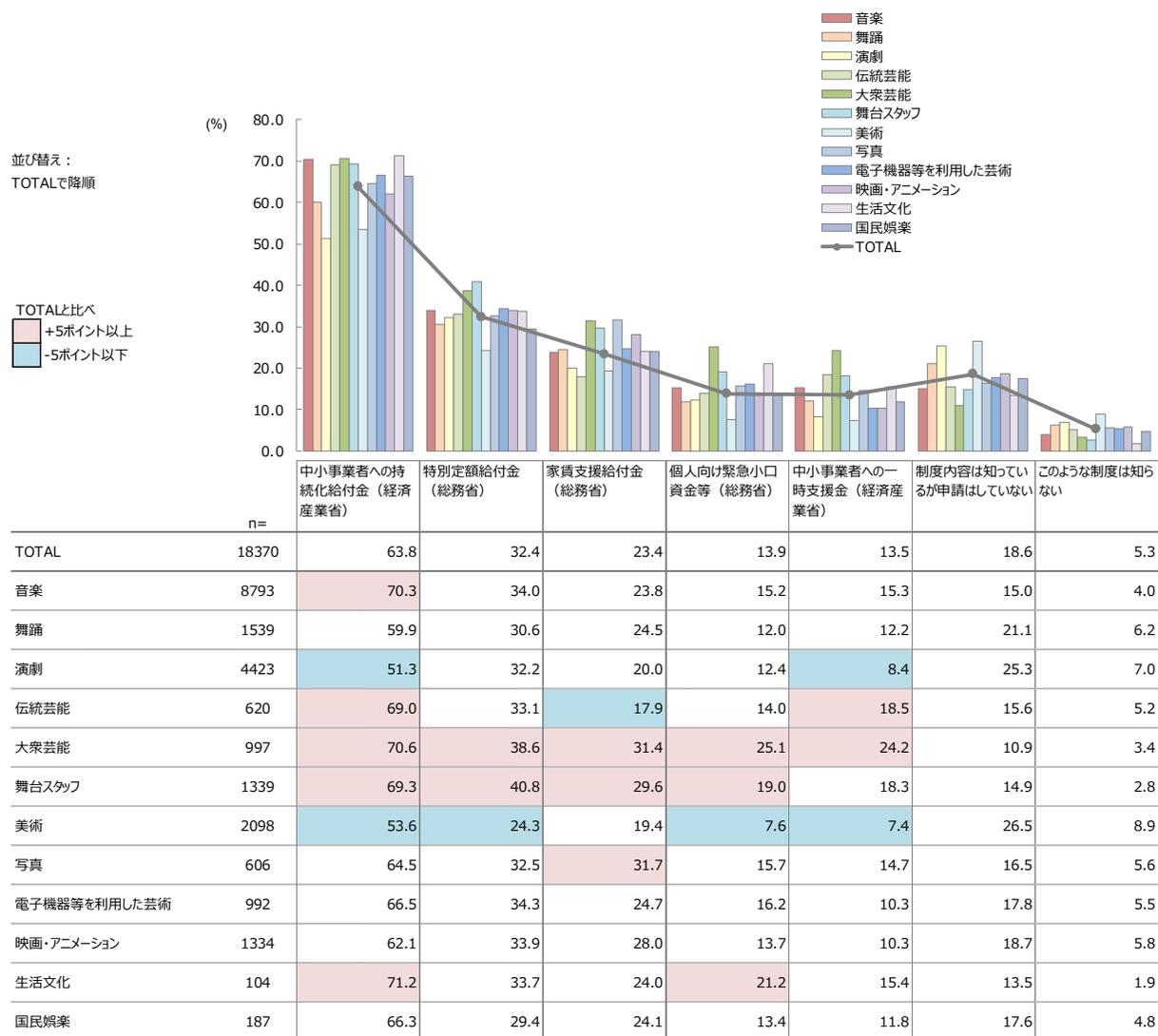


（質問文） Q12 新型コロナウイルス感染症の影響に対する対策として、政府は以下のような制度を設けていますが、あなたが利用した制度をすべてお答えください。

12.利用した政府の制度(MA)

- 活動領域別にみると、大衆芸能、舞台スタッフで各制度を利用している割合が高い。
- 一方、演劇、美術で「制度内容は知っているが申請はしていない」割合が高い。

12-2.活動領域別(MA)

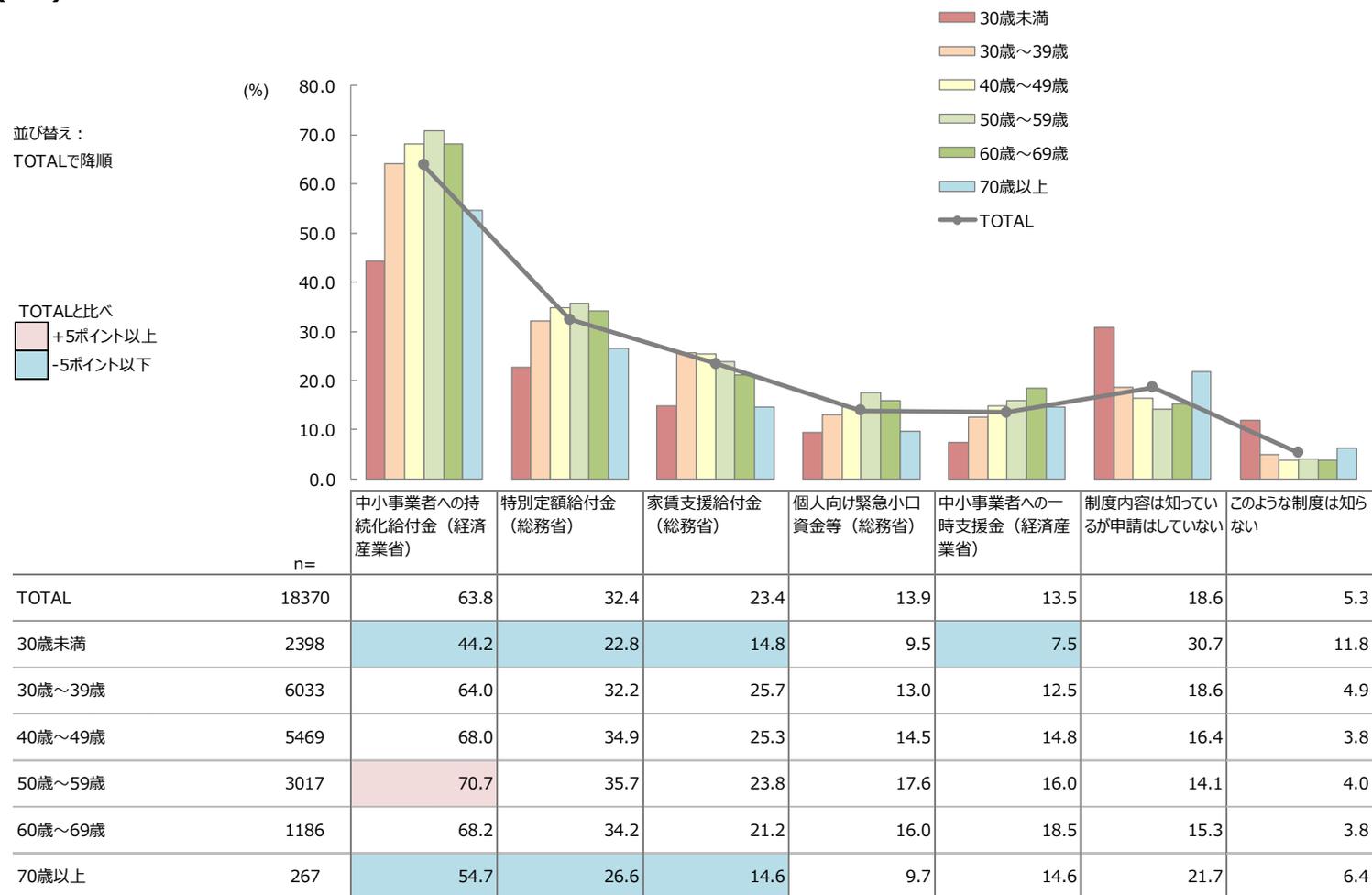


(質問文) Q12 新型コロナウイルス感染症の影響に対する対策として、政府は以下のような制度を設けていますが、あなたが利用した制度をすべてお答えください。

12.利用した政府の制度(MA)

- 年齢別にみると、30歳～69歳で各制度を利用している割合が高い。
- 一方、30歳未満では「制度内容は知っているが申請はしていない」割合が3割にのぼる。

12-3.年齢別(MA)

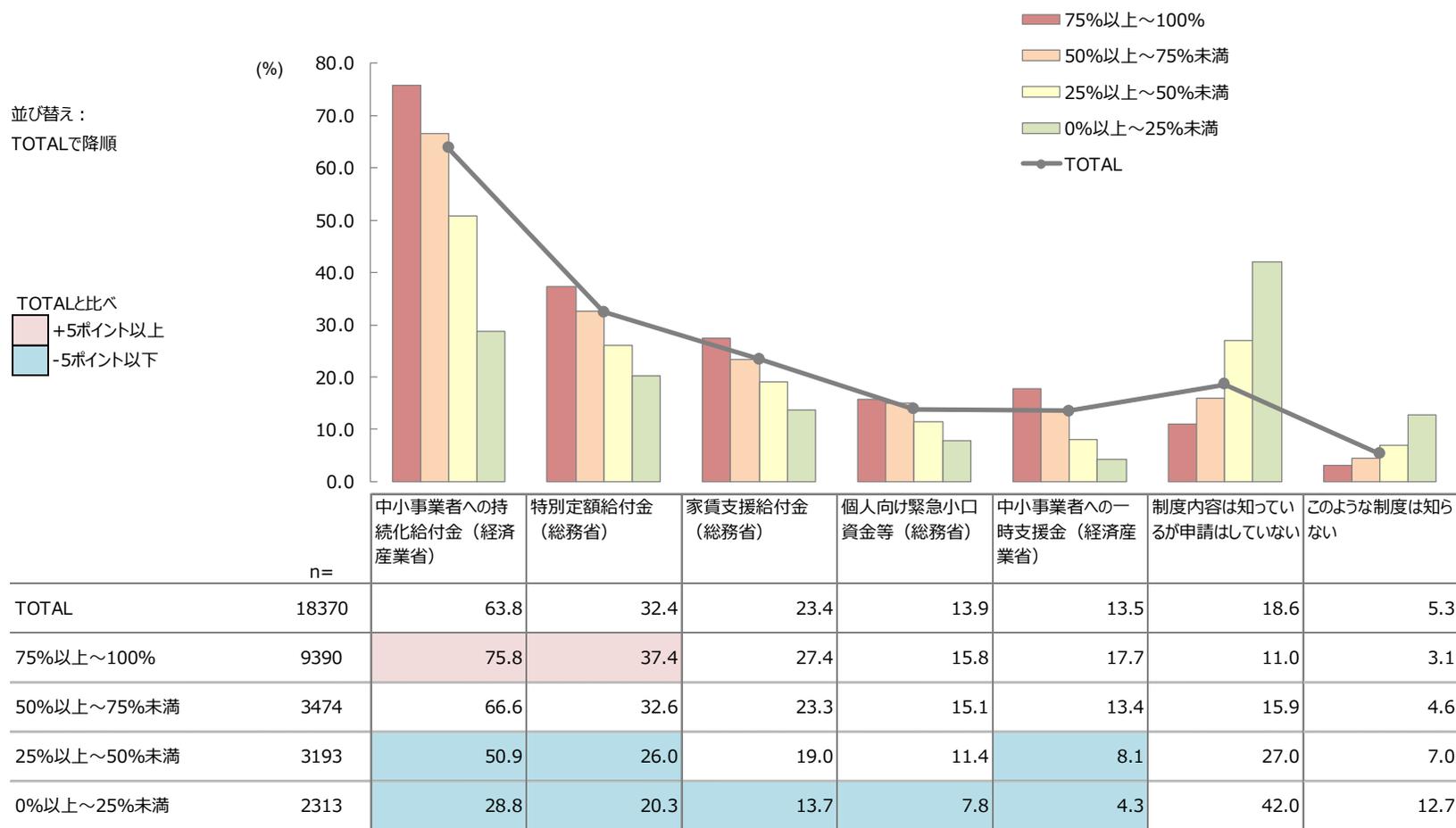


(質問文) Q12 新型コロナウイルス感染症の影響に対する対策として、政府は以下のような制度を設けていますが、あなたが利用した制度をすべてお答えください。

12.利用した政府の制度(MA)

- 芸術活動の収入割合別にみると、芸術活動の収入割合が大きいほど各制度を利用している割合が高く、小さいほど「制度内容は知っているが申請はしていない」割合が高い。

12-4.芸術活動の収入割合別(MA)

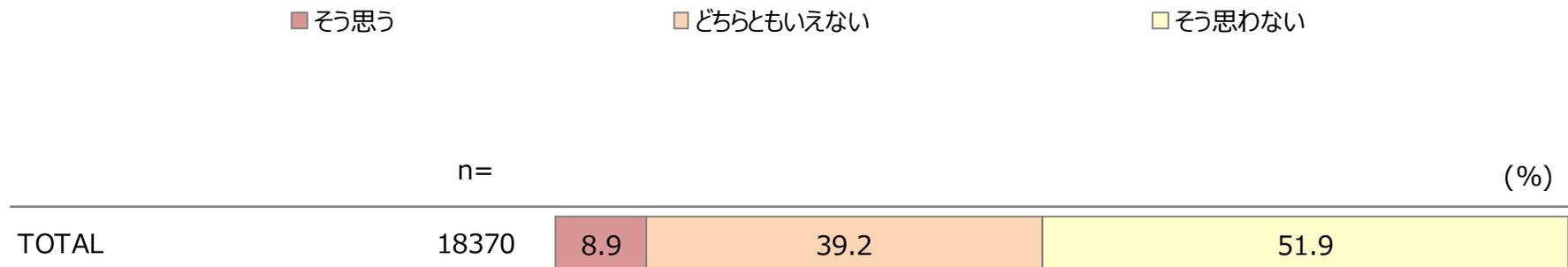


(質問文) Q12 新型コロナウイルス感染症の影響に対する対策として、政府は以下のような制度を設けていますが、あなたが利用した制度をすべてお答えください。 51

13.政府の新型コロナウイルス感染症対策予算に対する考え(SA)

- TOTALでは、「そう思わない（十分ではない）」が最も多く、51.9%。「どちらともいえない」39.2%、「そう思う」8.9%が続く。

13-1.TOTAL結果(SA)

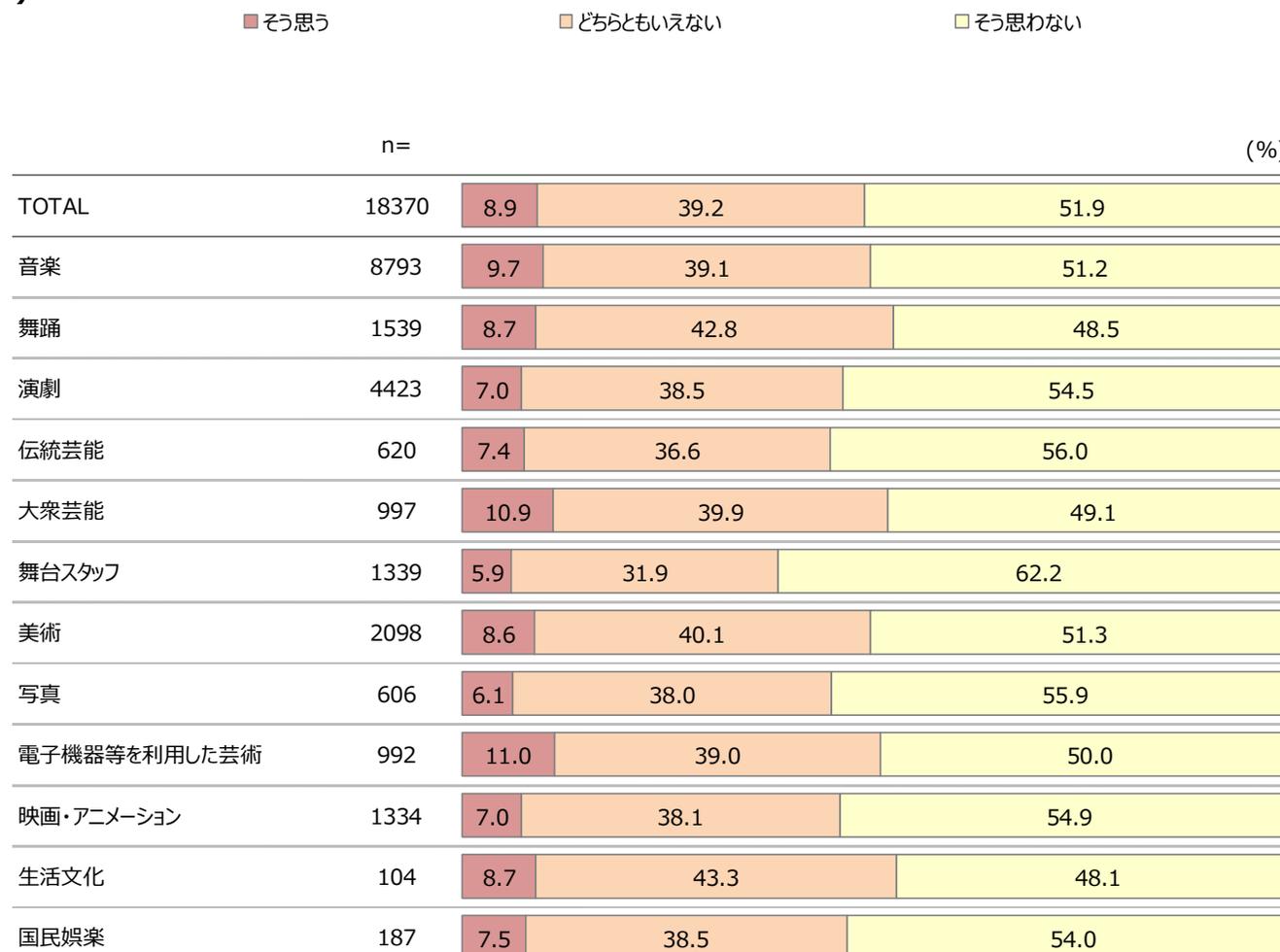


(質問文) Q13 文化芸術への政府の新型コロナウイルス感染症対策予算は現状から考えて十分だと思いますか。

13.政府の新型コロナウイルス感染症対策予算に対する考え(SA)

- 活動領域別にみると、舞台スタッフで「そう思わない（十分ではない）」が高く、6割を超える。次いで、伝統芸能56.0%、写真55.9%と高い傾向。

13-2.活動領域別(SA)

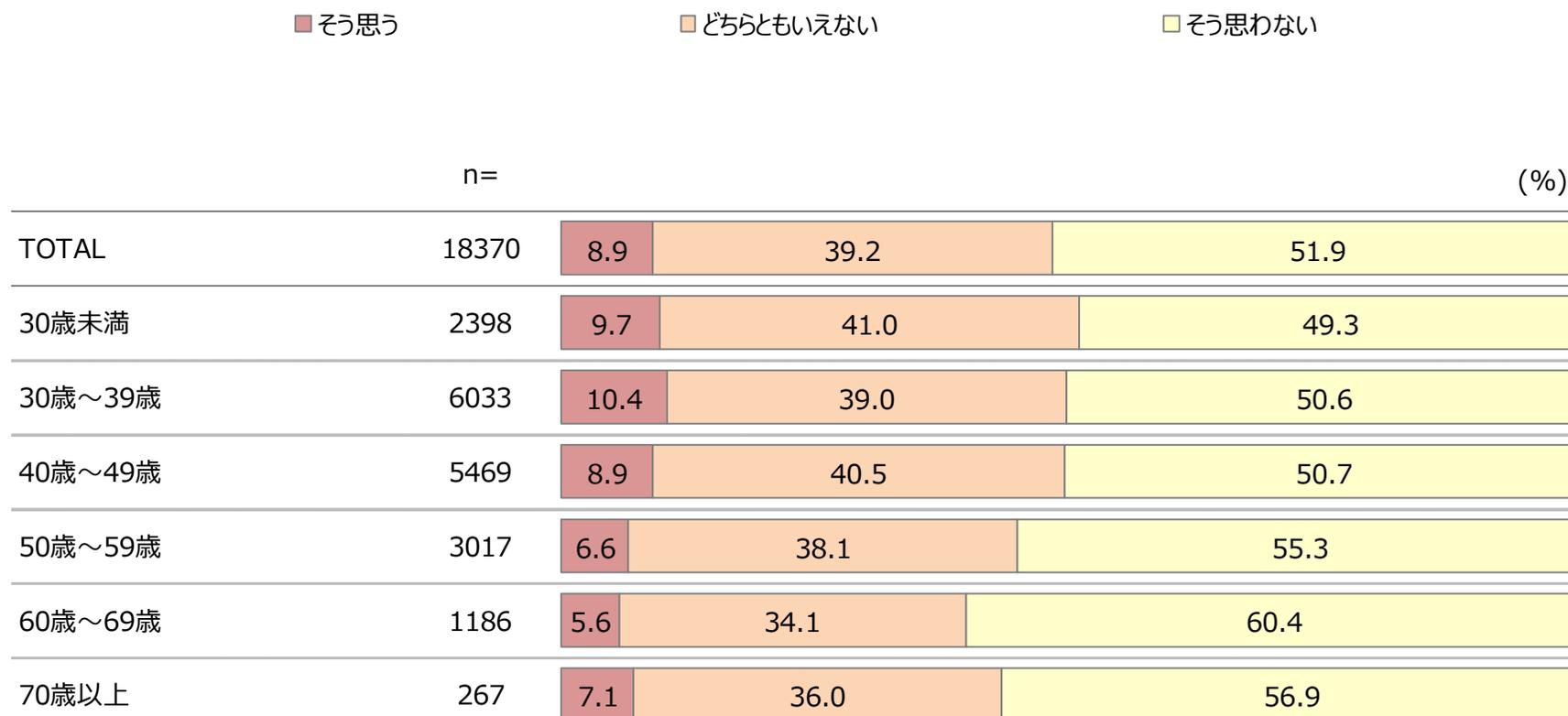


(質問文) Q13 文化芸術への政府の新型コロナウイルス感染症対策予算は現状から考えて十分だと思いますか。

13.政府の新型コロナウイルス感染症対策予算に対する考え(SA)

- 年齢別にみると、70歳以上を除き、年齢が高いほど「そう思わない（十分ではない）」が高い傾向。

13-3.年齢別(SA)

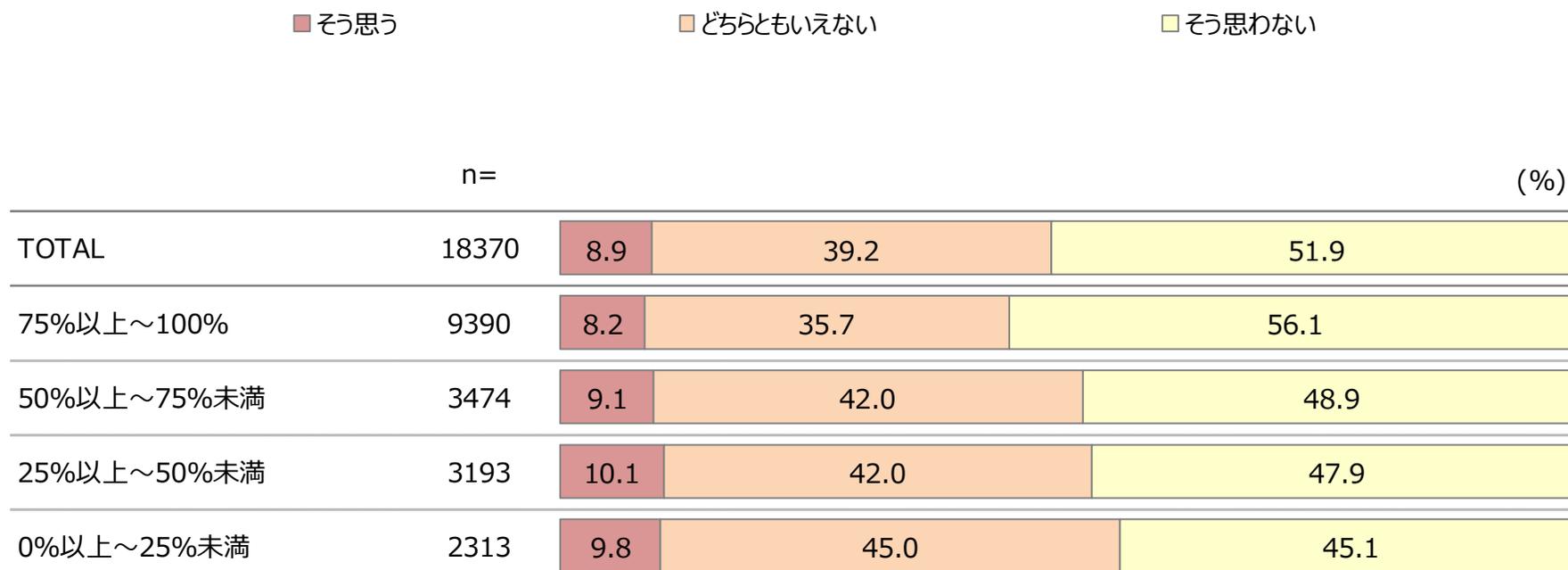


(質問文) Q13 文化芸術への政府の新型コロナウイルス感染症対策予算は現状から考えて十分だと思いますか。

13.政府の新型コロナウイルス感染症対策予算に対する考え(SA)

- 芸術活動の収入割合別にみると、芸術活動の収入割合が大きいほど「そう思わない（十分ではない）」が高い傾向。

13-4.芸術活動の収入割合別(SA)



(質問文) Q13 文化芸術への政府の新型コロナウイルス感染症対策予算は現状から考えて十分だと思いますか。

14.2019年に対する2020年の総収入(SA)

- TOTALでは、「年間収入は50%程度になった」が最も多く、28.2%。「年間収入は75%程度になった」22.3%、「年間収入はあまり変わらない」19.6%が続く。年間収入が減少した割合（50%以下の合計）は50.6%となっている。

14-1.TOTAL結果(SA)

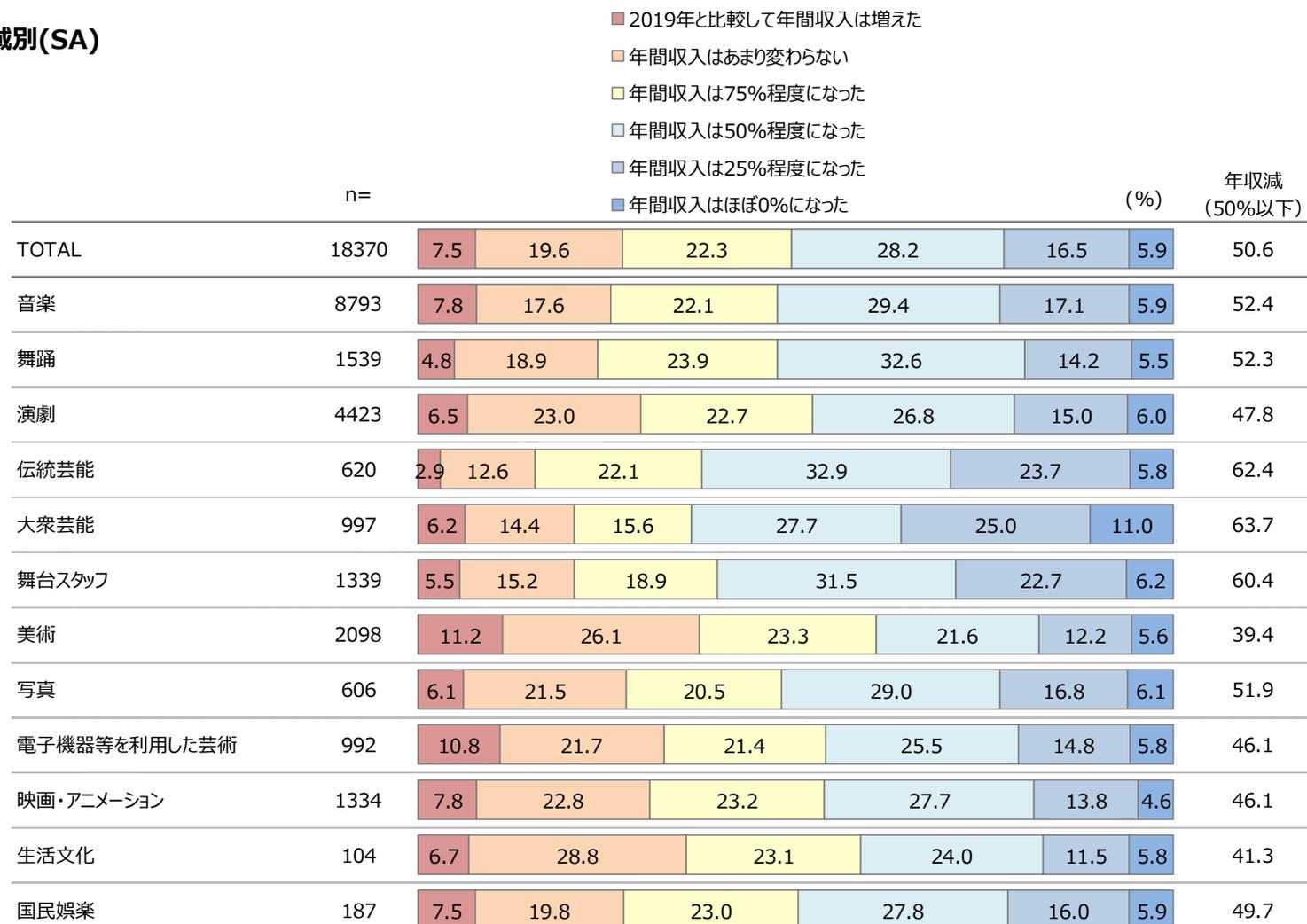


(質問文) Q14 確定申告をされたと思いますが、2019年1年間の収入に比べて、2020年の総収入はどの程度になりましたか。

14.2019年に対する2020年の総収入(SA)

- 活動領域別にみると、年間収入が減少した割合（50%以下の合計）が高いのは、大衆芸能63.7%、伝統芸能62.4%、舞台スタッフ60.4%となっている。

14-2.活動領域別(SA)

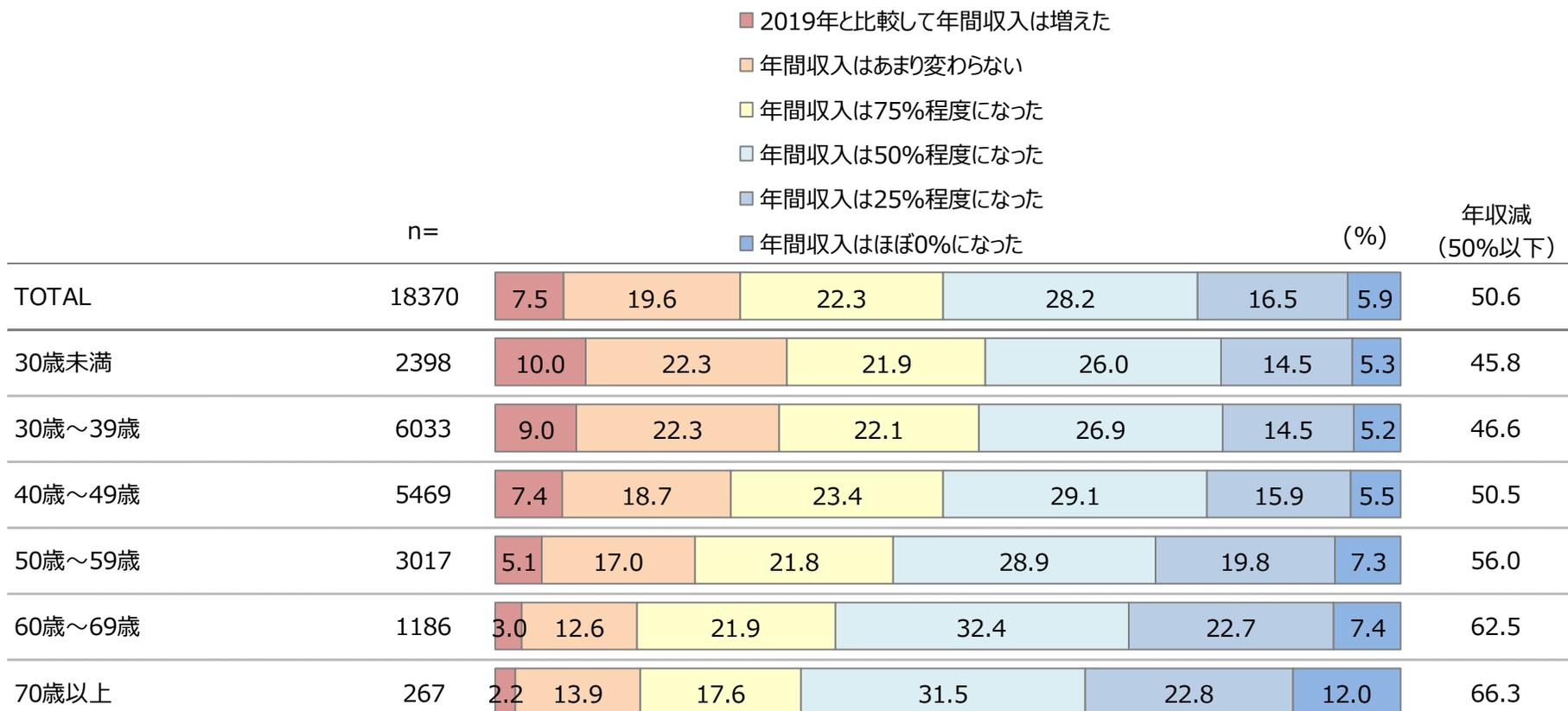


(質問文) Q14 確定申告をされたと思いますが、2019年1年間の収入に比べて、2020年の総収入はどの程度になりましたか。 57

14.2019年に対する2020年の総収入(SA)

- 年齢別にみると、年齢が高いほど年間収入が減少した割合（50%以下の合計）が高くなっている。

14-3.年齢別(SA)

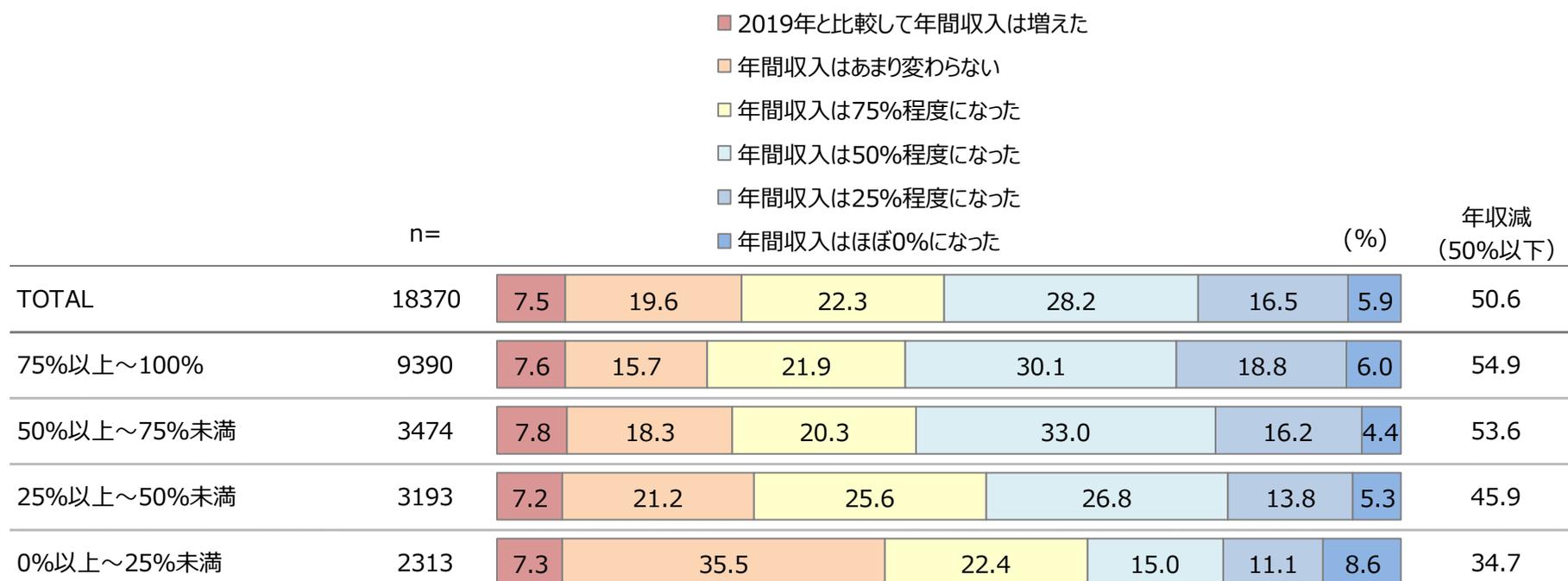


(質問文) Q14 確定申告をされたと思いますが、2019年1年間の収入に比べて、2020年の総収入はどの程度になりましたか。

14.2019年に対する2020年の総収入(SA)

- 芸術活動の収入割合別にみると、芸術活動の収入割合が大きいほど年間収入が減少した割合（50%以下の合計）が高くなっている。

14-4.芸術活動の収入割合別(SA)



(質問文) Q14 確定申告をされたと思いますが、2019年1年間の収入に比べて、2020年の総収入はどの程度になりましたか。

15.文化芸術活動の収入変化(SA)

- TOTALでは、「文化芸術活動からの収入は50%程度になった」が最も多く、29.4%。「文化芸術活動からの収入は25%程度になった」26.9%、「文化芸術活動からの収入は75%程度になった」14.7%が続く。文化芸術活動の収入が減少した割合（50%以下の合計）は69.5%。

15-1.TOTAL結果(SA)

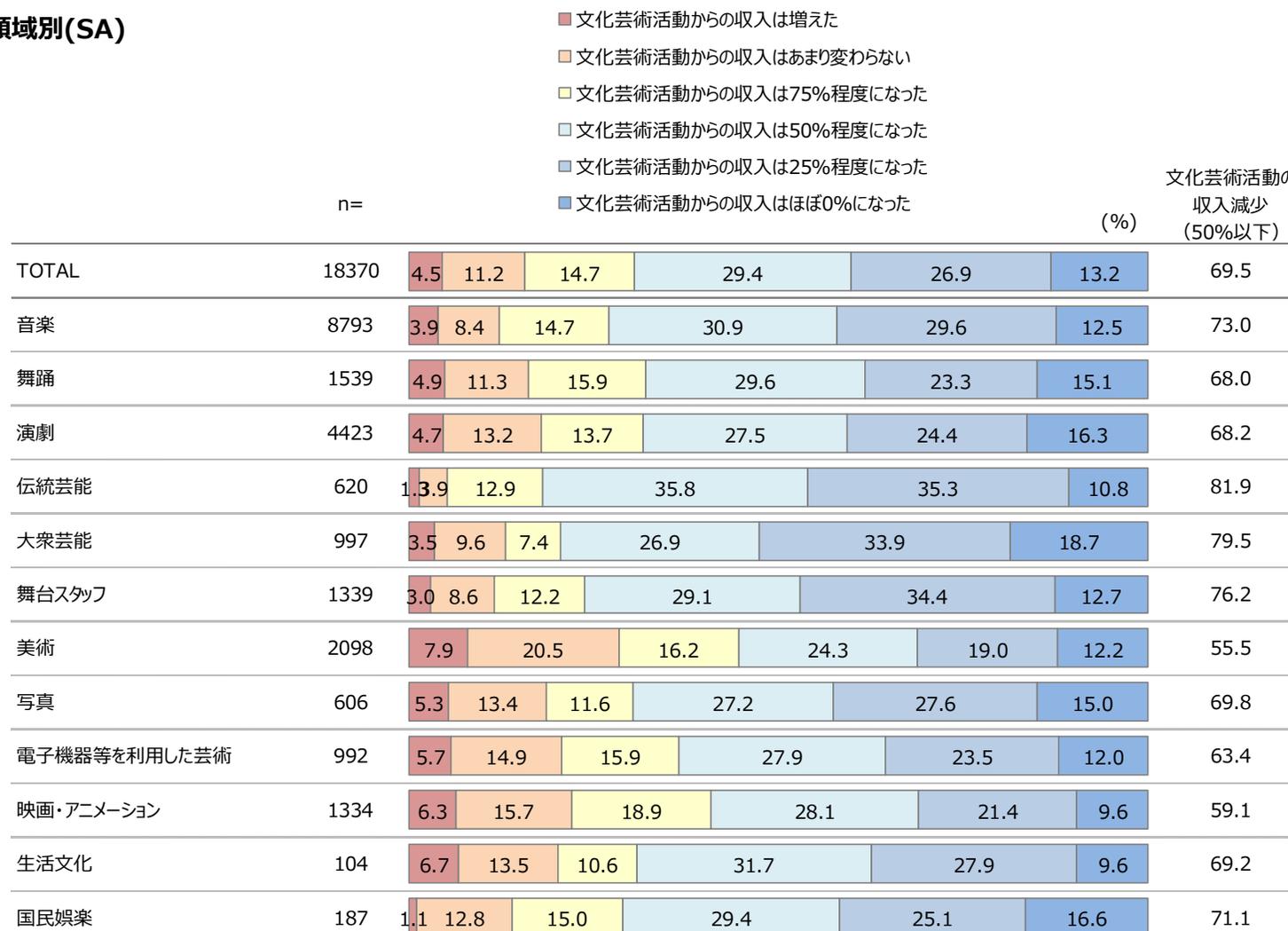
	n=	文化芸術活動からの収入変化						文化芸術活動の 収入減少 (50%以下)
		文化芸術活動からの収入は増えた	文化芸術活動からの収入はあまり変わらない	文化芸術活動からの収入は75%程度になった	文化芸術活動からの収入は50%程度になった	文化芸術活動からの収入は25%程度になった	文化芸術活動からの収入はほぼ0%になった	(%)
TOTAL	18370	4.5	11.2	14.7	29.4	26.9	13.2	69.5

(質問文) Q15 年間収入の内、文化芸術活動からの収入の変化はありましたか。

15.文化芸術活動の収入変化(SA)

- 活動領域別にみると、文化芸術活動の収入が減少した割合（50%以下の合計）が高いのは、伝統芸能81.9%、大衆芸能79.5%、舞台スタッフ76.2%、音楽73.0%等。

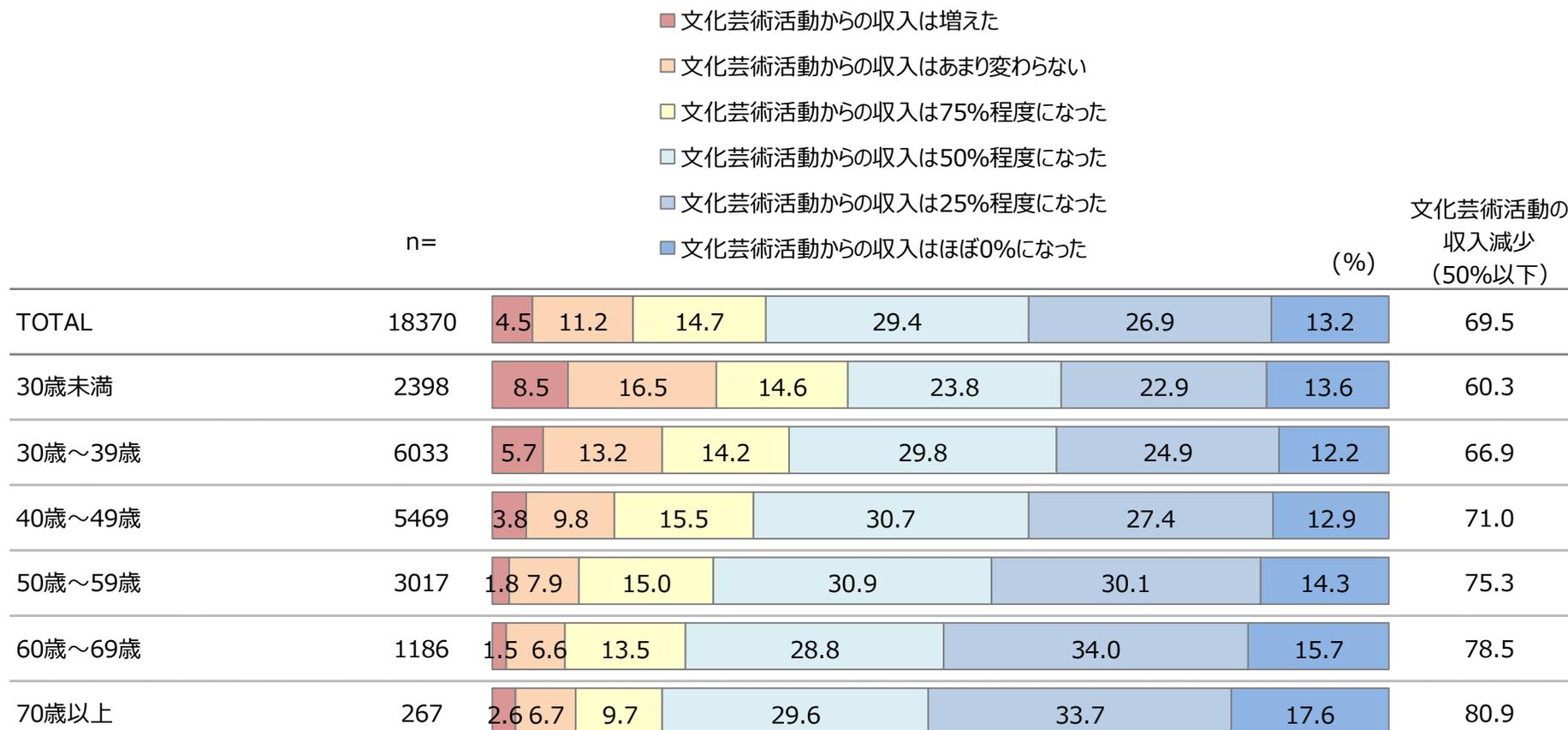
15-2.活動領域別(SA)



15.文化芸術活動の収入変化(SA)

- 年齢別にみると、年齢が若いほど文化芸術活動の収入が減少した割合（50%以下の合計）が高い。

15-3.年齢別(SA)

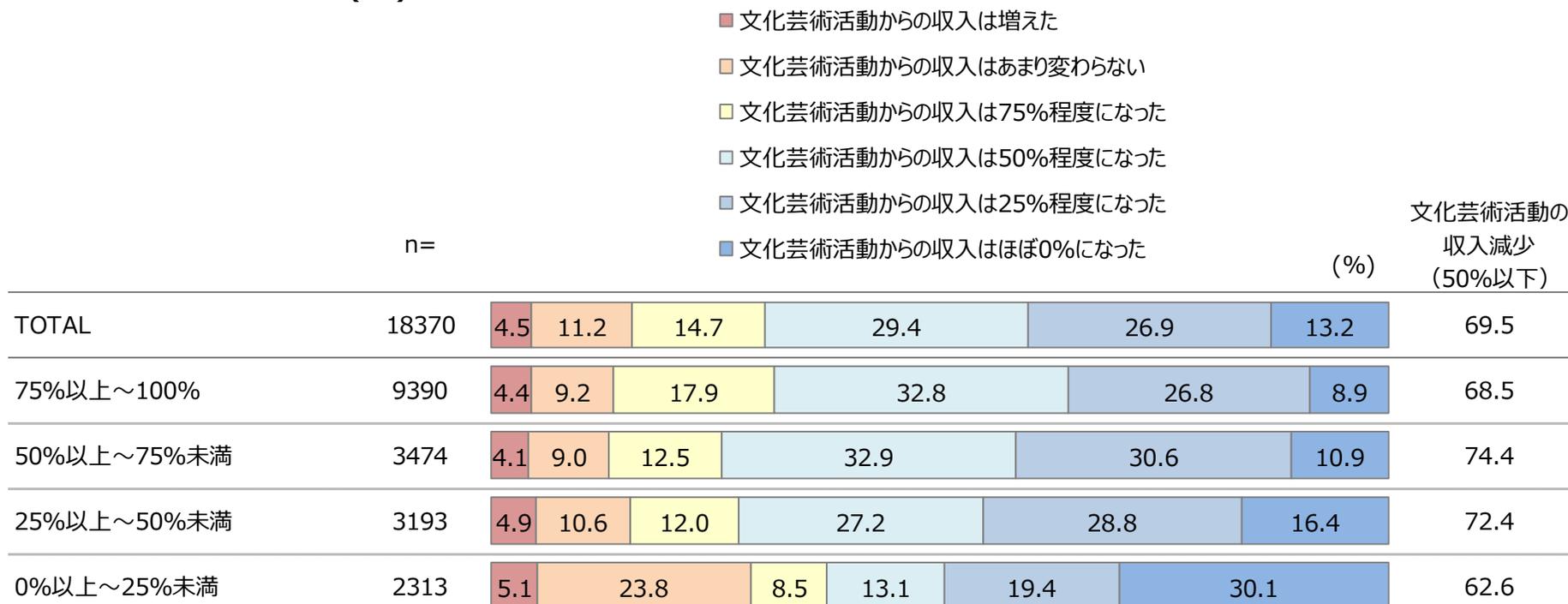


(質問文) Q15 年間収入の内、文化芸術活動からの収入の変化はありましたか。

15.文化芸術活動の収入変化(SA)

- 芸術活動の収入割合別にみると、芸術活動の収入割合が25%以上では7割前後が文化芸術活動の収入が減少している（文化芸術活動の収入が50%以下）。

15-4.芸術活動の収入割合別(SA)



(質問文) Q15 年間収入の内、文化芸術活動からの収入の変化はありましたか。

16.現時点(2021年4月)で最も不安に感じていること(SA)

- TOTALでは、「■ 自分あるいは世帯主の収入が著しく減少している中で、生計を維持できるかどうか不安」が最も多く、25.4%。「■ 文化芸術活動に関わる施設の閉鎖等が続き、業界全体として明るい見通しが立たないことへの不安」24.5%、「■ 自ら行う公演・展示等の機会が失われ、先の見通しも立たず、文化芸術活動をこの先続けられるかどうか不安」19.6%が続く。

16-1.TOTAL結果(SA)

- 自分あるいは世帯主の収入が著しく減少している中で、生計を維持できるかどうか不安
- 自ら行う公演・展示等の機会が失われ、先の見通しも立たず、文化芸術活動をこの先続けられるかどうか不安
- 所属先、得意先の経営が立ち行かなくなり、その結果自分の活動が続けられなくなるのではないかという不安
- 文化芸術活動に関わる施設の閉鎖等が続き、業界全体として明るい見通しが立たないことへの不安
- 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、不景気が到来して生活が苦しくなることへの不安
- はっきりと原因はわからないが、漠然とした不安
- 特に不安に感じていることはない

	n=	(%)						
TOTAL	18370	25.4	19.6	7.4	24.5	16.9	4.8	1.3

(質問文) Q16 現時点 (2021年4月) で最も不安に感じていることについて、次の中からもっともあてはまるものを一つ教えてください。

16.現時点(2021年4月)で最も不安に感じていること(SA)

- 活動領域別にみると、大衆芸能、伝統芸能、写真で「■自分あるいは世帯主の収入が著しく減少している中で、生計を維持できるかどうか不安」、演劇、電子機器等を利用した芸術で「■文化芸術活動に関わる施設の閉鎖等が続き、業界全体として明るい見通しが立たないことへの不安」が高い傾向。

16-2.活動領域別(SA)

- 自分あるいは世帯主の収入が著しく減少している中で、生計を維持できるかどうか不安
- 自ら行う公演・展示等の機会が失われ、先の見通しも立たず、文化芸術活動をこの先続けられるかどうか不安
- 所属先、得意先の経営が立ち行かなくなり、その結果自分の活動が続けられなくなるのではないかという不安
- 文化芸術活動に関わる施設の閉鎖等が続き、業界全体として明るい見通しが立たないことへの不安
- 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、不景気が到来して生活が苦しくなることへの不安
- はっきりと原因はわからないが、漠然とした不安
- 特に不安に感じていることはない

n=

(%)

活動領域	n	自分あるいは世帯主の収入が著しく減少している中で、生計を維持できるかどうか不安	自ら行う公演・展示等の機会が失われ、先の見通しも立たず、文化芸術活動をこの先続けられるかどうか不安	所属先、得意先の経営が立ち行かなくなり、その結果自分の活動が続けられなくなるのではないかという不安	文化芸術活動に関わる施設の閉鎖等が続き、業界全体として明るい見通しが立たないことへの不安	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、不景気が到来して生活が苦しくなることへの不安	はっきりと原因はわからないが、漠然とした不安	特に不安に感じていることはない
TOTAL	18370	25.4	19.6	7.4	24.5	16.9	4.8	1.3
音楽	8793	26.7	20.9	6.9	25.0	15.1	4.0	1.3
舞踊	1539	23.8	19.2	7.0	24.1	19.2	5.1	1.6
演劇	4423	21.3	20.4	8.7	27.5	15.9	4.8	1.3
伝統芸能	620	33.9	22.1	3.1	19.5	15.8	4.0	1.6
大衆芸能	997	34.2	19.9	6.3	18.1	16.1	4.7	0.7
舞台スタッフ	1339	30.9	12.3	11.7	22.3	18.1	4.1	0.5
美術	2098	20.1	18.3	6.8	23.3	21.2	7.8	2.5
写真	606	30.4	15.7	9.4	22.6	17.8	3.6	0.5
電子機器等を利用した芸術	992	24.6	15.8	9.8	26.3	16.6	4.9	1.9
映画・アニメーション	1334	26.0	13.3	8.5	24.8	20.8	4.9	1.6
生活文化	104	20.2	19.2	6.7	16.3	26.0	8.7	2.9
国民娯楽	187	26.2	15.0	7.5	18.7	27.3	3.7	1.6

(質問文) Q16 現時点 (2021年4月) で最も不安に感じていることについて、次の中からもっともあてはまるものを一つ教えてください。 65

16.現時点(2021年4月)で最も不安に感じていること(SA)

- 年齢別にみると、40歳～59歳で「■ 自分あるいは世帯主の収入が著しく減少している中で、生計を維持できるかどうか不安」、39歳未満で「■ 文化芸術活動に関わる施設の閉鎖等が続き、業界全体として明るい見通しが立たないことへの不安」、「■ 自ら行う公演・展示等の機会が失われ、先の見通しも立たず、文化芸術活動をこの先続けられるかどうか不安」等が高い傾向。

16-3.年齢別(SA)

- 自分あるいは世帯主の収入が著しく減少している中で、生計を維持できるかどうか不安
- 自ら行う公演・展示等の機会が失われ、先の見通しも立たず、文化芸術活動をこの先続けられるかどうか不安
- 所属先、得意先の経営が立ち行かなくなり、その結果自分の活動が続けられなくなるのではないかと不安
- 文化芸術活動に関わる施設の閉鎖等が続き、業界全体として明るい見通しが立たないことへの不安
- 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、不景気が到来して生活が苦しくなることへの不安
- はっきりと原因はわからないが、漠然とした不安
- 特に不安に感じていることはない

	n=	n (%)						
TOTAL	18370	25.4	19.6	7.4	24.5	16.9	4.8	1.3
30歳未満	2398	22.3	20.4	6.3	27.0	15.9	6.9	1.1
30歳～39歳	6033	24.1	20.3	7.8	25.3	15.7	5.0	1.7
40歳～49歳	5469	26.8	19.0	8.1	23.6	16.7	4.2	1.5
50歳～59歳	3017	28.2	18.9	7.2	22.5	18.1	4.0	1.0
60歳～69歳	1186	25.7	18.7	5.1	23.9	21.8	4.5	0.3
70歳以上	267	18.4	22.1	5.6	24.3	24.0	4.5	1.1

(質問文) Q16 現時点(2021年4月)で最も不安に感じていることについて、次の中からもっともあてはまるものを一つ教えてください。

16.現時点(2021年4月)で最も不安に感じていること(SA)

- 芸術活動の収入割合別にみると、芸術活動の収入割合が大きいほど「自分あるいは世帯主の収入が著しく減少している中で、生計を維持できるかどうか不安」、小さいほど「文化芸術活動に関わる施設の閉鎖等が続き、業界全体として明るい見通しが立たないことへの不安」が高い傾向。

16-4.芸術活動の収入割合別(SA)

- 自分あるいは世帯主の収入が著しく減少している中で、生計を維持できるかどうか不安
- 自ら行う公演・展示等の機会が失われ、先の見通しも立たず、文化芸術活動をこの先続けられるかどうか不安
- 所属先、得意先の経営が立ち行かなくなり、その結果自分の活動が続けられなくなるのではないかという不安
- 文化芸術活動に関わる施設の閉鎖等が続き、業界全体として明るい見通しが立たないことへの不安
- 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、不景気が到来して生活が苦しくなることへの不安
- はっきりと原因はわからないが、漠然とした不安
- 特に不安に感じていることはない

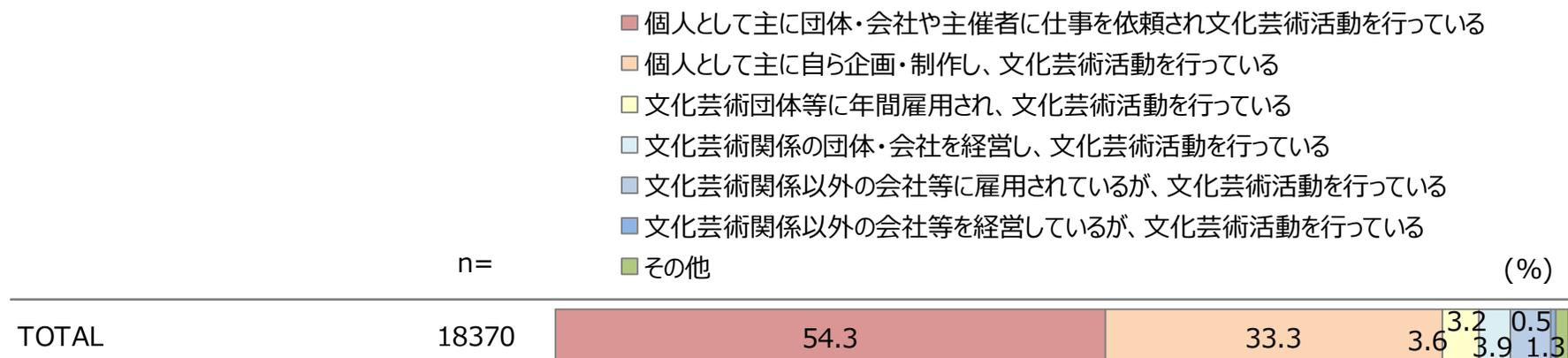
	n=	(%)						
TOTAL	18370	25.4	19.6	7.4	24.5	16.9	4.8	1.3
75%以上～100%	9390	30.8	17.1	8.4	22.2	16.7	3.6	1.2
50%以上～75%未満	3474	24.1	22.9	6.7	24.1	16.4	4.5	1.3
25%以上～50%未満	3193	18.6	22.1	7.0	27.5	17.6	6.0	1.2
0%以上～25%未満	2313	14.6	21.6	4.8	30.4	18.0	8.4	2.3

(質問文) Q16 現時点(2021年4月)で最も不安に感じていることについて、次の中からもっともあてはまるものを一つ教えてください。

17.以前の文化芸術活動の状況と、今後の課題(SA)

- TOTALでは、「■ 個人として主に団体・会社や主催者に仕事を依頼され文化芸術活動を行っている」が最も多く、54.3%。「■ 個人として主に自ら企画・制作し、文化芸術活動を行っている」33.3%、「■ 文化芸術関係以外の会社等に雇用されているが、文化芸術活動を行っている」3.9%が続く。

17-1.TOTAL結果(SA)

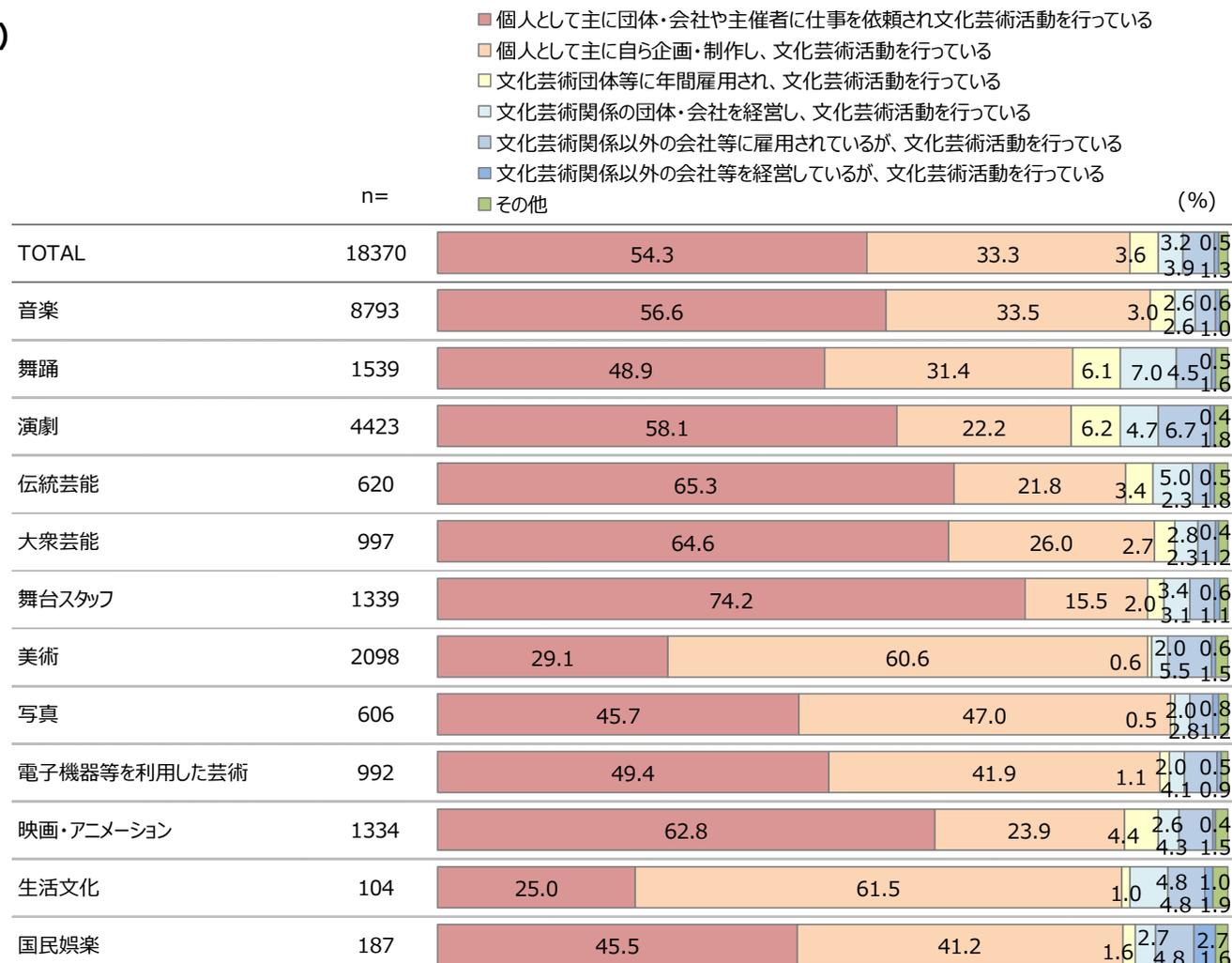


(質問文) Q17 あなたの文化芸術活動の主な取り組み方を教えてください。新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前のあなたの文化芸術活動の状況と、今後の課題等について教えてください。

17.以前の文化芸術活動の状況と、今後の課題(SA)

- 活動領域別にみると、舞台スタッフ、伝統芸能、大衆芸能、映画・アニメーションで「■ 個人として主に団体・会社や主催者に仕事を依頼され文化芸術活動を行っている」、生活文化（茶道、華道、書道）、美術、写真で「■ 個人として主に自ら企画・制作し、文化芸術活動を行っている」の割合が高い。

17-2.活動領域別(SA)

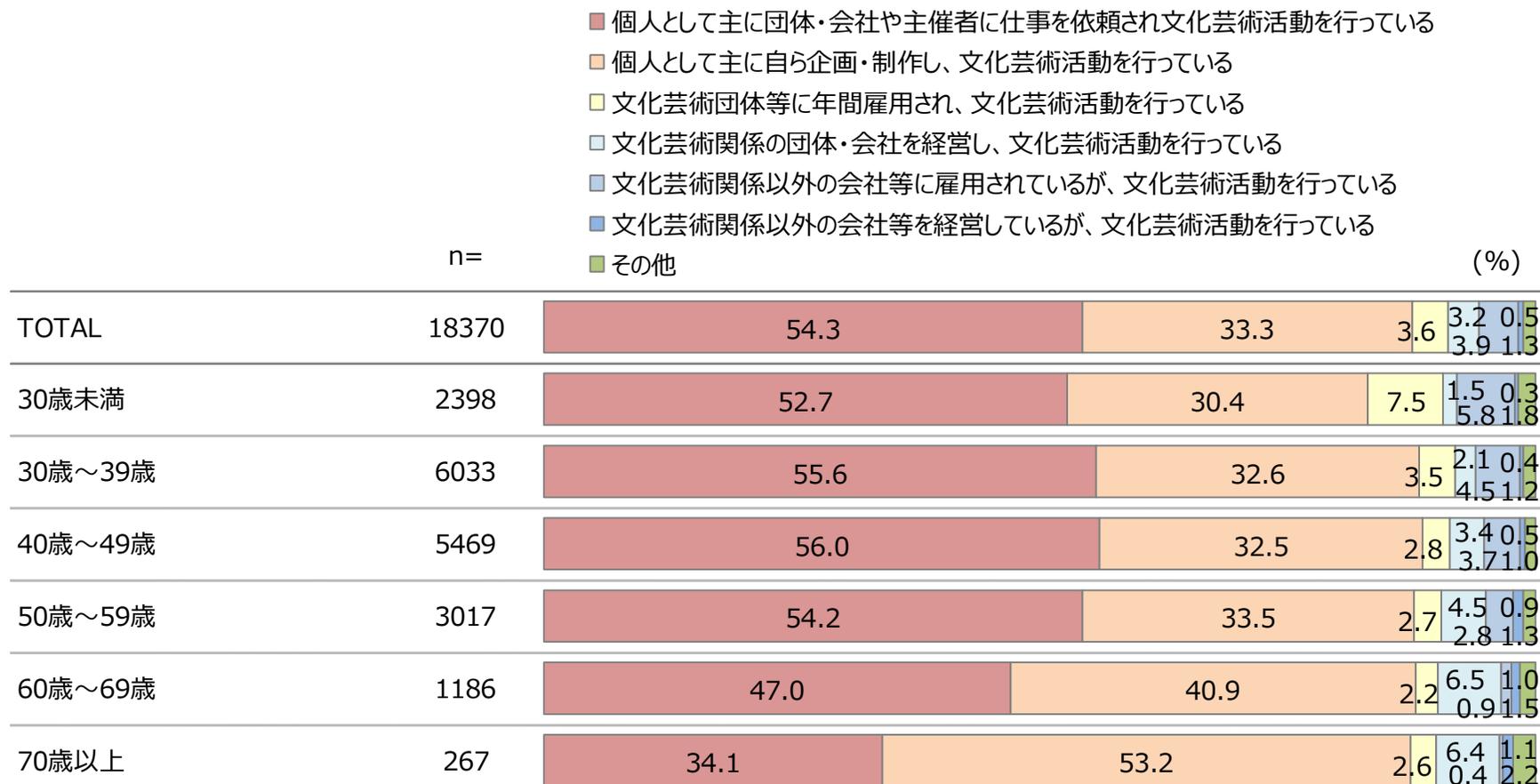


(質問文) Q17 あなたの文化芸術活動の主な取り組み方を教えてください。新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前のあなたの文化芸術活動の状況と、今後の課題等について教えてください。

17.以前の文化芸術活動の状況と、今後の課題(SA)

- 年齢別にみると、59歳以下は「■個人として主に団体・会社や主催者に仕事を依頼され文化芸術活動を行っている」のが5割を超える。60歳以上の年齢が高いほど、「■個人として主に自ら企画・制作し、文化芸術活動を行っている」割合が高い。

17-3.年齢別(SA)

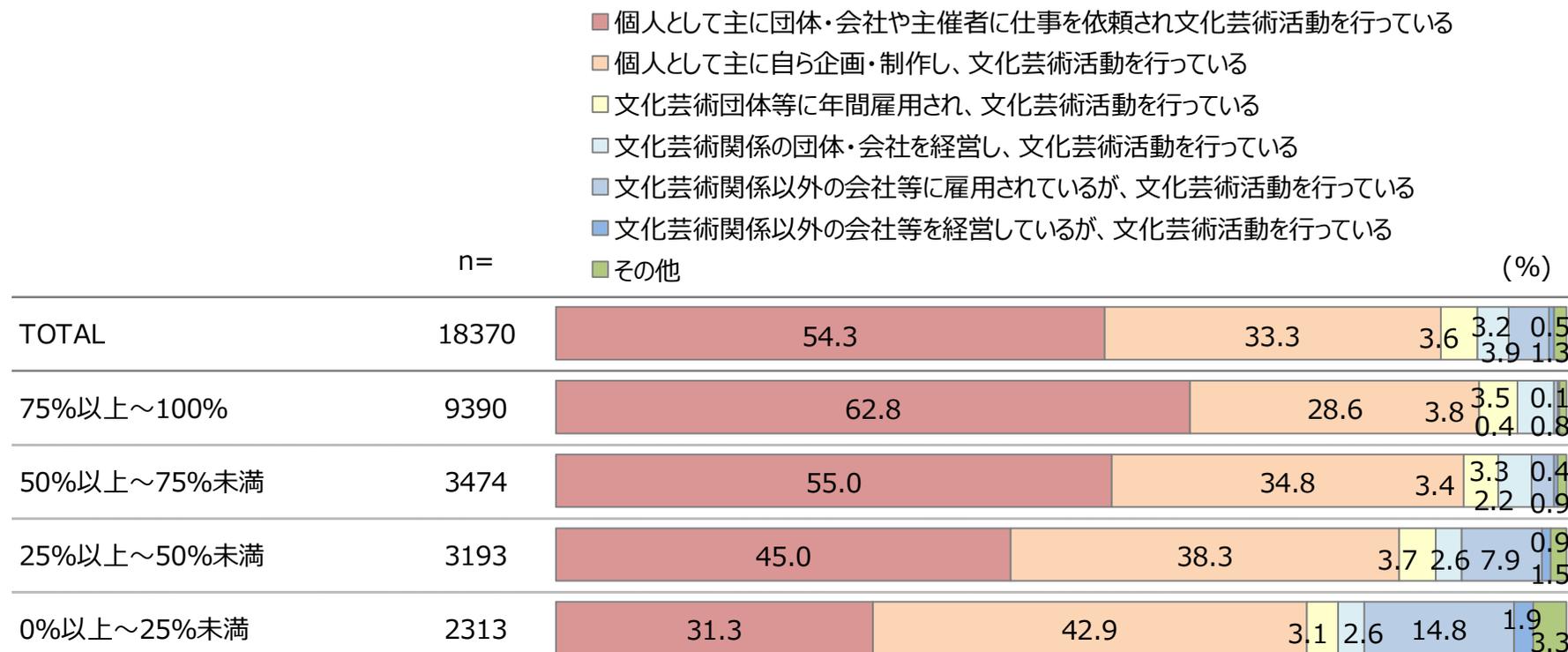


(質問文) Q17 あなたの文化芸術活動の主な取り組み方を教えてください。新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前のあなたの文化芸術活動の状況と、今後の課題等について教えてください。

17.以前の文化芸術活動の状況と、今後の課題(SA)

- 芸術活動の収入割合別にみると、芸術活動の収入割合が大きいほど「■ 個人として主に団体・会社や主催者に仕事を依頼され文化芸術活動を行っている」、小さいほど「■ 個人として主に自ら企画・制作し、文化芸術活動を行っている」割合が高い。

17-4.芸術活動の収入割合別(SA)

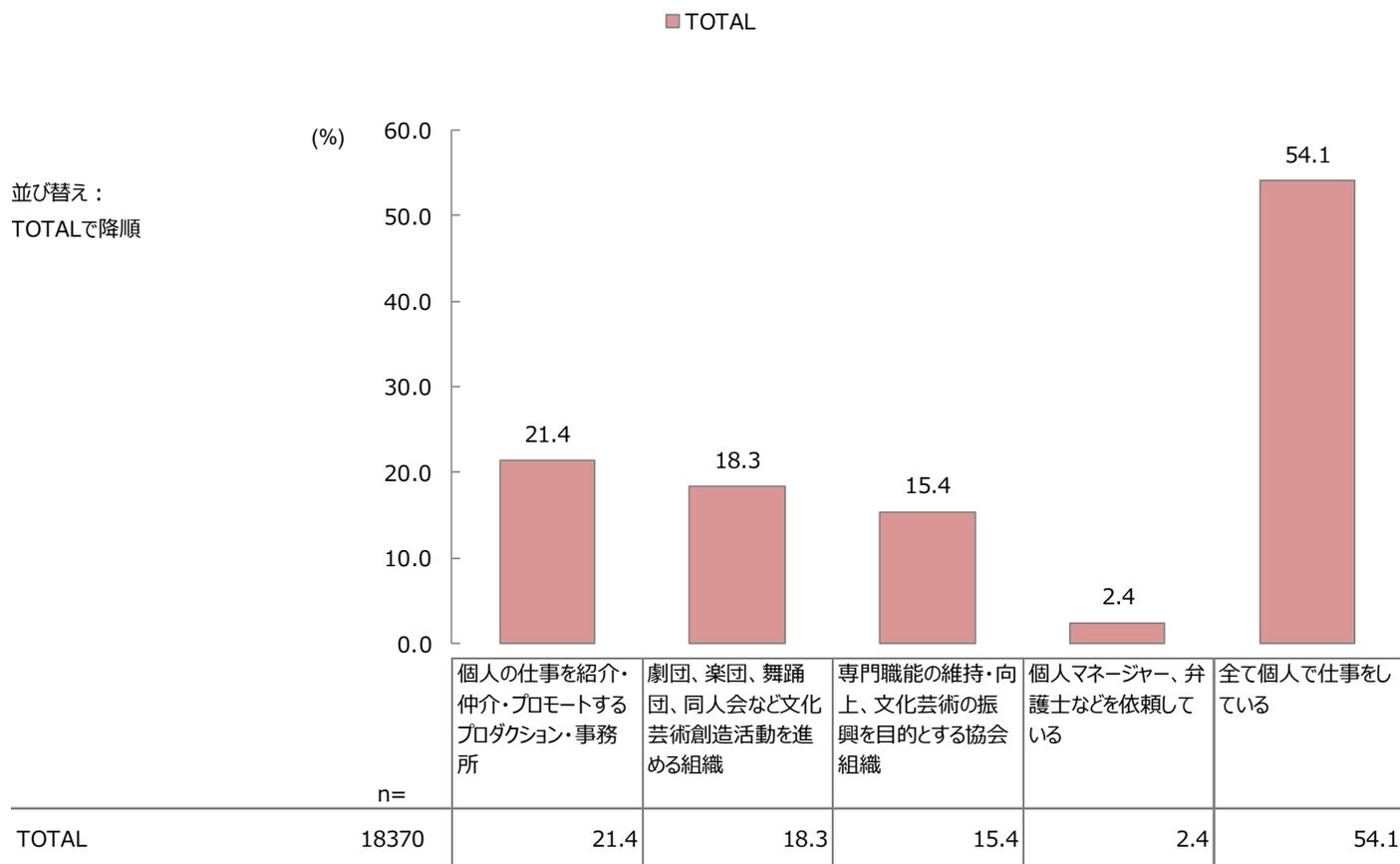


(質問文) Q17 あなたの文化芸術活動の主な取り組み方を教えてください。新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前のあなたの文化芸術活動の状況と、今後の課題等について教えてください。

18.組織への参加・所属状況(MA)

- TOTALでは、「個人の仕事を紹介・仲介・プロモートするプロダクション・事務所」が最も多く、21.4%。「劇団、楽団、舞踊団、同人会など文化芸術創造活動を進める組織」18.3%、「専門職能の維持・向上、文化芸術の振興を目的とする協会組織」15.4%が続く。
- なお、組織に属さず「全て個人で仕事をしている」割合は54.1%と半数を超えている。

18-1.TOTAL結果(MA)

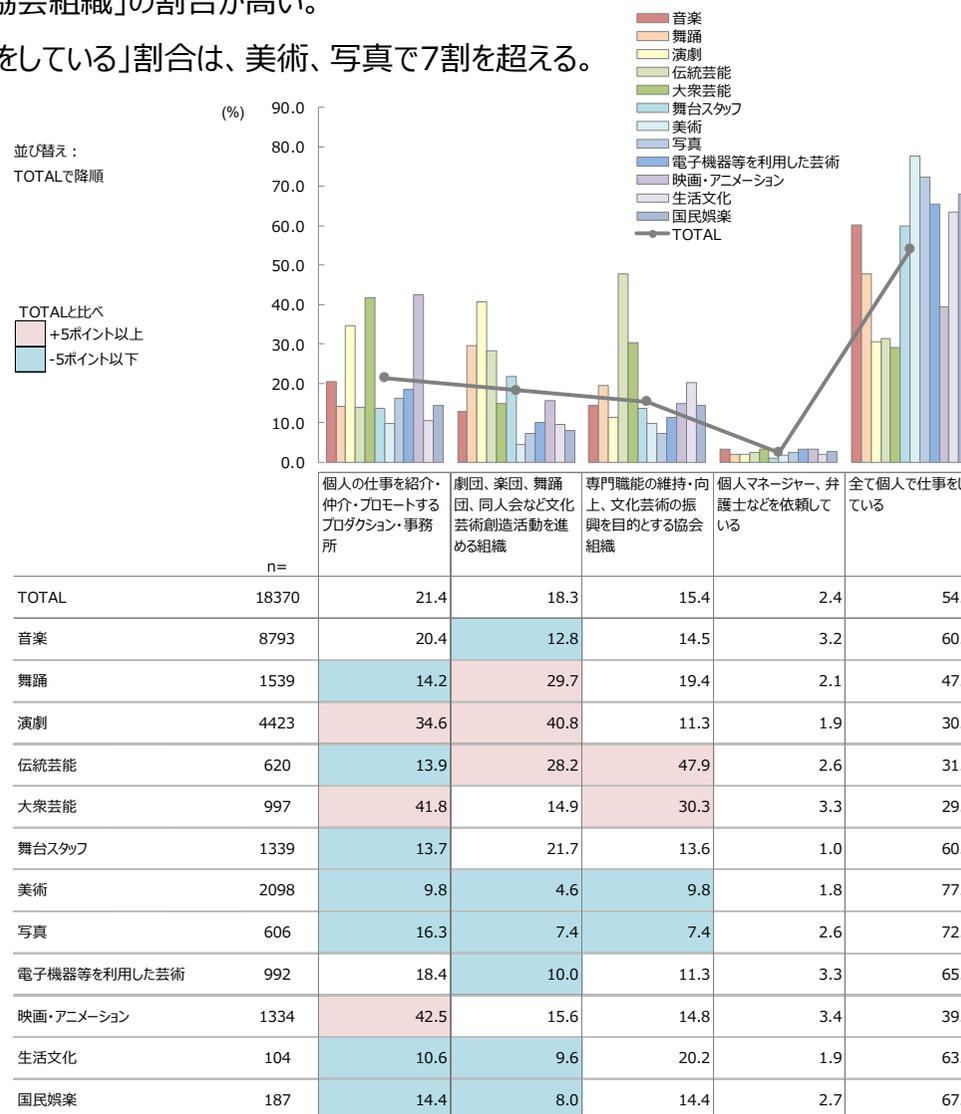


(質問文) Q18 あなたは文化芸術活動続ける上で、必要な組織に参加、所属あるいは業務委託をしていますか。あてはまるものをすべてお答えください。

18.組織への参加・所属状況(MA)

- 活動領域別にみると、映画・アニメーション、大衆芸能、演劇で「個人の仕事を紹介・仲介・プロモートするプロダクション・事務所」、演劇、舞踊、伝統芸能で「劇団、楽団、舞踊団、同人会など文化芸術創造活動を進める組織」、伝統芸能、大衆芸能で「専門職能の維持・向上、文化芸術の振興を目的とする協会組織」の割合が高い。
- なお、組織に属さず「全て個人で仕事をしている」割合は、美術、写真で7割を超える。

18-2.活動領域別(MA)

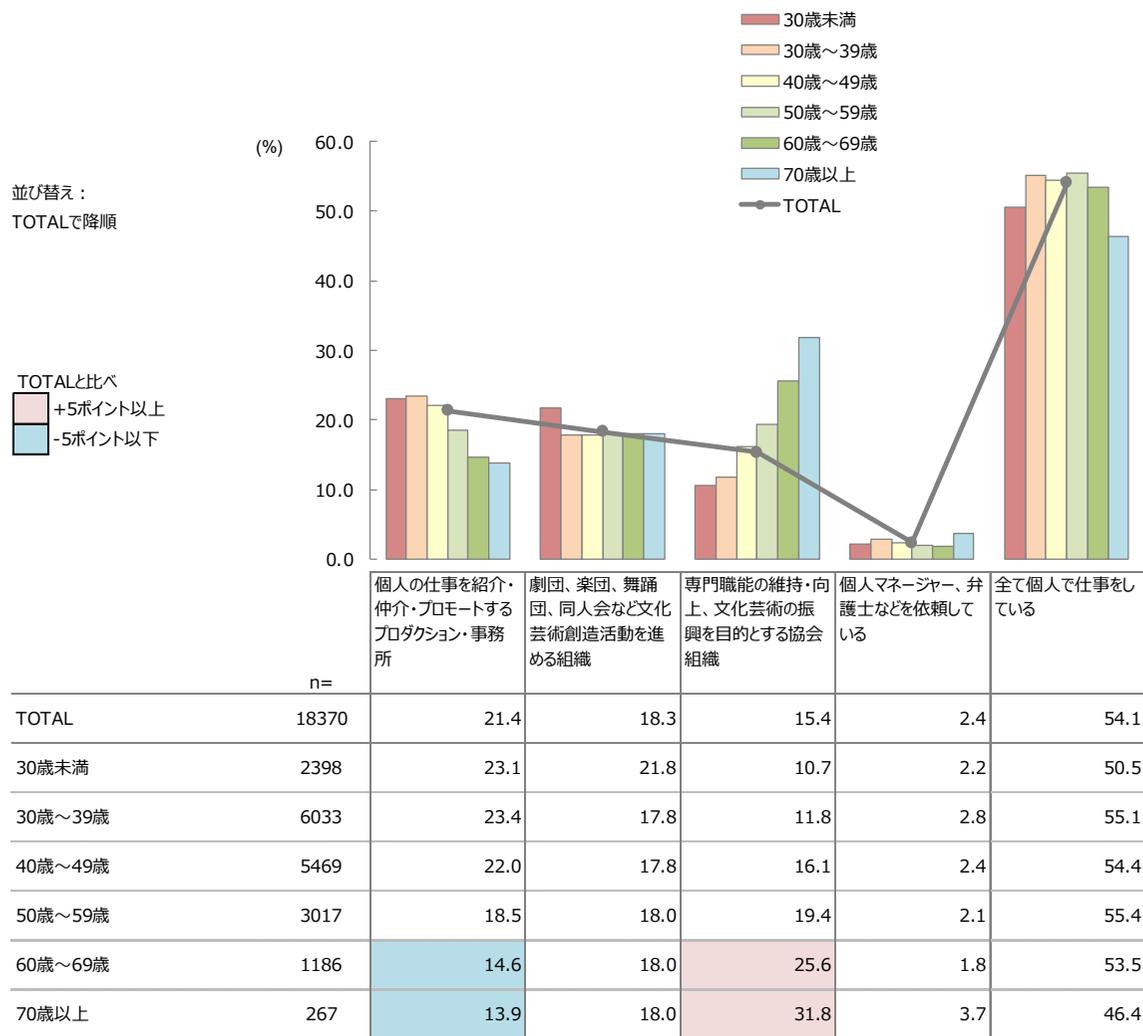


(質問文) Q18 あなたは文化芸術活動を続ける上で、必要な組織に参加、所属あるいは業務委託をしていますか。あてはまるものをすべてお答えください。 73

18.組織への参加・所属状況(MA)

- 年齢別にみると、年齢が若いほど「個人の仕事を紹介・仲介・プロモートするプロダクション・事務所」、年齢が高いほど「専門職能の維持・向上、文化芸術の振興を目的とする協会組織」の割合が高い。

18-3.年齢別(MA)

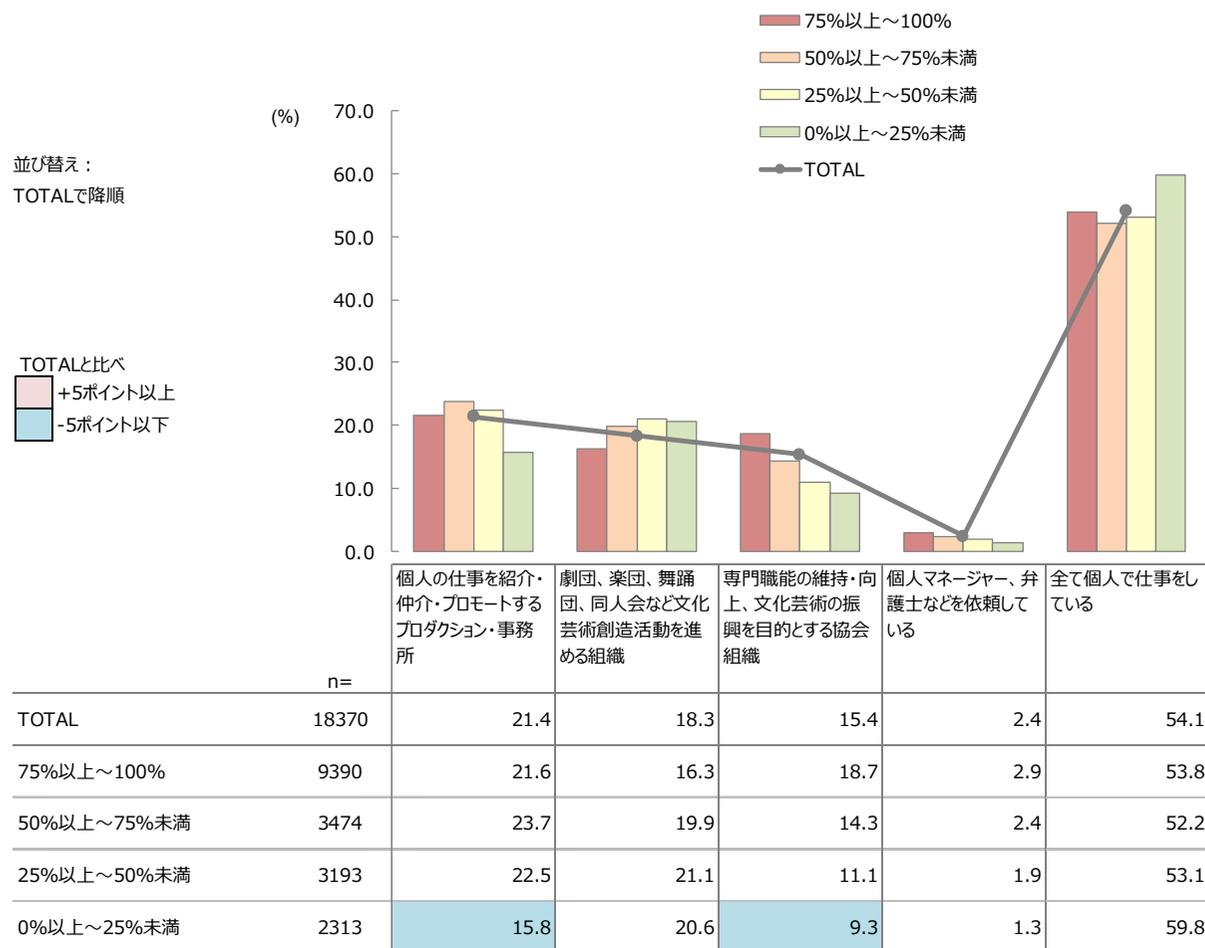


(質問文) Q18 あなたは文化芸術活動を続ける上で、必要な組織に参加、所属あるいは業務委託をしていますか。あてはまるものをすべてお答えください。

18.組織への参加・所属状況(MA)

- 芸術活動の収入割合別にみると、芸術活動の収入割合が0%以上～25%未満は、組織に属さず「全て個人で仕事をしている」割合が6割。

18-4.芸術活動の収入割合別(MA)

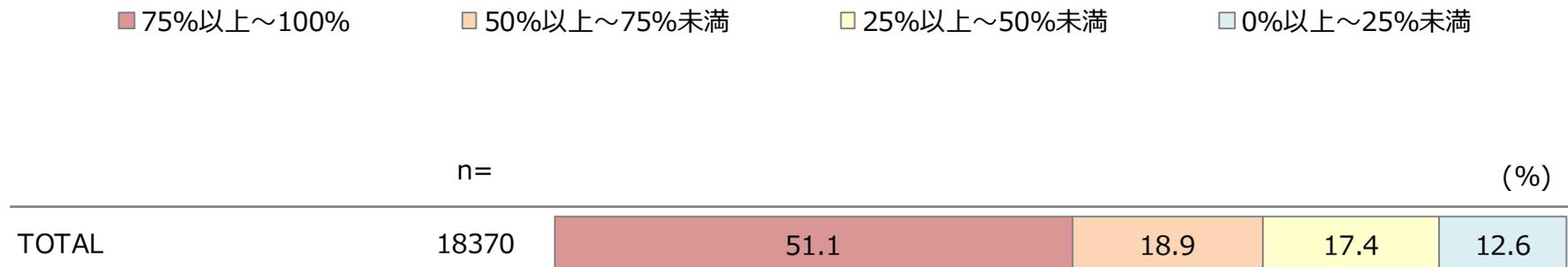


(質問文) Q18 あなたは文化芸術活動を続ける上で、必要な組織に参加、所属あるいは業務委託をしていますか。あてはまるものをすべてお答えください。 75

19.全収入に占める芸術活動からの収入割合(SA)

- TOTALでは、「75%以上～100%」が最も多く、51.1%。「50%以上～75%未満」18.9%、「25%以上～50%未満」17.4%が続く。

19-1.TOTAL結果(SA)

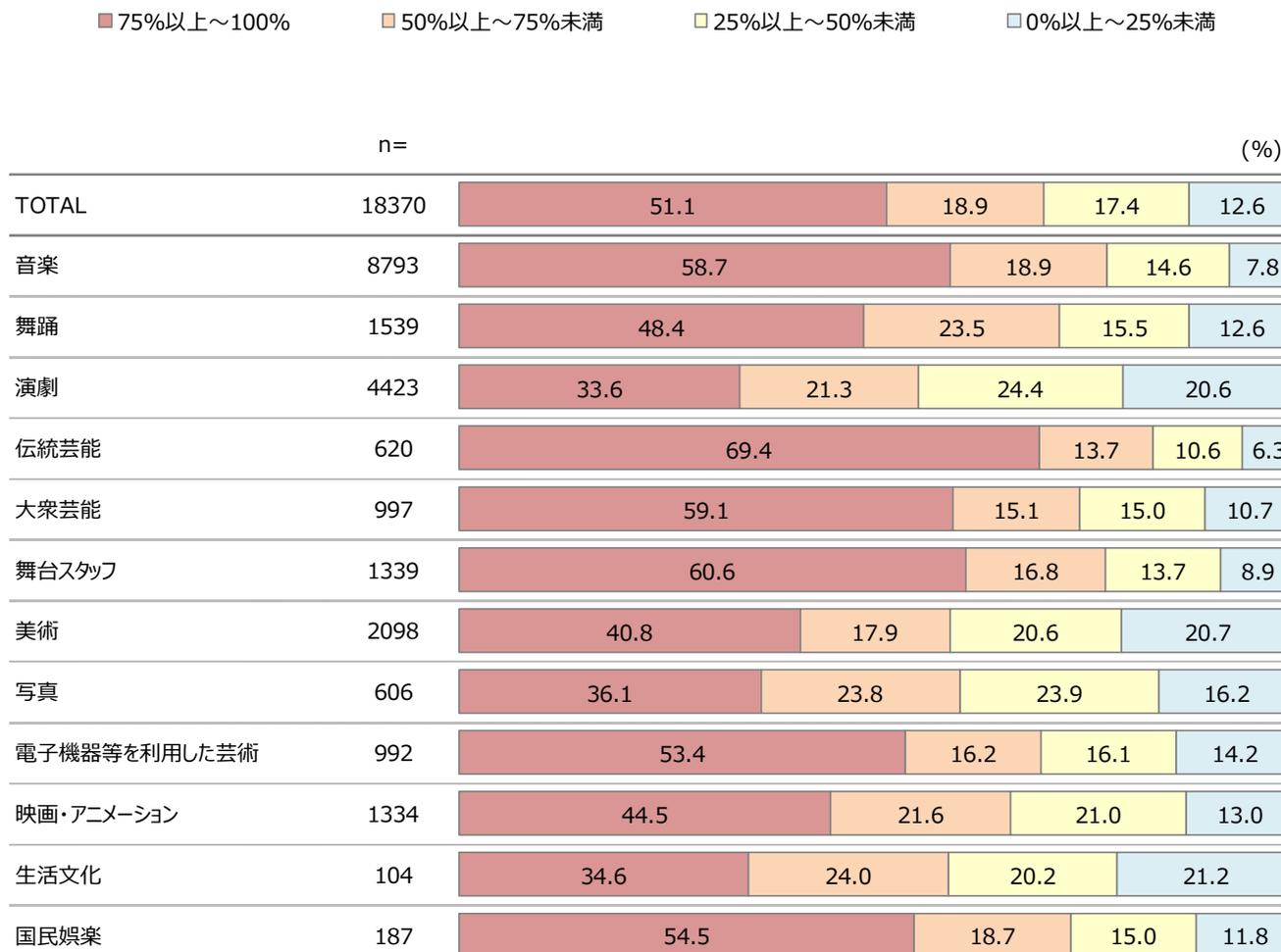


(質問文) Q19 通常の「あなた」の全収入に占める芸術活動からの収入の割合を教えてください。

19.全収入に占める芸術活動からの収入割合(SA)

- 活動領域別にみると、「75%以上～100%」は伝統芸能で高く69.4%。「舞台スタッフ」、「大衆芸能」、「音楽」などで6割前後を占める。

19-2.活動領域別(SA)

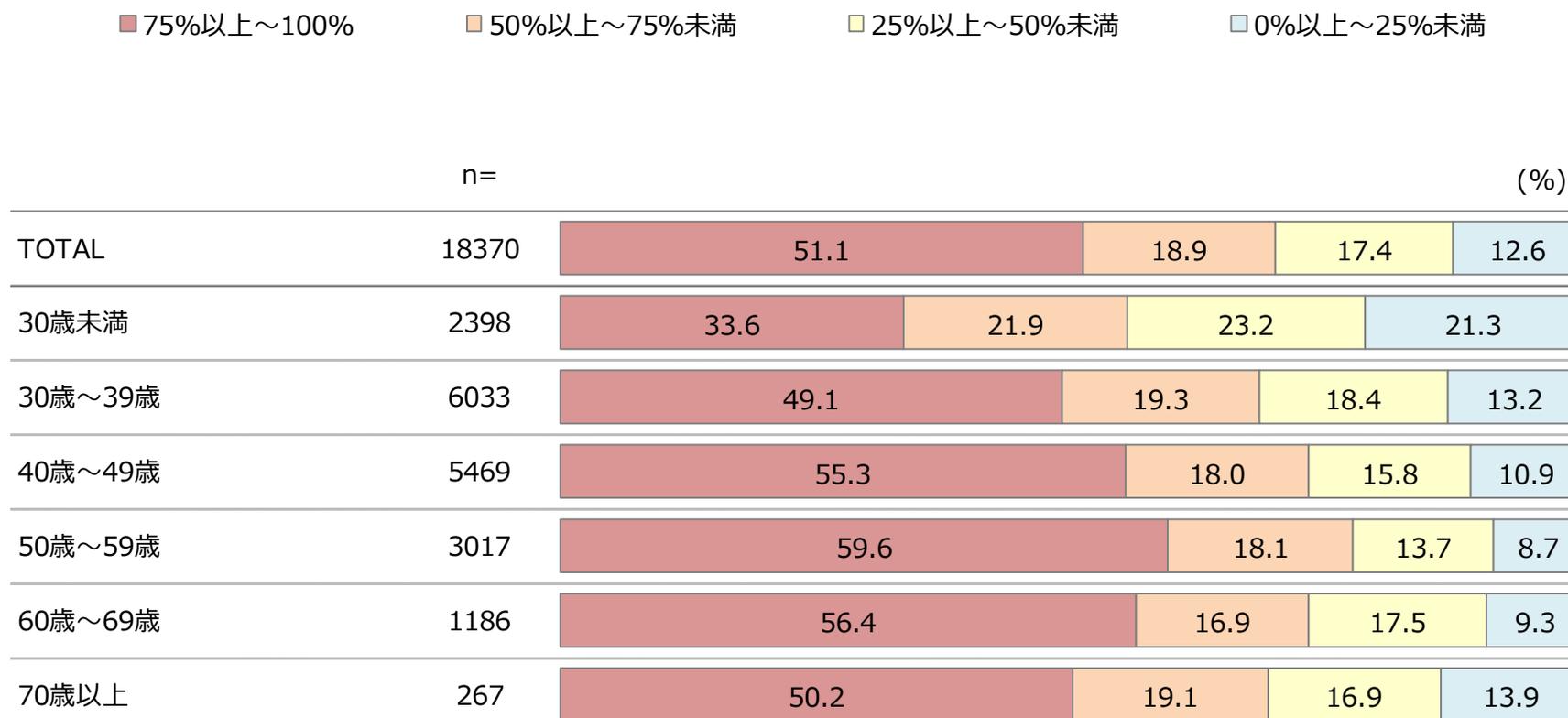


(質問文) Q19 通常の「あなた」の全収入に占める芸術活動からの収入の割合を教えてください。 77

19.全収入に占める芸術活動からの収入割合(SA)

- 年齢別にみると、40歳～69歳は「75%以上～100%」が5割を超える。

19-3.年齢別(SA)

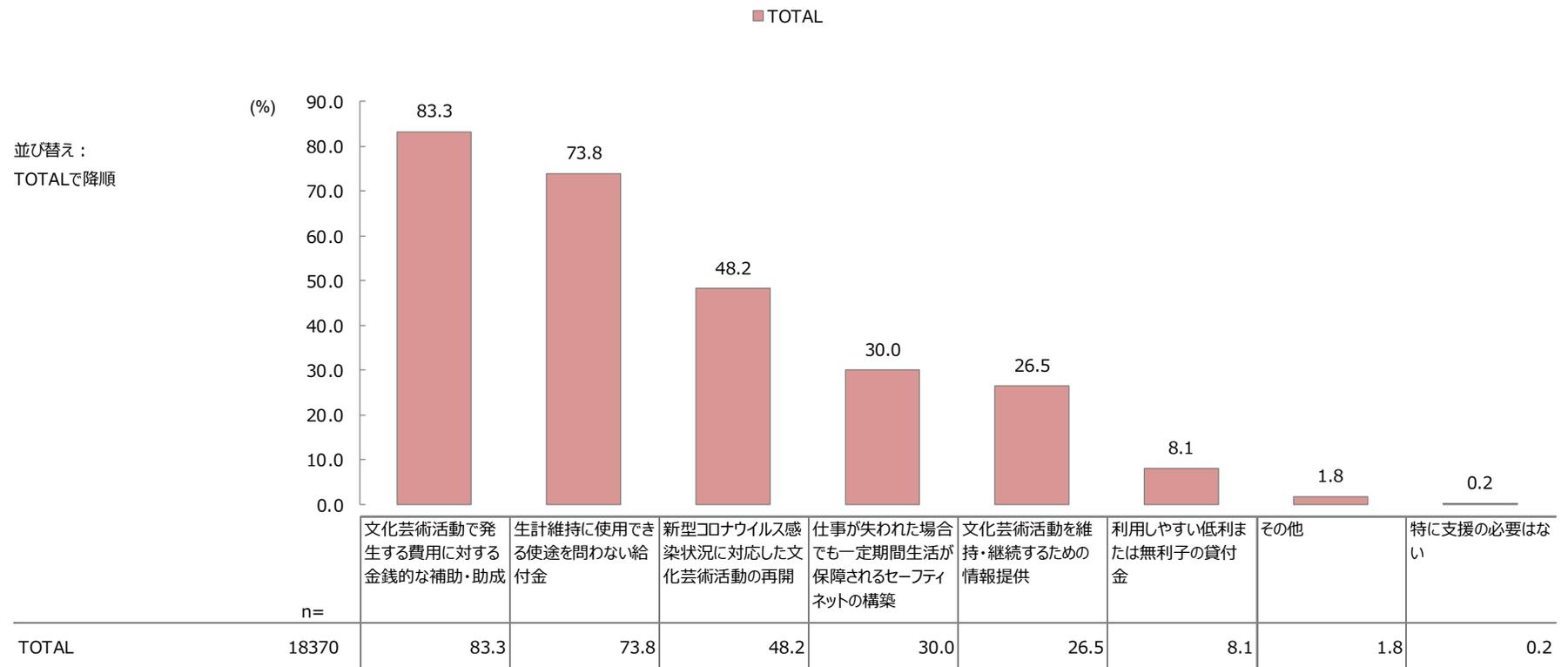


(質問文) Q19 通常の「あなた」の全収入に占める芸術活動からの収入の割合を教えてください。

20.文化芸術活動を続ける上で、今、必要なこと(MA)

- TOTALでは、「文化芸術活動で発生する費用に対する金銭的な補助・助成」が最も多く、83.3%。「生計維持に使用できる用途を問わない給付金」73.8%、「新型コロナウイルス感染状況に対応した文化芸術活動の再開」48.2%が続く。

20-1.TOTAL結果(MA)

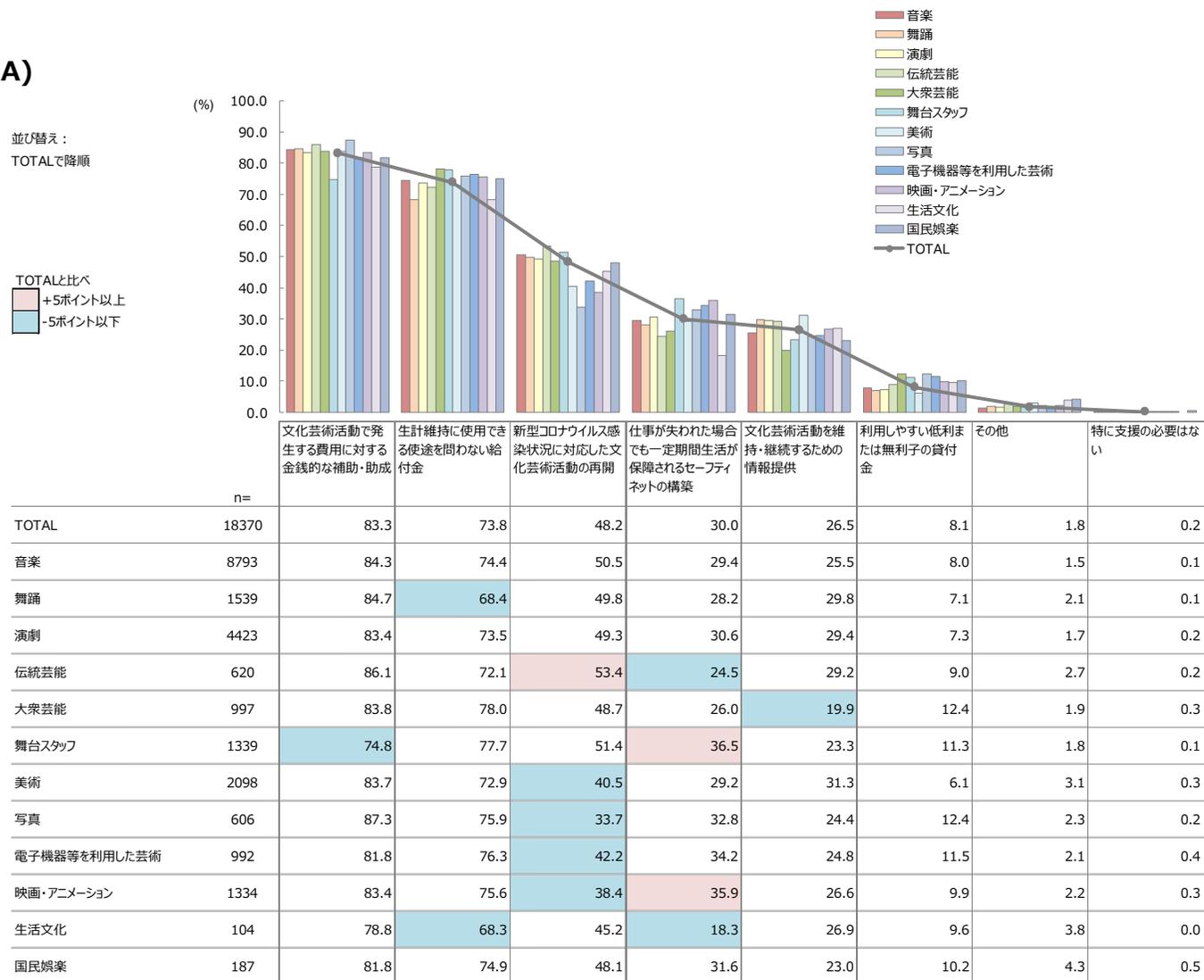


(質問文) Q20 あなたが文化芸術活動を続ける上で、今、必要なことを3つまでお答えください。

20.文化芸術活動を続ける上で、今、必要なこと(MA)

- 活動領域別にみると、伝統芸能で「新型コロナウイルス感染状況に対応した文化芸術活動の再開」、舞台スタッフ、映画・アニメーションで「仕事が失われた場合でも一定期間生活が保障されるセーフティネットの構築」の割合が高い。

20-2.活動領域別(MA)

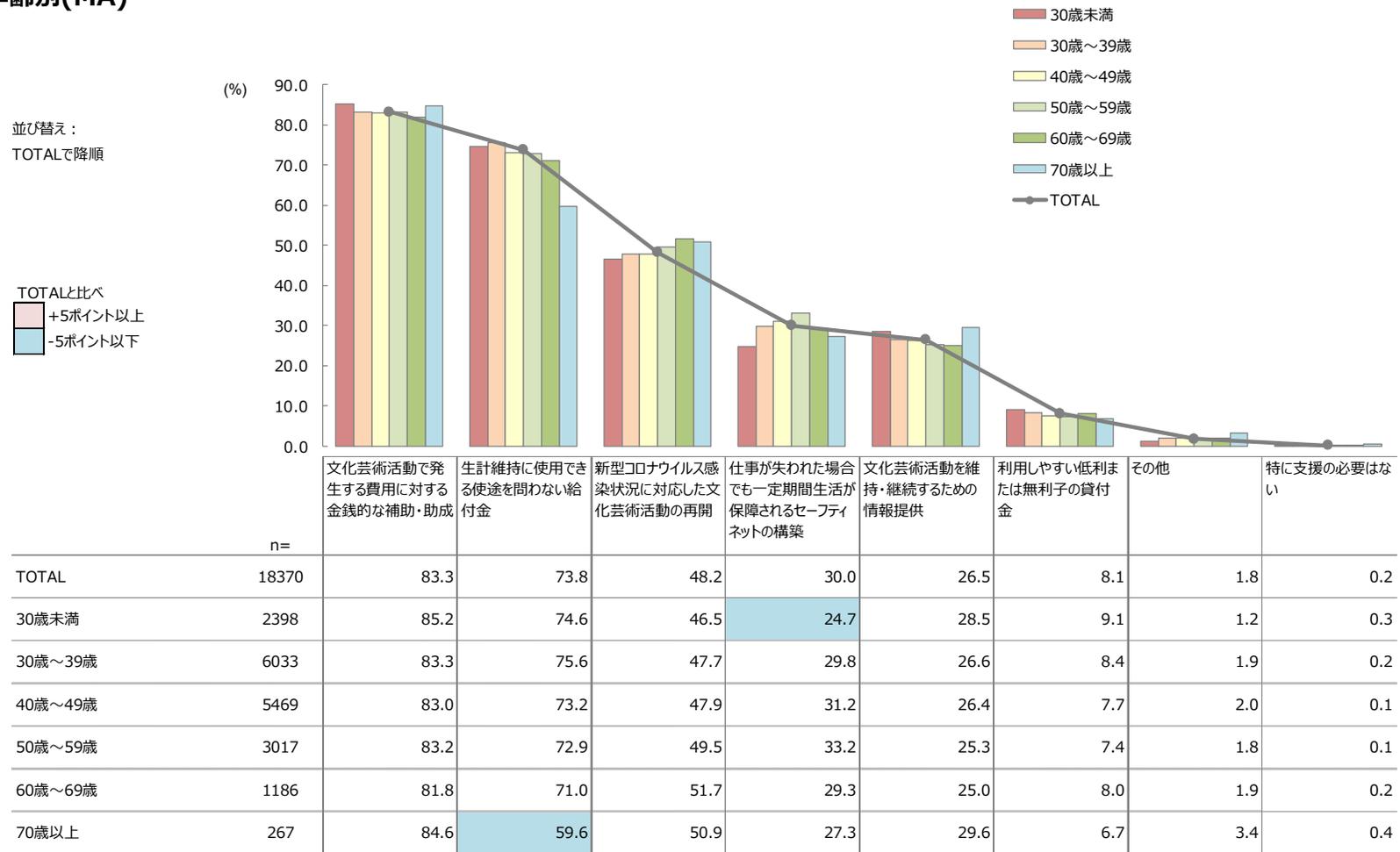


(質問文) Q20 あなたが文化芸術活動を続ける上で、今、必要なことを3つまでお答えください。 80

20.文化芸術活動を続ける上で、今、必要なこと(MA)

- 年齢別にみると、70歳以上を除いて各項目に大きな差異は見られない。

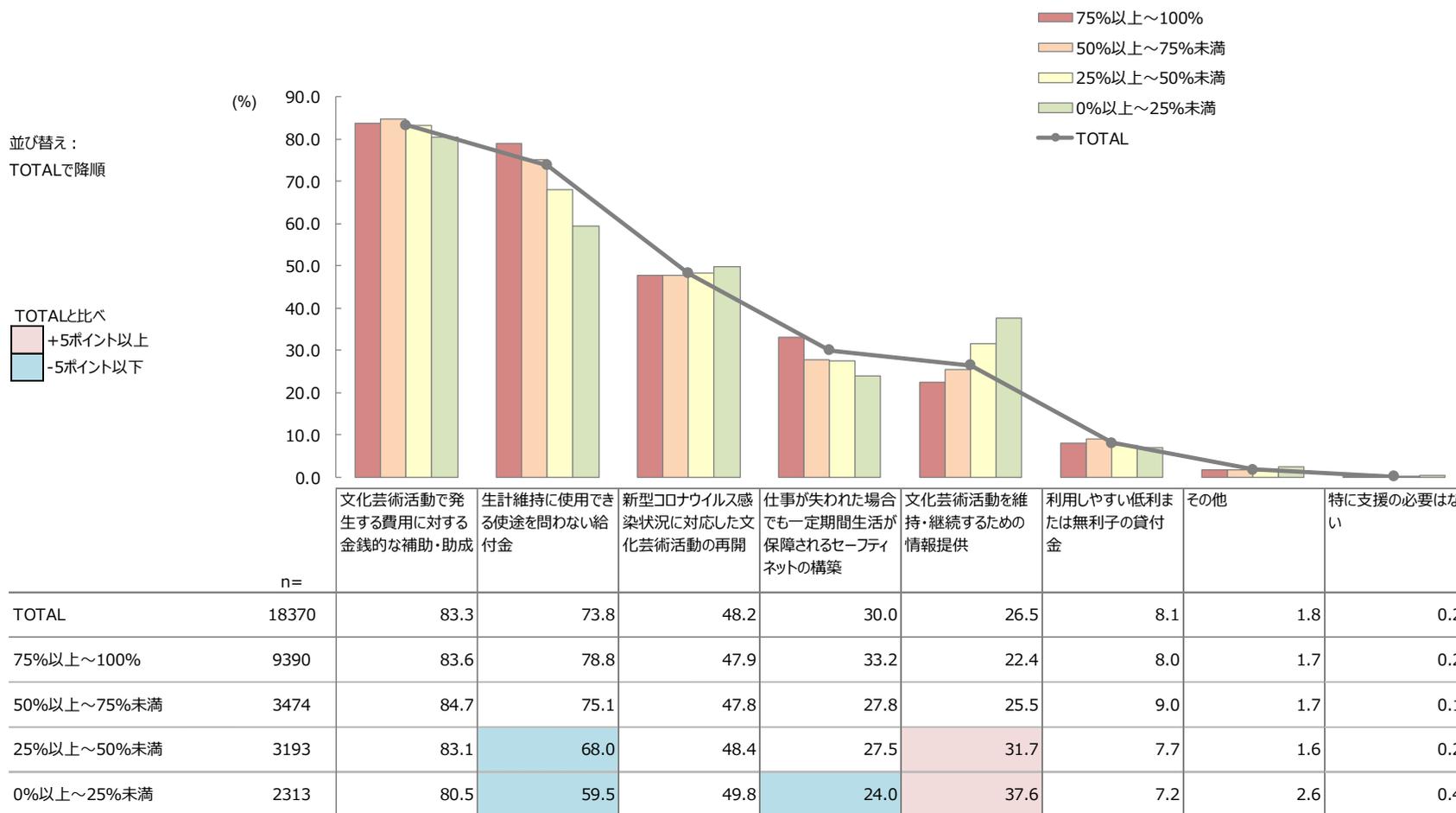
20-3.年齢別(MA)



20.文化芸術活動を続ける上で、今、必要なこと(MA)

- 芸術活動の収入割合別にみると、芸術活動の収入割合が小さいほど「文化芸術活動を維持・継続するための情報提供」の割合が高い。

20-4.芸術活動の収入割合別(MA)

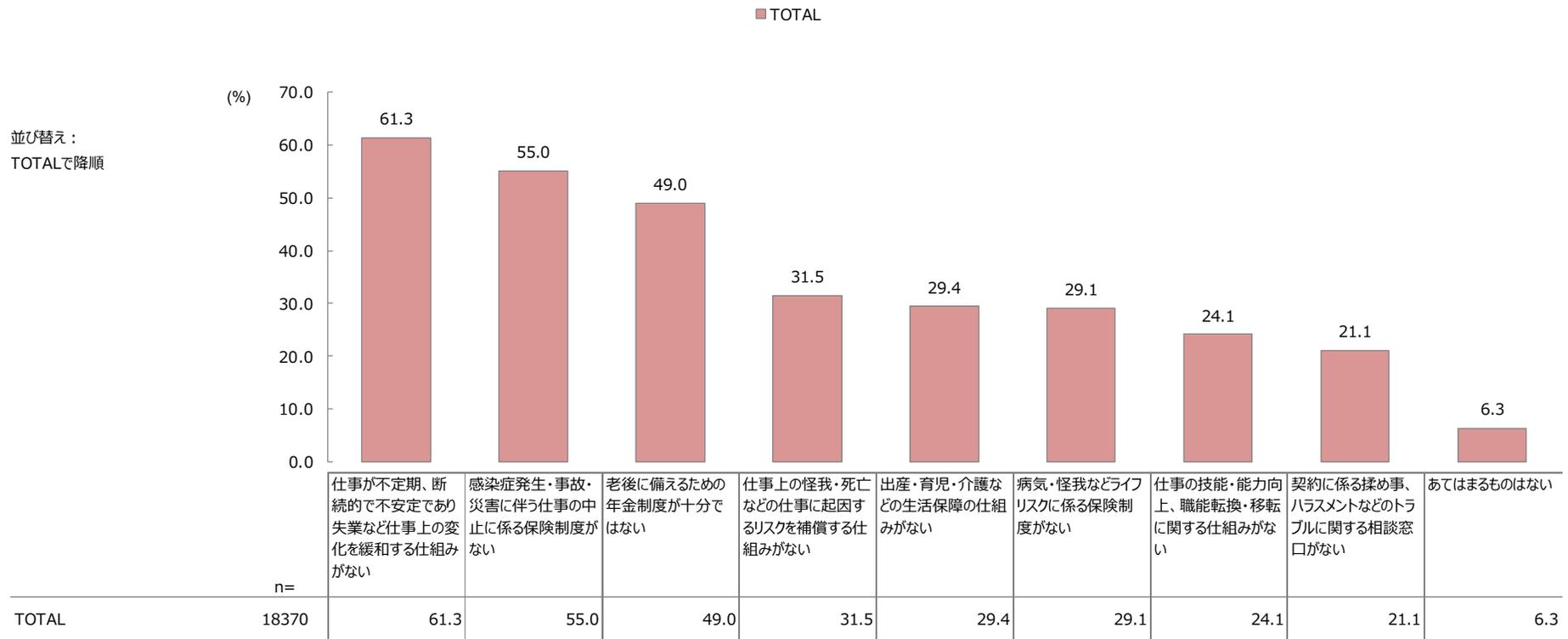


(質問文) Q20 あなたが文化芸術活動を続ける上で、今、必要なことを3つまでお答えください。 82

21.文化芸術活動を続ける上で、感じている課題(MA)

- TOTALでは、「仕事が不規則、断続的で不安定であり失業など仕事上の変化を緩和する仕組みがない」が最も多く、61.3%。「感染症発生・事故・災害に伴う仕事の上止に係る保険制度がない」55.0%、「老後に備えるための年金制度が十分ではない」49.0%が続く。

21-1.TOTAL結果(MA)

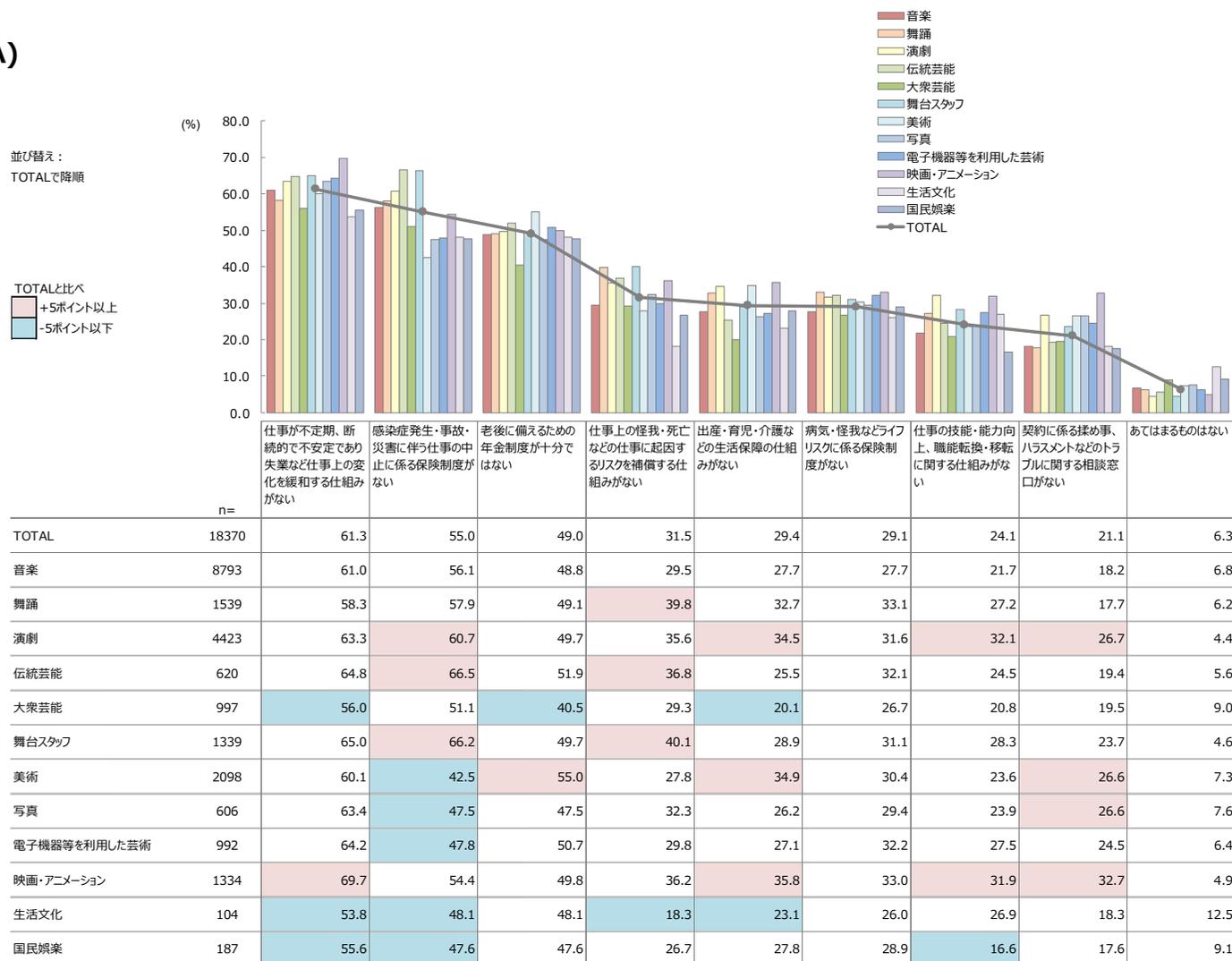


(質問文) Q21 文化芸術活動を続ける上で、あなたが感じている課題について、あてはまることをすべて教えてください。

21.文化芸術活動を続ける上で、感じている課題(MA)

- 活動領域別にみると、映画・アニメーションで「仕事が不定期、断続的で不安定であり失業など仕事上の変化を緩和する仕組みがない」、伝統芸能、舞台スタッフ、演劇で「感染症発生・事故・災害に伴う仕事の上の中止に係る保険制度がない」、美術で「老後に備えるための年金制度が十分ではない」等が高い。

21-2.活動領域別(MA)

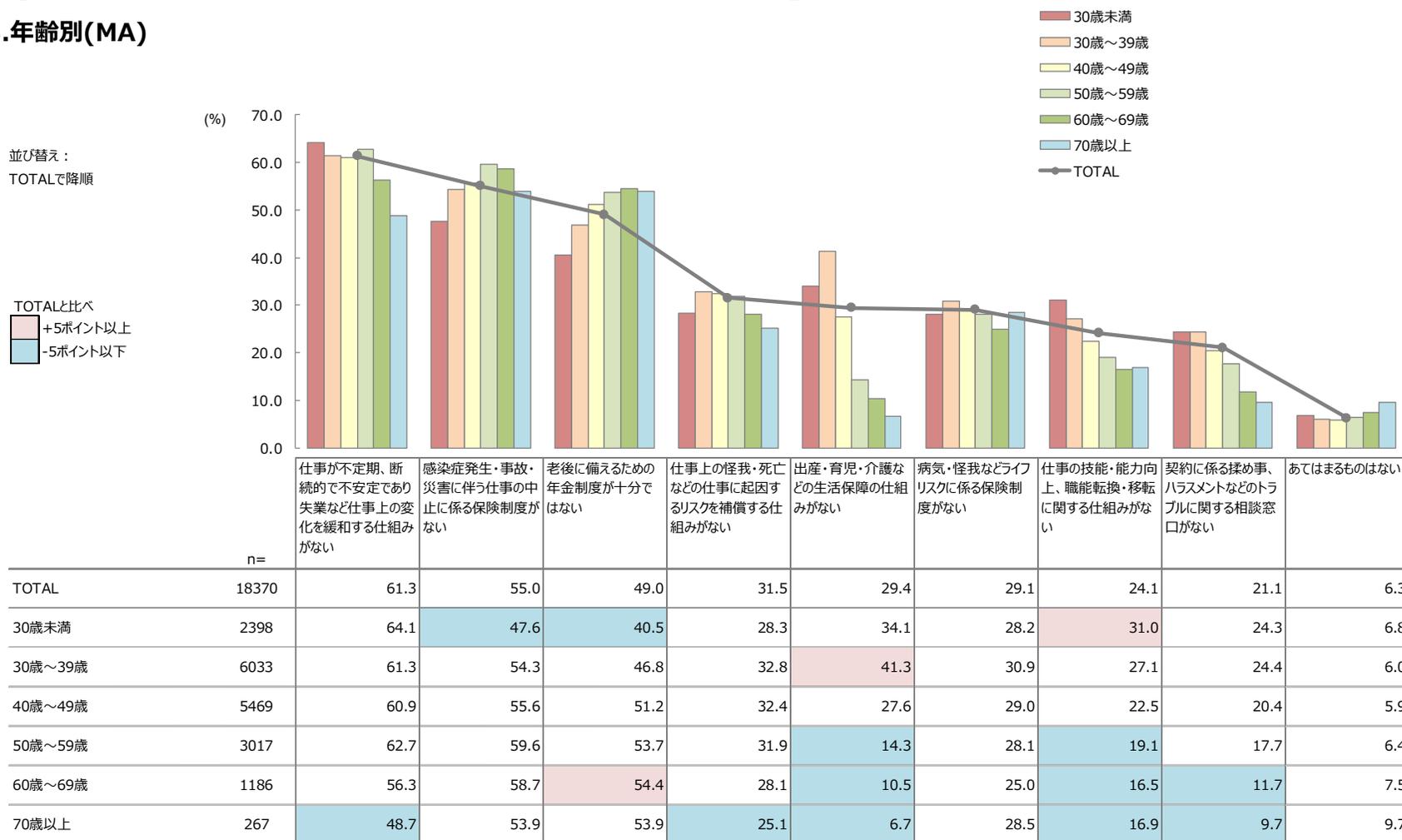


(質問文) Q21 文化芸術活動を続ける上で、あなたが感じている課題について、あてはまることをすべて教えてください。 84

21.文化芸術活動を続ける上で、感じている課題(MA)

- 年齢別にみると、年齢が若いほど「仕事が不定期、断続的で不安定であり失業など仕事上の変化を緩和する仕組みがない」、年齢が高いほど、「感染症発生・事故・災害に伴う仕事の上止に係る保険制度がない」、「老後に備えるための年金制度が十分ではない」が高い。
- また、若い世代ほど「出産・育児・介護などの生活保障の仕組みがない」、「仕事の技能・能力向上、職能転換・移転に関する仕組みがない」、「契約に係る揉め事、ハラスメントなどのトラブルに関する相談窓口がない」も高い傾向。

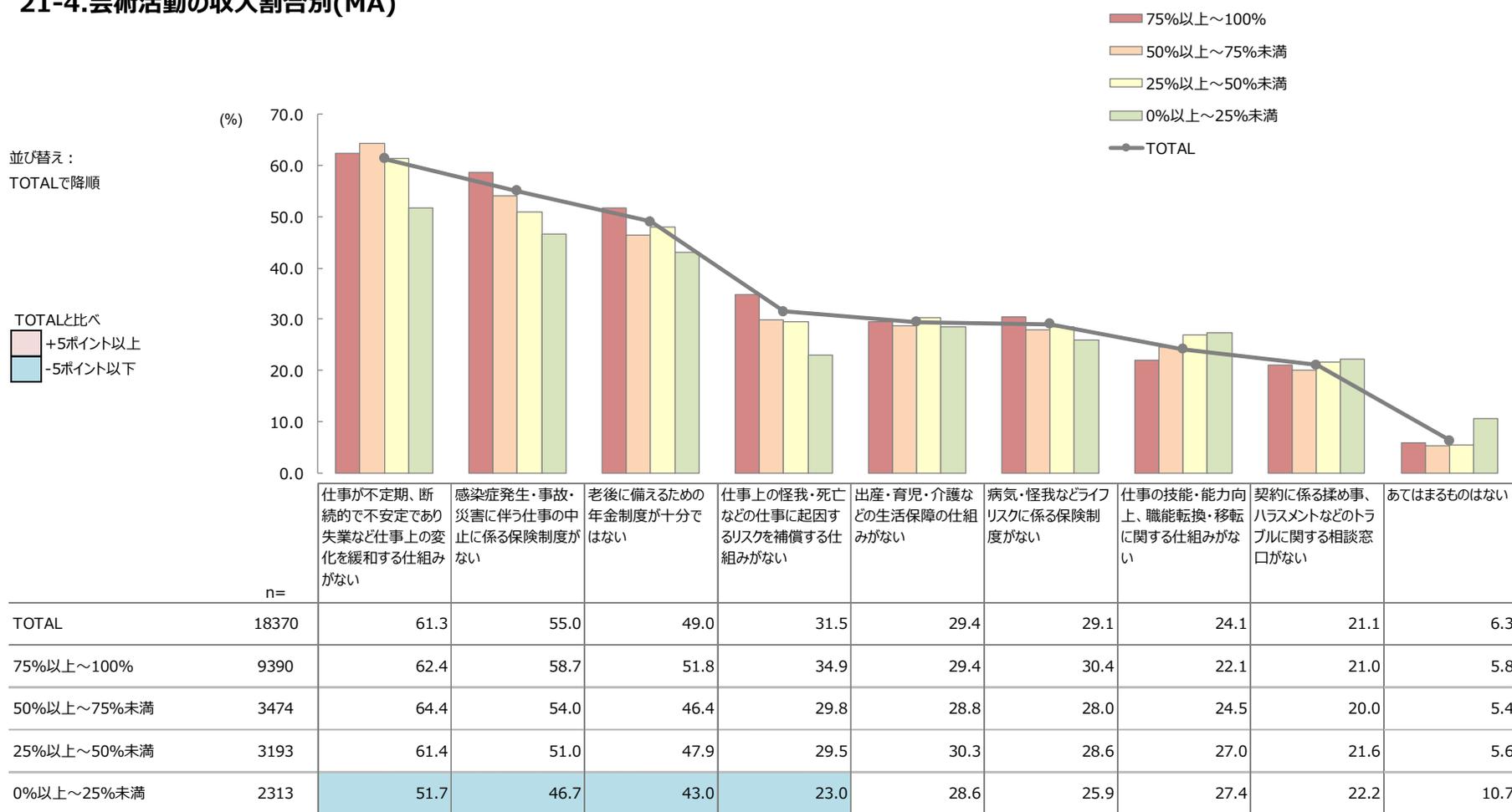
21-3.年齢別(MA)



21.文化芸術活動を続ける上で、感じている課題(MA)

- 芸術活動の収入割合別にみると、芸術活動の収入割合が大きいほど、上位項目の割合が高い傾向となっている。

21-4.芸術活動の収入割合別(MA)



(質問文) Q21 文化芸術活動を続ける上で、あなたが感じている課題について、あてはまることをすべて教えてください。 86

Ⅱ 結果概要

(2) 団体

調査項目(クロス結果)一覧表

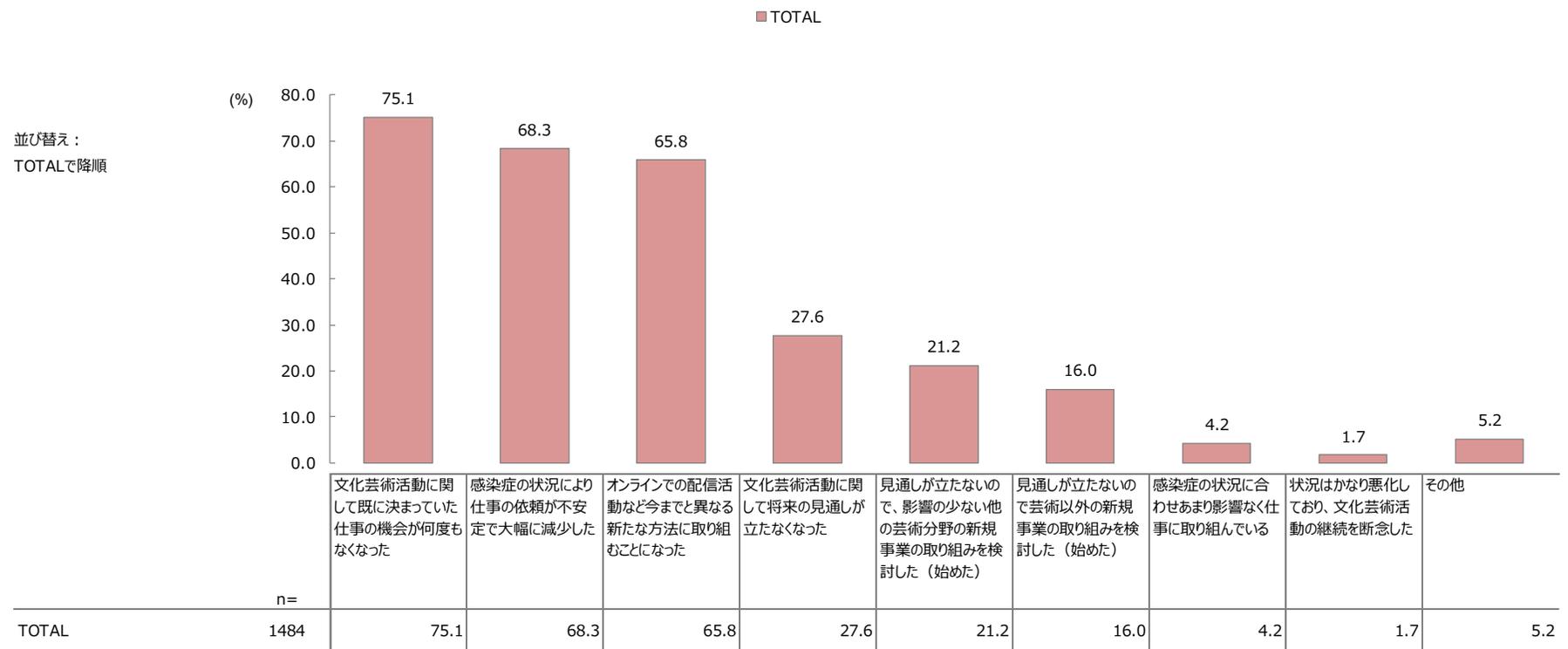
	活動領域別 Q18
(1) 新型コロナウイルス感染拡大による影響	
1. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響 Q1	○
2. 対応が厳しかったこと Q2	○
3. コロナ禍での貴団体の対応 Q3	○
4. 申請した継続支援事業 Q4	○
5. 政府の新型コロナウイルス感染症対策予算に対する考え Q5	○
(2) 団体の活動状況	
6. 2020年の芸術事業収入（対2019年） Q6	○
7. 直近決算での正味財産変化（対2019年） Q7	○
8. 2021年の事業計画の見込み（対2019年） Q8	○
9. 今、活動の継続に必要なこと Q9_1	○
10. 今、活動の継続に最も必要なこと Q9_2	○
11. 危機対応として望む対策 Q10	○
(3) 「文化芸術活動の継続支援事業」について	
12. 「文化芸術活動の継続支援事業」について情報を得たもの Q11_1	○
13. 「文化芸術活動の継続支援事業」について最も有益だった情報 Q11_2	○
14. 事業活用にあたりサポートを受けた関係者・専門家 Q12	○
15. 事業活用にあたって困難だった点や利用しづらかった点 Q13	○
16. 事業の良かった点や便利だった点 Q14	○
17. 事業を通じて得られた効果 Q15	○
18. 事業の総合的な満足度 Q17	○
19. 主な活動分野 Q18	—

※本報告書では、Q16の『「文化芸術活動の継続支援事業」への役立つこと（自由記述）』については割愛。

22.新型コロナウイルス感染症拡大の影響(MA)

- TOTALでは、「文化芸術活動に関して既に決まっていた仕事の機会が何度もなくなった」が最も多く、75.1%。「感染症の状況により仕事の依頼が不安定で大幅に減少した」68.3%、「オンラインでの配信活動など今までと異なる新たな方法に取り組むことになった」65.8%が続く。

22-1.TOTAL結果(MA)

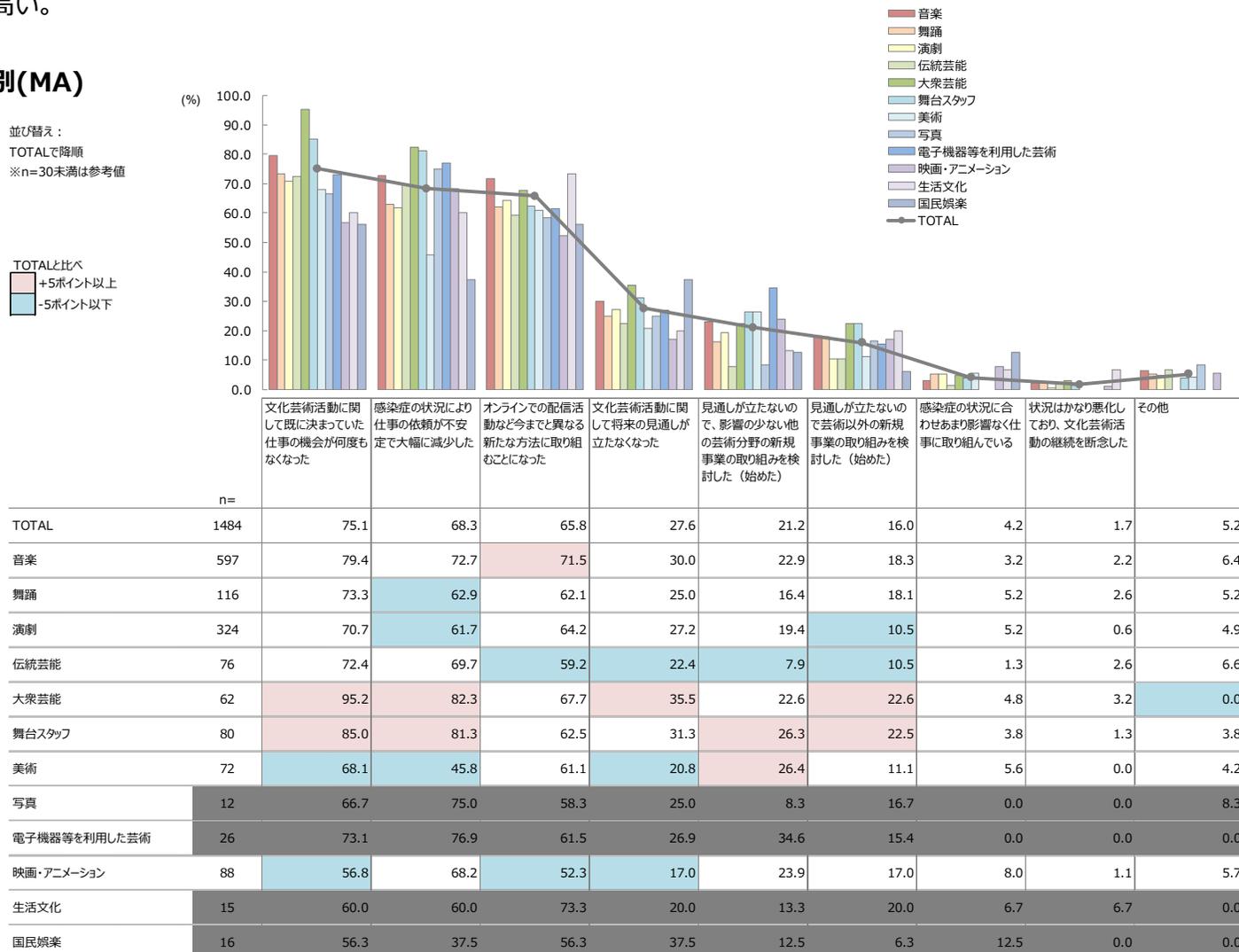


Q1 2回目の「再度緊急事態宣言」や地域によっては「まん延防止等重点措置」が実施されるなど感染症の収束が見通せません。文化イベントの自粛要請から1年経ちますが新型コロナウイルス感染症の影響についてお知らせください。はじめに、新型コロナウイルス感染拡大による影響について伺います。

22.新型コロナウイルス感染症拡大の影響(MA)

- 活動分野別に見ると、大衆芸能、舞台スタッフで「文化芸術活動に関して既に決まっていた仕事の機会が何度もなくなった」、「感染症の状況により仕事の依頼が不安定で大幅に減少した」、音楽で「オンラインでの配信活動など今までと異なる新たな方法に取り組むことになった」割合が高い。

22-2.活動分野別(MA)

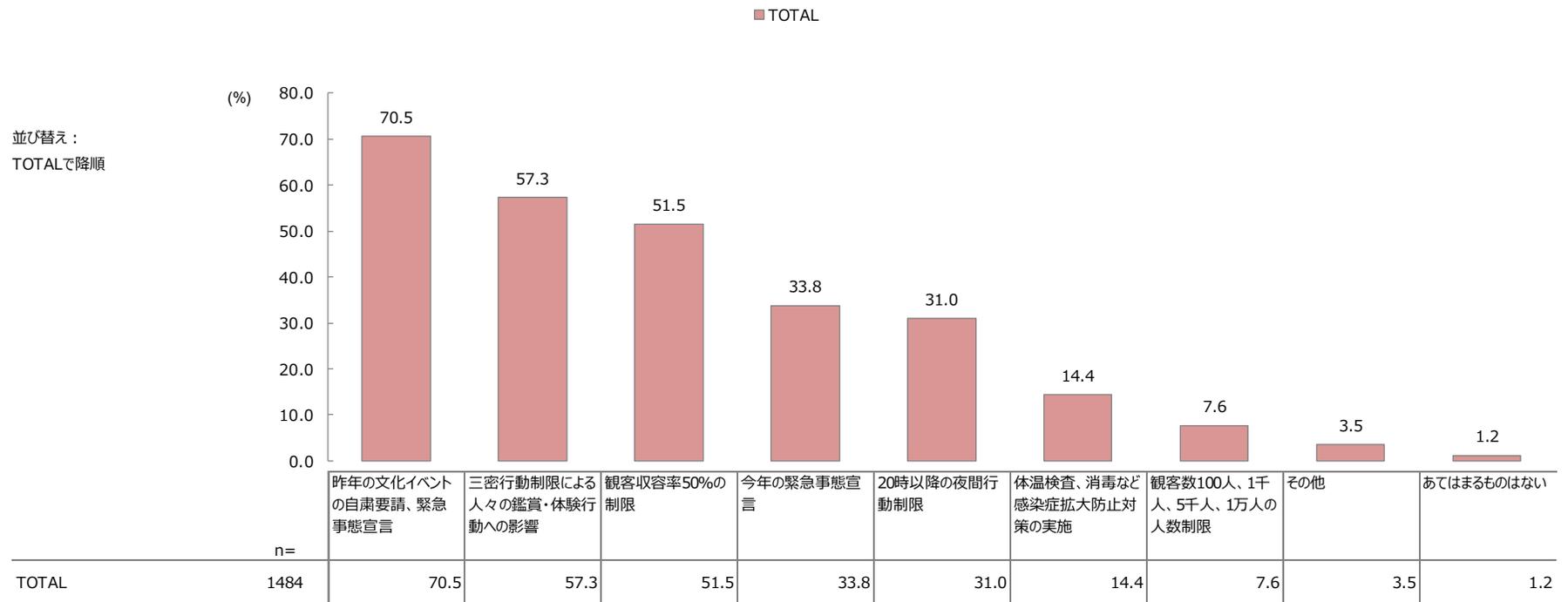


Q1 2回目の「再度緊急事態宣言」や地域によっては「まん延防止等重点措置」が実施されるなど感染症の収束が見通せません。文化イベントの自粛要請から1年経ちますが新型コロナウイルス感染症の影響についてお知らせください。はじめに、新型コロナウイルス感染拡大による影響について伺います。 90

23.対応が厳しかったこと(MA)

- TOTALでは、「昨年の文化イベントの自粛要請、緊急事態宣言」が最も多く、70.5%。「三密行動制限による人々の鑑賞・体験行動への影響」57.3%、「観客収容率50%の制限」51.5%が続く。

23-1.TOTAL結果(MA)

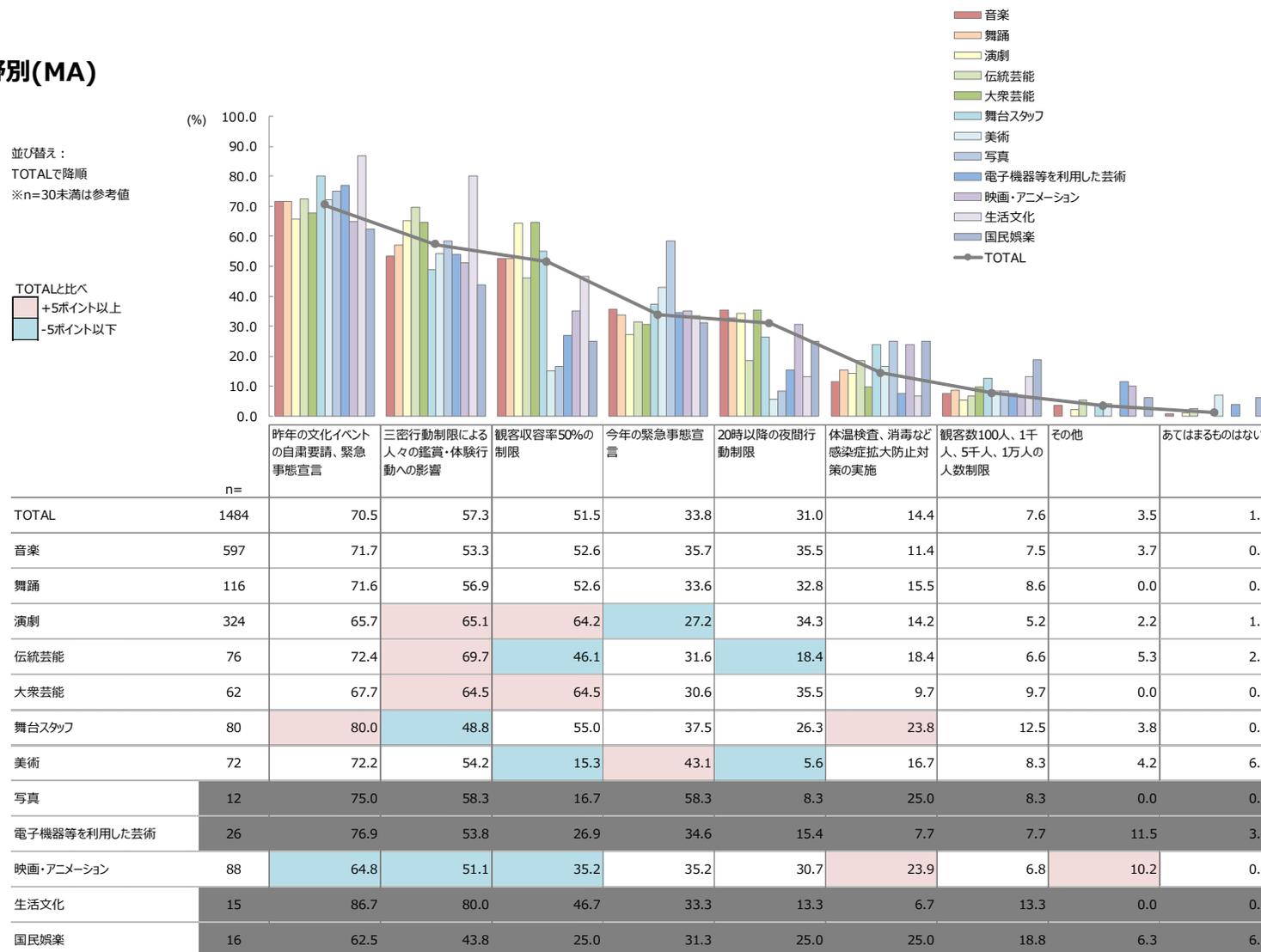


Q2 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、貴団体の文化芸術活動が受けた影響で、対応が厳しかったものを3つまでお答えください。

23.対応が厳しかったこと(MA)

- 活動分野別に見ると、舞台スタッフで「昨年の文化イベントの自粛要請、緊急事態宣言」、伝統芸能、演劇、大衆芸能で「三密行動制限による人々の鑑賞・体験行動への影響」、大衆芸能、演劇で「観客収容率50%の制限」等の割合が高い。

23-2.活動分野別(MA)

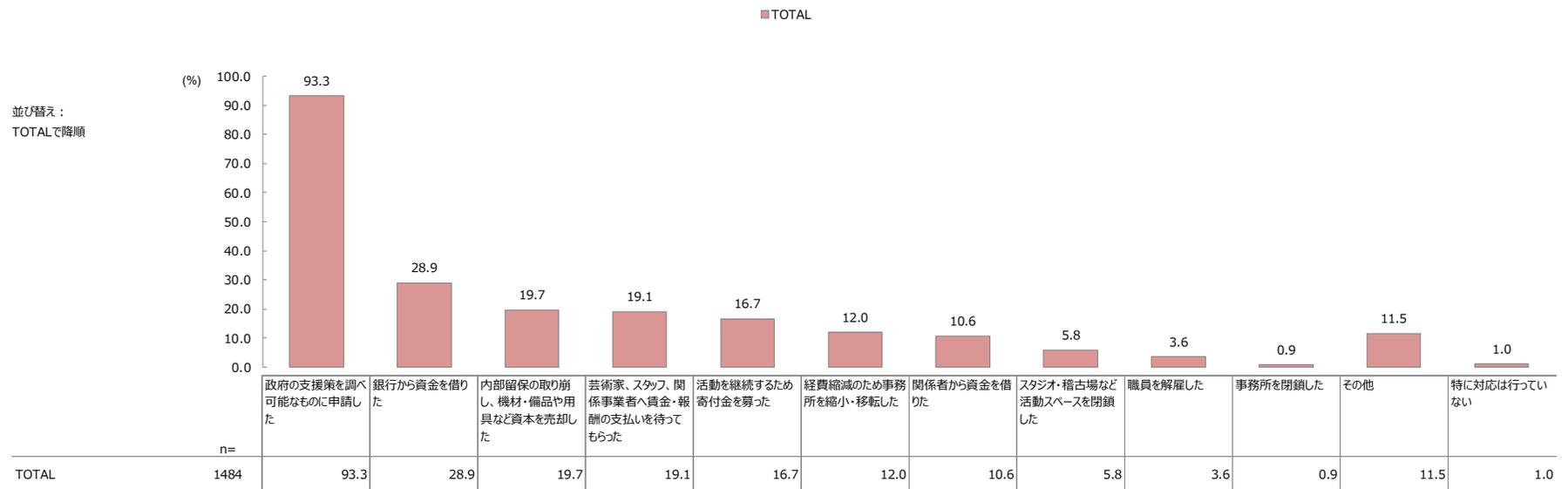


Q2 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、貴団体の文化芸術活動が受けた影響で、対応が厳しかったものを3つまでお答えください。92

24.コロナ禍での貴団体の対応(MA)

- TOTALでは、「政府の支援策を調べ可能なものに申請した」が最も多く、93.3%。「銀行から資金を借りた」28.9%、「内部留保の取り崩し、機材・備品や用具など資本を売却した」19.7%が続く。

24-1.TOTAL結果(MA)

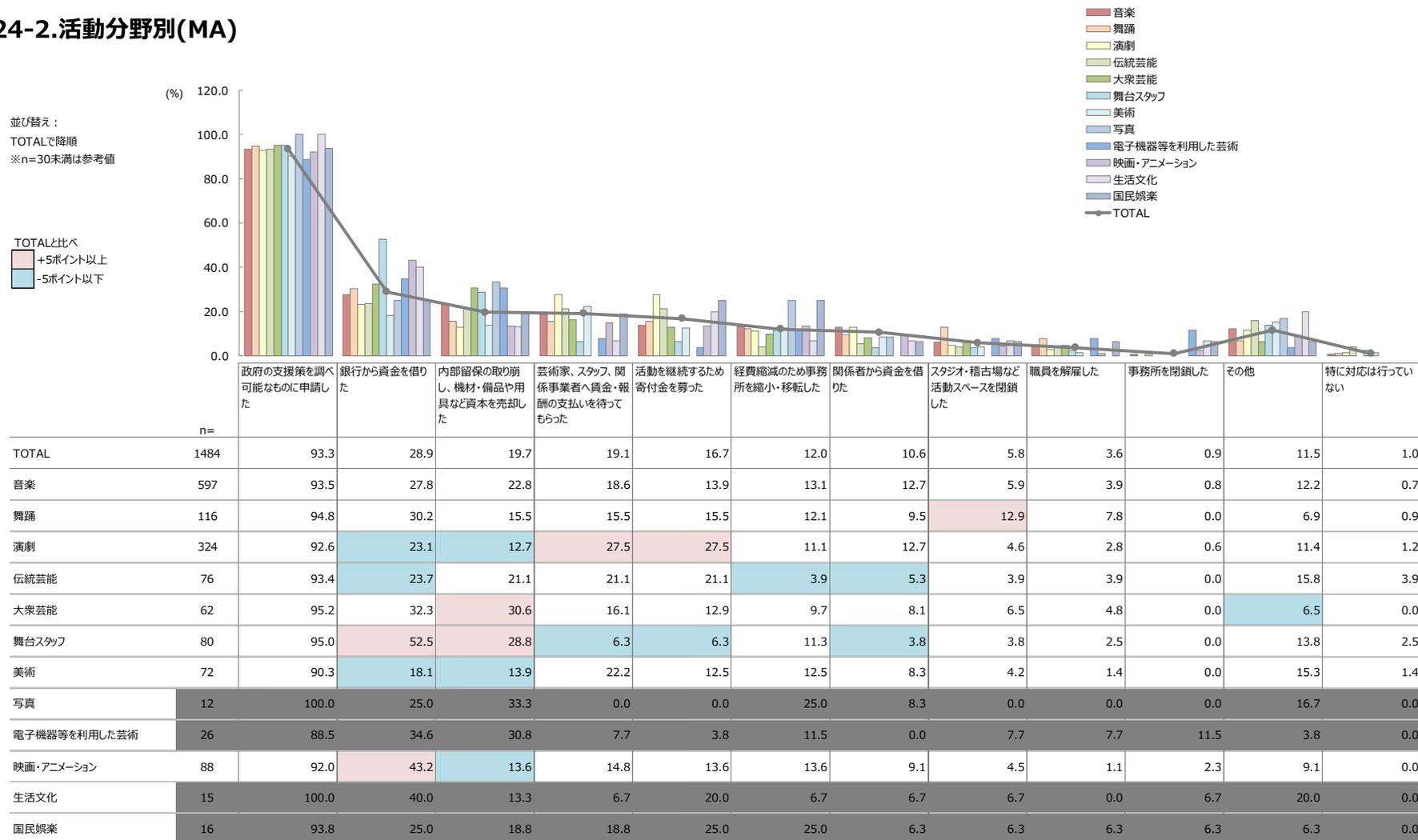


Q3 コロナ禍の危機を乗り越えるため、貴団体ではどのような対応を行いましたか。

24.コロナ禍での貴団体の対応(MA)

- 活動分野別に見ると、「政府の支援策を調べ可能なものに申請した」では大きな差はなく、舞台スタッフ、映画・アニメーションで「銀行から資金を借りた」、大衆芸能、舞台スタッフで「内部留保の取り崩し、機材・備品や用具など資本を売却した」の割合が高い。

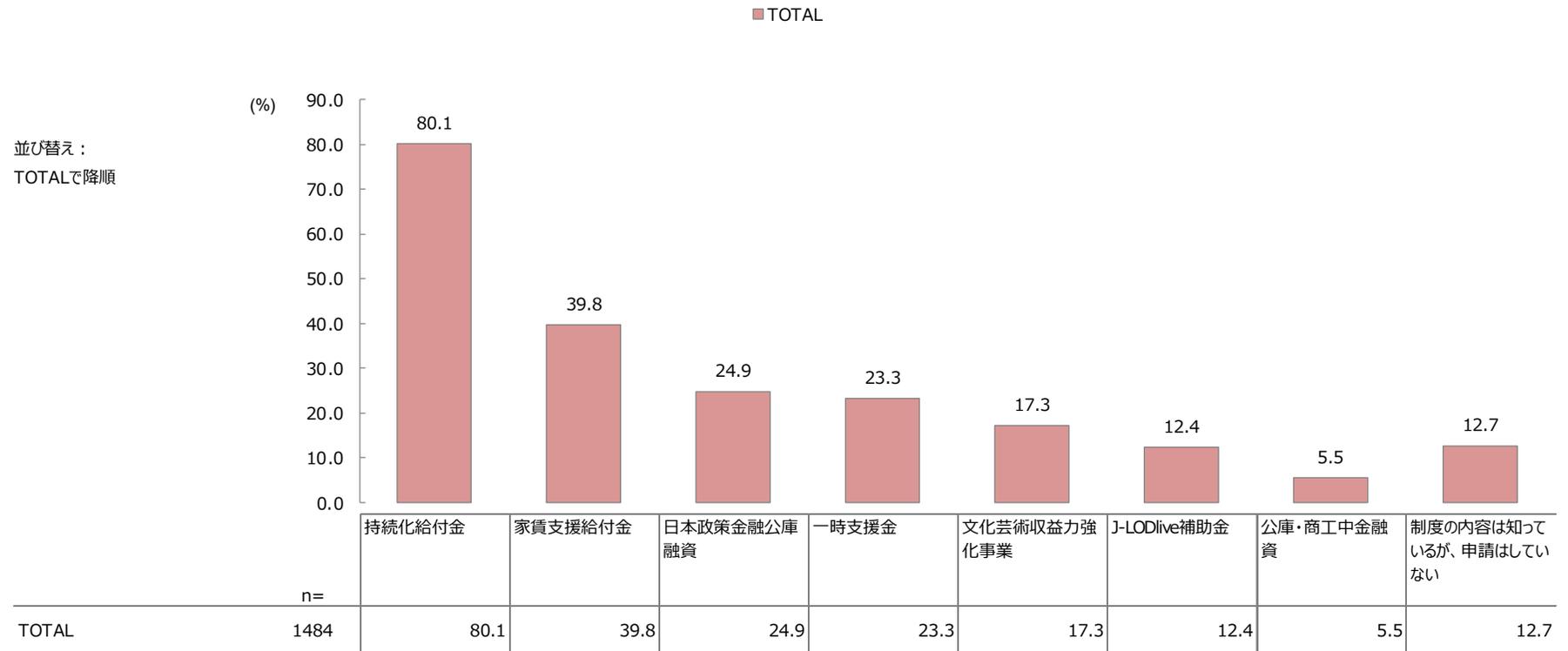
24-2.活動分野別(MA)



25.申請した継続支援事業(MA)

- TOTALでは、「持続化給付金」が最も多く、80.1%。「家賃支援給付金」39.8%、「日本政策金融公庫融資」24.9%が続く。

25-1.TOTAL結果(MA)

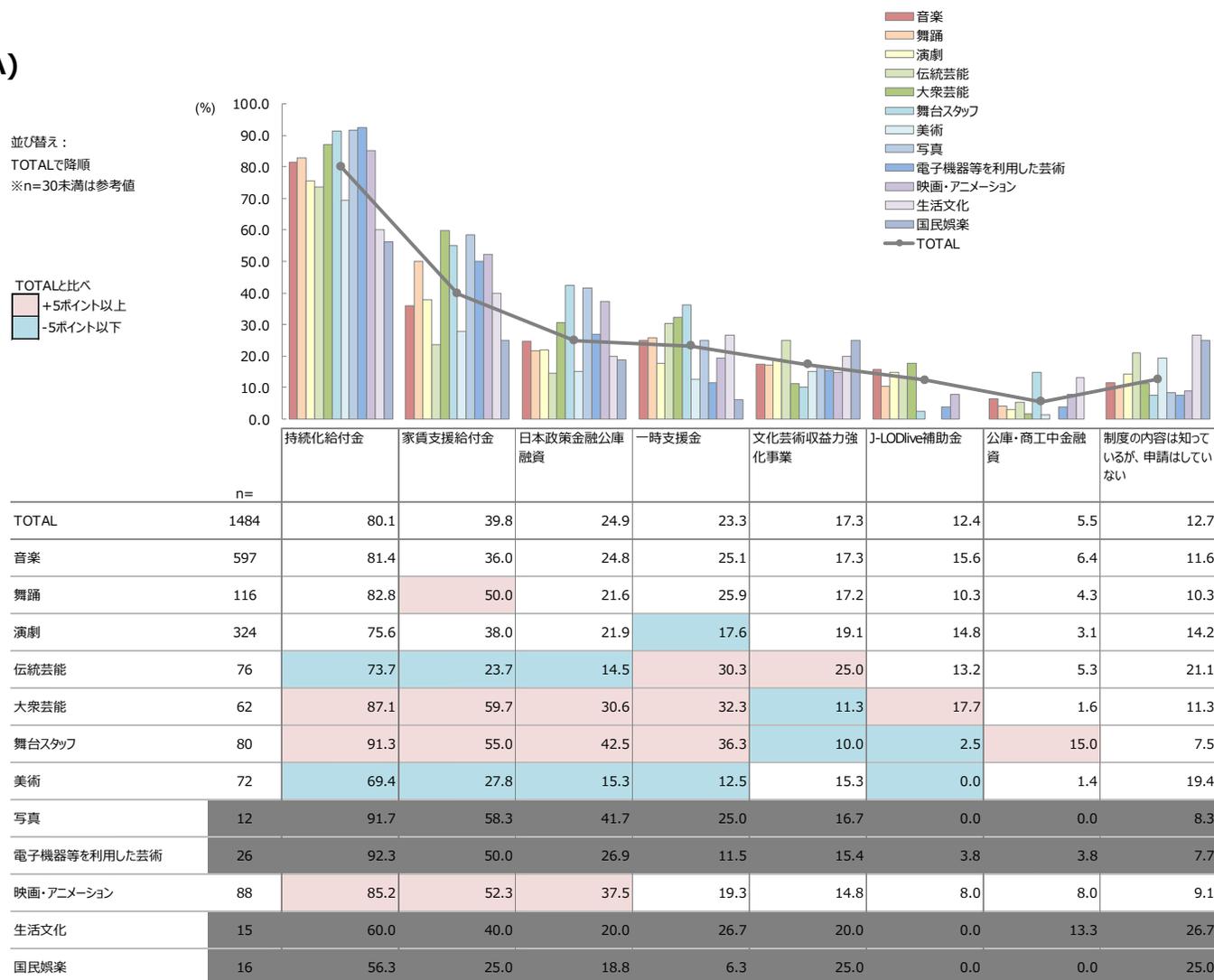


Q4 政府は新型コロナウイルス感染症対策支援のため、さまざまな制度を設けました。以下のような継続支援事業について、貴団体に申請したものをすべてお答えください。

25.申請した継続支援事業(MA)

- 活動分野別にみると、大衆芸能および舞台スタッフで各制度の申請割合が高い傾向。

25-2.活動分野別(MA)



Q4 政府は新型コロナウイルス感染症対策支援のため、さまざまな制度を設けました。以下のような継続支援事業について、貴団体に申請したものをすべてお答えください96

26.政府の新型コロナウイルス感染症対策予算に対する考え(SA)

- TOTALでは、「そう思わない（十分ではない）」が最も多く、61.1%。「どちらともいえない」32.3%、「そう思う」6.7%が続く。

26-1.TOTAL結果(SA)

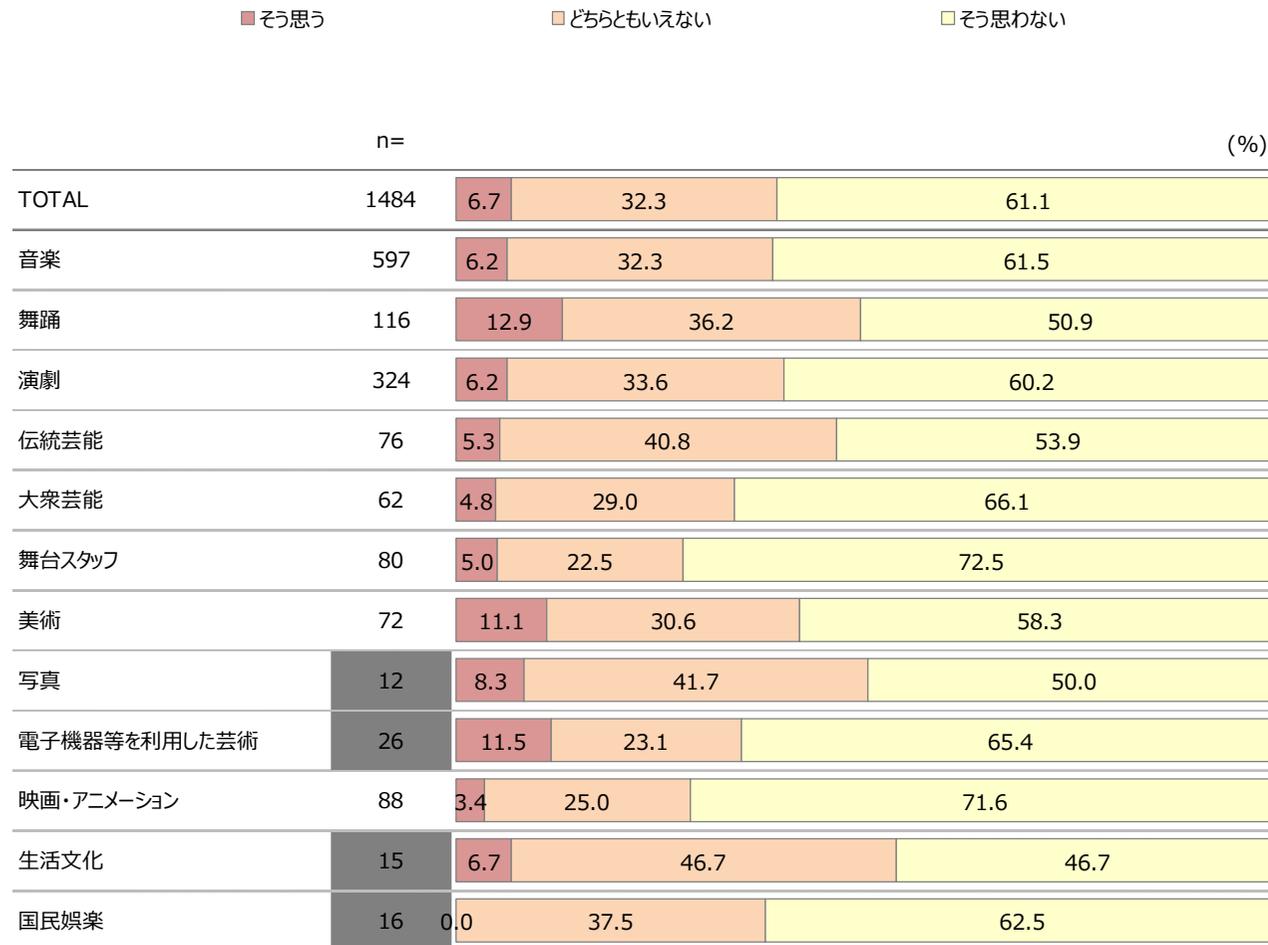


Q5 文化芸術への政府の新型コロナウイルス感染症対策予算は現状から考えて十分だと思いますか。

26.政府の新型コロナウイルス感染症対策予算に対する考え(SA)

- 活動分野別にみると、舞台スタッフ、映画・アニメーションで「そう思わない（十分ではない）」が高く、7割を超える。次いで、大衆芸能66.1%が高い傾向。

26-2.活動分野別(SA)

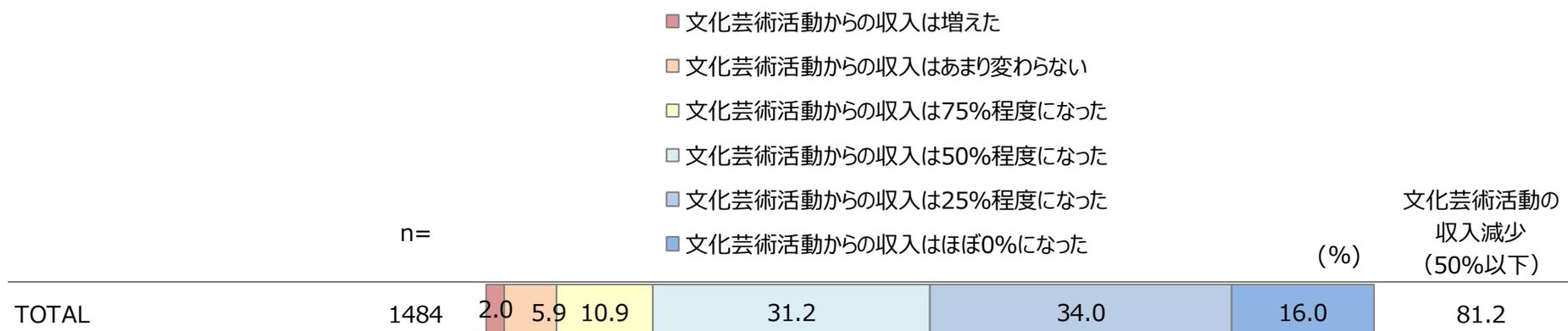


※n=30未満は参考値

27.2020年の芸術事業収入(対2019年)(SA)

- TOTALでは、「文化芸術活動からの収入は25%程度になった」が最も多く、34.0%。「文化芸術活動からの収入は50%程度になった」31.2%、「文化芸術活動からの収入はほぼ0%になった」16.0%が続く。文化芸術活動の収入が減少した割合（50%以下の合計）は81.2%。

27-1.TOTAL結果(SA)

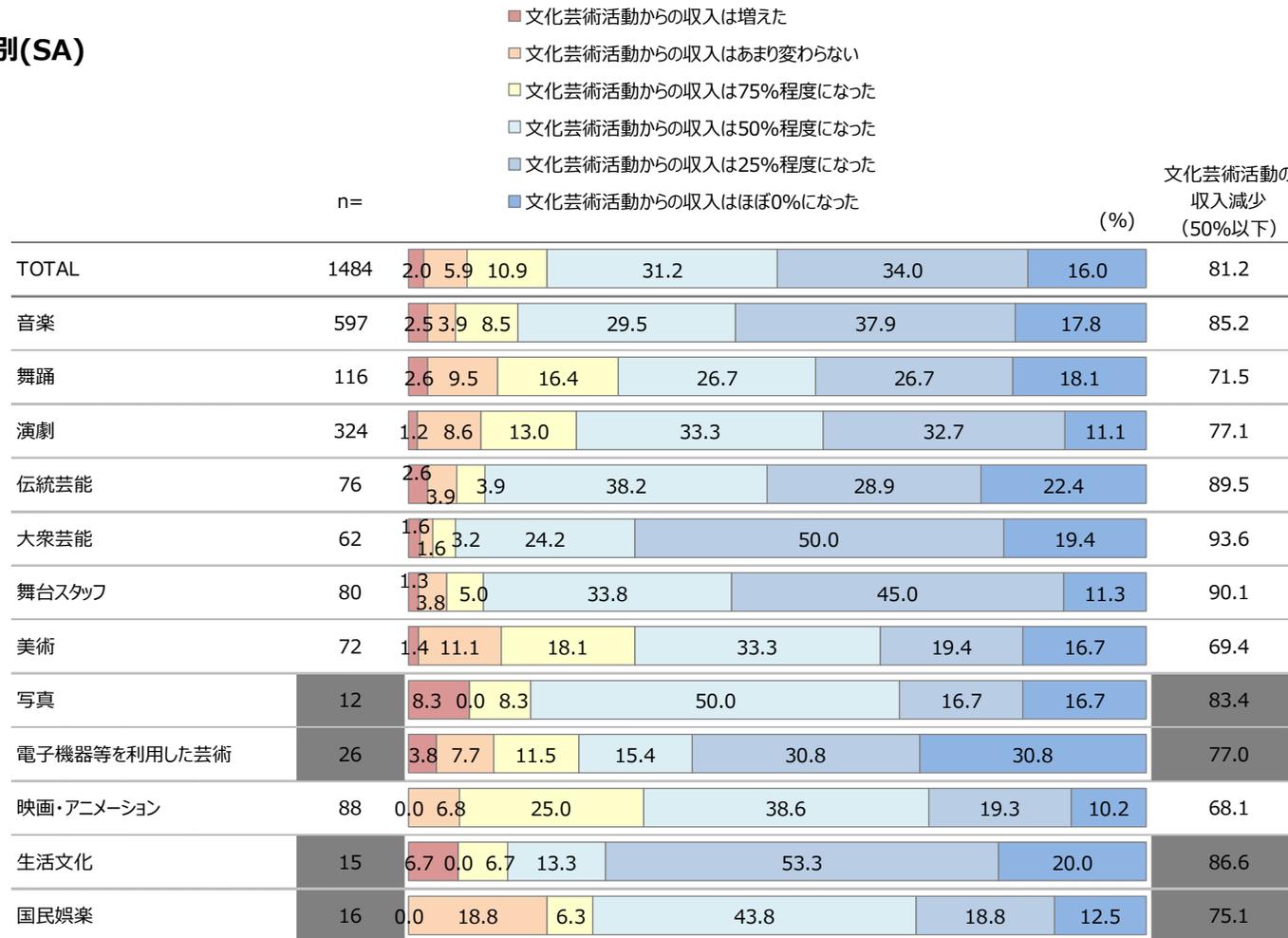


Q6 2020年1年間の芸術事業収入に関して2019年と比較して状況をお知らせください。コロナ禍での貴団体の活動状況について伺います。

27.2020年の芸術事業収入(対2019年)(SA)

- 活動分野別にみると、文化芸術活動の収入が減少した割合（50%以下の合計）が高いのは、大衆芸能93.6%、舞台スタッフ90.1%、伝統芸能89.5%、音楽85.2%等。

27-2.活動分野別(SA)



※n=30未満は参考値

Q6 2020年1年間の芸術事業収入に関して2019年と比較して状況をお知らせください。コロナ禍での貴団体の活動状況について伺います。100

28.直近決算での正味財産変化(対2019年期)(SA)

- TOTALでは、「あまり変わらない」が最も多く、23.5%。「前期の50%程度になった」22.3%、「前期の75%程度になった」18.6%が続く。前期以下（50%以下の合計）は53.2%。

28-1.TOTAL結果(SA)

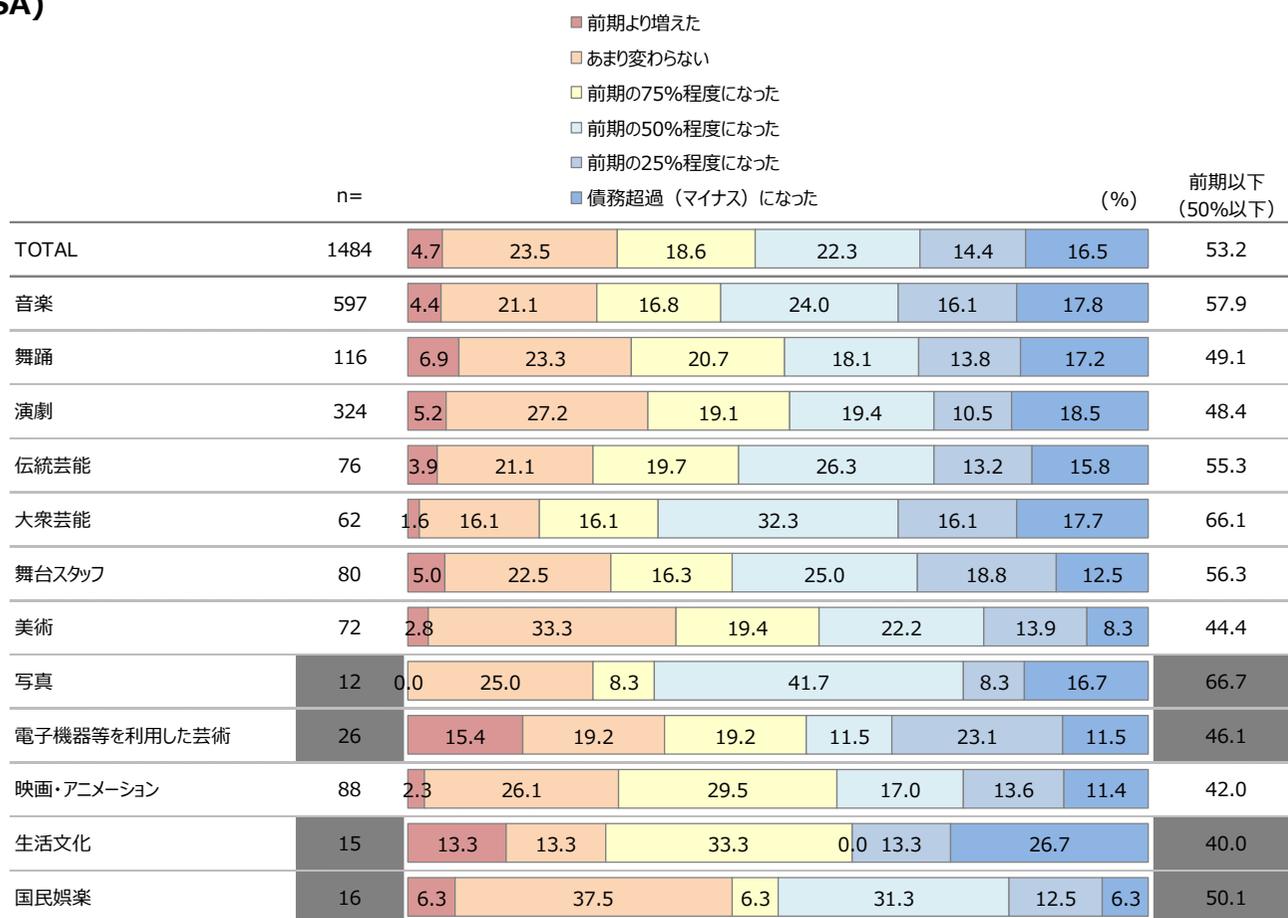
	n=	前期より増えた	あまり変わらない	前期の75%程度になった	前期の50%程度になった	前期の25%程度になった	債務超過（マイナス）になった	(%)	前期以下 (50%以下)
TOTAL	1484	4.7	23.5	18.6	22.3	14.4	16.5		53.2

Q7 2021年3月までの直近決算で正味財産（資本金・基本財産・剰余金等）変化を2019年期（前期）との比較をお知らせください。

28.直近決算での正味財産変化(対2019年期)(SA)

- 活動分野別にみると、前期以下（50%以下の合計）となった団体割合が高いのは、大衆芸能66.1%、音楽57.9%、舞台スタッフ56.3%、伝統芸能55.3%等。

28-2.活動分野別(SA)



※n=30未満は参考値

29.2021年の事業計画の見込み(対2019年)(SA)

- TOTALでは、「見込みがたたない」が最も多く、35.4%。「2019年の50%程度の見込み」27.7%、「2019年の75%程度の見込み」19.1%が続く。

29-1.TOTAL結果(SA)



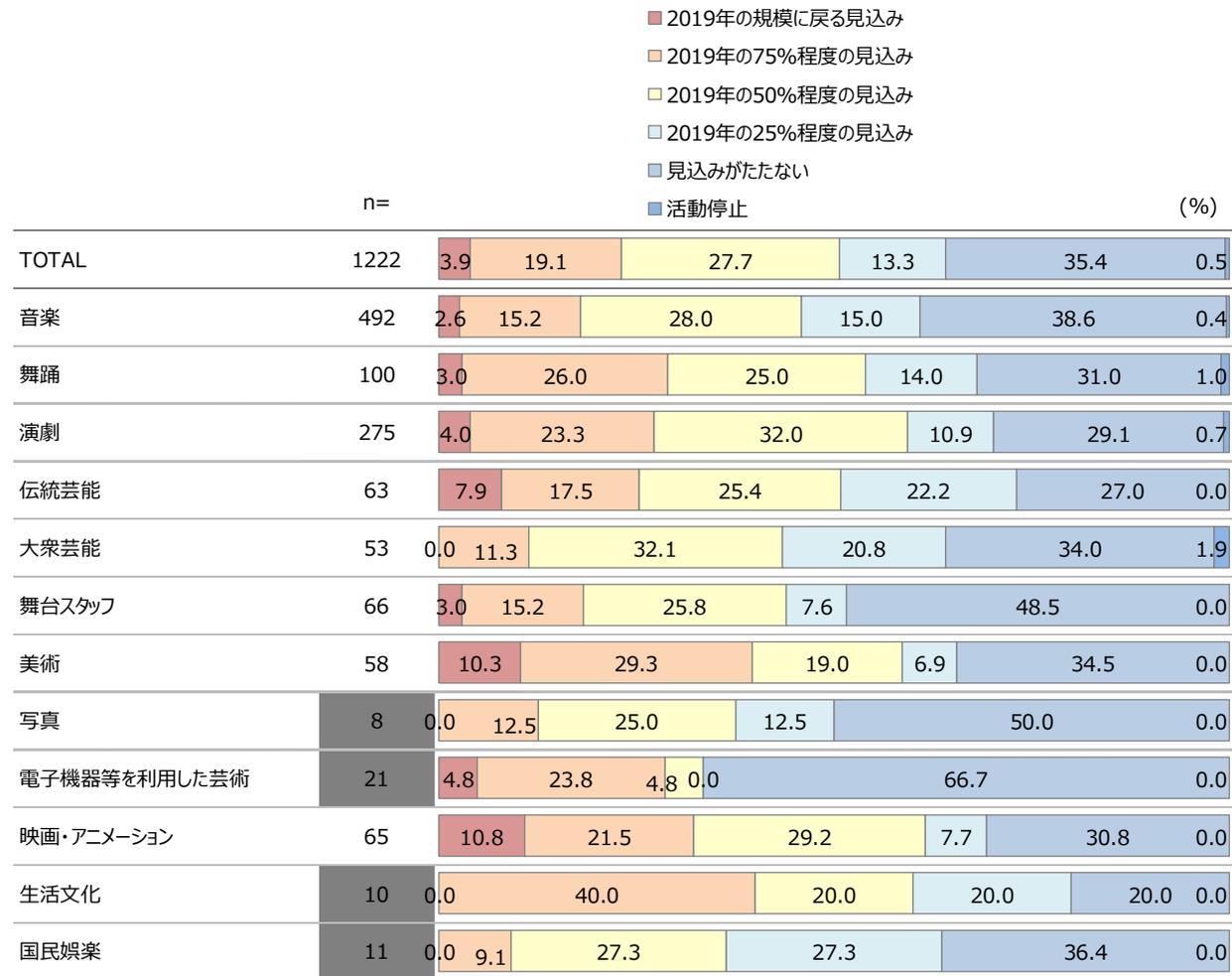
※2019年との比較が可能な選択肢回答のみ集計（262s除外）。

Q8 2021年の事業計画の見込みは、2019年と比べてどのように考えていますか。

29.2021年の事業計画の見込み(対2019年)(SA)

- 活動分野別にみると、「見込みがたたない」が舞台スタッフで48.5%、音楽で38.6%と割合が高い。

29-2.活動分野別(SA)



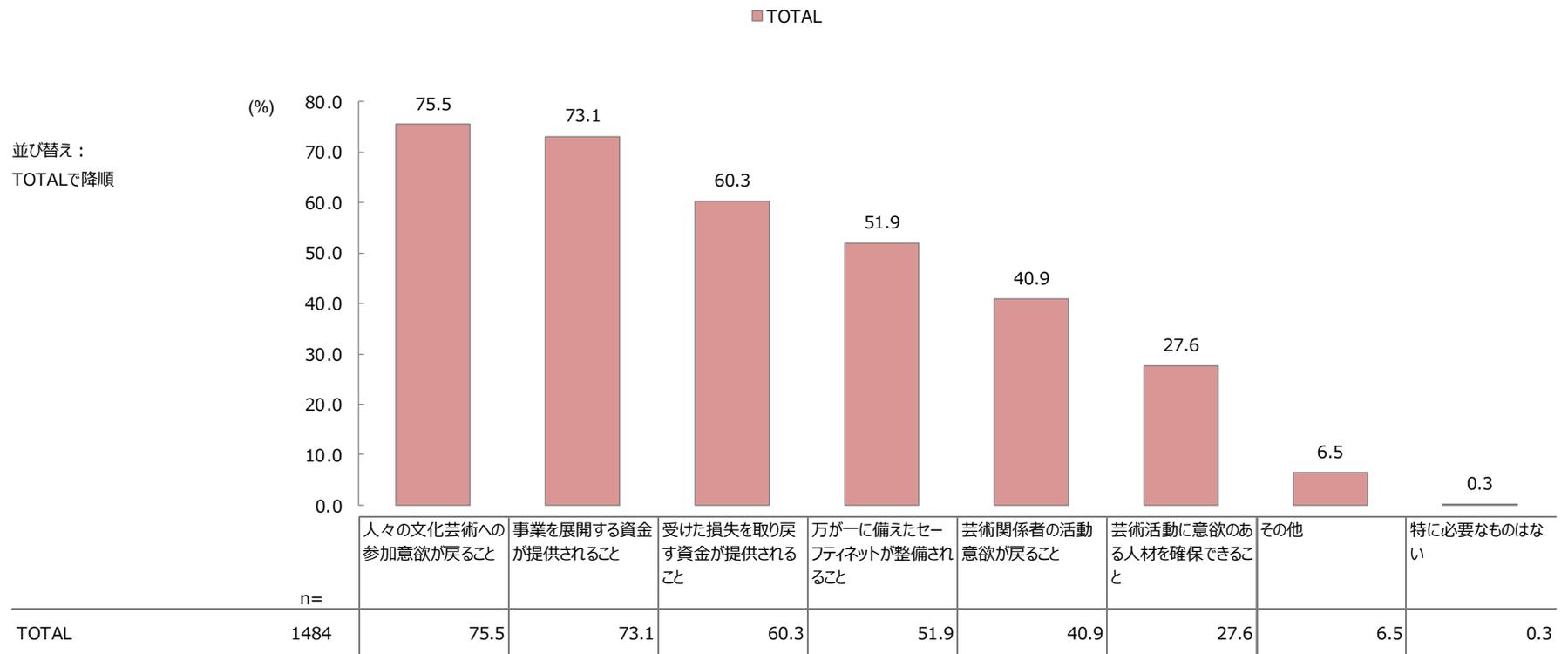
※2019年との比較が可能な選択肢回答のみ集計（262s除外）。

※n=30未満は参考値

30.今、活動の継続に必要なこと(MA)

- TOTALでは、「人々の文化芸術への参加意欲が戻ること」が最も多く、75.5%。「事業を展開する資金が提供されること」73.1%、「受けた損失を取り戻す資金が提供されること」60.3%が続く。

30-1.TOTAL結果(MA)

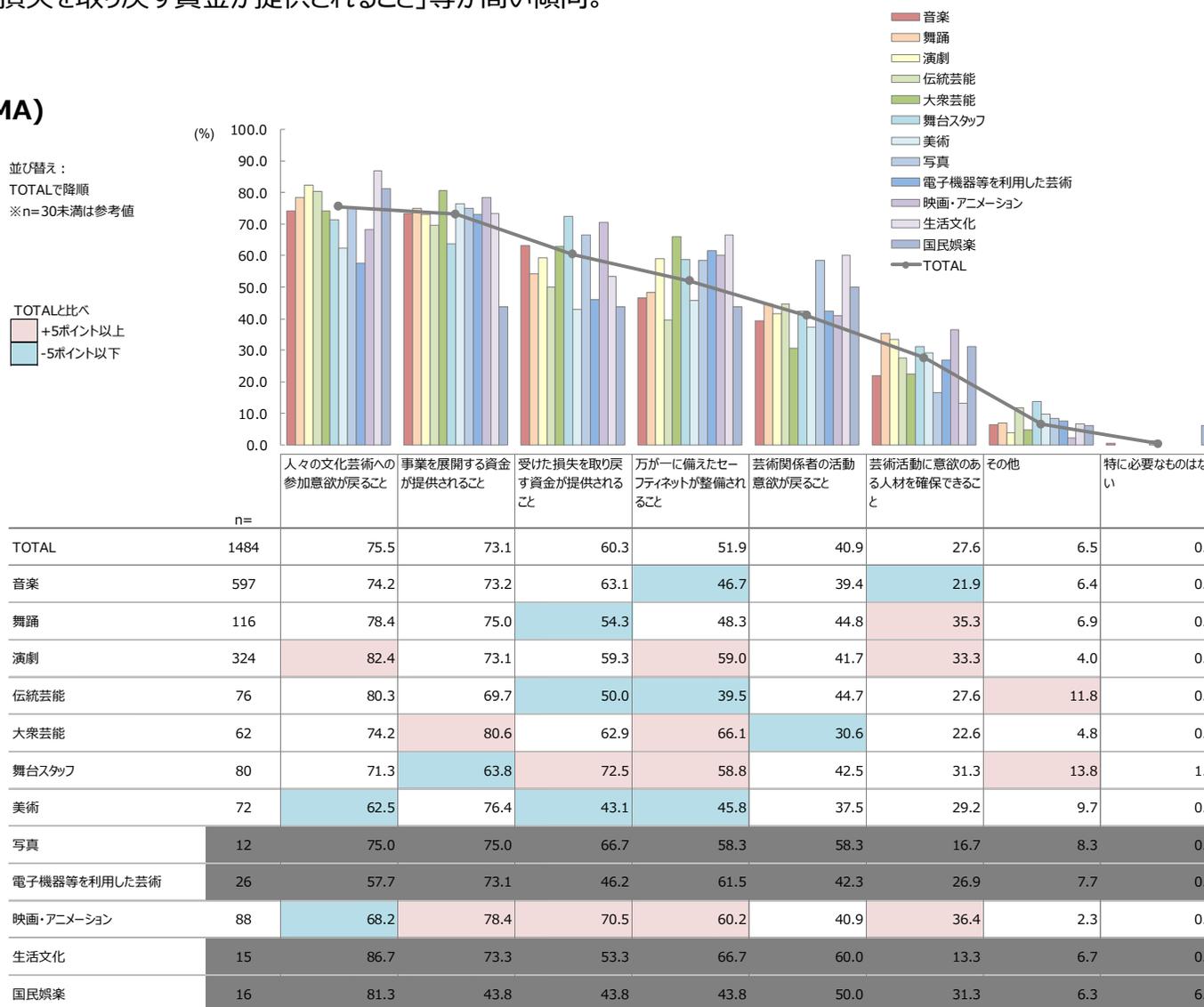


<活動継続に必要なこと（回答はいくつでも）> Q9_1 今、活動の継続に必要なことは何ですか。

30.今、活動の継続に必要なこと(MA)

- 活動分野別にみると、演劇で「人々の文化芸術への参加意欲が戻ること」、大衆芸能で「事業を展開する資金が提供されること」、舞台スタッフで「受けた損失を取り戻す資金が提供されること」等が高い傾向。

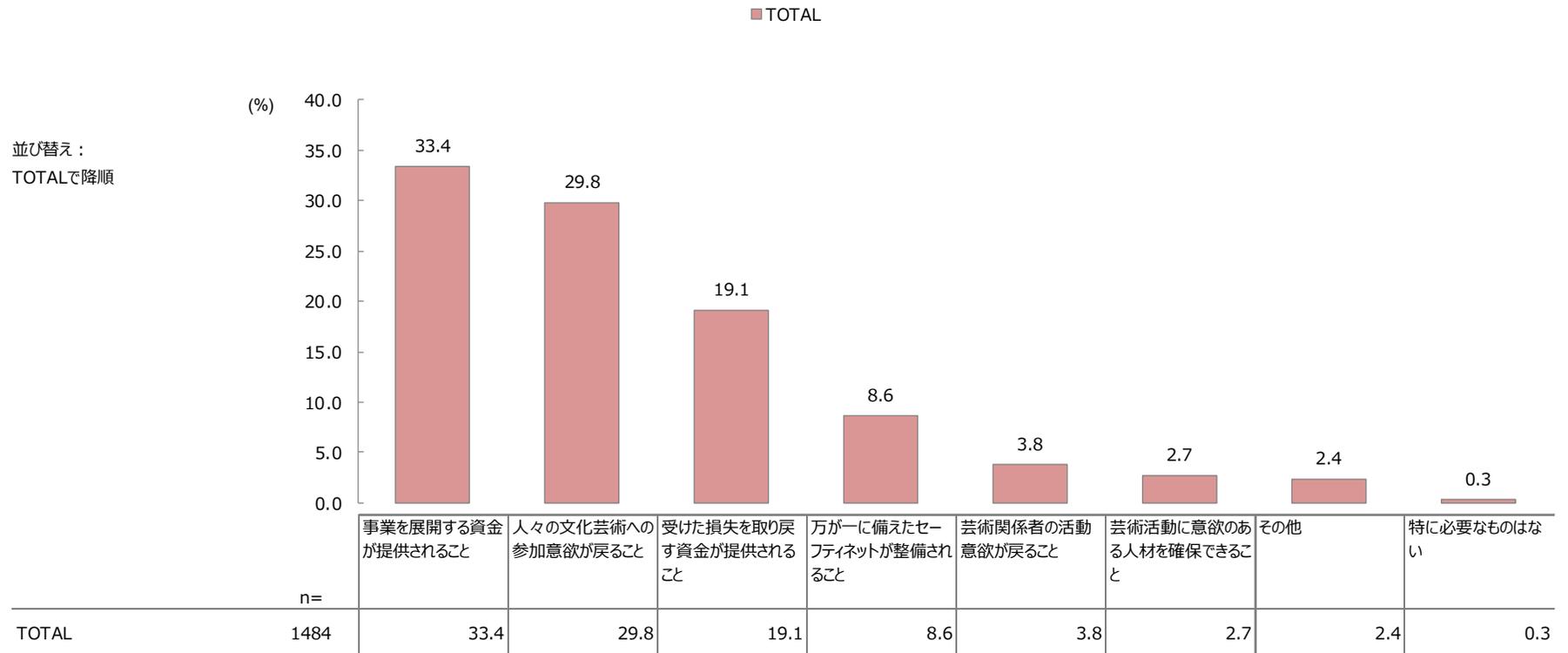
30-2.活動分野別(MA)



31.今、活動の継続に最も必要なこと(SA)

- TOTALでは、「事業を展開する資金が提供されること」が最も多く、33.4%。「人々の文化芸術への参加意欲が戻ること」29.8%、「受けた損失を取り戻す資金が提供されること」19.1%が続く。

31-1.TOTAL結果(SA)

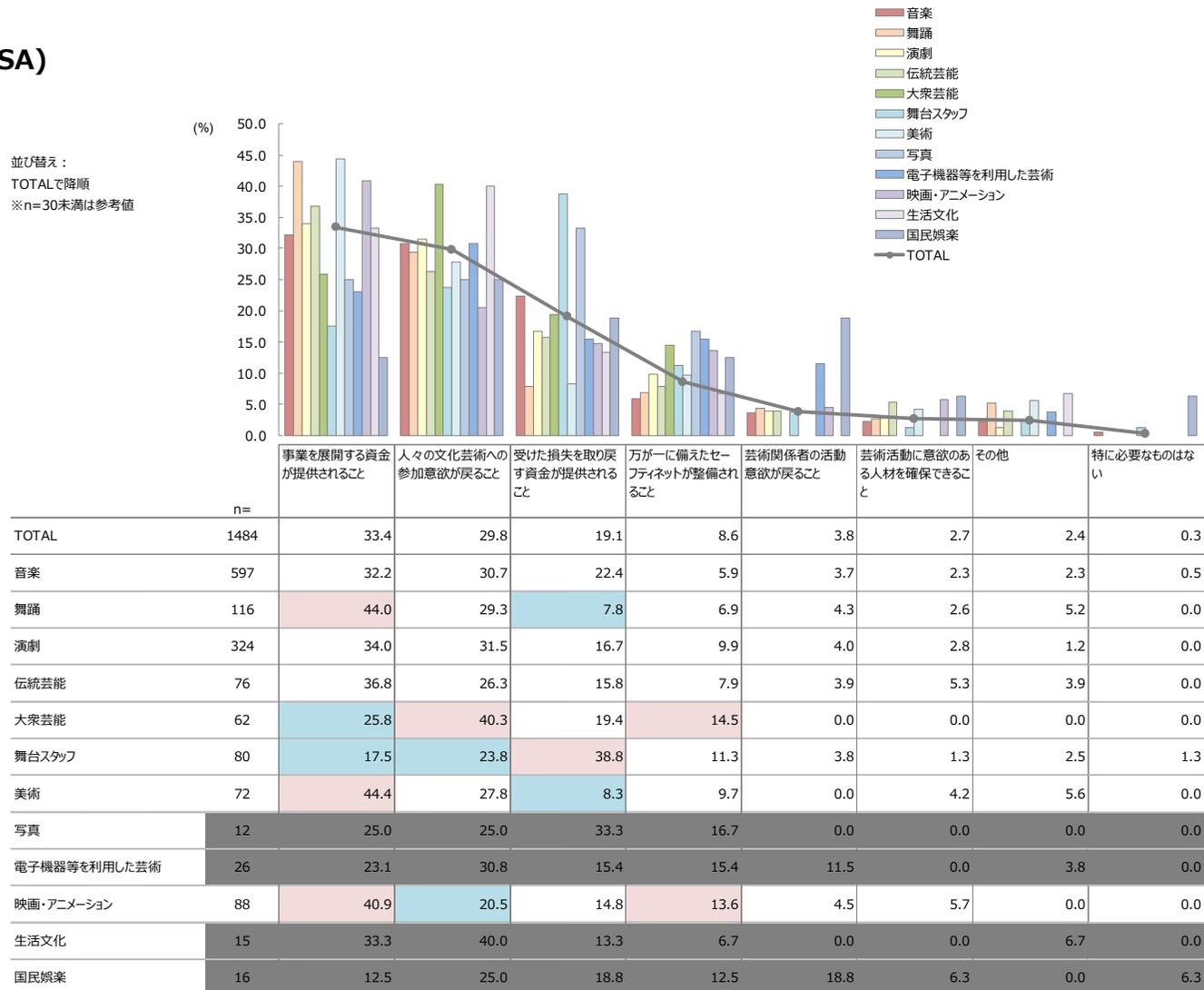


<活動継続に最も必要なこと (回答は1つ) > Q9_2 今、活動の継続に必要なことは何ですか。

31.今、活動の継続に最も必要なこと(SA)

- 活動分野別にみると、舞踊、美術、映画・アニメーションで「事業を展開する資金が提供されること」、大衆芸能で「人々の文化芸術への参加意欲が戻ること」、舞台スタッフで「受けた損失を取り戻す資金が提供されること」等が高い傾向。

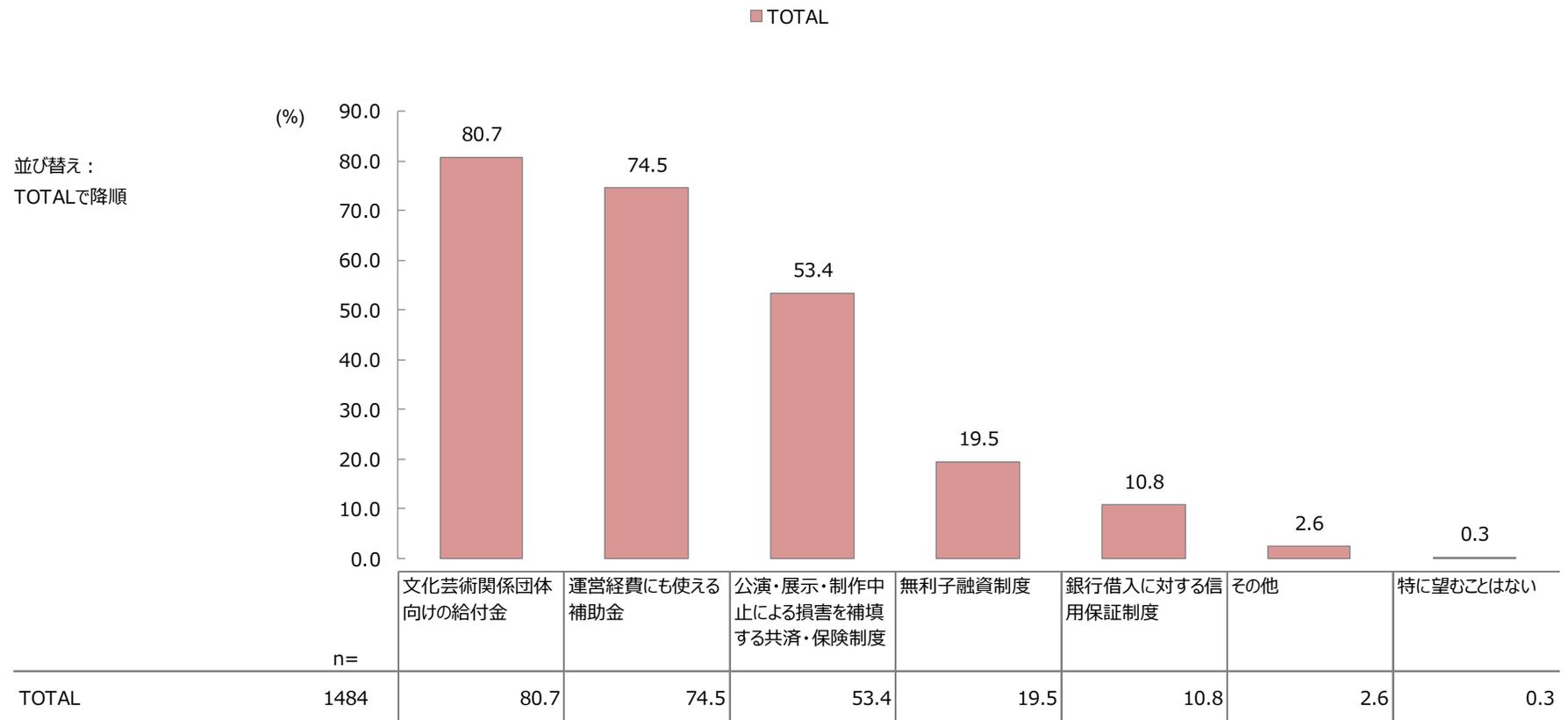
31-2.活動分野別(SA)



32.危機対応として望む対策(MA)

- TOTALでは、「文化芸術関係団体向けの給付金」が最も多く、80.7%。「運営経費にも使える補助金」74.5%、「公演・展示・制作中止による損害を補填する共済・保険制度」53.4%が続く。

32-1.TOTAL結果(MA)

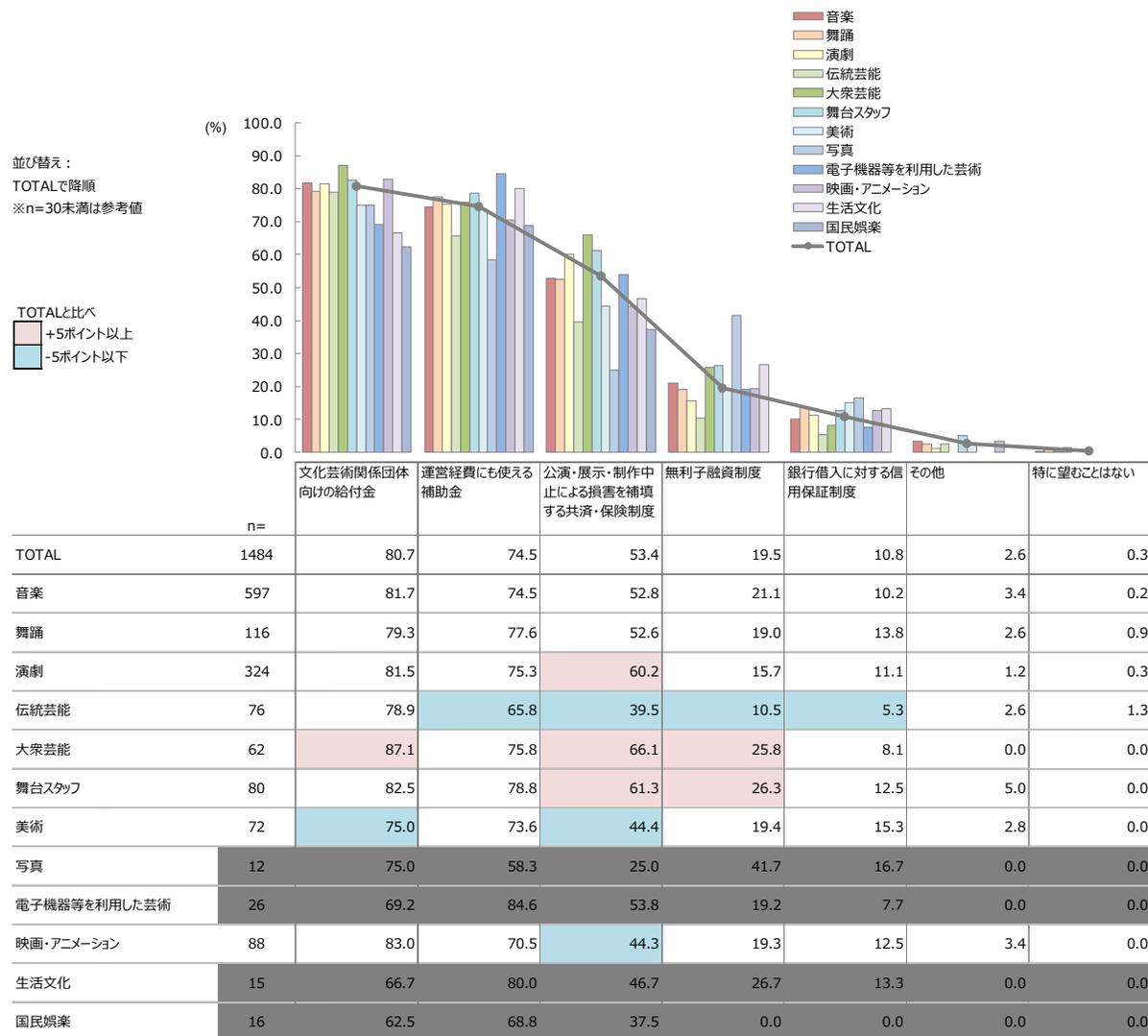


Q10 感染症や地震、大規模災害など、危機対応として望む対策にどのようなものがあると良いですか。

32.危機対応として望む対策(MA)

- 活動分野別に見ると、大衆芸能で「文化芸術関係団体向けの給付金」、大衆芸能、舞台スタッフ、演劇で「公演・展示・制作中止による損害を補填する共済・保険制度」等が高い。

32-2.活動分野別(MA)

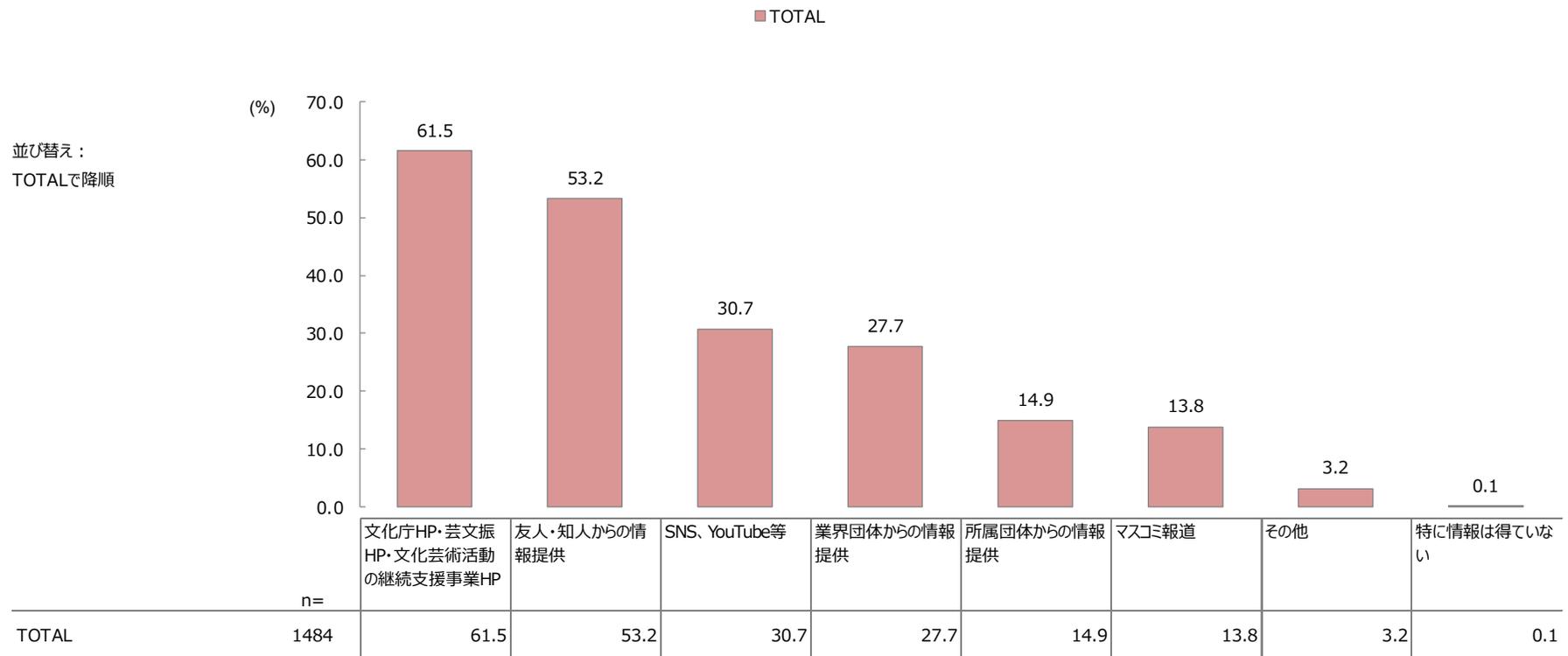


Q10 感染症や地震、大規模災害など、危機対応として望む対策にどのようなものがあると良いですか。110

33.「文化芸術活動の継続支援事業」について情報を得たもの(MA)

- TOTALでは、「文化庁HP・芸文振HP・文化芸術活動の継続支援事業HP」が最も多く、61.5%。「友人・知人からの情報提供」53.2%、「SNS、YouTube等」30.7%が続く。

33-1.TOTAL結果(MA)

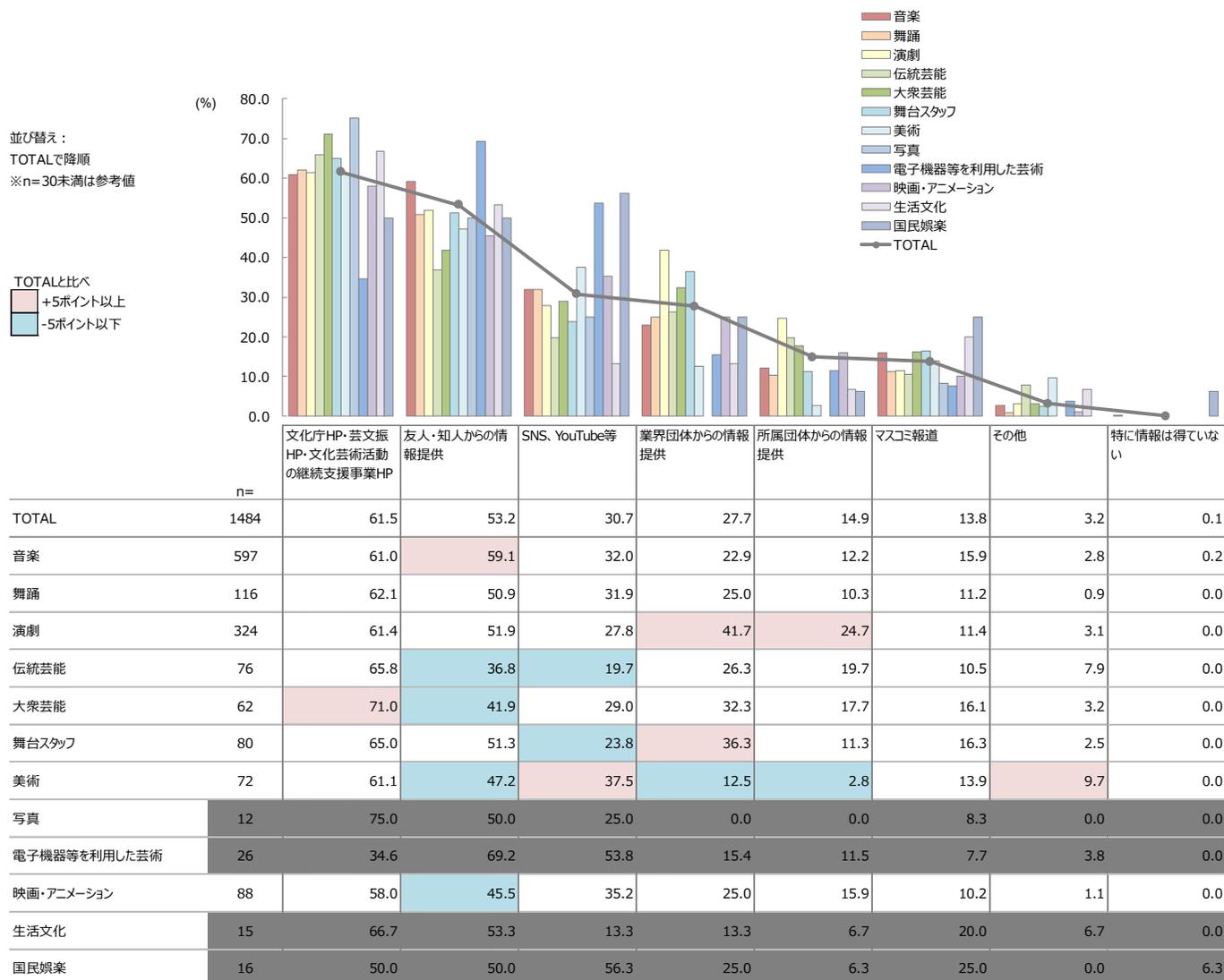


<情報を得たもの（回答はいくつでも）> Q11_1 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、情報を得たのはどれですか。また最も有益な情報は何でしたか。文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について伺います。

33.「文化芸術活動の継続支援事業」について情報を得たもの(MA)

- 活動分野別にみると、大衆芸能で「文化庁HP・芸文振HP・文化芸術活動の継続支援事業HP」、音楽で「友人・知人からの情報提供」、美術で「SNS、YouTube等」等が高い。

33-2.活動分野別(MA)

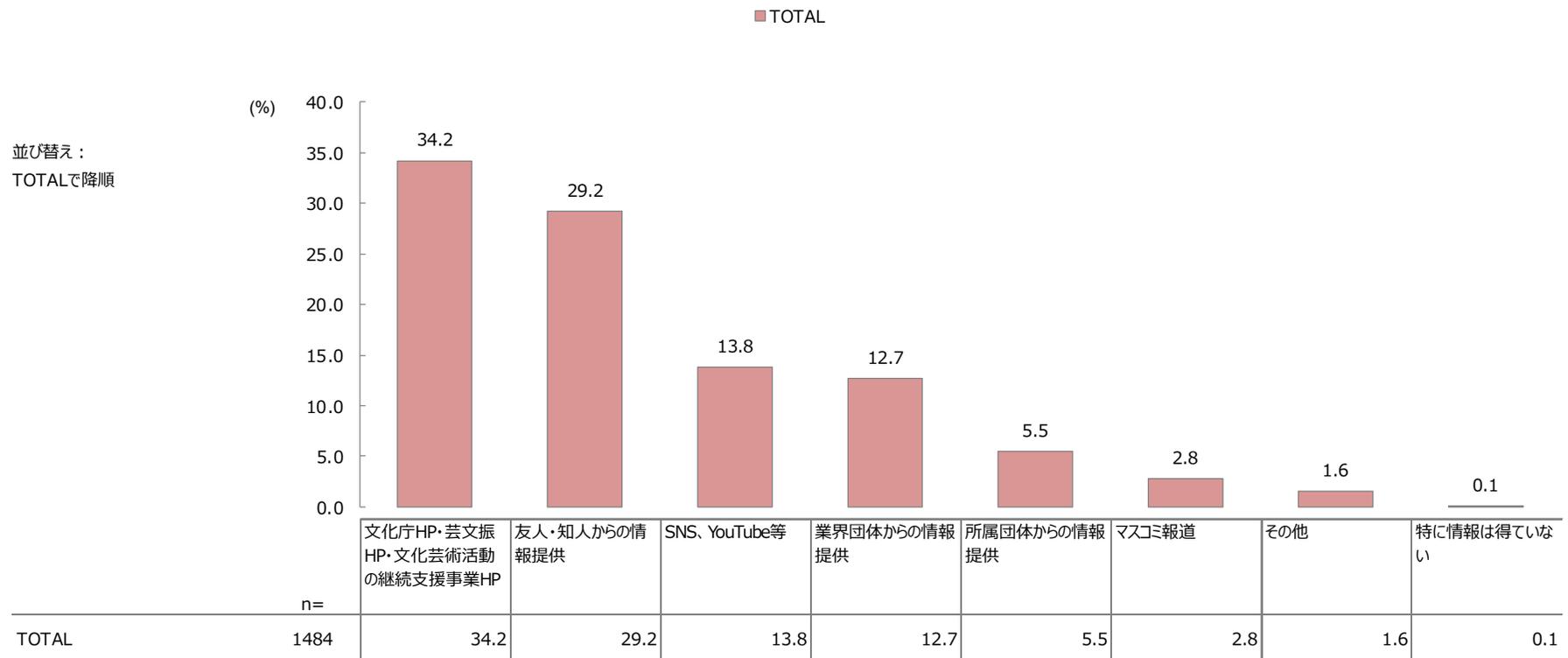


<情報を得たもの(回答はいくつでも)> Q11_1 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、情報を得たのはどれですか。また最も有益な情報は何でしたか。文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について伺います。112

34.「文化芸術活動の継続支援事業」について最も有益だった情報(SA)

- TOTALでは、「文化庁HP・芸文振HP・文化芸術活動の継続支援事業HP」が最も多く、34.2%。「友人・知人からの情報提供」29.2%、「SNS、YouTube等」13.8%が続く。

34-1.TOTAL結果(SA)



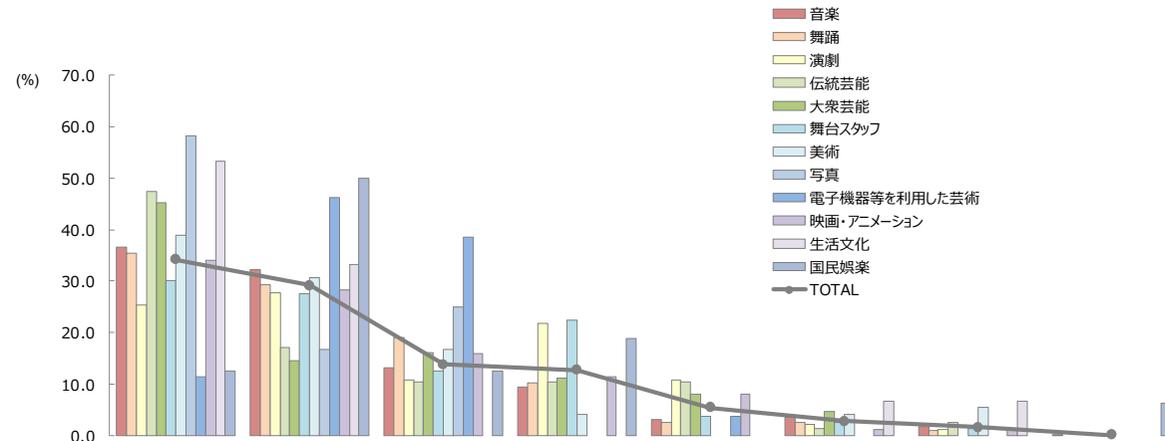
<最も有益な情報（回答は1つ）> Q11_2 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、情報を得たのはどれですか。また最も有益な情報は何でしたか。文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について伺います。

34.「文化芸術活動の継続支援事業」について最も有益だった情報(SA)

- 活動分野別にみると、大衆芸能、伝統芸能で「文化庁HP・芸文振HP・文化芸術活動の継続支援事業HP」、舞踊で「SNS、YouTube等」、舞台スタッフ、演劇で「業界団体からの情報提供」等が高い。

34-2.活動分野別(SA)

並び替え：
TOTALで降順
※n=30未満は参考値



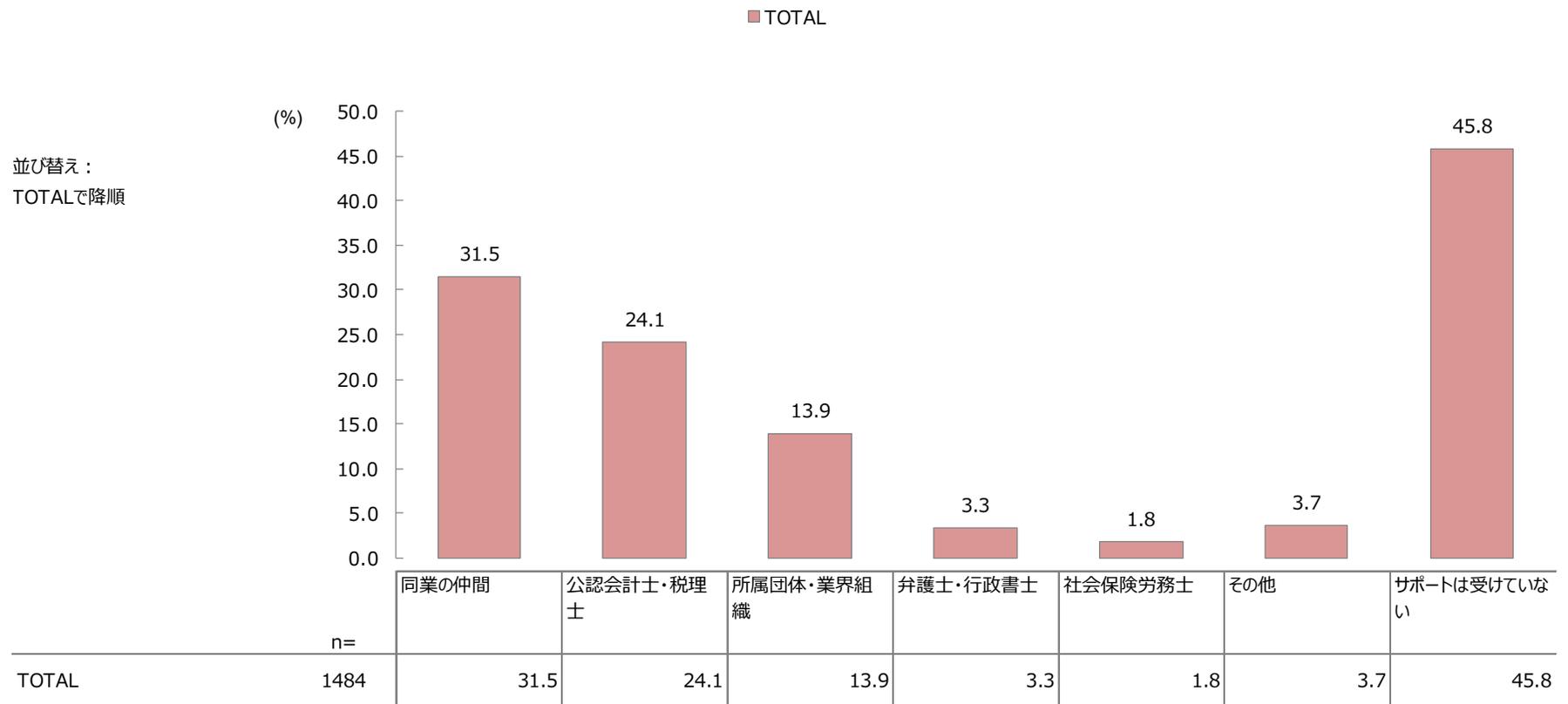
	n=	文化庁HP・芸文振HP・文化芸術活動の継続支援事業HP	友人・知人からの情報提供	SNS、YouTube等	業界団体からの情報提供	所属団体からの情報提供	マスコミ報道	その他	特に情報は得ていない
TOTAL	1484	34.2	29.2	13.8	12.7	5.5	2.8	1.6	0.1
音楽	597	36.5	32.2	13.2	9.5	3.2	3.5	1.7	0.2
舞踊	116	35.3	29.3	19.0	10.3	2.6	2.6	0.9	0.0
演劇	324	25.3	27.8	10.8	21.9	10.8	2.2	1.2	0.0
伝統芸能	76	47.4	17.1	10.5	10.5	10.5	1.3	2.6	0.0
大衆芸能	62	45.2	14.5	16.1	11.3	8.1	4.8	0.0	0.0
舞台スタッフ	80	30.0	27.5	12.5	22.5	3.8	2.5	1.3	0.0
美術	72	38.9	30.6	16.7	4.2	0.0	4.2	5.6	0.0
写真	12	58.3	16.7	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
電子機器等を利用した芸術	26	11.5	46.2	38.5	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0
映画・アニメーション	88	34.1	28.4	15.9	11.4	8.0	1.1	1.1	0.0
生活文化	15	53.3	33.3	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0
国民娯楽	16	12.5	50.0	12.5	18.8	0.0	0.0	0.0	6.3

<最も有益な情報（回答は1つ）> Q11_2 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、情報を得たのはどれですか。また最も有益な情報は何でしたか。文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について伺います。114

35.事業活用にあたりサポートを受けた関係者・専門家(MA)

- TOTALでは、「同業の仲間」が最も多く、31.5%。「公認会計士・税理士」24.1%、「所属団体・業界組織」13.9%が続く。
- なお、「サポートは受けていない」が45.8%にのぼる。

35-1.TOTAL結果(MA)

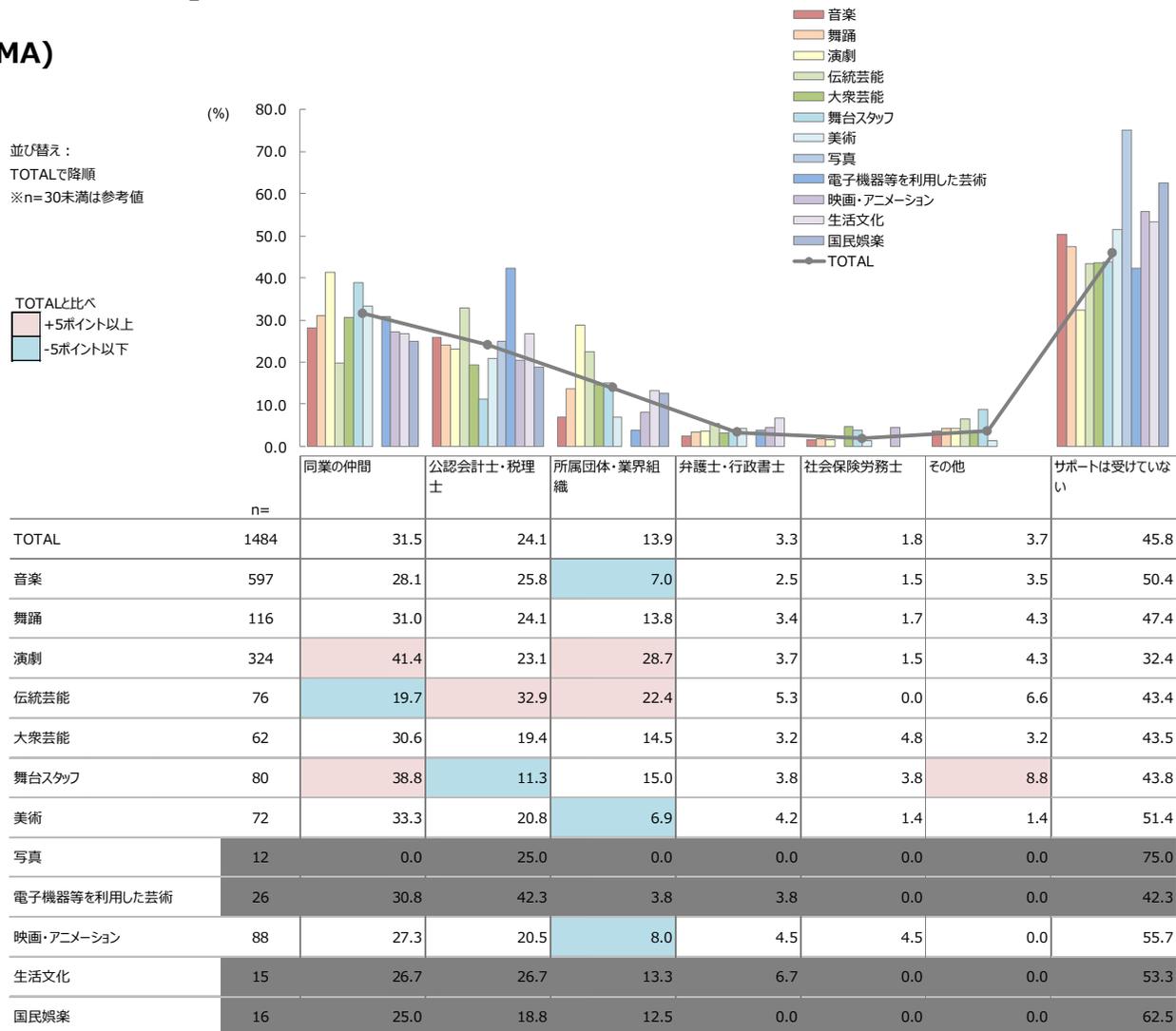


Q12 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」を活用するにあたり、関係者、専門家のサポートを受けましたか。あてはまるものすべてをお答えください。

35.事業活用にあたりサポートを受けた関係者・専門家(MA)

- 活動分野別にみると、演劇、舞台スタッフで「同業の仲間」、伝統芸能で「公認会計士・税理士」、演劇、伝統芸能で「所属団体・業界組織」等が高い。
- なお、「サポートは受けていない」が5割を超えるのは、映画・アニメーション55.7%、美術51.4%、音楽50.4%となっている。

35-2.活動分野別(MA)

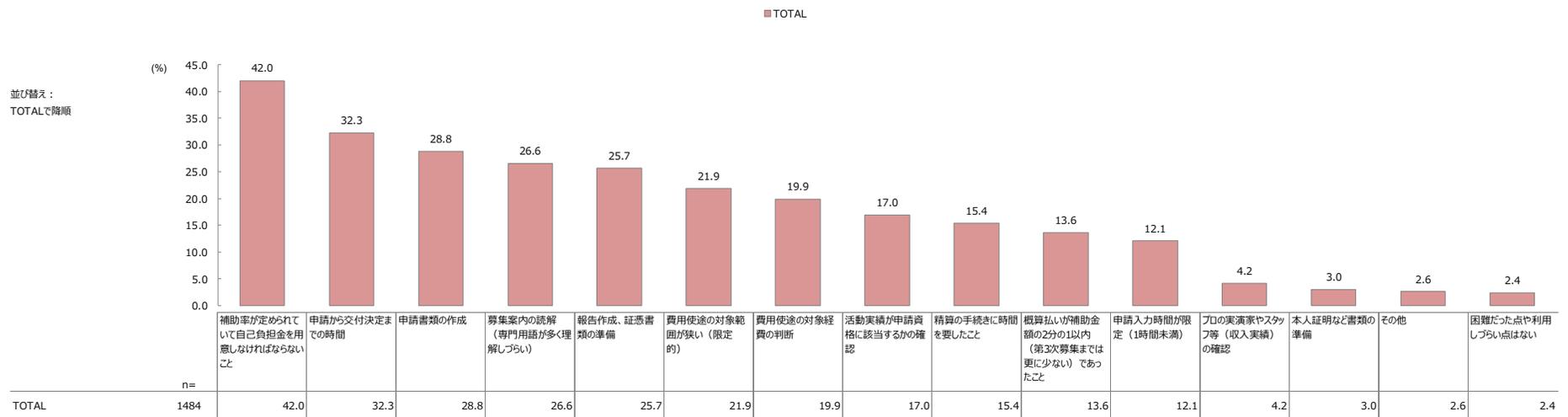


Q12 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」を活用するにあたり、関係者、専門家のサポートを受けましたか。あてはまるものすべてをお答えください。116

36.事業活用にあたって困難だった点や利用しづらかった点(MA)

- TOTALでは、「補助率が定められていて自己負担金を用意しなければならないこと」が最も多く、42.0%。「申請から交付決定までの時間」32.3%、「申請書類の作成」28.8%が続く。

36-1.TOTAL結果(MA)

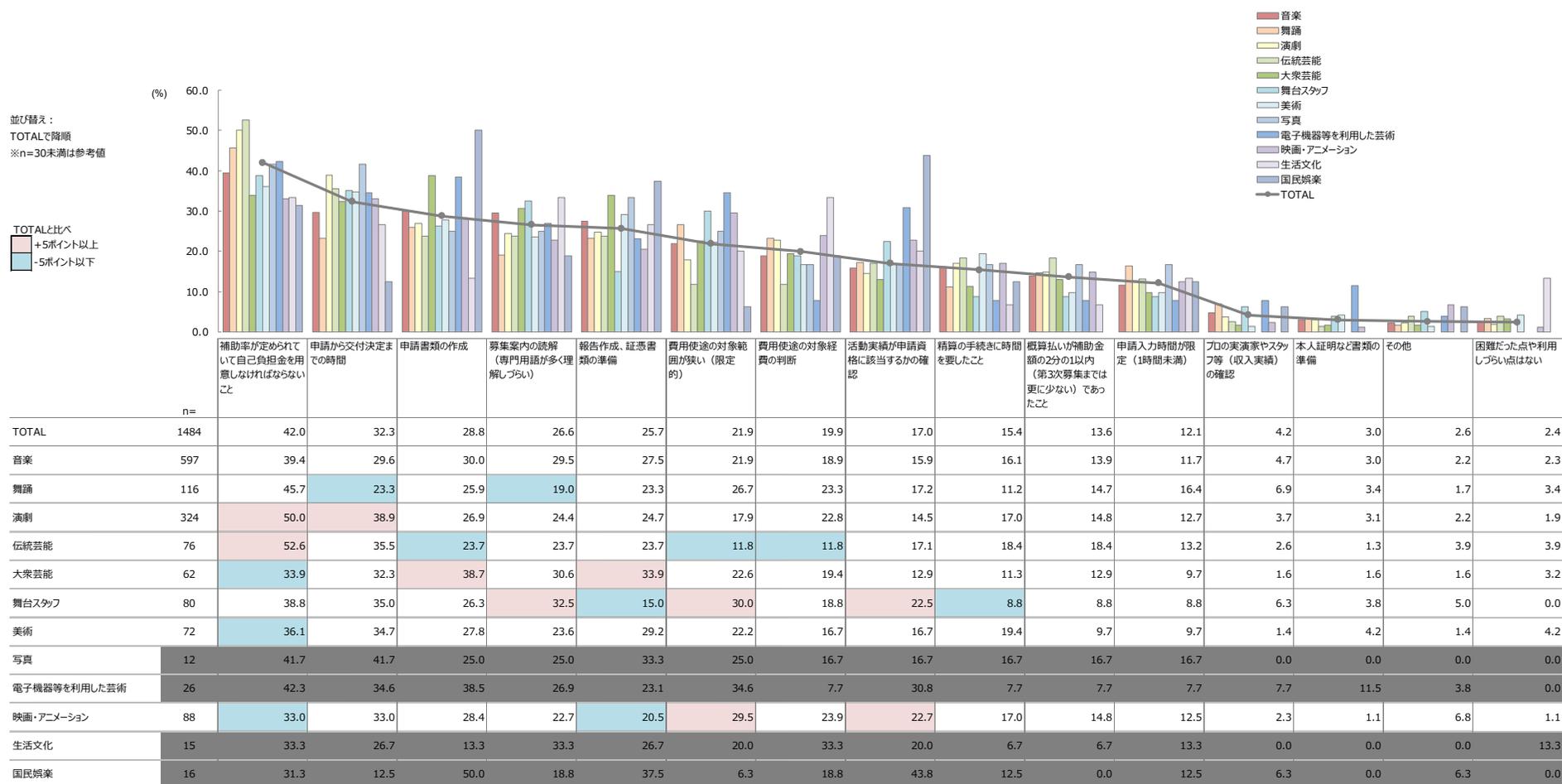


Q13 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、困難だった点や利用しづらい点を3つまでお答えください。

36.事業活用にあたって困難だった点や利用しづらかった点(MA)

- 活動分野別にみると、伝統芸能、演劇で「補助率が定められていて自己負担金を用意しなければならないこと」、演劇で「申請から交付決定までの時間」、大衆芸能で「申請書類の作成」等が高い。

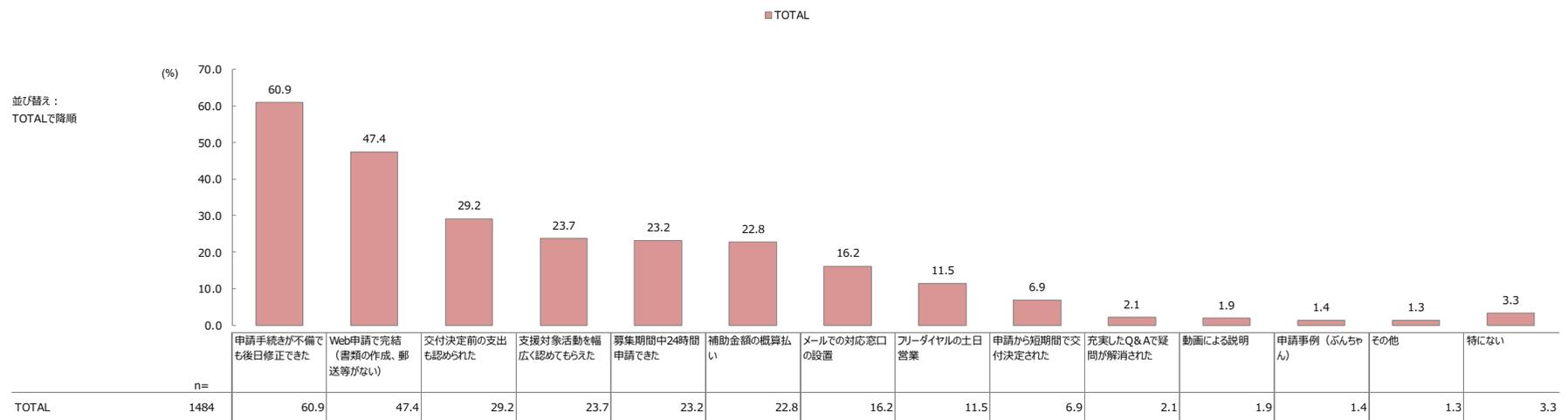
36-2.活動分野別(MA)



37.事業の良かった点や便利だった点(MA)

- TOTALでは、「申請手続きが不備でも後日修正できた」が最も多く、60.9%。「Web申請で完結（書類の作成、郵送等がない）」47.4%、「交付決定前の支出も認められた」29.2%が続く。

37-1.TOTAL結果(MA)

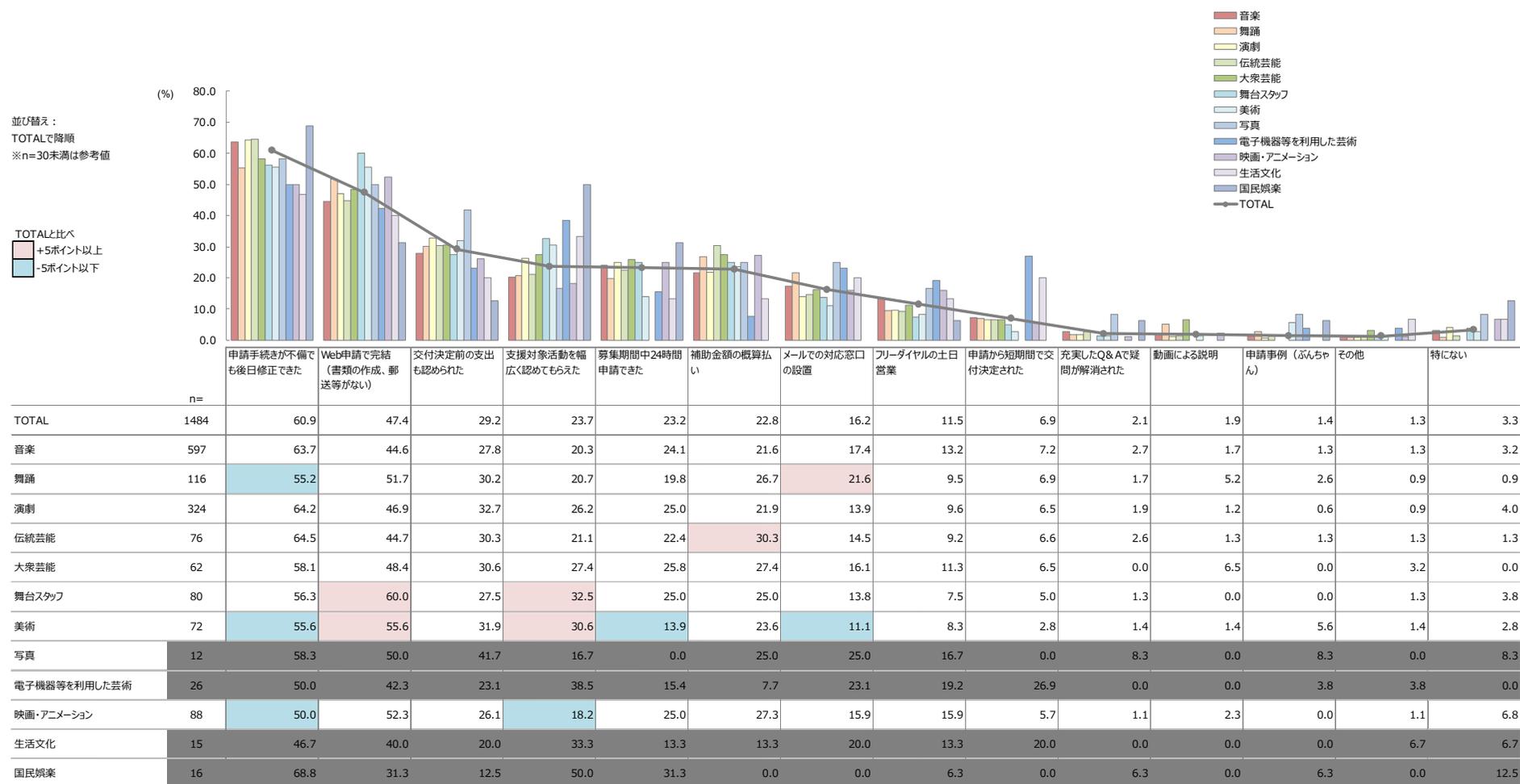


Q14 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、良かった点や便利だった点を3つまでお答えください。

37.事業の良かった点や便利だった点(MA)

- 活動分野別にみると、「申請手続きが不備でも後日修正できた」では大きな差はなく、舞台スタッフ、美術で「Web申請で完結（書類の作成、郵送等がない）」、「支援対象活動を幅広く認めてもらえた」等が高い。

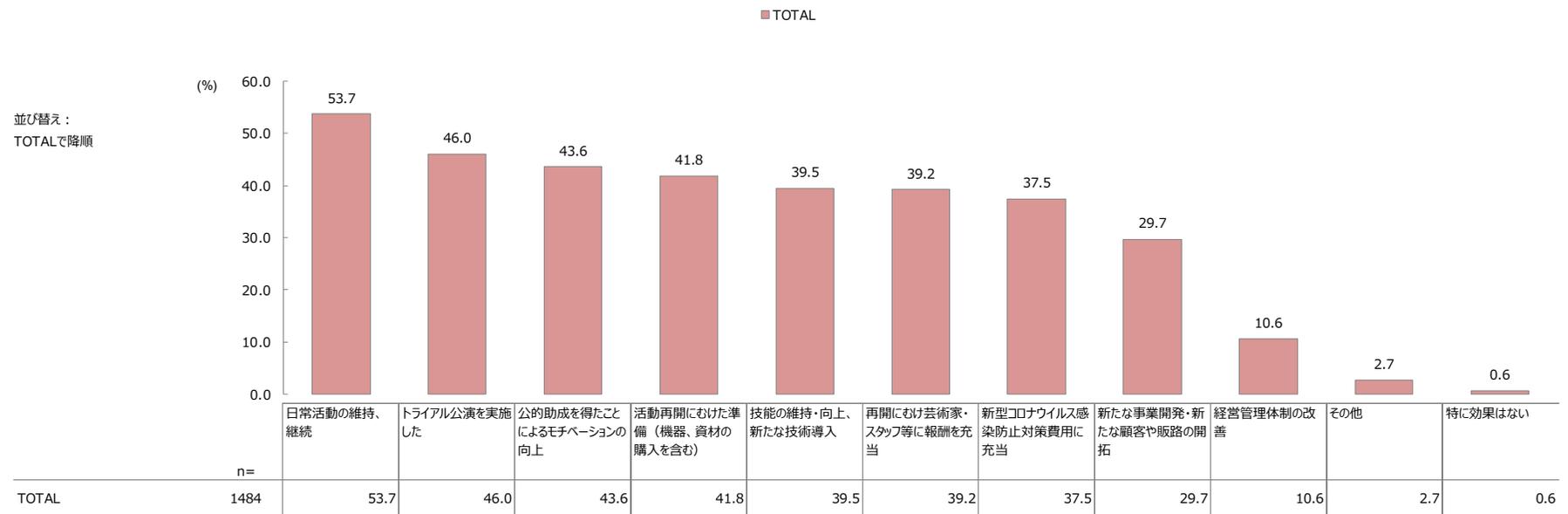
37-2.活動分野別(MA)



38.事業を通じて得られた効果(MA)

- TOTALでは、「日常活動の維持、継続」が最も多く、53.7%。「トライアル公演を実施した」46.0%、「公的助成を得たことによるモチベーションの向上」43.6%が続く。

38-1.TOTAL結果(MA)

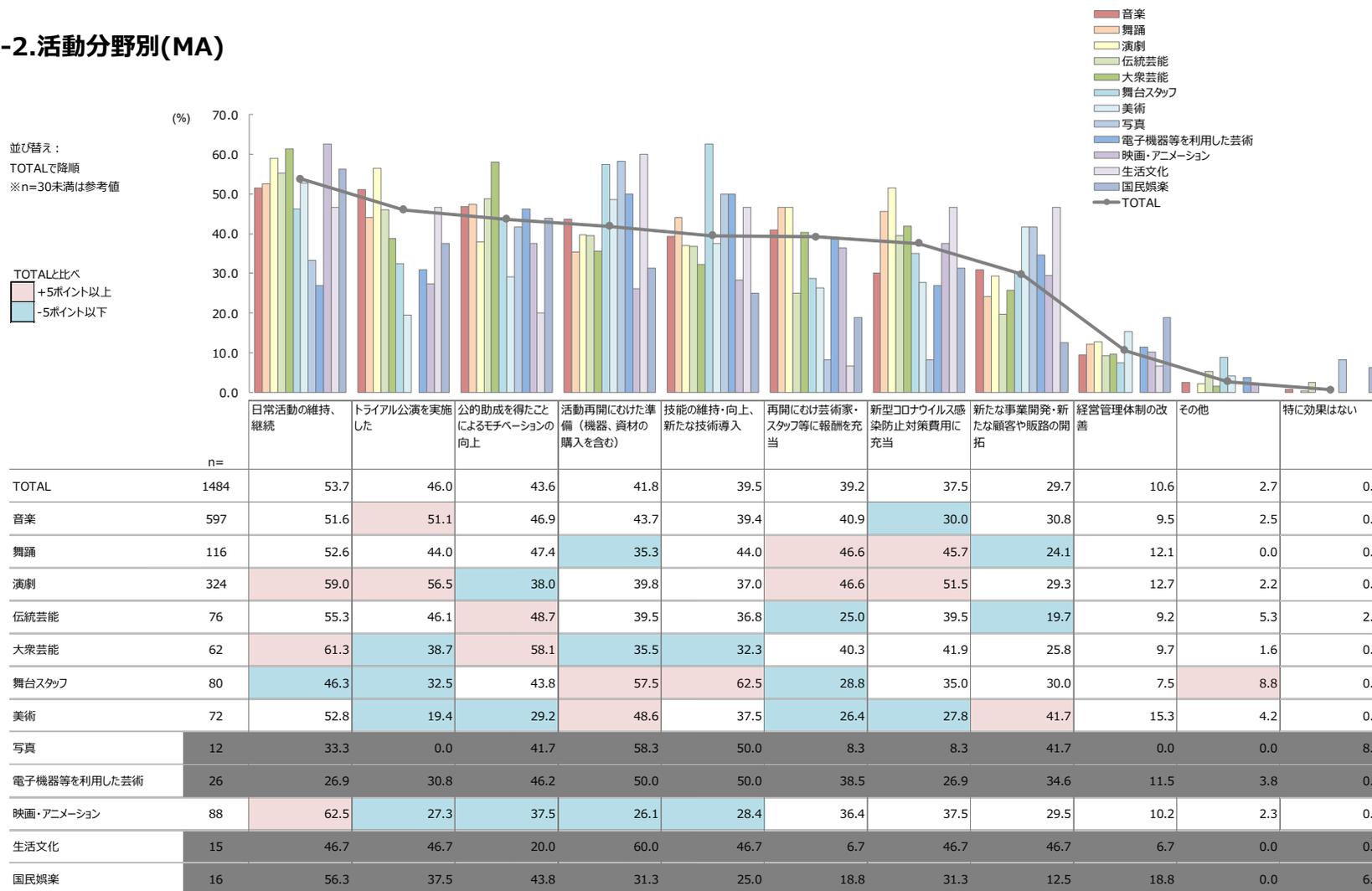


Q15 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」を通じてどのような効果が得られましたか。あてはまるものすべてをお答えください。

38.事業を通じて得られた効果(MA)

- 活動分野別にみると、映画・アニメーション、大衆芸能、演劇で「日常活動の維持、継続」、演劇、音楽で「トライアル公演を実施した」、大衆芸能、伝統芸能で「公的助成を得たことによるモチベーションの向上」等が高い。

38-2.活動分野別(MA)



Q15 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」を通じてどのような効果が得られましたか。あてはまるものすべてをお答えください。122

39.事業の総合的な満足度(SA)

- TOTALでは、「やや満足」が最も多く、52.6%。「満足」22.0%、「やや不満」13.1%が続く。『満足度（「満足」「やや満足」のTOP2合計）』は、74.5%。

39-1.TOTAL結果(SA)

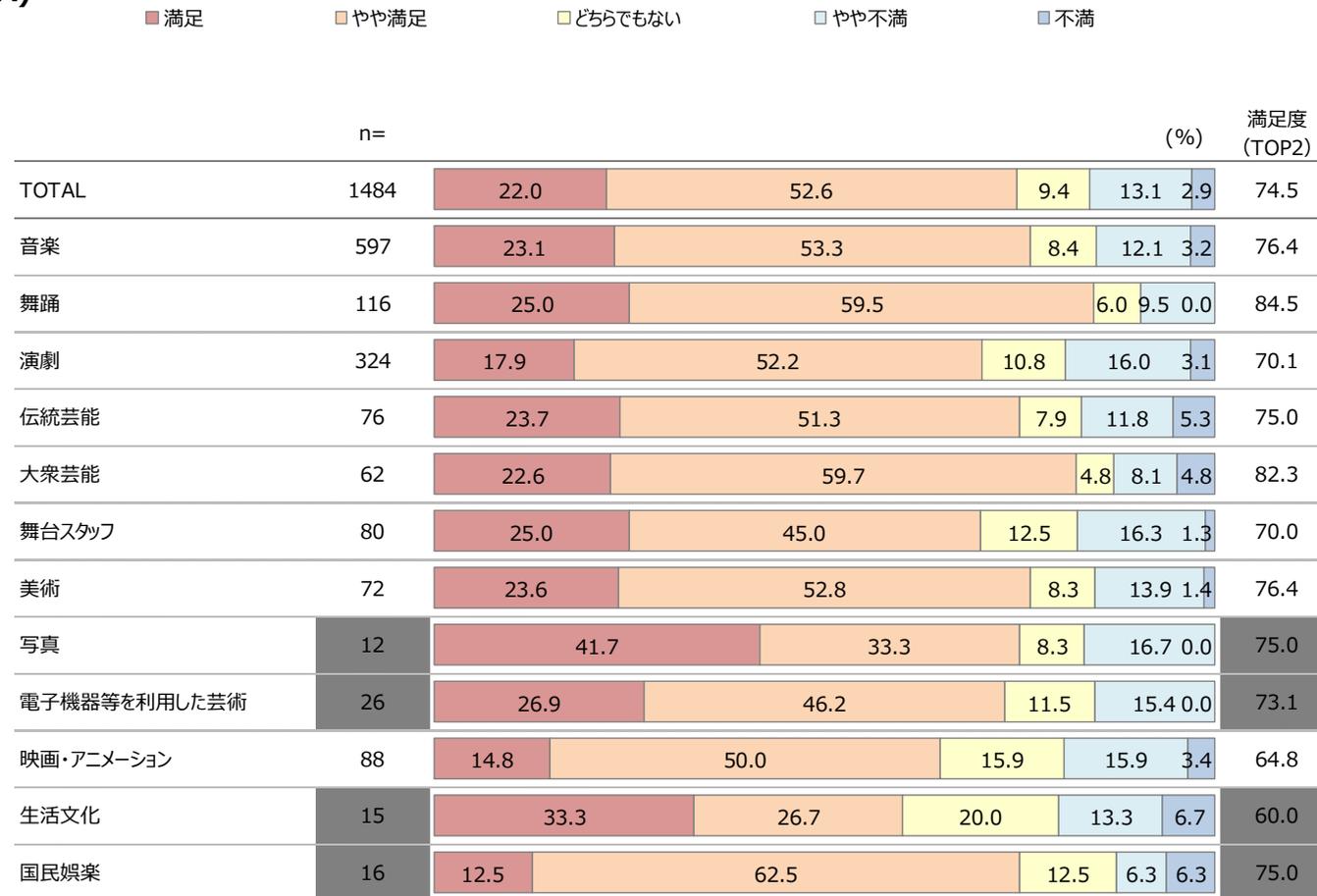


Q17 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、総合的な満足度をお知らせください。

39.事業の総合的な満足度(SA)

- 活動分野別にみると、『満足度（「満足」「やや満足」のTOP2合計）』が高いのは、舞踊84.5%、大衆芸能82.3%となっている。

39-2.活動分野別(SA)

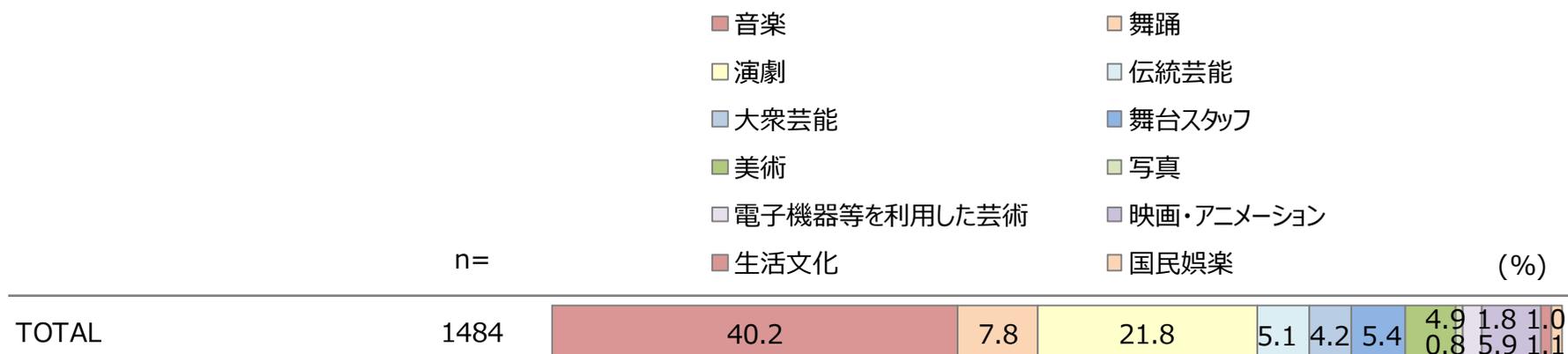


※n=30未満は参考値

40.主な活動分野(SA)

- TOTALでは、「音楽」が最も多く、40.2%。「演劇」21.8%、「舞踊」7.8%が続く。

40-1.TOTAL結果(SA)



Q18 最後に、貴団体の主な活動分野について教えてください。

Ⅲ 自由記述

(1. 芸術家)

1. 芸術家の声(自由回答)

- 事業者としての自覚を持ち、日頃の作品制作だけでなく、金銭管理や年間を通しての事業計画を常に頭において活動する習慣をつけることができた。まとまった額の支援を得られたことで、展覧会の参加に際して感染リスクの低い移動手段や宿泊施設を選ぶことができた。[美術/30歳未満]
- コロナの状況の中で収入も減り、舞台作品を作成したり、パフォーマンスの状況が困難と思われる中、芸術活動を継続発信していく為のバックアップをして頂いて、とても助かりました。また、例年通りの開催は難しく、発信形態(映像などに)を変更せざるおえない状況で、新しい機材の購入にも踏みきる事が出来、今後も新しい形態でのイベントの開催の提案をしていけるきっかけとなっております。また、色々な現場(lesson場や会場など)に足を運ぶ際に、コロナ対策の為の用具も補助されましたので、自分、または周りの方々にも不安を軽減してもらえ環境を作っていけるのもありがたいと思います。[舞踊,演劇/50歳~59歳]
- 今までやったことのない配信番組を製作できたこと、その機材が完備できたこと、専門家の指導を受けながら事業を進めることができたこと、音楽と写真を織り交ぜた新しいライブのかたちが見つかったこと、新しいスタイルをトライアル公演という形で実際に試すことができたこと。これらすべてが今後のライブ活動の方針、方法の企画立案に役立っている。[音楽/30歳~39歳]
- ご支援いただきまして、本当にありがとうございました。コロナ対策を徹底して、トライアル講習会や、書道教授ができました。(アルコール消毒等の準備、教室環境整備、オンライン教授の環境を整えさせていただき、生徒や保護者の皆様にも喜んでいただけました。)モチベーションやプロ意識が高まり、新しいことに挑戦することの大切さも学びました。今後の活動にも活かします。コロナや、事業継続に不安な中、幾度ものご相談にも、丁寧に親切にご対応いただきましたこと、心から感謝申し上げます。[生活文化(茶道、華道、書道)/40歳~49歳]
- 配信機材が揃えられ、ライブ配信ができるようになりました。音響機材・感染症対策の用具を揃えられ、公演を実施する準備ができました。他者の技術・活動・公演などを学ぶ機会も増え、良い情報が多くとれるようになりました。楽曲・動画制作に費用をかけて、品質の高いものを残すことができました。協力者に対し、十分な報酬を支払うことができました。ネッショプ販売、ネット広告にも挑戦することができました。[音楽/40歳~49歳]
- 記録として収録してきた映像を、配信に利用できるよう意識するようになった。実際にインターネット配信することで、客観的に公演の内容を振り返ったり、映像だけを見た観客からのフィードバックを得ることができた。SNSで公開した映像が海外のフェスティバル主催者の目にとまり、海外のオンラインイベントに参加するに至った。公演の映像を別室で(リアルタイムに)観覧できる仕組みを整備する際、新しい表現手段として活用するきっかけができた。[舞台スタッフ/40歳~49歳]
- コロナにより舞台やイベントが無くなり、パフォーマンスの維持が難しくなっていた中で、本職の幅を広げるためネット配信などの、芸術発信の選択肢を増やすためのシステム導入の補助をもらった事で、今後の芸術発信の土台を少し作ることが出来、これからまだ続くコロナの影響を少しでも乗り切る為に動画配信やコロナ禍での公演に役立てていきたい。[音楽,大衆芸能(講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱),舞台スタッフ,コンピュータその他電子機器等を利用した芸術,演劇/30歳~39歳]
- 仕事が減り収入が激減したタイミングで最も必要となっていた自身と周囲の安全を守るための投資が出来たこと、金銭面のあと押しをもらったことは経済面でのリスクを軽減し、このことは精神的にも大きな助けとなりました。大変感謝しています。同時に現在までの生計を立てるための事業継続意欲に支えとなり、前向きに将来への知識や技能を学び、ウェブをより活用した形での知見を蓄えられたことは、これまでの形に加え、活動の形の選択肢を増やすことに大きく役立つと感じます。[音楽/30歳~39歳]
- 動画撮影や録音等の機材を新しく揃えることができやれることが増えたり、苦手分野のレッスンの受講で技能的補填ができたり、メンバーやスタッフへのギャランティの支払いができたので作品の制作を再開できたり、未来の活動にかなり希望が持てました。コロナ禍、コロナ後を見据えた音楽活動のあり方ややり方を考えられたことも大きかったです。すべて今回の支援がなければできなかったと思います。感謝しております。[音楽/30歳~39歳]

1. 芸術家の声(自由回答)

- 今回はクラシックの音楽活動にご支援をいただいたことで、今後は若手育成や、愛好家育成への視点も持って、個人活動を引き続きやっていくきっかけとなった。特に個人レベルで講座を設けることや、トライアル公演を開催することが今後のライフワークにつながると強く思ったのと同時に、それにかかる経費や企画の全体像が申請の段階からはっきり見えたことが、大変に有意義であった。[音楽/50歳～59歳]
- コロナ禍で、到底困難だと思われていた活動の継続や新人の育成、自身のスキルアップ等が、この支援によって大きく前進できた。また、今後の活動の幅を広げる大きな原動力となっている。出来ないと考えていたことに対し、出来るようにするために何をしなければいけないかと考えるようになった事は、今後の活動に必ず必要で生きてくる経験だと思う。[舞踊/40歳～49歳]
- 高座の機会が数多くなくなり、芸の精度が落ちかねないところをご支援により稽古場を確保し、稽古に励むことができ、さらに芸を磨くことができました。また、配信の機器部品を準備することができ、配信でお客様にお楽しみいただくこともできました。状況が少し落ち着いた時期には、客席に制限はあるものの、ご支援により感染対策を講じ、生で会を開催でき、芸術活動継続の第一歩となりました。[大衆芸能(講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱)/50歳～59歳]
- 常々日本では諸外国に比べると、文化芸術への関心の無さや、マーケット水準の低さなどが指摘される中、文化庁では重要に捉えられていることが、日本人アーティストとしてのモチベーションを維持できることに繋がった。また支援を受けて行なった事業活動により今後の制作活動への広がりや役に立ったと思う。現在もコロナ禍による展覧会や海外に発信する活動などの制限影響は続いており、新たな支援政策があることを期待します。[写真/40歳～49歳]
- スタッフとキャストへのギャランティ、衣裳費、ヘアメイクなど行き届いた企画ができ、思い描く内容に近いものを実現することができました。これまで自己資金で舞台制作を行っていたため、予算も限度があり無計画な出発になりがちでしたが、今回初めて金銭的な管理をしっかりと行ったことで、「この規模の活動にはこのくらいの予算が必要」という明確な数字を知れたことが、今後芸術活動を行っていく上で参考となります。十分な稽古を継続できたことも、舞踊家の技術向上に繋がり、団体としての質が上がりました。その結果、より多くの支援者を獲得することができ、次回の公演開催時には前回は越える来場者が見込まれます。[舞踊/30歳～39歳]
- ICTの技術を修得したことにより、YouTubeチャンネルを立ち上げ、映像収録を行ってアップするという初めての試みを行った。これは海外公演の交渉に関する大きな足がかりとなっている。また主に英語に関する自己研鑽を行ったが、海外での大学の講座の講師や、公演に関する国際会議に役立っている。また通常の稽古にかかる経済的な基盤も維持できた。[音楽/50歳～59歳]
- 今窮地に立たされている文化芸術家、活動の場の立ち上げに繋がりました。具体的には、コロナ禍による活動自粛により演奏ができなくなり、無観客の動画配信に向けた機材の増設、またスタッフ、およびスペースへの支援、演奏家への活動費の支援になりました。個人的には、新たにジャズ文化を発信できるスペースを作る費用に充てることができました。[音楽、舞台スタッフ、写真、コンピュータその他電子機器等を利用した芸術、映画・アニメーション/30歳～39歳]
- 演奏家はやはり演奏する場だけでなく、演奏する機会がないと「演奏感覚」がにぶり、再開するのがこわくなってしまいうので、無観客のトライアル公演をするだけで、精神的に自分の技術に自信をなくすことなく、演奏再開可能となった時の大きな支えとなりました。またトライアル公演があるということで、モチベーションも保ち続けられたことはとても大きかったです。色々な書類作成や経理をするためのソフトも購入するだけでなく、それを使いこなすレッスンも受けられたことは本当に助かりました。それを、補助金の範囲内に入れていただいたことは本当に感謝しております。[音楽/50歳～59歳]
- 普段私たちは和楽器演奏で、全国各地の学校を巡業しております。今回の支援を受けて実際の学校公演時間では紹介できない楽器の構造や仕組み、素材について詳しく動画にして公開することができました。するとコロナ禍で公演を行った学校の生徒さんから早速YouTubeなどで公開した動画にコメントが寄せられました。こうして公演後も和楽器の知識を提供できる動画を製作できたことでコロナが明けてからも役立っていくことと思っています。[音楽/30歳～39歳]

1. 芸術家の声(自由回答)

- オフィシャルサイトと作品集を制作、作品に興味を持ってくれた人や団体に、自身の活動やプロフィールなどを伝えやすくなったので、仕事の受注に役立つと考えられる。また、新しい分野の機材、画材や展示用額などを導入したので、制作により発展性を持たせられるようになった。何より自身のモチベーションが上がり、活動を続けてゆく精神的な支えとなった。[美術/50歳~59歳]
- 新たなDTM音源、エフェクト、ツールなどの導入によって表現の幅が広がり、作品の品質向上、作業効率アップにつながった。今まで対応が困難であったり、苦手意識の強かったジャンルの音楽作成にも対応できるようになった。またAI技術を駆使した歌声、音声合成ツール等を導入することで、今後発展していく新たな表現やコミュニケーションにも対応していけるようになった。[音楽/40歳~49歳]
- 俳優としての技能向上と、今後の出演予定作品に関する勉強のために、資料の書籍購入や舞台/映画鑑賞をさせていただいたことで、そのことが如何に自身の活動に繋がっているか、意識することができ、活かしていくことができたように思います。それは今後にも繋がってゆくことと思います。また、感染症予防対策の用具を購入できたことで、そういったところで節約せずに、ちゃんと感染リスクを低く抑えた活動をすることができたことがありがたく、今後も感染予防を厚く丁寧にしていけたらと思います。[演劇/50歳~59歳]
- ジャズピアノ演奏を生業とするミュージシャンです。継続支援事業を通じて、ネットを駆使したプロモーション活動、DTM(デスクトップミュージック)の機材やノウハウ取得、コロナ禍によってコミュニケーションが取り難くなっているミュージシャン、ライブハウス、お客様との関係継続活動を実践する事が出来た。音楽活動の発表の場を得る機会が出来たので、改めてじっくりと自分の音楽と向き合う機会が出来た。[音楽/60歳~69歳]
- コロナ禍の中、中止になった公演を開催する為にオンラインリハーサルやトライアル公演を行い出演予定のパフォーマーのモチベーションを保て、コロナ対策を熟考し今後へのエンターテインメントの表現の仕方を学びました。配信ライブや映像でのパフォーマンス提供が今後は主流になることもふまえ表現の仕方や日々のオンラインレッスンなど今後の活動に役に立てていけると考えております。[舞踊/40歳~49歳]
- ホームページの新規開設による新たな情報発信ツールの確保が出来たことで、現在もコロナでイベントや公演が中止が相次ぐ中でもインターネットを通して幅広く情報発信ができること。またYouTubeチャンネルを開設し海外にも向けた配信する事ができ、今まで国内のごく限られた範囲であった活動が全世界に情報発信や活動の場を広げられ、世界でコロナ収束が見込まれた後の活動も海外公演なども含めて可能性を感じる。自宅に専用の稽古場を整えることで、自身の稽古、対人稽古、リモート稽古、リモートでの打合せ、動画配信用の撮影など幅広い活動ができるようになり、貸し渋りや緊急事態宣言下の中でも稽古が可能となり活動の維持継続ができるようになりました。[伝統芸能(雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊)/50歳~59歳]
- 機器や設備を充実させることができ、今後の創作活動がより効率的に行えるようになっただけでなく、動画制作や宣材写真の編集等、これまで自身では行うことのない作業を自分自身で完結させられるようになり、活動の幅が確実に広がった。また、技能向上のための講習受講費用に当てられたことは、今後の活動を確実なものにしていく上で非常に有意義であった。[舞踊/30歳未満]
- オンラインコンサートの為の機材を揃える事が出来ました。コロナ禍故に、クラシック音楽を生配信という形でお客様にお伝えするようになりましたが、想像以上にお客様から良い反応を頂く事ができ、今後(コロナ収束後)の音楽活動を広げるきっかけともなりました。今後もオンラインでの演奏公開を行い続ける事が可能になり感謝しております。[音楽/40歳~49歳]
- 今まで、舞台に立つためにバイトを増やしたりと、その舞台のためだけに頑張っていました。持続支援事業の支援を受け、タブレットの導入が出来、舞台宣伝や、自己宣伝の幅が広がった。今の時代、また自粛のいま、いかにSNSを活用していくか、またzoomによるオーディションも増えているので、タブレットやパソコンが使えないと厳しいと思う。また、タブレットなどの機能を駆使して、いまは音楽や絵、写真と、自己プロデュースの幅も広がっている。[演劇/30歳未満]

Ⅲ 自由記述

(2. 団体)

2.団体の声(自由回答)

- 観客を入れての公演はできなかったが、制作体系を映像での配信に変更し、新たな観客を得ることができた。芸術文化に関する制作メンバーのモチベーションを持ち続けることができ、新年度の計画に新たな分野の計画もくわえることができた。[大衆芸能（講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱）]
- 券売収益・来場数が全く見込めない中、新たな取り組みへのトライアル公演の実施ができ、且つコロナ禍において必要となる自身の新たな技能研鑽・機材拡充が行え今後に活かすことができ、今後の活動に大きく踏み出すための勇気が湧いた。[舞台スタッフ]
- トライアル公演を行えたことで、制限下の中でのリハーサル、本番、観客への対応などを経験できたことが大きかった。関係者にとっても仕事が減少した中での公演だったため、モチベーションも高く良い質の公演になった。何よりも2020年度の活動が不可能であった状況の中で支援を受け、活動を継続できたのが大きい。[舞踊]
- とにかく活動を停止せずに、あらゆる新しい方向性を検討するきっかけをいただけたと感じています。ご支援いただいたトライアル公演での出演者、観客、劇場関係者らの反応から「芸術活動は不要ではない」と共通認識し、今後も活動を続けるモチベーションになっています。[音楽]
- 信頼するスタッフやキャストに、以前とあまり変わらないギャランティを支払うことが出来たことで、技術や能力の停滞や後退を起すことなく、今後もまた一緒に作品作りに取り組んでいくことが出来る。また集客が非常に少なくても、上演していなければ観客も戻らないので、支援をいただけることは大変ありがたい。[演劇]
- 公演ができない中、配信公演が行えた事で、出演者の希望が見いだせました。また、見てくださったかたに、長い自粛生活の中での、少しの楽しい時間となったご意見をいただき、文化活動が以前のように戻るまで諦めてはいけなくと改めて意識を持つ事ができました。[舞踊]
- 損失の補填という観点ではなく、今後の事業に向けた支援という形態が非常に素晴らしかったと思います。映像の作成や配信、感染症対策を施しながらの公演など、それまでの活動から想像できなかった様なスキルの習得や経験値を得ることに役立ちました。今後長く残る財産になったと思います。[伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊）]
- 支援により、経費面で安心して行うことができたトライアル公演は、演者のモチベーションアップになり、希望を持ち続けられる機会となりました。また、関係した業界業者の方々にも仕事を振り分けられたことが経済的な支援にもなり、今後も助け合いながら活動を行っていく意思を確認できました。[舞踊]
- 支援を受けられたことで限られた動員（通常の50%）の公演でも質の高い作品作りが出来たこと、万全な感染予防対策に関する費用という新たな支出に対して速やかに対応出来たことが一番大きいです。また今後のために配信公演にもトライすることが出来たので感染予防と配信公演のマニュアル作りが出来ました。[演劇]
- 既に供給過多（やり手は増えたが観客は減少していた）となっていた小劇場界限に加え、新しい事業にと踏み切るきっかけを与えてもらった事はとても感謝している。弊社の場合は「配信にシフトを変えた事により、従来よりも広い顧客にアプローチ出来る」様になり、事業範囲の拡大を図る事が出来る様になったと思う [コンピュータその他電子機器等を利用した芸術]
- 新規ホームページの立ち上げを支援して頂いたおかげで、以前より格段に速いスピードでの情報提供や、事業の宣伝を行う事ができている。団体の広報を考えるきっかけともなっている。通常の助成では事業に直接かかわるものしか対象にはならないが、団体としての運営やスキルアップのための助成は有難い。[演劇]
- 支援を頂いたことで、公演活動の出来ない中にあっても観客の維持と開拓に結びつく活動が展開でき、今年度以降の活動への大きな地盤をつくる事が出来ました。また公演活動では、コロナ対策として行ったリモート等の取り組みが、感染症対策に留まらない経験として蓄積され、新たな視野と活動の可能性を拓きました。[演劇]

2.団体の声(自由回答)

- 文化芸術の活動継続支援を受け、ホームページ制作やオンラインでの公演を実施。国内外に広く活動をPRすることができました。また上記制作によりコロナ禍で活動が困難になっているスタッフらに制作費や出演費を支払うことができ、スタッフ間の芸術活動へのモチベーション向上にもつながりました。[音楽]
- ネット上での宣伝を充実することができましたので、イベントの告知や、万一の場合の延期、変更など、お客様とネット上でつながって活動を進めていくことができるようになりました。団体のメンバー同士の意見交換も、これを活用してできるようになり、コロナ後に、広くイベントを広げていく準備ができたと思います。[映画・アニメーション]
- 支援をいただけたことで、活動を幅広く知っていただき、コロナ渦だからこそ、できることを見つけて事業が実施できたことはすごく大きい。今後の活動も工夫しながら、継続事業を行える。興味をもっていただくかたの幅が増えて、いろいろな提案をいただけたことです。[美術]
- 今回の支援金で初級の教本DVDを作成しました。支援金のおかげでプロの製作者もお願いでき、かなり高品質なDVDが出来あがり、教える方教わる方共、充実したお稽古が出来ています。21年度には中級教本も考えています。[伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊）]
- トライアル公演の実施により、お客様をつなぎとめられる。HPのリニューアルと、それに伴ってできた動画配信の実施で、今後の新しい活動の取組みへの希望ができた。感染拡大予防対策でも、検温器やパーテーションを購入でき、公演実施に役立っている。[音楽]
- 補助を受けられたことにより、活動（リモートワーク）に必要な機材を購入することができました。環境が整っていない人は排除されそうな状況だったので、この助成金のおかげで排除される事なく在宅で仕事ができる環境にする事ができたことに感謝しております。[映画・アニメーション]
- 配信機材が整い、配信のノウハウを得た事で今後の事業を拡張させる事ができた。また、リアル、配信、コンテンツ制作を絡めた立体的なイベント制作を試みた事で、新しいイベント事業の可能性を獲得し、同時に新規の顧客も獲得できた。[映画・アニメーション]
- 公演料他の資金を支援していただいたことにより、トライアル公演を実施でき、多くの市民に文化芸術にふれる機会を提供でき、よろこんでいただけた。また、たくさんの方が、このような機会を求めておられることが分かり、私たちの活動の重要性を再認識できた。[演劇]
- 今回、オペラ映画を作成しDVDにして小学校へ配布しました。いくつかの小学校は感想をお送りいただき音楽の重要性を深く感じました。オペラ映画を公開したことで新しく興味を持たれた方もいて新しいファンの開拓ができたのでは無いかと感じています。[音楽]
- 支援していただくことにより芸術活動に携わるスタッフ、演者の仕事が確保でき、生活、モチベーションの維持ができて大変助かりました。今回のような支援事業をおこなっていただくことは非常に心強く、安心して仕事に取り組むことができ心から感謝しております。[舞踊]
- 自粛を要請されて、活動が制限される中で、オンラインレクチャーや動画を撮影したり配信することができたり、また経験する機会を設けることが出来たことは大きな収穫でした。これまではしてこなかった種類の広報活動やイベントがニュースタンダードとして定着することになりました。[美術]
- 今回の支援事業で、初めて映像による公演を実施しました。生の舞台とは違い、戸惑いもありましたが、新たな挑戦という意味では、今回の補助金は大変助かりましたし、活動の間口が広がって映像による活動にも力を入れながら、これまでの活動にも生かされると感じました。[舞台スタッフ]
- コロナ禍で入場料収益や個人・企業の協賛金が減るなかで、継続支援を受けることによって、主催イベントを断念せずに実施できたこと。また、事業を継続するうえで今後必要となる感染症対策の用具をそろえ、ノウハウを蓄積できたこと。[映画・アニメーション]

IV 調查票

(1. 藝術家)

1. 芸術家

文化芸術活動に携わる方々へのアンケート

アンケートにアクセスしていただき、ありがとうございます。

アンケートであなたご自身やあなたのご家族についてお伺いする場合があります。

ご協力いただける場合は「開始」ボタンを押し、回答を開始してください。

開始

注意事項

回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。

まずあなた自身の活動分野と年齢についてお教えてください。

Q1 あなたの文化芸術の活動領域を教えてください。

- 音楽
- 舞踊
- 演劇
- 伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊）
- 大衆芸能（講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱）
- 舞台スタッフ
- 美術
- 写真
- コンピュータその他電子機器等を利用した芸術
- 映画・アニメーション
- 生活文化（茶道、華道、書道）
- 国民娯楽（囲碁、将棋、その他）

Q2 あなたの年齢を教えてください。

- 20歳未満
- 20歳～29歳
- 30歳～39歳
- 40歳～49歳
- 50歳～59歳
- 60歳～69歳
- 70歳以上

文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について伺います。

Q3 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、情報を得たのはどれですか。また、最も有益な情報はなんでしょうか。

1/2

情報を得たもの
(あてはまるものすべて)

- 友人・知人からの情報提供
- 所属団体からの情報提供
- 業界団体からの情報提供
- 文化庁HP・芸文振HP・文化芸術活動の継続支援事業HP
- マスコミ報道
- SNS、YouTube等
- その他
- 特に情報は得ていない

次を表示

文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について伺います。

Q3 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、情報を得たのはどれですか。また、最も有益な情報はなんでしょうか。

2/2

最も有益な情報
(1つだけ)

- 友人・知人からの情報提供
- 所属団体からの情報提供
- 業界団体からの情報提供
- 文化庁HP・芸文振HP・文化芸術活動の継続支援事業HP
- マスコミ報道
- SNS、YouTube等
- その他
- 特に情報は得ていない

次を表示

1.芸術家

Q4 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」を活用するにあたり、関係者、専門家のサポートを受けましたか。あてはまるものすべてをお答えください。

- 公認会計士・税理士
- 社会保険労務士
- 弁護士・行政書士
- 同業の仲間
- 所属団体・業界組織
- その他
- サポートはうけていない

Q5 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、困難だった点や利用しづらい点を3つまでお答えください。

- 活動実績が申請資格に該当するかの確認
- プロの実演家やスタッフ等（収入実績）の確認
- 募集案内の読解（専門用語が多く理解しづらい）
- 補助率が定められていて自己負担金を用意しなければならないこと
- 概算払いが補助金額の2分の1以内（第3次募集までは更に少ない）であったこと
- 費用使用の対象範囲が狭い（限定的）
- 費用使用の対象経費の判断
- 申請書類の作成
- 本人証明など書類の準備
- 申請入力時間が限定（1時間未満）
- 申請から交付決定までの時間
- 報告作成、証憑書類の準備
- 精算の手続きに時間を要したこと
- その他
- 困難なことはない

Q6 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、良かった点や便利だった点を3つまでお答えください。

- 交付決定前の支出も認められた
- 申請手続きが不備でも後日修正できた
- 申請から短期間で交付決定された
- 補助金額の概算払い
- Web申請で完結（書類の作成、郵送等がない）
- 募集期間中24時間申請できた
- 動画による説明
- 申請事例（ぶんちゃん）
- 充実したQ&Aで疑問が解消された
- 統括団体による確認番号の発行
- フリーダイヤルの土日営業
- メールでの対応窓口の設置
- 支援対象活動を幅広く認めてもらった
- その他
- 特になし

Q7 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」を通じてどのような効果が得られましたか。あてはまるものすべてをお答えください。

- 日常活動の維持、継続
- 技能の維持・向上、新たな技術導入
- 新たな事業開発・新たな顧客や販路の開拓
- 経営管理体制の改善
- 公的助成を得たことによるモチベーションの向上
- 新型コロナウイルス感染防止対策費用に充当
- 再開にむけ芸術家・スタッフ等に報酬を充当
- 活動再開にむけた準備（機器、資材の購入を含む）
- トライアル公演を実施した
- その他
- 特に効果はない

Q8 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」の支援を受けて行ったことで、今後の活動に役立つことをお答えください。（150字以内）

1. 芸術家

Q9 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、総合的な満足度をお知らせください。

満足

やや満足

どちらでもない

やや不満

不満

新型コロナウイルス感染症拡大の影響とあなたの対応などについて伺います。

Q10 2回目の「再度緊急事態宣言」や地域によっては「まん延防止等重点措置」が実施されるなど感染症の収束が見込まれません。文化イベントの自粛要請から1年経ちますが新型コロナウイルス感染症の影響についてお知らせください。

- 文化芸術活動に関して既に決まっていた仕事の機会が何度もなくなった
- 感染症の状況により仕事の依頼が不安定で大幅に減少した
- 感染症の状況に合わせあまり影響なく仕事に取り組んでいる
- オンラインでの配信活動など今までと異なる新たな方法に取り組むことになった
- 見通しが立たないので、影響の少ない他の芸術分野の新規事業の取り組みを検討した（始めた）
- 見通しが立たないので芸術以外の新規事業の取り組みを検討した（始めた）
- 文化芸術活動に関して将来の見通しが立たなくなった
- 状況はかなり悪化しており、文化芸術活動の継続を断念した
- その他

Q11 コロナ禍の危機を乗り越えるため、貴方は活動を継続するためどのような対応を行いましたか。

- 政府の支援策を調べ可能なものに申請した
- 活動を継続するため寄付金を募った
- 活動を継続するため様々な関係者に働きかけた
- やむなく文化芸術活動に関わる施設、備品・用具を手放した
- 親しい人や銀行から資金を借りた
- 経費削減のため事務所を縮小・移転した
- 関係する組織・団体や弁護士・税理士などに相談した
- その他
- 特に対応は行っていない

Q12 新型コロナウイルス感染症の影響に対する対策として、政府は以下のような制度を設けていますが、あなたが利用した制度をすべてお答えください。

- 中小事業者への持続化給付金（経済産業省）
- 中小事業者への一時支援金（経済産業省）
- 特別定額給付金（総務省）
- 個人向け緊急小口資金等（総務省）
- 家賃支援給付金（総務省）
- 制度内容は知っているが申請はしていない
- このような制度は知らない

Q13 文化芸術への政府の新型コロナウイルス感染症対策予算は現状から考えて十分だと思いますか。

そう思う

どちらともいえない

そう思わない

Q14 確定申告をされたと思いますが、2019年1年間の収入に比べて、2020年の総収入はどの程度になりましたか。

- 2019年と比較して年間収入は増えた
- 年間収入はあまり変わらない
- 年間収入は75%程度になった
- 年間収入は50%程度になった
- 年間収入は25%程度になった
- 年間収入はほぼ0%になった

Q15 年間収入の内、文化芸術活動からの収入の変化はありましたか。

- 文化芸術活動からの収入は増えた
- 文化芸術活動からの収入はあまり変わらない
- 文化芸術活動からの収入は75%程度になった
- 文化芸術活動からの収入は50%程度になった
- 文化芸術活動からの収入は25%程度になった
- 文化芸術活動からの収入はほぼ0%になった

Q16 現時点（2021年4月）で最も不安に感じていることについて、次の中からもっともあてはまるものを一つ教えてください。

- 自分あるいは世帯主の収入が著しく減少している中で、生計を維持できるかどうか不安
- 自ら行う公演・展示等の機会が失われ、先の見通しも立たず、文化芸術活動をこの先続けられるかどうか不安
- 所屬先、得意先の経営が立ち行かなくなり、その結果自分の活動が続けられなくなるのではないかと不安
- 文化芸術活動に関わる施設の閉鎖等が続き、業界全体として明るい見通しが立たないことへの不安
- 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、不景気が到来して生活が苦しくなることへの不安
- はっきりと原因はわからないが、漠然とした不安
- 特に不安に感じていることはない

1. 芸術家

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける以前のあなたの文化芸術活動の状況と、今後の課題等について教えてください。

Q17 あなたの文化芸術活動の主な取り組み方を教えてください。

- 個人として主に団体・会社や主催者に仕事を依頼され文化芸術活動を行っている
- 個人として主に自ら企画・制作し、文化芸術活動を行っている
- 文化芸術団体等に年間雇用され、文化芸術活動を行っている
- 文化芸術関係の団体・会社を経営し、文化芸術活動を行っている
- 文化芸術関係以外の会社等に雇用されているが、文化芸術活動を行っている
- 文化芸術関係以外の会社等を経営しているが、文化芸術活動を行っている
- その他

Q18 あなたは文化芸術活動を続ける上で、必要な組織に参加、所属あるいは業務委託をしていますか。あてはまるものをすべてお答えください。

- 専門職能の維持・向上、文化芸術の振興を目的とする協会組織
- 劇団、楽団、舞踊団、同人会など文化芸術創造活動を進める組織
- 個人の仕事を紹介・仲介・プロモートするプロダクション・事務所
- 個人マネージャー、弁護士などを依頼している
- 全て個人で仕事をしている

Q19 通常の「あなた」の全収入に占める芸術活動からの収入の割合を教えてください。

- 75%以上～100%
- 50%以上～75%未満
- 25%以上～50%未満
- 0%以上～25%未満

Q20 あなたが文化芸術活動を続ける上で、今、必要なことを3つまでお答えください。

- 文化芸術活動で発生する費用に対する金銭的な補助・助成
- 生計維持に使用できる使途を問わない給付金
- 利用しやすい低利または無利子の貸付金
- 仕事が失われた場合でも一定期間生活が保障されるセーフティネットの構築
- 文化芸術活動を維持・継続するための情報提供
- 新型コロナウイルス感染状況に対応した文化芸術活動の再開
- その他
- 特に支援の必要はない

Q21 文化芸術活動を続ける上で、あなたが感じている課題について、あてはまることをすべて教えてください。

- 契約に係る揉め事、ハラスメントなどのトラブルに関する相談窓口がない
- 仕事が不定期、断続的で不安定であり失業など仕事上の変化を緩和する仕組みがない
- 仕事上の怪我・死亡などの仕事に起因するリスクを補償する仕組みがない
- 仕事の技能・能力向上、職能転換・移転に関する仕組みがない
- 感染症発生・事故・災害に伴う仕事の中止に係る保険制度がない
- 病気・怪我などライフリスクに係る保険制度がない
- 出産・育児・介護などの生活保障の仕組みがない
- 老後に備えるための年金制度が十分ではない
- あてはまるものはない

IV 調査票

(2. 団体)

2.団体

継続支援事業団体に関するアンケート

アンケートにアクセスしていただき、ありがとうございます。
ご協力いただける場合は「開始」ボタンを押し、回答を開始してください。

開始

注意事項

回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。

はじめに、新型コロナウイルス感染拡大による影響について伺います。

Q1 2回目の「再度緊急事態宣言」や地域によっては「まん延防止等重点措置」が実施されるなど感染症の収束が見通せません。文化イベントの自粛要請から1年経ちますが新型コロナウイルス感染症の影響についてお知らせください。

- 文化芸術活動に関して既に決まっていた仕事の機会が何度もなくなった
- 感染症の状況により仕事の依頼が不安定で大幅に減少した
- 感染症の状況に合わせてあまり影響なく仕事に取り組んでいる
- オンラインでの配信活動など今までと異なる新たな方法に取り組むことになった
- 見通しが立たないので、影響の少ない他の芸術分野の新規事業の取り組みを検討した（始めた）
- 見通しが立たないので芸術以外の新規事業の取り組みを検討した（始めた）
- 文化芸術活動に関して将来の見通しが立たなくなった
- 状況はかなり悪化しており、文化芸術活動の継続を断念した
- その他

Q2 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、貴団体の文化芸術活動が受けた影響で、対応が厳しかったものを3つまでお答えください。

- 体温検査、消毒など感染症拡大防止対策の実施
- 観客収容率50%の制限
- 観客数100人、1千人、5千人、1万人の人数制限
- 20時以降の夜間行動制限
- 三密行動制限による人々の鑑賞・体験行動への影響
- 昨年の文化イベントの自粛要請、緊急事態宣言
- 今年の緊急事態宣言
- その他
- あてはまるものはない

Q3 コロナ禍の危機を乗り越えるため、貴団体ではどのような対応を行いましたか。

- 政府の支援策を調べ可能なものに申請した
- 活動を継続するため寄付金を募った
- 内部留保の取り崩し、機材・備品や用具など資本を売却した
- 芸術家、スタッフ、関係事業者へ貸金・報酬の支払いを待ってもらった
- 関係者から資金を借りた
- 銀行から資金を借りた
- 職員を解雇した
- スタジオ・稽古場など活動スペースを閉鎖した
- 経費削減のため事務所を縮小・移転した
- 事務所を閉鎖した
- その他
- 特に対応は行っていない

Q4 政府は新型コロナウイルス感染症対策支援のため、さまざまな制度を設けました。以下のような継続支援事業について、貴団体で申請したものをすべてお答えください。

- 持続化給付金
- 家賃支援給付金
- J-LODlive補助金
- 文化芸術収益力強化事業
- 公庫・商工中金融資
- 日本政策金融公庫融資
- 一時支援金
- 制度の内容は知っているが、申請はしていない

Q5 文化芸術への政府の新型コロナウイルス感染症対策予算は現状から考えて十分だと思いますか。

そう思う

どちらとも
いえない

そう思わない

2.団体

コロナ禍での貴団体の活動状況について伺います。

Q6 2020年1年間の芸術事業収入に関して2019年と比較して状況をお知らせください。

- 文化芸術活動からの収入は増えた
- 文化芸術活動からの収入はあまり変わらない
- 文化芸術活動からの収入は75%程度になった
- 文化芸術活動からの収入は50%程度になった
- 文化芸術活動からの収入は25%程度になった
- 文化芸術活動からの収入はほぼ0%になった

Q7 2021年3月までの直近決算で正味財産(資本金・基本財産・剰余金等)変化を2019年同期(前期)との比較をお知らせください。

- 前期より増えた
- あまり変わらない
- 前期の75%程度になった
- 前期の50%程度になった
- 前期の25%程度になった
- 債務超過(マイナス)になった

Q8 2021年の事業計画の見込みは、2019年と比べてどのように考えていますか。

- 2019年の規模に戻る見込み
- 2019年の75%程度の見込み
- 2019年の50%程度の見込み
- 2019年の25%程度の見込み
- 2020年と同規模の見込み
- 見込みがたたない
- 活動停止

Q9 今、活動の継続に必要なことは何ですか。

1/2

活動継続に必要なこと
(回答はいくつでも)

- 人々の文化芸術への参加意欲が戻ること
- 芸術関係者の活動意欲が戻ること
- 芸術活動に意欲のある人材を確保できること
- 受けた損失を取り戻す資金が提供されること
- 事業を展開する資金が提供されること
- 万が一に備えたセーフティネットが整備されること
- その他
- 特に必要なものはない

次を表示

Q9 今、活動の継続に必要なことは何ですか。

2/2

活動継続に最も必要なこと
(回答は1つ)

- 人々の文化芸術への参加意欲が戻ること
- 芸術関係者の活動意欲が戻ること
- 芸術活動に意欲のある人材を確保できること
- 受けた損失を取り戻す資金が提供されること
- 事業を展開する資金が提供されること
- 万が一に備えたセーフティネットが整備されること
- その他
- 特に必要なものはない

次を表示

2.団体

Q10 感染症や地震、大規模災害など、危機対応として望む対策にどのようなものがあると良いですか。

- 公演・展示・制作中止による損害を補填する共済・保険制度
- 文化芸術関係団体向けの給付金
- 運営経費にも使える補助金
- 無利子融資制度
- 銀行借入に対する信用保証制度
- その他
- 特に望むことはない

文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について伺います。

Q11 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、情報を得たのはどれですか。また最も有益な情報は何でしたか。

1/2

情報を得たもの
(回答はいくつでも)

- 友人・知人からの情報提供
- 所属団体からの情報提供
- 業界団体からの情報提供
- 文化庁HP・芸文振HP・文化芸術活動の継続支援事業HP
- マスコミ報道
- SNS、YouTube等
- その他
- 特に情報は得ていない

次を表示

文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について伺います。

Q11 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、情報を得たのはどれですか。また最も有益な情報は何でしたか。

2/2

最も有益な情報
(回答は1つ)

- 友人・知人からの情報提供
- 所属団体からの情報提供
- 業界団体からの情報提供
- 文化庁HP・芸文振HP・文化芸術活動の継続支援事業HP
- マスコミ報道
- SNS、YouTube等
- その他
- 特に情報は得ていない

次を表示

Q12 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」を活用するにあたり、関係者、専門家のサポートを受けましたか。あてはまるものすべてをお答えください。

- 公認会計士・税理士
- 社会保険労務士
- 弁護士・行政書士
- 同業の仲間
- 所属団体・業界組織
- その他
- サポートは受けていない

2.団体

Q13 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、困難だった点や利用しづらい点を3つまでお答えください。

- 活動実績が申請資格に該当するかの確認
- プロの実演家やスタッフ等（収入実績）の確認
- 募集案内の読解（専門用語が多く理解しづらい）
- 補助率が定められていて自己負担金を用意しなければならないこと
- 概算払いが補助金額の2分の1以内（第3次募集までは更に少ない）であったこと
- 費用使用の対象範囲が狭い（限定的）
- 費用使用の対象経費の判断
- 申請書類の作成
- 本人証明など書類の準備
- 申請入力時間が限定（1時間未満）
- 申請から交付決定までの時間
- 報告作成、証憑書類の準備
- 精算の手続きに時間を要したこと
- その他
- 困難だった点や利用しづらい点はない

Q14 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、良かった点や便利だった点を3つまでお答えください。

- 交付決定前の支出も認められた
- 申請手続きが不備でも後日修正できた
- 申請から短期間で交付決定された
- 補助金額の概算払い
- Web申請で完結（書類の作成、郵送等がない）
- 募集期間中24時間申請できた
- 動画による説明
- 申請事例（ぶんちゃん）
- 充実したQ&Aで疑問が解消された
- フリーダイヤルの土日営業
- メールでの対応窓口の設置
- 支援対象活動を幅広く認めてもらった
- その他
-
- 特になし

Q15 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」を通じてどのような効果が得られましたか。あてはまるものすべてをお答えください。

- 日常活動の維持、継続
- 技能の維持・向上、新たな技術導入
- 新たな事業開発・新たな顧客や販路の開拓
- 経営管理体制の改善
- 公的助成を得たことによるモチベーションの向上
- 新型コロナウイルス感染防止対策費用に充当
- 再開にむけ芸術家・スタッフ等に報酬を充当
- 活動再開にむけた準備（機器、資材の購入を含む）
- トライアル公演を実施した
- その他
- 特に効果はない

Q16 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」の支援を受けて行ったことで、今後の活動に役立つことをお答えください。（150字以内）

Q17 文化庁の「文化芸術活動の継続支援事業」について、総合的な満足度をお知らせください。

- | | | | | |
|----|------|---------|------|----|
| 満足 | やや満足 | どちらでもない | やや不満 | 不満 |
|----|------|---------|------|----|

Q18 最後に、貴団体の主な活動分野について教えてください。

- 音楽
- 舞踊
- 演劇
- 伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊）
- 大衆芸能（講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱）
- 舞台スタッフ
- 美術
- 写真
- コンピュータその他電子機器等を利用した芸術
- 映画・アニメーション
- 生活文化（茶道、華道、書道）
- 国民娯楽（囲碁、将棋、その他）